

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- ◎ お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ◎ 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

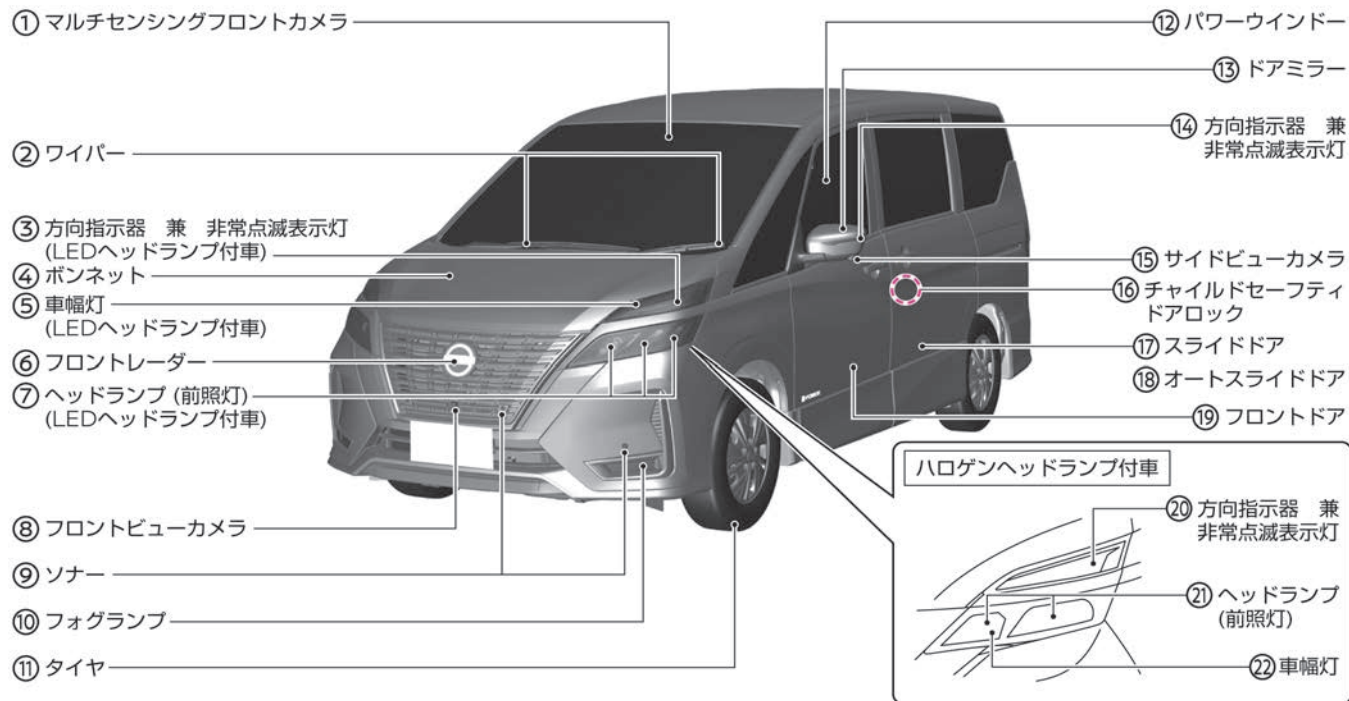
安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと装備品や車両の破損につながるおそれがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車の性能を十分にお使い頂けるとともに、いろいろな装備を上手に使うことができます。
	安全のためにしてはならない行為。 (イラスト内に表示されています)

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備(ディーラーオプション)については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー(営業部員)にお申しつけください。

- 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
- 自然環境保護に配慮してください。
- 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

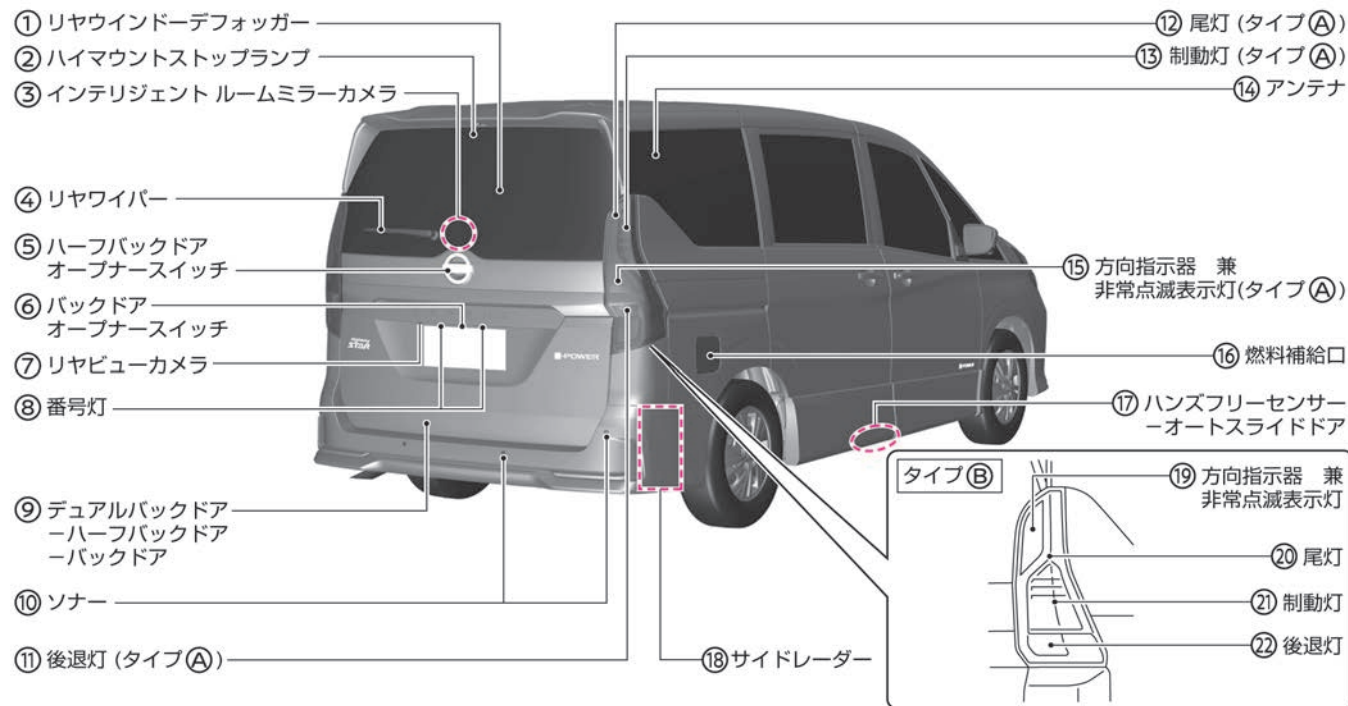
■ 外観フロント .2 ■ 運転席まわり .8	■ 外観リヤ .4 ■ インストルメントパネル .10	■ 車室内 .6	イラスト目次	P.2	
■ 日産 e-POWERの特徴 .14	■ 安全にご利用いただくために .18	■ 日産e-POWERと上手に付き合うために .23	日産 e-POWERとは	P.13	
■ 運転する前に .28 ■ お子さまの安全のために .55	■ シートベルト .35 ■ 盗難防止機能 .68	■ エアバッグ .42	安全なドライブのために	P.27	
■ 計器類 .70	■ 警告灯・表示灯 .80	■ アドバンスドドライブアシストディスプレイ .85	メーターの見かた	P.69	
■ メーターの明るさの調節 .118	■ キー .120 ■ ハンドルの調節 .183 ■ 燃料補給口の開閉 .201	■ ドアの施錠と解錠 .128 ■ ミラーの調節 .184 ■ エアコンの操作 .205	■ シートの調節 .166 ■ 窓ガラスの開閉 .198 ■ オーディオ .227	各部の操作	P.119
■ 始動する .233 ■ 運転支援機能 .297	■ 運転する .239 ■ カメラシステム .443	■ ランプをつける、ワイパーを使う .259	運転のしかた	P.231	
■ 室内照明 .468	■ 収納装備 .471	■ その他の室内装備 .478	室内装備	P.467	
■ まずはじめに .500	■ 緊急時の対処方法 .506		トラブルがおきたときは	P.499	
■ メンテナンスの前に .588 ■ 清掃・お手入れ .616	■ 工具・ジャッキ .589 ■ サービスデータ .630	■ 点検と整備 .597	メンテナンス	P.587	
			索引	P.639	

外観フロント

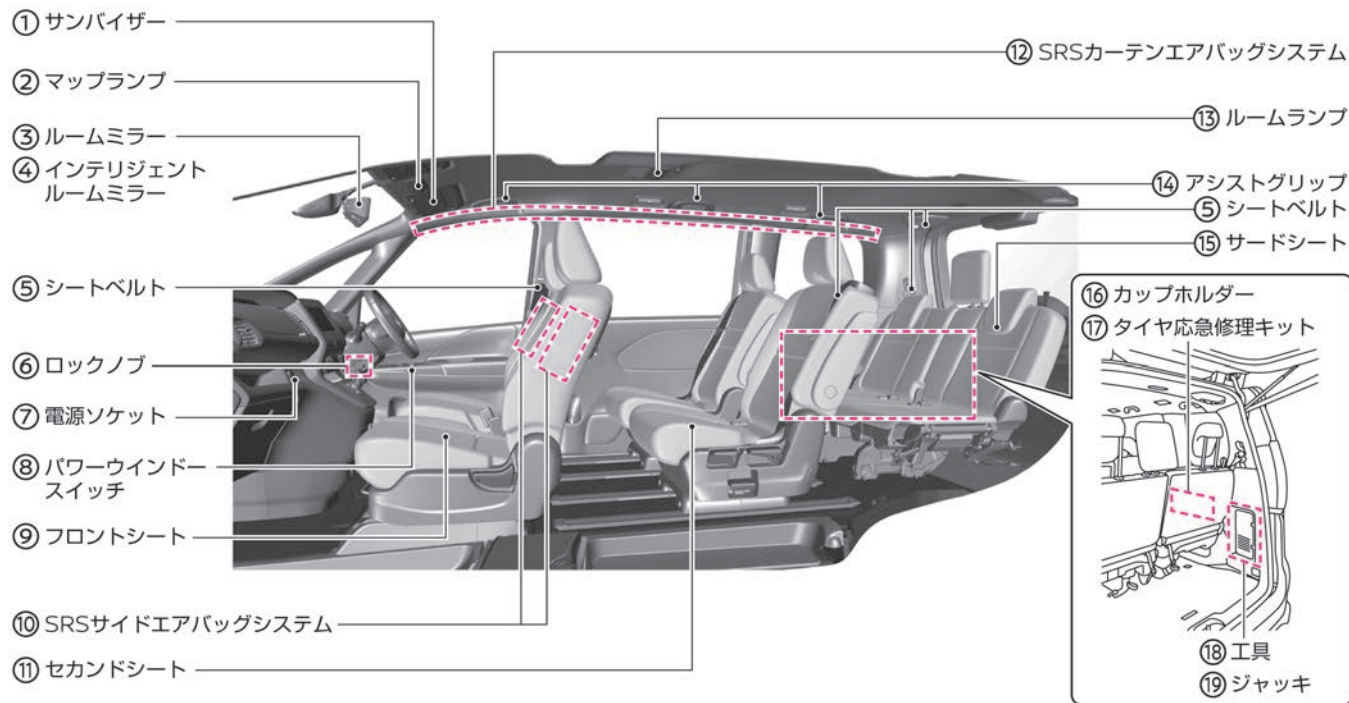


- ① マルチセンシングフロントカメラ (➡P.622)
- ② ワイパー (➡P.293)
- ③ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (LEDヘッドランプ付車) (➡P.273、➡P.288、➡P.570)
- ④ ボンネット (➡P.598)
- ⑤ 車幅灯 (LEDヘッドランプ付車) (➡P.259、➡P.275、➡P.570)
- ⑥ フロントレーダー (➡P.621)
- ⑦ ヘッドランプ (前照灯) (LEDヘッドランプ付車) (➡P.259、➡P.275、➡P.570)
- ⑧ フロントビューカメラ★ (➡P.623)
- ⑨ ソナー (➡P.115、➡P.625)
- ⑩ フォグランプ★ (➡P.292、➡P.570)
- ⑪ タイヤ (➡P.605)
- ⑫ パワーウインドー (➡P.198)
- ⑬ ドアミラー (➡P.195)
- ⑭ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (➡P.273、➡P.288、➡P.570)
- ⑮ サイドビューカメラ★ (➡P.623)
- ⑯ チャイルドセーフティドアロック (➡P.137)
- ⑰ スライドドア (➡P.134)
- ⑱ オートスライドドア (➡P.141)
- ⑲ フロントドア (➡P.128)
- ⑳ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (ハロゲンヘッドランプ付車) (➡P.273、➡P.288、➡P.570)
- ㉑ ヘッドランプ (前照灯) (ハロゲンヘッドランプ付車) (➡P.259、➡P.275、➡P.570)
- ㉒ 車幅灯 (ハロゲンヘッドランプ付車) (➡P.259、➡P.275、➡P.570)

外観リヤ

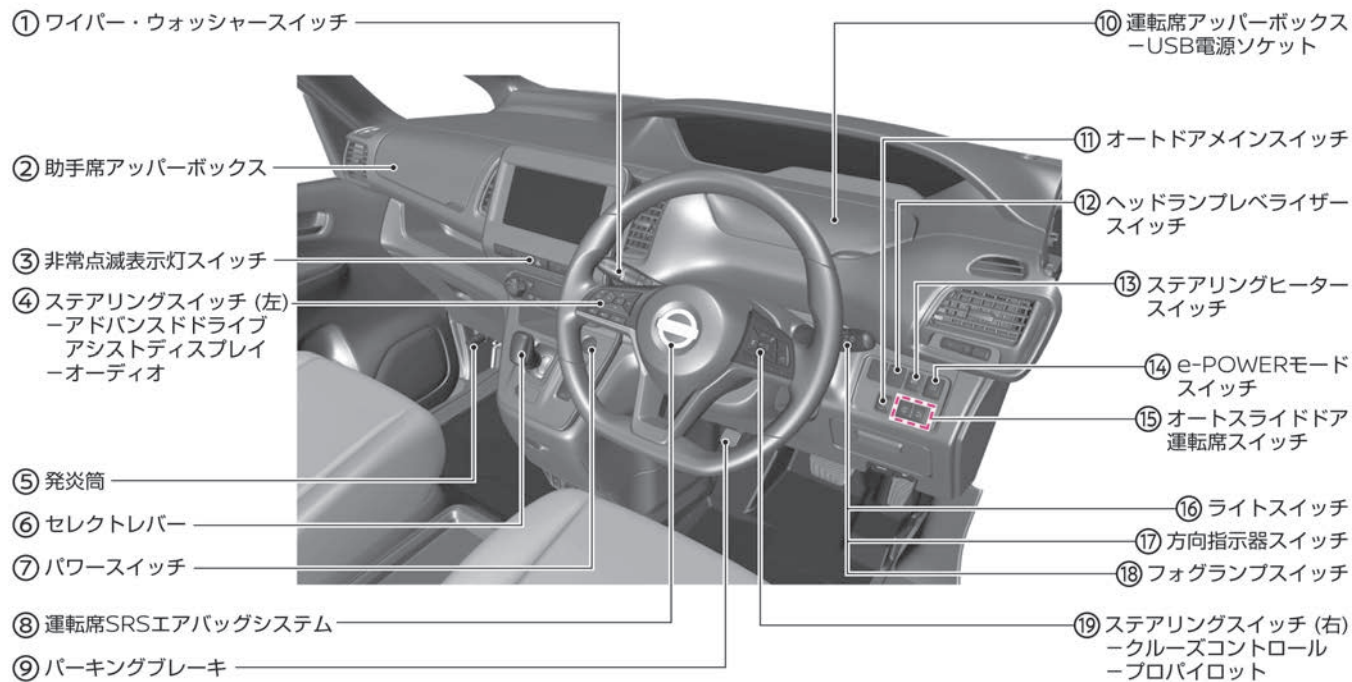


- ① リヤウインドーデフォッガー (➡P.559)
- ② ハイマウントストップランプ (➡P.570)
- ③ インテリジェント ルームミラーカメラ★ (➡P.629)
- ④ リヤワイパー (➡P.294)
- ⑤ ハーフバックドアオープナースイッチ (➡P.161)
- ⑥ バックドアオープナースイッチ (➡P.159)
- ⑦ リヤビューカメラ★ (➡P.624)
- ⑧ 番号灯 (➡P.259、➡P.275、➡P.570)
- ⑨ デュアルバックドア
 - ハーフバックドア (➡P.161)
 - バックドア (➡P.159)
- ⑩ ソナー (➡P.115、➡P.625)
- ⑪ 後退灯 (タイプA) (➡P.570)
- ⑫ 尾灯 (タイプA) (➡P.259、➡P.275、➡P.570)
- ⑬ 制動灯 (タイプA) (➡P.570)
- ⑭ アンテナ (➡P.228)
- ⑮ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (タイプA) (➡P.273、➡P.288、➡P.570)
- ⑯ 燃料補給口 (➡P.201)
- ⑰ ハンズフリーセンサー★
 - オートスライドドア (➡P.152)
- ⑱ サイドレーダー (➡P.621)
- ⑲ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (タイプB) (➡P.273、➡P.288、➡P.570)
- ⑳ 尾灯 (タイプB) (➡P.259、➡P.275、➡P.570)
- ㉑ 制動灯 (タイプB) (➡P.570)
- ㉒ 後退灯 (タイプB) (➡P.570)



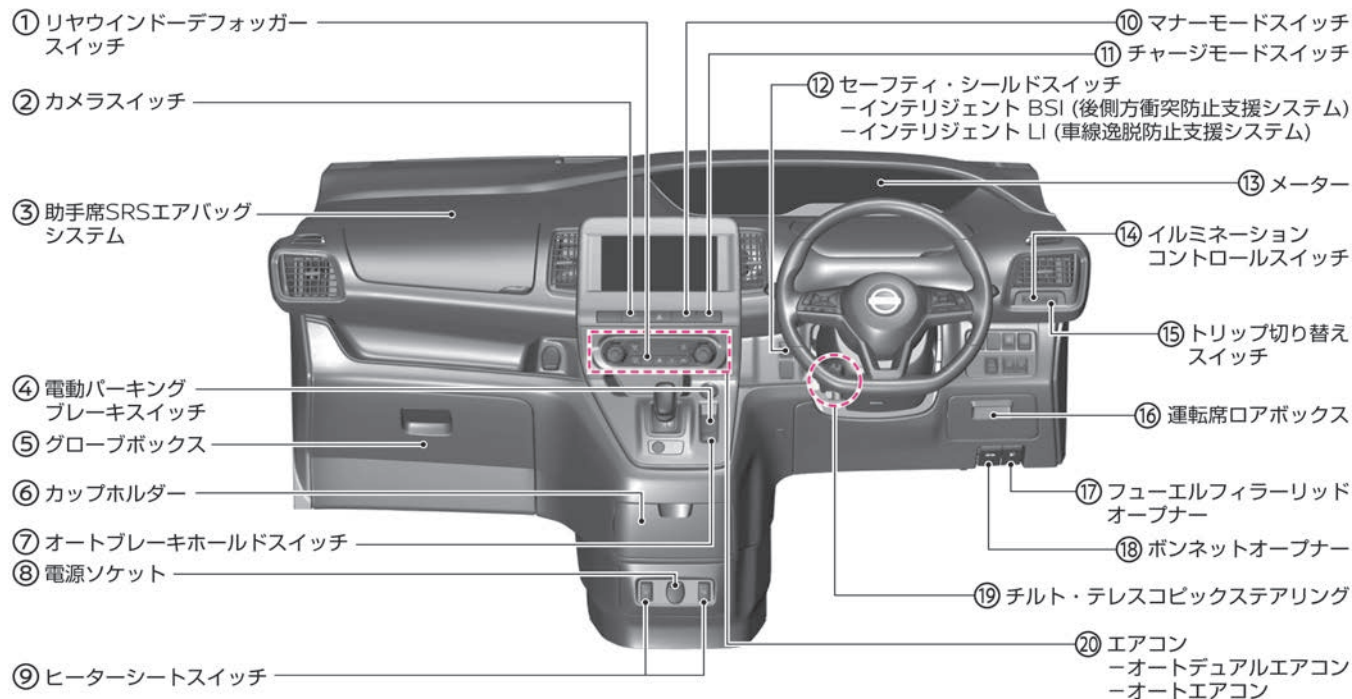
- ① サンバイザー (➡P.490)
- ② マップランプ (➡P.468)
- ③ ルームミラー★ (➡P.184)
- ④ インテリジェント ルームミラー★ (➡P.185)
- ⑤ シートベルト (➡P.35)
- ⑥ ロックノブ (➡P.133)
- ⑦ 電源ソケット (➡P.480)
- ⑧ パワーウインドースイッチ (➡P.198)
- ⑨ フロントシート (➡P.166)
- ⑩ SRSサイドエアバッグシステム★ (➡P.51)
- ⑪ セカンドシート (➡P.170)
- ⑫ SRSカーテンエアバッグシステム★ (➡P.53)
- ⑬ ルームランプ (➡P.468)
- ⑭ アシストグリップ (➡P.495)
- ⑮ サードシート (➡P.176)
- ⑯ カップホルダー (➡P.475)
- ⑰ タイヤ応急修理キット (➡P.507)
- ⑱ 工具 (➡P.589)
- ⑲ ジャッキ★ (➡P.590)

運転席まわり



- ① ワイパー・ウォッシャースイッチ (➡P.293)
- ② 助手席アッパーボックス (➡P.473)
- ③ 非常点滅表示灯スイッチ
- ④ ステアリングスイッチ (左)
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイ (➡P.85)
 - オーディオ★ (➡P.229)
- ⑤ 発炎筒 (➡P.501)
- ⑥ セレクトレバー (➡P.239)
- ⑦ パワースイッチ (➡P.233)
- ⑧ 運転席SRSエアバッグシステム (➡P.46)
- ⑨ パーキングブレーキ★ (➡P.242)
- ⑩ 運転席アッパーボックス (➡P.473)
 - USB電源ソケット (➡P.482)
- ⑪ オートドアメインスイッチ (➡P.143、➡P.144)
- ⑫ ヘッドランブレベライザースイッチ★ (➡P.290)
- ⑬ ステアリングヒータースイッチ★ (➡P.478)
- ⑭ e-POWERモードスイッチ (➡P.298)
- ⑮ オートスライドドア運転席スイッチ (➡P.149)
- ⑯ ライトスイッチ (➡P.259、➡P.275)
- ⑰ 方向指示器スイッチ (➡P.273、➡P.288)
- ⑱ フォグランプスイッチ★ (➡P.292)
- ⑲ ステアリングスイッチ (右)
 - グルーズコントロール★ (➡P.306)
 - プロパイロット★ (➡P.322)

インストルメントパネル



- ① リヤウインドーデフォッガースイッチ (➡P.559)
- ② カメラスイッチ★ (➡P.443)
- ③ 助手席SRSエアバッグシステム (➡P.46)
- ④ 電動パーキングブレーキスイッチ★ (➡P.243)
- ⑤ グローブボックス (➡P.472)
- ⑥ カップホルダー (➡P.474)
- ⑦ オートブレーキホールドスイッチ★ (➡P.248)
- ⑧ 電源ソケット (➡P.480)
- ⑨ ヒーターシートスイッチ★ (➡P.479)
- ⑩ マナーモードスイッチ (➡P.304)
- ⑪ チャージモードスイッチ (➡P.302)
- ⑫ セーフティ・シールドスイッチ★
 - インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) (➡P.393)
 - インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (➡P.409)
- ⑬ メーター (➡P.70)
- ⑭ イルミネーションコントロールスイッチ (➡P.118)
- ⑮ トリップ切り替えスイッチ (➡P.73)
- ⑯ 運転席ドアボックス (➡P.471)
- ⑰ フューエルフィラーリッドオープナー (➡P.202)
- ⑱ ボンネットオープナー (➡P.598)
- ⑲ チルト・テレスコピックステアリング (➡P.183)
- ⑳ エアコン
 - オートデュアルエアコン★ (➡P.205)
 - オートエアコン★ (➡P.213)

MEMO

イラスト
目次

日産 e-POWERの特徴

セレナ e-POWERってどんな車？	P.14
--------------------	------

安全にご利用いただくために

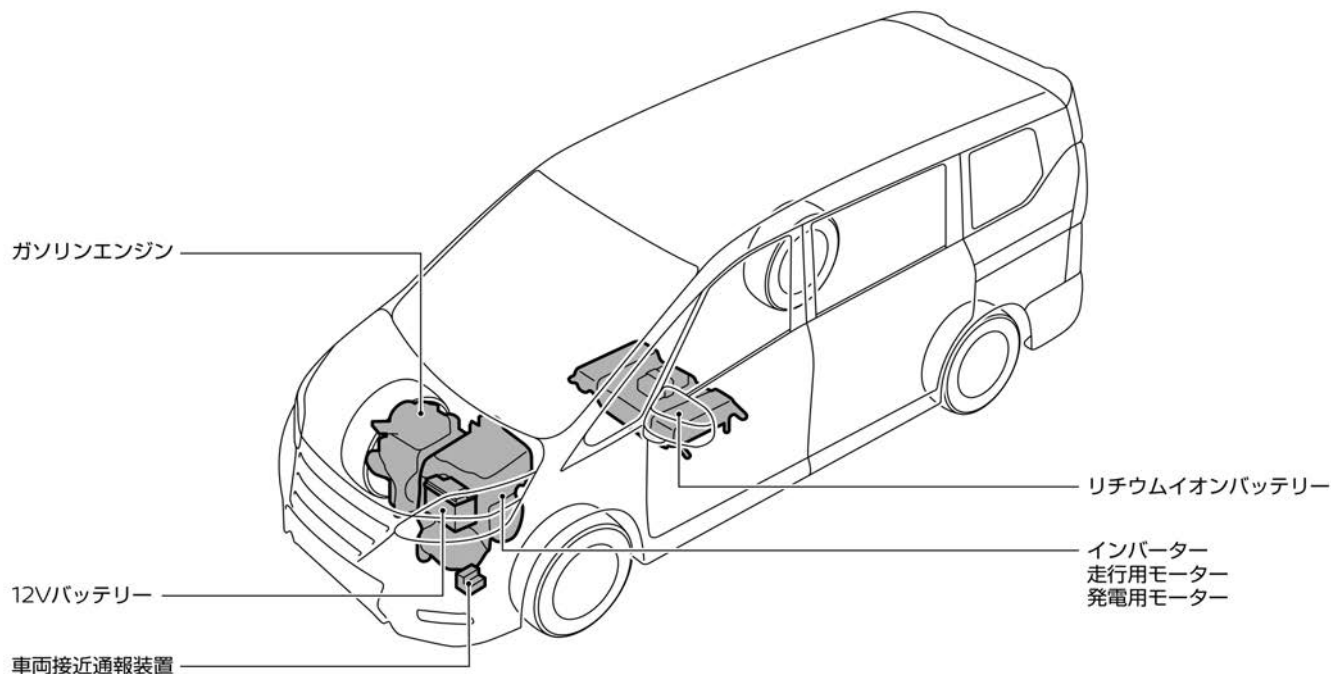
高電圧部品について	P.18
セレナ e-POWERの取り扱いに関する注意事項	P.19
セレナ e-POWERが事故にあったときの注意事項	P.21

日産e-POWERと上手に付き合うために

燃費を良くするためのポイント	P.23
----------------	------

セレナ e-POWERってどんな車？

セレナ e-POWERはガソリンエンジンで発電用モーターを動かすことにより発電し、その電力をリチウムイオンバッテリーに蓄えたり直接走行用モーターに供給したりします。そしてそれらの電力で走行用モーターを駆動し走行する自動車です。



セレナ e-POWERってどんな車？

走行用モーター

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力やエンジンと発電用モーターで発電された電力を使用して、エンジンの代わりにタイヤを動かす力を生み出します。

発電用モーター

ガソリンエンジンで動き発電します。

リチウムイオンバッテリー

発電用モーターで発電された電力や走行用モーターの回生電力を蓄え、走行時に走行用モーターに電力を供給します。

リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、エンジンが始動し自動的に充電を行うため、電気自動車のような外部からの充電は必要ありません。

ただし、車両を長時間放置すると少しずつ放電するため、少なくとも2〜3か月に一度、約30分間は運転してください。（リチウムイオンバッテリーがダメージを受け、使用できなくなるおそれがあります。）

万一、リチウムイオンバッテリーがあがり、e-POWERシステムを始動できない場合は、日産販売会社にご連絡ください。

回生ブレーキ

ガソリンエンジン車のエンジンブレーキの代わりにモーターを使って減速することを回生ブレーキと呼びます。減速するときに発電するため、発電した電力でリチウムイオンバッテリーを充電することができ、エネルギーを無駄にせず燃費を良くすることができます。

 知識

- 回生ブレーキは、長い下り坂でリチウムイオンバッテリーが満充電になった場合や低温時、滑りやすい路面では減速度合が小さくなる場合があります。

次ページに続く

セレナ e-POWERってどんな車？

車両接近通報装置

本車両は走行時の音がとても静かで通行人が車両の接近に気づきにくいいため、警報装置がついています。交差点などの徐行中に警報音が鳴ります。

🔗 車両接近通報装置 (P.318)

エンジンが作動するとき

e-POWERシステムでは下記のようなときにエンジンが作動する場合があります。

- リチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき（発電のため）
- アクセルペダルを強く踏み込んだとき（発電のため）
- ブレーキペダルを踏み込んだとき（ブレーキブースター用負圧生成のため）
- 長い下り坂を走行しているとき（減速度を生成するため）
- 暖房をONにしたとき（熱源となるエンジン水温を上げるため）
- エンジンが冷えているとき（暖機のため）
- e-POWERシステムが始動している状態でボンネットを開けたとき（整備時の事故を防止するため）
- 🔗 エネルギーモニター (P.88)
- チャージモード中（発電のため）
- 🔗 チャージモードの使いかた (P.302)
- フロントガラスのデフロスタースイッチをONにしたとき

セレナ e-POWERってどんな車？

■ e-POWERシステム特有の音や振動

e-POWERシステム始動後は、次のような特有の音や振動が発生する場合がありますが異常ではありません。

- エンジンルームからのモーター音
 - エンジンの始動・停止による音や振動
 - アクセルペダルから足を離したときやブレーキを踏んだときの作動音やモーター音
 - 急加速時のエンジン音
 - フロントシート下からのファン作動音
 - 歩行者に車両の接近を知らせるための音
- ➡ 車両接近通報装置 (P.318)

 知識

- 従来のガソリンエンジン車と比較して、アイドリング時のエンジン回転数は高めに設定されています。これはアイドリング中でもリチウムイオンバッテリーを充電するためで、異常ではありません。

安全にご利用いただくために 高電圧部品について

e-POWERシステムには以下の高電圧部品が使われています。主な高電圧部品にはラベルが貼りつけてあるので、ラベルの記載事項に従ってください。

インバーター

●e-POWERシステムに関するさまざまな機能を制御しています。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。

発電用モーター

●発電するためのモーターです。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。

走行用モーター

●走行するためのモーターです。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。

エアコンコンプレッサー

●車室内の空調装置です。
空調装置が作動時は高温になることがあるので注意してください。

高電圧ケーブル (オレンジ色)

●オレンジ色のケーブルは、高電圧が流れています。
触れたり、ケーブルの付け根にあるコネクタを取り外したりしないでください。

DC/DCコンバーター

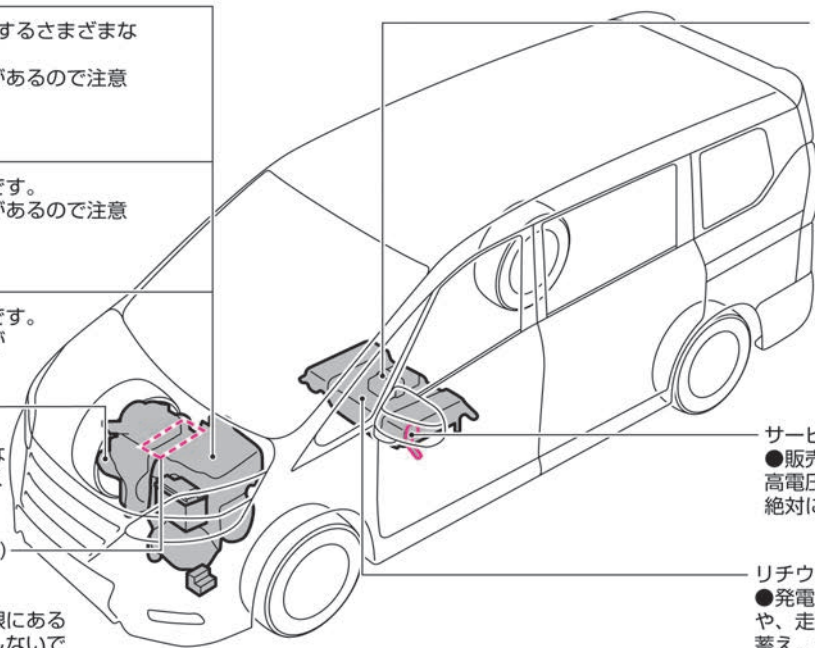
●リチウムイオンバッテリーの電力を変換して電装品へ電力を供給するとともに12Vバッテリーを充電します。

サービスプラグ

●販売会社で整備を行うとき、高電圧を遮断するためのものです。
絶対に触らないでください。

リチウムイオンバッテリー

●発電用モーターで発電された電力や、走行用モーターの回生電力を蓄え、走行時に走行用モーターに電力を供給します。



セレナ e-POWERの取り扱いに関する注意事項

e-POWERシステムを適切に取り扱うため、次のことを必ずお守りください。

警告

- **高電圧部位には触れない。**

最大で約420Vの直流高電圧が使用されているため、高電圧ケーブルやコネクタ、高電圧部品（走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなど）には触れないください。感電すると生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。車両のエンジンルーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

- **リチウムイオンバッテリーに水をかけない。**

車室内、ラゲッジルームにふたのないバケツや水槽など、水がこぼれるおそれがあるものは置かないください。リチウムイオンバッテリーに水がかかると故障の原因になります。

注意

- **高温に注意する。**

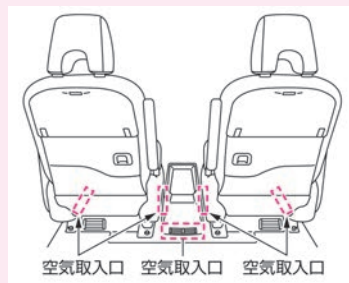
走行直後はエンジンルーム内が高温になっている可能性があります。エンジンルーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

- **冷却用空気取入口をふさがない。**

フロントシート下、およびセンターコンソール左右下部と車両後方下部に、リチウムイオンバッテリーとDC/DCコンバーターを冷却するための空気取入口があります。性能低下や車両故障につながるため、荷物や衣類などで取入口をふさがないください。また、液体や砂など、異物が入らないように注意してください。万一、リチウムイオンバッテリー周辺に多量の液体をこぼしてしまった場合は、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

セレナ e-POWERの取り扱いに関する注意事項

⚠ 注意



- フロントシート下には重量物を載せない。

フロントシート下にはリチウムイオンバッテリーが配置されているため、重量物を載せたり踏みつけたりして強い負荷をかけないように注意してください。

セレナ e-POWERが事故にあったときの注意事項

事故が発生したときは、次のことを必ずお守りください。

警告

- **高電圧部品および高電圧ケーブルが露出しているときは絶対に触れない。**
高電圧部品および高電圧ケーブルの位置は、➡ 高電圧部品について (P.18)を確認してください。
- **リチウムイオンバッテリーから液漏れが見られる場合は、すみやかに日産販売会社に連絡する。**
火災が発生するおそれがあります。
- **車室内や車外に液体が漏れているときは絶対に触れない。**
万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、水道水などのきれいな水で洗い流し、すみやかに医師の診察を受けてください。
- **走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷がないか点検する。**
床下に損傷が見られる場合は、絶対に触れずすみやかに日産販売会社にご連絡ください。
- **リチウムイオンバッテリーや高電圧部品から火災が発生したときは、出来るだけ早く車両から離れる。**
火災を消火するときは、必ず電気火災用の消火器（ABC、BCまたはCタイプ）を使用してください。消火栓などから大量の放水が可能な場合のみ、水での消火も可能です。不適切な消火作業は危険なため、絶対に行わないでください。
- **事故などで車両が破損し、安全であることを確認できない場合は、車両から離れて日産販売会社に連絡する。**
日産販売会社に連絡するときは、（ガソリンエンジン車ではなく）e-POWERシステムである旨をご連絡ください。
- **板金・塗装による修理が必要な場合は、必ず日産販売会社に連絡する。**

セレナ e-POWERが事故にあったときの注意事項

警告

車体が大きく破損・変形しているとき、破損の状態によっては漏電や感電のおそれがあります。高電圧部位（リチウムイオンバッテリーなど）およびこれらを接続する配線（オレンジ色）には絶対に触らないでください。

- 事故などでランプが破損したまま走行しない。
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- けん引が必要なときは、前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。けん引時に前輪が接地していると、走行用モーターが発電し、車両を破損するおそれがあります。
➡ けん引について (P.502)

知識

- 衝突時やe-POWERシステムに異常があると、高電圧システムがOFFになり走行可能表示灯  が消灯する場合があります。これはケガや事故につながる危険を最小限に抑えるもので、異常ではありません。

燃費を良くするためのポイント

燃費は、道路状況、天候や気温、乗員数などに大きく左右されます。
次のようなことに気をつけ電力の消費を抑えると、燃費が良くなります。

■ お出かけ前に

電力の消費が少ないルートを選択する。

- 登り坂の走行は電力の消費が多くなります。登り坂の少ないルートを選択すると電力の消費を抑えられます。

不要な荷物は積んだままにしない。

- 荷物を減らし、車両重量を軽くすることで、電力の消費を抑えられます。

適切なタイヤ空気圧にする。

- タイヤ空気圧が低下していると、より多くの電力を消費します。

➡ タイヤの点検項目 (P.605)

■ 運転するときは

■ なめらかに発進、加速する。

- 急発進、急加速をすると、より多くの電力を消費し、燃費が悪くなります。
- パワーメーター (➡ P.86) で電力の消費状況を確認しながら加速することで、電力の消費を抑えた加速ができます。

■ 車間距離に余裕を持ち、必要以上の減速を極力避ける。

- 必要以上の減速を避けることで、再加速するための電力の消費を抑制できます。

知識

- 燃費が大幅に悪化する場合は、次のようなことが原因として考えられます。
 - ー 走行するルートの地形に登り坂が多い
 - ー 高速道路など、高速で走行を続けている
 - ー 頻繁に急発進、急加速、急ブレーキをしている

燃費を良くするためのポイント

■ 高速道路などで速度を出しすぎない。

- 速度の出しすぎは、電力を無駄に消費します。

■ エアコンの設定温度を控えめにし、必要がなければこまめにOFFにする。

- エアコンによる余分な電力の消費を抑えられます。
- 暖房使用時、設定温度を24.5℃以下に下げると燃費が良くなります。
- ECOモードの方がNORMALモード、S（Smart）モードより、エンジン作動頻度を抑えられ燃費が良くなります。
- 必要のないときは後席用エアコンをOFFにすると燃費が良くなります。
 - ー 暖房使用時：3列目に人が乗っていないとき（オートデュアルエアコン搭載車のみ）
 - ー 冷房使用時：2列目以降に人が乗っていないとき

■ 寒いときは、エアコンの代わりにヒーターシート★やステアリングヒーター★を使用する。

- エアコンを使わずにヒーターシートやステアリングヒーターを活用することで、エンジン作動頻度を抑えられ燃費が良くなります。
 - ➡ ヒーターシート★ (P.479)
 - ➡ ステアリングヒーター★ (P.478)

■ デフロスターは必要以上に使用しない。

- 窓のくもりが取れたら、他の吹き出し口モードに切り替えることで、エンジン作動頻度を抑えられ燃費が良くなります。

燃費を良くするためのポイント

■ ECOモード、S(Smart)モードで走行する。

- ECOモードやS(Smart)モードを使用しているときは、アクセルペダルを緩めたときの回生ブレーキによる減速力が強くなり、減速時のエネルギーをより多く回収できます。
- NORMALモード→S(Smart)モード→ECOモードの順に燃費が良くなります。
(ECOモードがもっとも燃費重視モードとなります。)
- ➡ e-POWER Drive (P.297)
- ECOカスタマイズをON（燃費優先）にすると、インテリジェント クルーズコントロール★の加速を穏やかにしたり、暖房/冷房の効きを弱めて、燃費向上を図ります。
- ➡ ECOカスタマイズ (P.299)

MEMO

安全なドライブのために

運転する前に

運転前の準備	P.28
運転するときに注意すること	P.30
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項	P.34

シートベルト

シートベルトについて	P.35
3点式シートベルト（フロントシート/セカンドシート/ サードシート左右）	P.37
3点式シートベルト（サードシート中央）	P.38
シートベルトの注意事項	P.40

エアバッグ

SRSエアバッグ	P.42
SRSエアバッグシステム（前席）	P.46
SRSサイドエアバッグシステム（前席）★	P.51
SRSカーテンエアバッグシステム★	P.53

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること	P.55
チャイルドシート	P.58

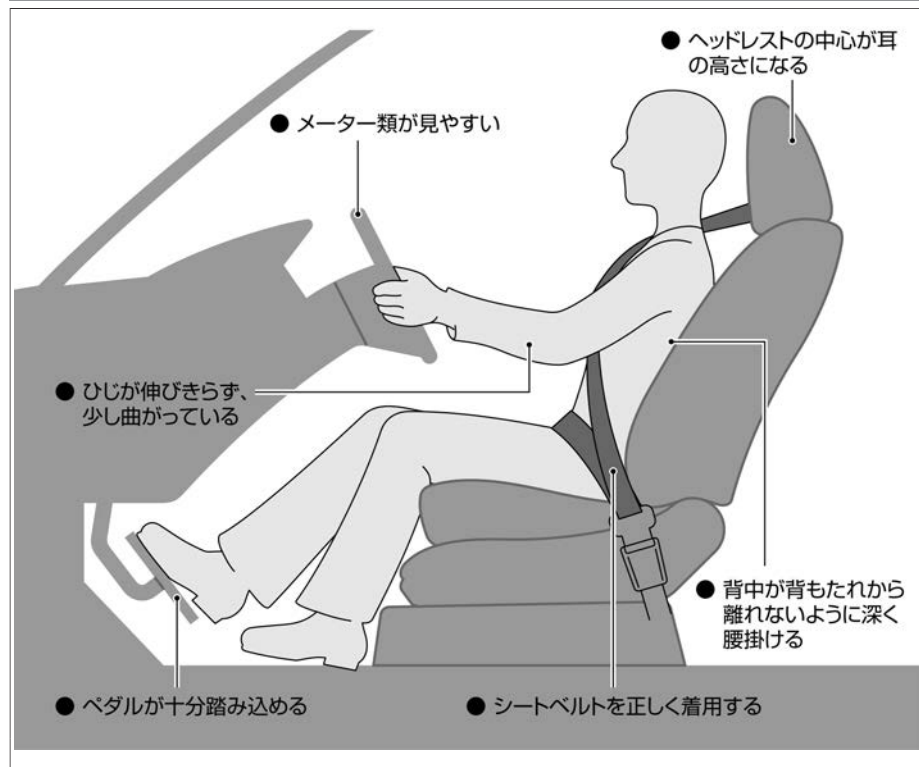
盗難防止機能

イモビライザー（盗難防止装置）	P.68
-----------------	------

運転前の準備

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル (👉P.183)、シート (👉P.166)、ミラー (👉P.184) を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について



⚠ 警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。
固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれと背中の上にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトの着用

- 必ず走行前にシートベルトを正しく着用してください。
➡ シートベルト (P.35)
- 小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご使用ください。
➡ チャイルドシート (P.58)

ミラーの調節

- シートおよびハンドルの調節が完了したら、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ドアミラーおよびルームミラー★を調節してください。
➡ ドアミラー (P.195)
➡ ルームミラー★ (P.184)

インテリジェント ルームミラー付車

インテリジェント ルームミラー付車は、インテリジェント ルームミラーがOFFの状態（ルームミラーモード）で、確実に後方確認ができる位置に調節してください。

- ➡ インテリジェント ルームミラー★ (P.185)

警告

排気ガスには十分注意する

- 排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。
- 以下の状況では、**e-POWER**システムを長時間作動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。
 - 雪が積もった場所に駐停車するとき
 - 降雪時に駐停車するとき
 - 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐停車するとき
 - 仮眠や長時間の駐車をするとき
 - 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき
 - 他車の排気口が近くにあるとき
- 走行する前に、バックドアが確実に閉まっていることを確認する。
走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。
- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意を

警告

- 診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けしないでください。12Vバッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしない。
荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。
- 灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、必ずふたを閉める。
紙くすなど燃えやすいものは入れないでください。出火するおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- 排気音が大きくなったときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気管が腐食したり路面干渉などで損傷したりしているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入し、火災につながるおそれがあります。
- 事故などでランプが破損したまま走行しない。
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

e-POWERシステムを作動したまま仮眠をしない

⚠ 警告

- 万一、シフトポジションが **P** 以外だと、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識にセレクトレバーを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

アクセサリーをウインドーに取り付けない

- ウインドーにアクセサリーを取り付けない。
視界の妨げになったり、吸盤がレンズの動きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造しない

- 市販の不適合品のマフラー取り付けや、日産純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しない。
正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。



アドバイス

改造しない

- 12Vバッテリーの端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- 日産自動車が国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

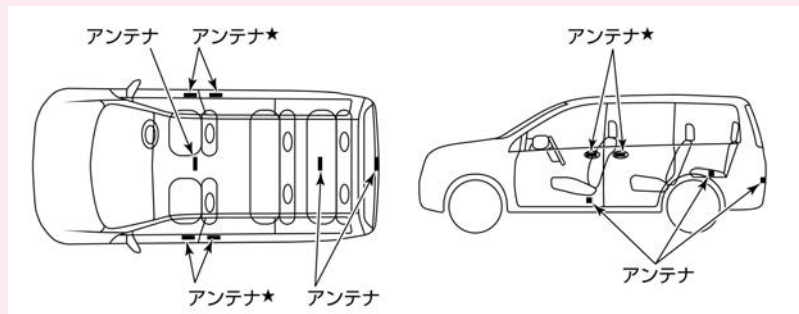
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のことにご注意ください。

⚠ 警告

インテリジェントキーについて

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、e-POWERシステム始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

シートベルトについて

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

ELR（緊急固定）付シートベルトについて

- 身体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトがロックし身体を固定します。

プリテンショナーシートベルトについて

- 正面衝突などで車両前方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取り、乗員の拘束性能を高めます。
- 衝撃の強さなどによっては、SRSエアバッグシステム（前席）と同時に作動する場合と、プリテンショナーのみ作動する場合があります。
- ➡ SRSエアバッグ（P.42）
- 運転席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。車両前方から強い衝撃を受けたとき、肩からシートベルトを巻き上げると同時に腰側からも巻き上げ、乗員の拘束性能を高めます。

プリテンショナー機構



⚠ 注意

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使用してプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠ 警告

- メーター内のSRSエアバッグ警告灯  が点灯しているときは走行しない。
パワースイッチをONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

⚠ 注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。

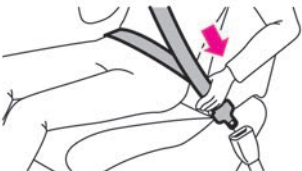


アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

3点式シートベルト（フロントシート/セカンドシート/サードシート左右）

シートベルトの着用のしかた

1	正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。	
2	ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。	
3	アンカー位置の高さを調節します。（フロントシートのみ）ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。手を離れたあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。	
4	外すときは、バックルのボタン（赤色部）を押し、タングを持ってゆっくり戻します。	

⚠ 警告

- ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。

万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

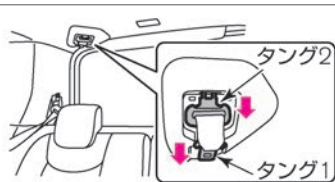
🚗 アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

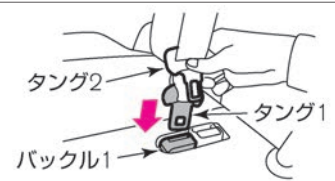
3点式シートベルト（サードシート中央）

シートベルトの着用のしかた

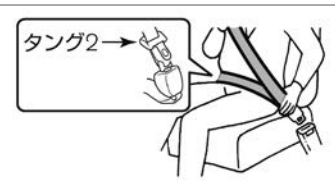
- 1 タング1を車両後方側の格納部から抜き出したあと、タング2を車両前方側の格納部から抜き出します。



- 2 タング1をバックル1に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



- 3 正しい姿勢でシートに座り、タング2を持ってベルトをゆっくり引き出します。ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



- 4 ベルトがねじれないようにして、タング2をバックル2に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



警告

- サードシート中央席に座るときは、左右シートの前後位置と背もたれの角度を合わせる。シートベルトが正しく着用できず、万一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。
- サードシート中央用のタングとバックルは正しく差し込んで使用する。サードシート中央用のタングとバックルは2個ずつあります。着用するときは必ずタング1と2、バックル1と2を正しく差し込んでお使いください。正しく固定されていないと、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- バックル1とバックル2に、「CENTER」と表示されているものをご使用ください。

3点式シートベルト（サードシート中央）

5	外すときは、バックル2のボタン（赤色部）を押し、タング2を持ってゆっくり戻します。	
6	タング1を持って、バックル1のボタンをキーなどで押し込んでロックを解除します。	
7	タング2を車両前方側の格納部に差し込みます。	
8	タング2を手で押さえながらタング1のベルトを少し引き出し、タング1を車両後方側の格納部に差し込みます。	

 アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。
- ベルトを外すとき、タングが急に返ることがありますので、タングから手を離さないでください。

 警告

- **走行する前に全員がシートベルトを着用する。**
着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- **シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。**
シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
 - ー 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
 - ー 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
 - ー ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
 - ー 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。
 - ー 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
 - ー クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。
- **シートの背もたれを倒したまま走行しない。**
シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。**
シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**
ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認

⚠ 警告

してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**

お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**

➡ チャイルドシート (P.58)

- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたりしたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。**

一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。

⚠ 注意

- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**

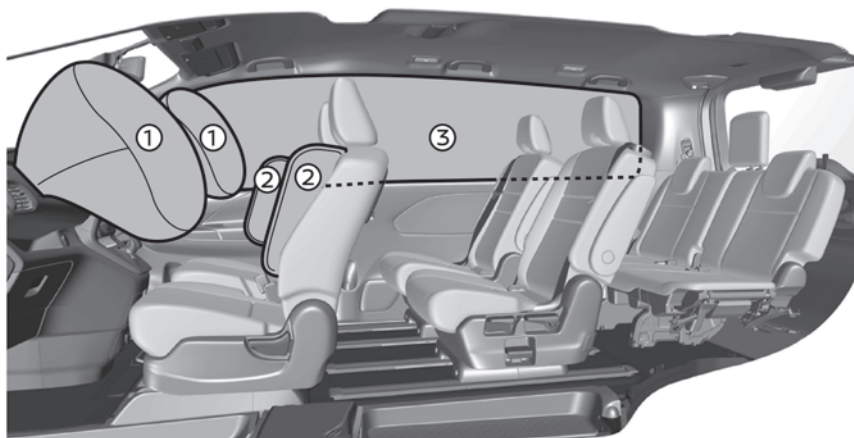
ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮しないことがあります。シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに膨らみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの種類

- ① SRSエアバッグシステム (前席)
- ② SRSサイドエアバッグシステム (前席)★
- ③ SRSカーテンエアバッグ★


 アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

 知識

- SRSエアバッグは高温のガスにより高速でふくらむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグがふくらむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがあります。また、発生するガスには毒性はありません。
- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、パワースイッチがONのときに作動可能です。

パワースイッチをONにしたあと、約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯  が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRSエアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くないときは、作動しないことがあります。



警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**

- ー パワースイッチをONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
- ー SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき
SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

知識

- 助手席SRSエアバッグ、助手席側のSRSサイドエアバッグ★およびSRSカーテンエアバッグ★は、乗員がいなくても作動します。

SRSエアバッグの注意事項

 警告

- 正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。

SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

🔗 [チャイルドシート \(P.58\)](#)



- 必ず次のことを守る。

SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- － SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
SRSエアバッグシステム（前席）の格納場所は（➡P.46）をお読みください。
SRSサイドエアバッグシステム（前席）★の格納場所は（➡P.51）をお読みください。
SRSカーテンエアバッグ★の格納場所は（➡P.53）をお読みください。
- － SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- － 電気テスターを使用してSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
- － エアロパーツなどを取り付けたり、サスペンションを改造したりするときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。
- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグにさわらない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**
皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じる場合があります。

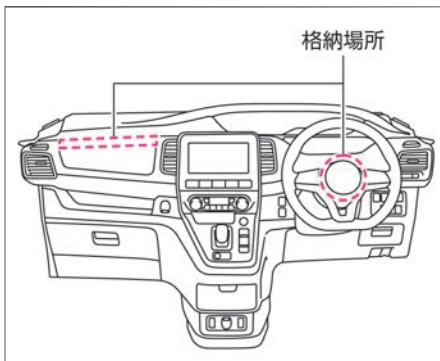
SRSエアバッグシステム（前席）

車両前方から強い衝撃を受けたときに、SRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。



SRSエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
 - 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき
- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）
- 高速で縁石などに衝突したとき
 - 深い穴や溝に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつけたとき

 アドバイス

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れることがあります。

 知識

- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h 以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

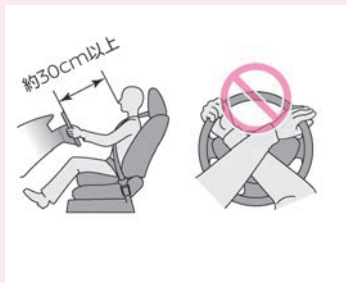
次ページに続く

SRSエアバッグシステム（前席）の注意事項

 警告

- 運転席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。

ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



- 不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼らない。

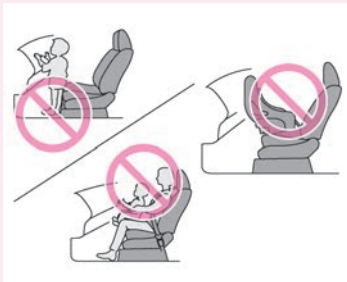
SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

- フロントガラスにアクセサリなどを付けない。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 助手席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。
SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。
- チャイルドシートは後席シートに取り付ける。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。
- チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。

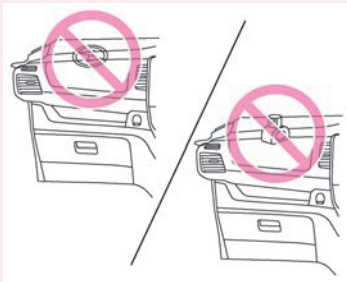
警告

固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



- **SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼らない。また、アクセサリや芳香剤などを置かない。**

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグシステム（前席）☆

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSサイドエアバッグは、運転席、助手席ともにシート背もたれの裏側（外側）に格納されています。



⚠ 警告

- **SRSサイドエアバッグの格納部に近づかない。**
ドアにもたれるなど、フロントシートの背もたれの裏側（外側）に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、フロントシートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **フロントシートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。**
- **シートカバーは、フロントシート背もたれを覆わないものを使用する。**
SRSサイドエアバッグが正しく作動しないおそれがあります。

⚠ 注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
SRSエアバッグが誤作動するおそれがあります。

■ SRSサイドエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

■ SRSサイドエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

■ SRSサイドエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

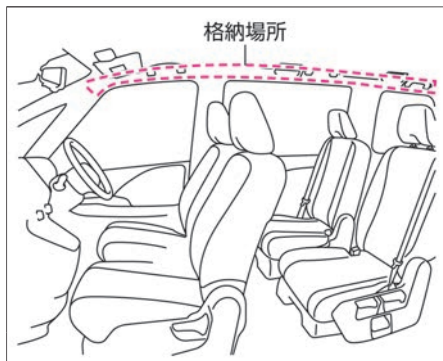
- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSカーテンエアバッグシステム★

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSカーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。



⚠ 警告

- **SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。**
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリやハンガーなどを取り付けない。**
SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

■ SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

■ SRSカーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

■ SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

お子さまを乗せるときに注意すること

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

警告

お子さまにもシートベルトを着用する

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
➡ シートベルトの着用のしかた (P.37)

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。
➡ チャイルドシート (P.58)

チャイルドシートは後席シートに取り付ける

- チャイルドシートは後席シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けけない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

お子さまを乗せるときに注意すること

⚠ 警告



- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。
車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席シートに乗せる

- お子さまを助手席に乗せるのは避ける。
お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドーなどは大人が操作する

- ドアやウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。
開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティドアロック（➡P.137）やパワーウインドーロックスイッチ（➡P.198）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

お子さまを乗せるときに注意すること



警告

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。
急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために チャイルドシート

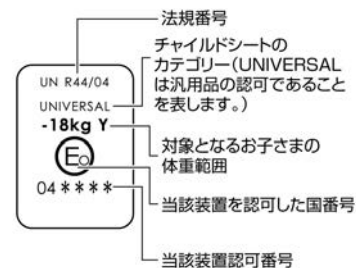
お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

チャイルドシートについて

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格にあわせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44の基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。

知識

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。



チャイルドシートの種類

UN R44の基準に適合するチャイルドシートは、お子さまの体重により次のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0 ⁺	13kgまで
グループⅠ	9～18kgまで
グループⅡ	15～25kgまで
グループⅢ	22～36kgまで

警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

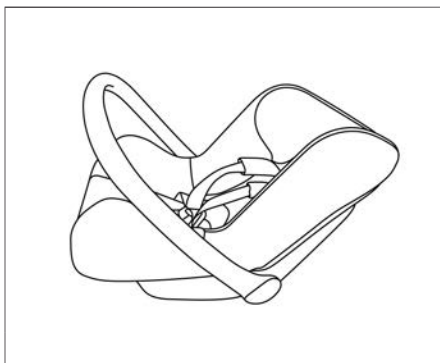


①エアバッグ警告ラベル



乳児用チャイルドシート

UN R44 基準のグループ0、0⁺に相当します。



チャイルドシート

UN R44 基準のグループ0⁺、Iに相当します。



ジュニアチャイルドシート

UN R44 基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。



チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。ISO FIX対応チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けできます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使用してチャイルドシートを固定します。

➡ 使用できるチャイルドシートについて (P.62)

■ ISO FIX対応チャイルドシート

セカンドシートに付属しているISO FIX対応チャイルドシート用アンカー（固定装置）で固定します。

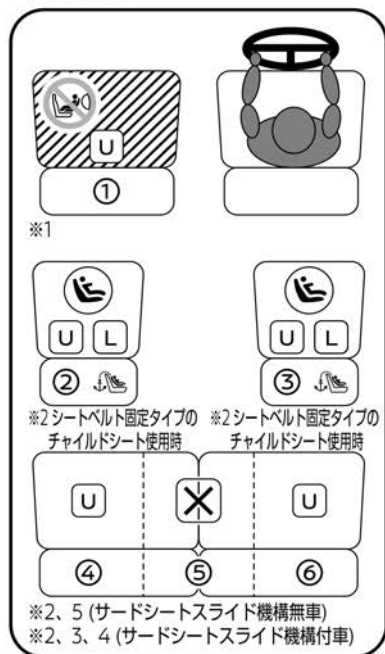
➡ 使用できるチャイルドシートについて (P.62)

次ページに続く

使用できるチャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。

選択の目安



マーク	説明
U	車両シートベルト固定式 (汎用) チャイルドシートに適している
ISOFIX	ISOFIXチャイルドシートに適している
Anchor	トップテザーアンカレッジを装備している座席
Front	前向きのチャイルドシートのみに適している
Reverse	後ろ向きのチャイルドシート取り付け禁止
X	チャイルドシートの取り付けに適していない
L	添付リストに記載されたチャイルドシートに適している

※1: フロントシートの背もたれを前に倒し、元に戻す時に一番最初にロックする位置に調節してください。

※2: 背もたれが直立する位置に調節してください。

※3: サードシートのスライド位置を最前端にしてください。

※4: セカンドシートの横スライドさせない状態 (車両中央側に動かしていない状態) の最後端位置から、260mm (13ノッチ) 車両前方へセカンドシートをスライドさせてください。

※5: セカンドシートの横スライドさせない状態 (車両中央側に動かしていない状態) の最後端位置から、220mm (11ノッチ) 車両前方へセカンドシートをスライドさせてください。

幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報

シート位置番号	①	②	③	④	⑤	⑥
汎用ベルトに適する着席位置（有無）	有	有	有	有	無	有
ISO FIX着席位置（有無）	無	有	有	無	無	無
横向き装具に適する着席位置（L1/L2）	-	-	-	-	-	-
適する最大の後向き装具（R1/R2/R3）	-	R3	R3	-	-	-
適する最大の前向き装具（F1/F2/F2X/F3）	-	F3	F3	-	-	-

■ 日産純正ISO FIX対応チャイルドシートについて

「選択の目安」で、ISO FIXチャイルドシート取り付け位置にLと記載されている場合は下表の推奨チャイルドシートをご使用いただくか、幼児拘束装置メーカーが案内するチャイルドシート適合情報から適切なチャイルドシートをお選びください。

質量グループ	サイズ 等級	固定具	商品名	取り付け向き	カテゴリ
0+（13kgまで）	E	ISO/R1	日産純正ISO FIX 対応ベビーシート (品番：H8000- 79923)	後向き	準汎用

知識

- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

知識

- 日産純正ISO FIX対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースキットが必要です。

■ その他の推奨チャイルドシート

日産が推奨するその他のチャイルドシートです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	推奨チャイルドシート	取り付け向き	カテゴリー
0+	-	シートベルト	ISO FIX対応ベビーシート (シートベルト、ISO FIXどちらでも固定できます) (品番：H8000-79923)	後向き	準汎用
I	-	シートベルト	チャイルドセーフティシート (品番：H8000-C9986)	前向き	汎用
0+	-	シートベルト		後向き	汎用
I	-	シートベルト	ISO FIX対応チャイルドセーフティシート (シートベルト、ISO FIXどちらでも固定できます) (品番：H8000-79922)	前向き	汎用
0+	-	シートベルト		後向き	汎用
I	AB,B1	ISO FIX		前向き	汎用
II、III	-	シートベルト		前向き	汎用

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

1

チャイルドシートを座席に置きます。
シートベルトをチャイルドシートに通し、
タングをバックルに“カチッ”と音がするまで
確実に差し込みます。



2

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従っ
て固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっ
かり固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- **チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。**
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

ISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

- 1 ISO FIX対応チャイルドシート用ロアアンカーは、セカンドシート左右背もたれのマーク下側にあります。
ヘッドレストを取り外します。

➡ ヘッドレストの調節のしかた (P.168)

チャイルドシートを座席に置いて、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってロアアンカーに固定します。



- 2 テザーアンカーは、セカンドシート左右背もたれの裏側にあります。
チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってテザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締めます。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、セカンドシートのヘッドレストを取り外す。
- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。
- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。
チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- パーソナルテーブル付車にテザーストラップを取り付けるときは、パーソナルテーブルを引き上げて、テーブル中央部の隙間に通す。

 警告



➡ パーソナルテーブル (P.485)

- 走行するときはテーブルを格納する。

 知識

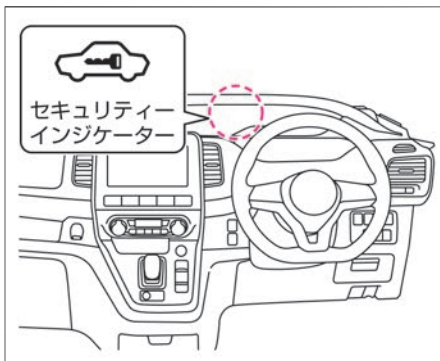
- ISO FIX対応チャイルドシート用アンカー（固定装置）は、ロアアンカーとテザーアンカーの2種類があります。ロアアンカーは背もたれと座面のすき間にあり、テザーアンカーは背もたれの裏側にあります。
- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

イモビライザー（盗難防止装置）

■ イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外での始動を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、セキュリティインジケータ（➡P.538）が点滅します。


 アドバイス

- パワースイッチをONにしたときにセキュリティインジケータが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

 知識

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。

メーターの見かた

計器類

各部名称	P.70
メーター	P.71

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置	P.80
警告灯	P.81
表示灯の表示位置	P.83
表示灯	P.84

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

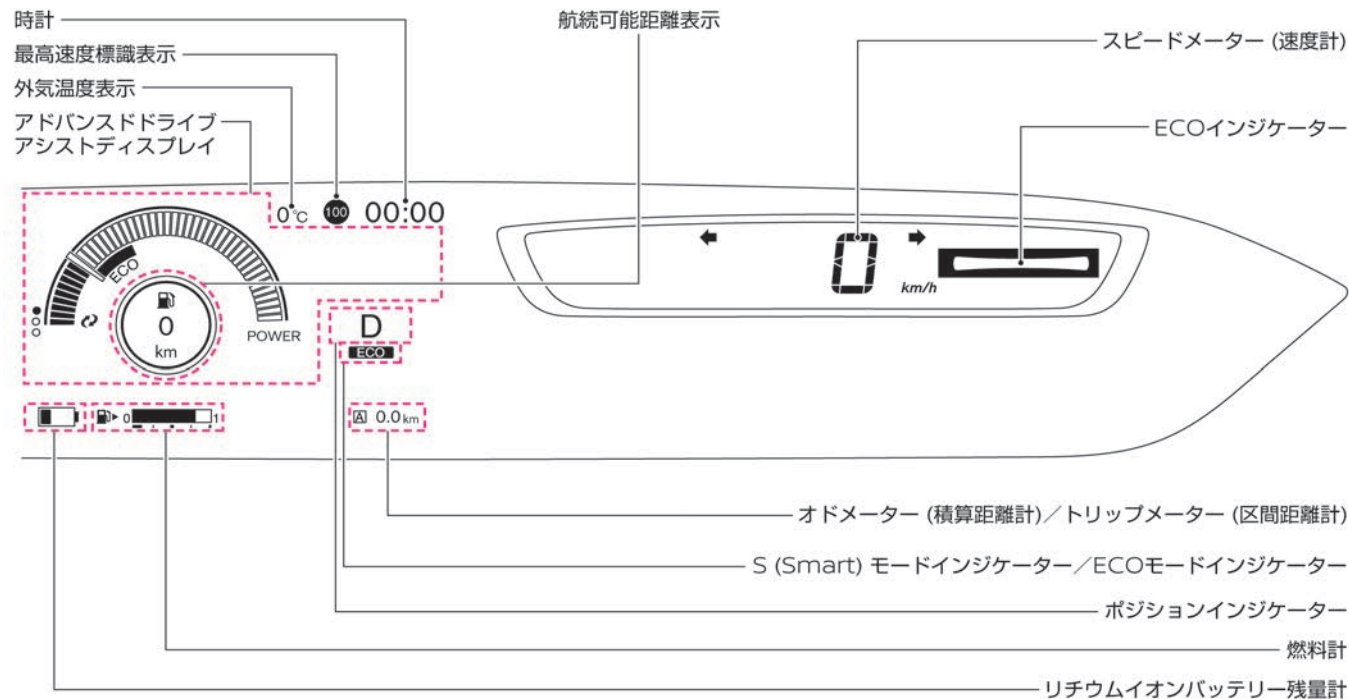
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは	P.85
車両情報画面	P.86
各種設定画面	P.96
走行支援機能画面	P.108
その他の表示機能	P.115

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール	P.118
----------------	-------

各部名称

パワースイッチをONにすると、計器類が表示されます。



メーターには、スピードメーター（速度計）、リチウムイオンバッテリー残量計、ポジションインジケーターなどがあります。パワースイッチをON にすると表示します。

スピードメーター（速度計）

走行速度を表示します。

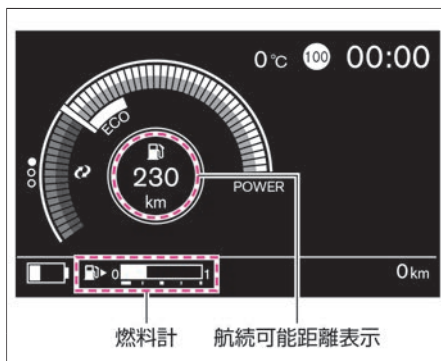
燃料計／航続可能距離表示

燃料計

- 燃料の残量を表示します。
- 燃料タンクの容量は約55ℓです。

航続可能距離表示

- 現在の燃料残量と平均燃費から、走行可能な距離を表示します。
- ドライブモードやエアコンのON・OFFを切り替えると、その車両状態に応じた航続可能距離が表示されます。
- 燃料残量警告（➡P.543）が表示された後も燃料を補給しないと「----」と表示します。

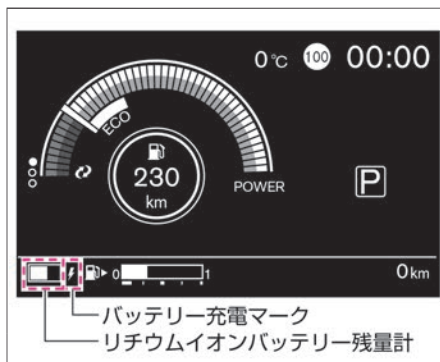


知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示がパワーメーター（➡P.86）画面以外の場合は、燃料計の右側に航続可能距離が表示されます。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示されない場合があります。燃料が少なくなってきたら、早めの給油を心がけてください。

リチウムイオンバッテリー残量計

- 現在のリチウムイオンバッテリーの残量をゲージで表示します。
- リチウムイオンバッテリーを充電しているときは、バッテリー充電マークが表示されます。
- リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、黄色く点灯します。



知識

- リチウムイオンバッテリーの温度によって、リチウムイオンバッテリー残量が増減することがあります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイにエネルギーモニターを表示させると、ディスプレイの左下に表示されているリチウムイオンバッテリー残量計は非表示となります。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

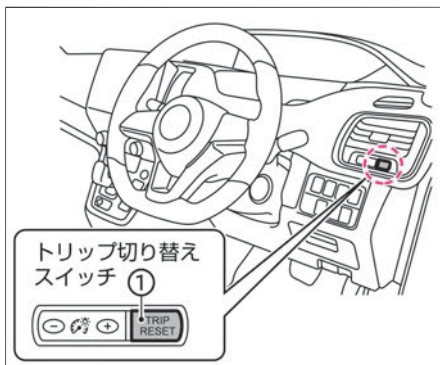
- トリップ切り替えスイッチ①を押すごとに、オドメーター⇒トリップメーター [A]⇒トリップメーター [B]⇒オドメーターの順に切り替わります。

オドメーター（積算距離計）

- 総走行距離をkmで表示します。

トリップメーター（区間距離計）

- リセットしてからの走行距離をkmで表示します。[A]と[B]でそれぞれ使い分けることができます。
- リセットするときには0にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチ①を1秒以上押します。

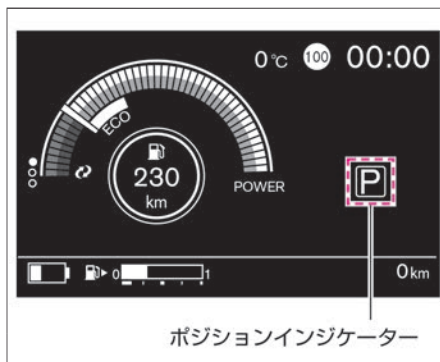


知識

- 12Vバッテリーを外したときは、トリップメーターの[A]と[B]の記憶が消去され0に戻ります。

ポジションインジケータ

- シフトポジションを表示します。



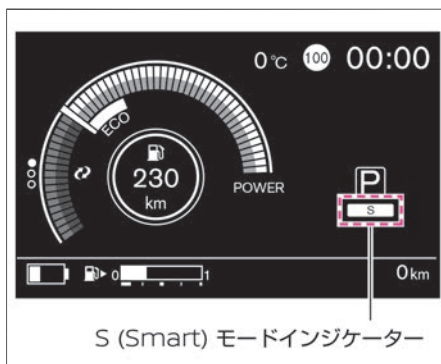
アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けしないでください。ポジションがずれたまま走行を続けると、故障の原因となります。なお、適正な位置からずれていると、ポジションインジケータが点滅します。

S (Smart) モードインジケータ

- ドライブモードをS (Smart) モードにすると点灯します。

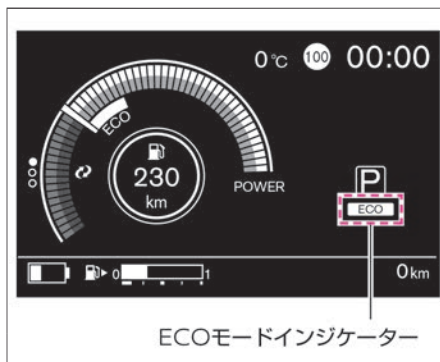
➡ [e-POWER Drive \(P.297\)](#)



ECOモードインジケータ

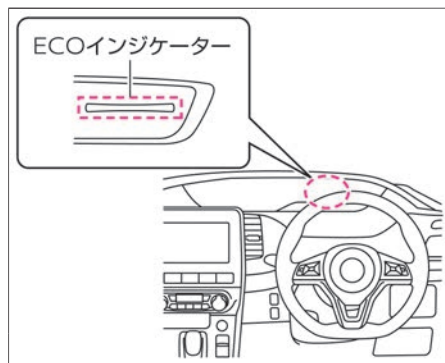
- ドライブモードをECOモードにすると点灯します。

➡ e-POWER Drive (P.297)



ECOインジケーター

- 走行中、アクセルペダル操作に応じてECOインジケーターが3段階で点灯します。（シフトポジションが**R**のときは点灯しません。）
- エコドライブをするほど、インジケーターが広範囲に点灯します。



知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「画面カスタマイズ」⇒「エコ情報設定」⇒「エコインジケータ」を選択すると、ECOインジケーター表示のON・OFFを設定できます。
➡️ 画面の切り替えかた (P.85)
設定 (⚙️ P.101)

時計

- 時刻を表示します。（➡️ P.70）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「時計」⇒「時計調整」を選択すると、時計の調整が行えます。
設定の詳細については、画面の切り替えかた（➡️ P.85）、（➡️ P.104）をお読みください。

知識

- 時計は、12Vバッテリーを外すと記憶が消去されます。12Vバッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。
- 時刻の表示は、12時間表示または24時間表示を選択できます。

最高速度標識表示

- フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより最高速度標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「運転支援システム」⇒「速度標識表示」を選択すると、機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、画面の切り替えかた（➡️P.85）、（➡️P.96）をお読みください。



外気温度表示

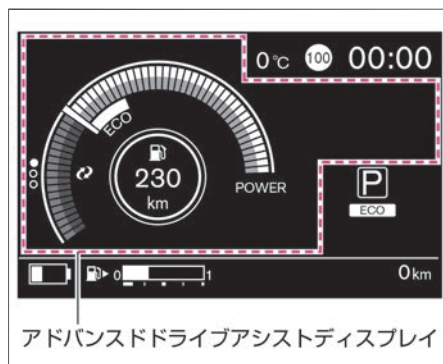
- 外気温を表示します。（➡️P.70）

知識

- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

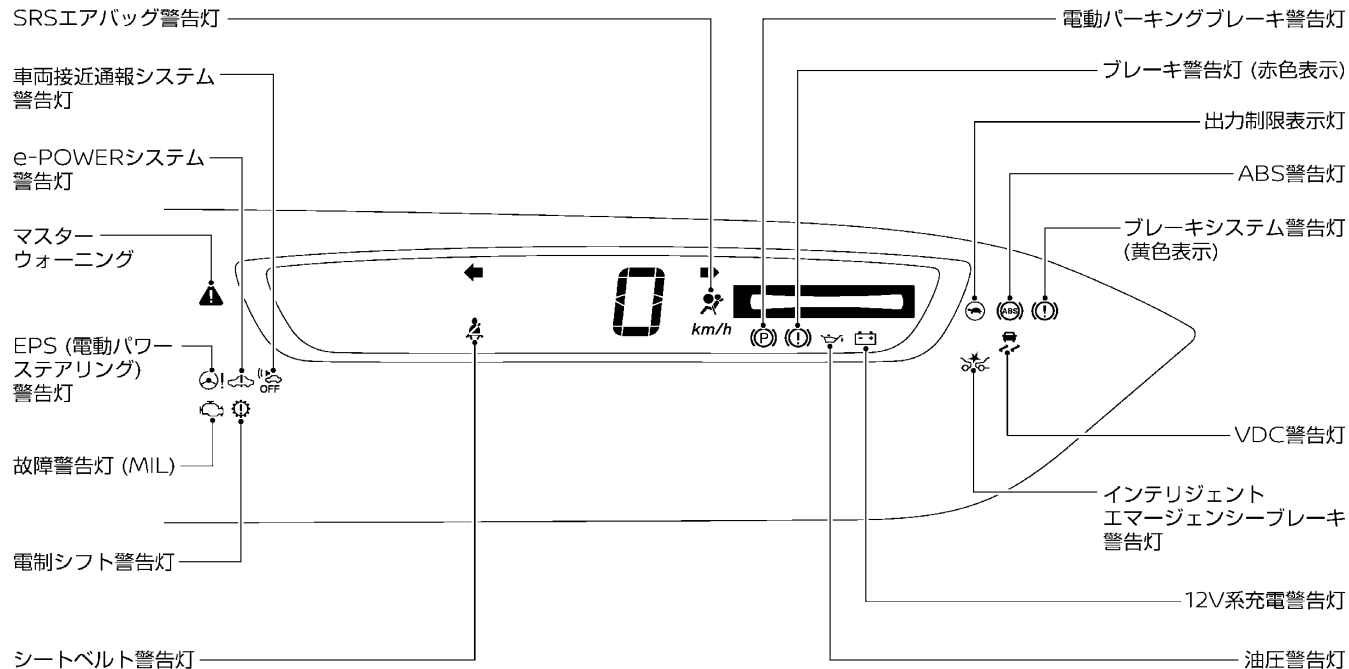
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。
 - － e-POWERグループ 
 - － エコグループ 
 - － インフォメーショングループ 
 - － 警告 
 - － 設定 
 - － 走行支援機能画面
 - － ソナー機能
 - － エコドライブレポート画面

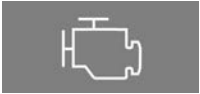
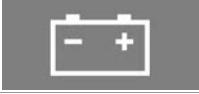


アドバンスドドライブアシストディスプレイについては、(➡P.85)をお読みください。

警告灯の表示位置

次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。
通常は警告すべき事象がおこったときに、該当の警告灯のみ点灯または点滅します。

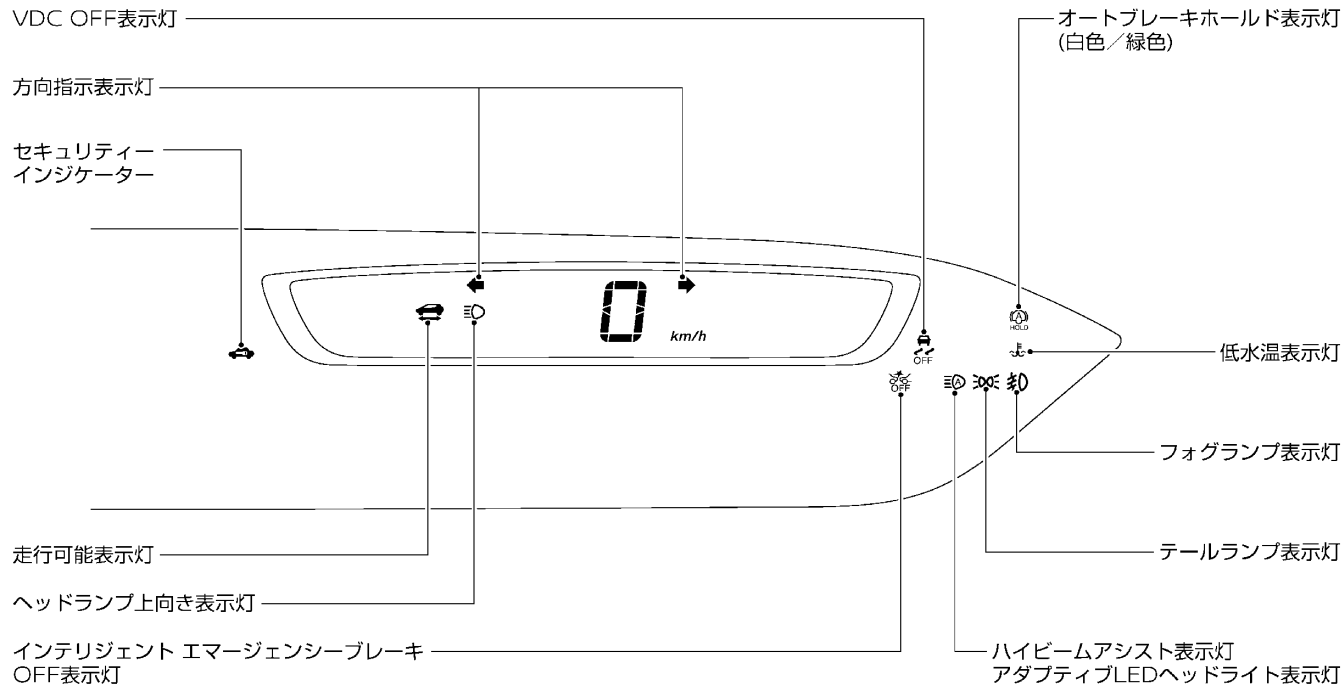


警告灯	名称	警告灯	名称
	油圧警告灯 (➡P.528)		故障警告灯 (MIL) (➡P.528)
	12V系充電警告灯 (➡P.528)		ABS警告灯 (➡P.529)
	電動パーキングブレーキ警告灯★ (➡P.529)		ブレーキ警告灯 (赤色表示) (➡P.530)
		電動パーキングブレーキ無車	
	ブレーキ警告灯 (赤色表示) (➡P.531)		ブレーキシステム警告灯 (黄色表示) (➡P.531)
電動パーキングブレーキ付車		電動パーキングブレーキ付車	
	SRSエアバッグ警告灯 (➡P.532)		シートベルト警告灯 (➡P.532)
	VDC警告灯 (➡P.532)		e-POWERシステム警告灯 (➡P.533)

警告灯	名称	警告灯	名称
	出力制限表示灯 (➡P.533)		電 制 シ フ ト 警 告 灯 (➡P.533)
	インテリジェント エマージェンシー ブレーキ 警 告 灯 (➡P.534)		EPS（電動パワーステアリング）警告灯(➡P.536)
	車両接近通報システム警告灯 (➡P.536)		マ ス タ ー ウ ォ ー ニ ン グ (➡P.536)

表示灯の表示位置

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。
通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯または点滅します。



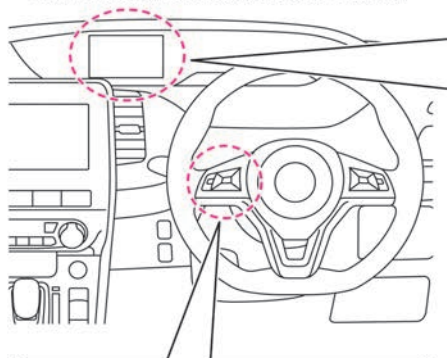
表示灯	名称	表示灯	名称
	方向指示表示灯 (➡P.537)		ヘッドランプ上向き表示灯 (➡P.537)
	テールランプ表示灯 (➡P.537)		フォグランプ表示灯★ (➡P.537)
 ハロゲンヘッドランプ付車	ハイビームアシスト表示灯 (➡P.537)	 LEDヘッドランプ付車	アダプティブLEDヘッドライト表示灯 (➡P.538)
	VDC OFF表示灯 (➡P.538)		セキュリティーインジケーター (➡P.538)
	オートブレーキホールド表示灯 (白色) ★ (➡P.538)		オートブレーキホールド表示灯 (緑色) ★ (➡P.538)
	低水温表示灯 (➡P.539)		走行可能表示灯 (➡P.539)
	インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯 (➡P.539)		

アドバンスドドライブアシストディスプレイとは

アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。パワースイッチがONのとき、ハンドル左側にある ◀▶ スイッチを押すと、e-POWERグループ (P.86)、エコグループ (P.91)、インフォメーショングループ (P.93)、警告 (P.95)、設定 (P.96) の順で表示項目が切り替わります。

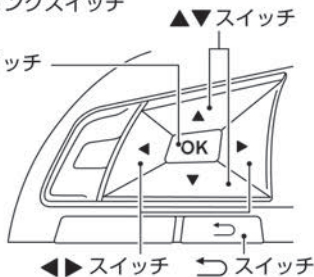
画面の切り替えかた

車種により表示できる項目が異なります。

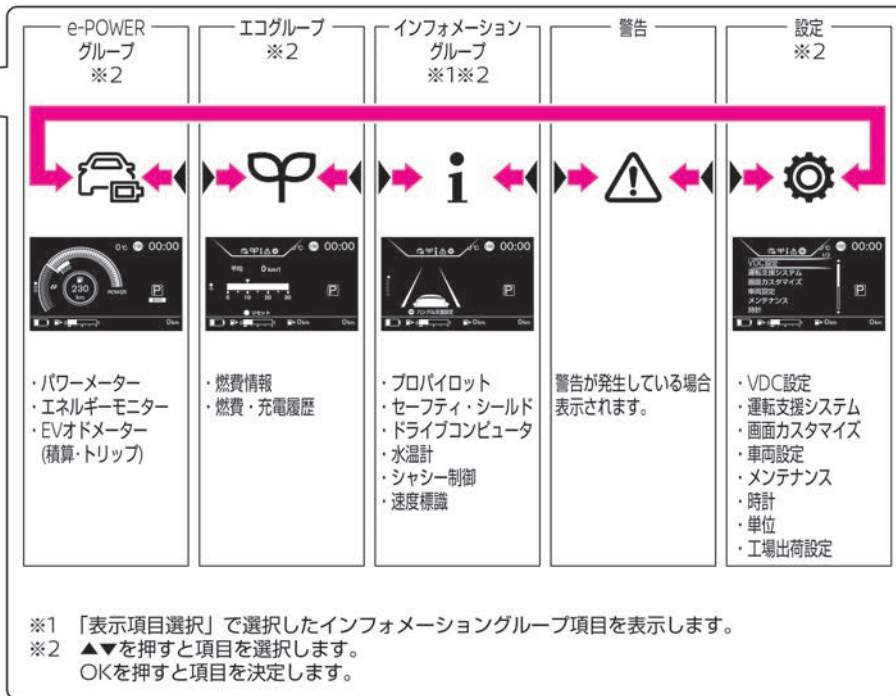


ステアリングスイッチ

OKスイッチ



◀▶ スイッチ ◀ スイッチ ▶ スイッチ



車両情報画面

様々な車両情報を表示したり、各種設定をしたりすることができます。

e-POWERグループ

■ パワーメーター

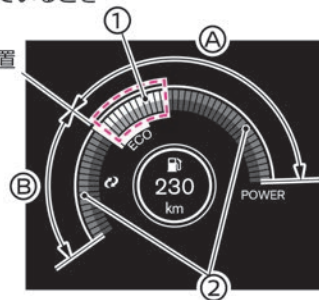
パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで、e-POWERグループ  を選択し、▲▼ スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (P.85) をお読みください。

走行中の出力（加速力）と回生量（電力の回収量）を表示します。

- 一定の速度で走行しているときや加速しているときは、ゲージ①が中立位置より右側Aに表示されます。
- 急加速など、より多くの電力を消費しているときほど、ゲージ①が右側Aに増えていきます。
- 電力を回収しているときは、ゲージ①が中立位置から左側Bに増えます。ゲージ①が左側Bに増えると、多くの電力を回収していることを表します。
- 出力または回生量が制限されると、②の点灯範囲が狭くなります。②が点灯する範囲内で①が点灯します。

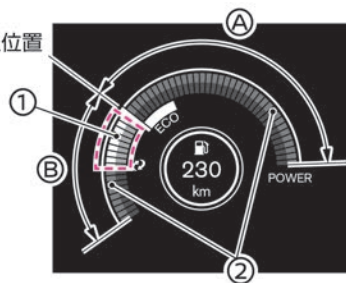
加速しているとき

中立位置



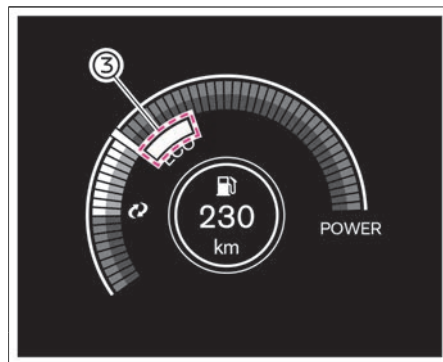
電力を回収しているとき

中立位置



ECOゾーン

- ゲージ③はECOゾーンです。
- ECOゾーンの範囲を目安に運転すると、電力を抑えられ、エコドライブにつながります。
- ECOゾーンは車速に応じて範囲が変化します。
- ECOゾーンはECOモードとは関係ありません。



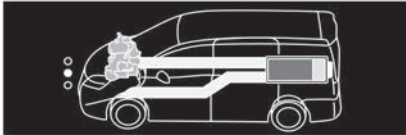
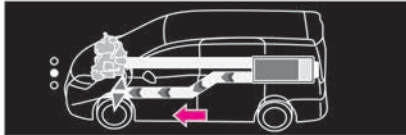
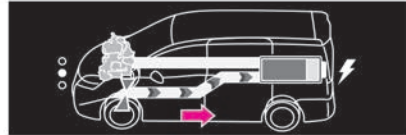
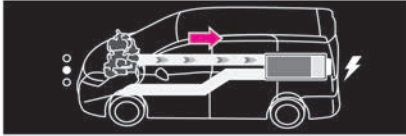
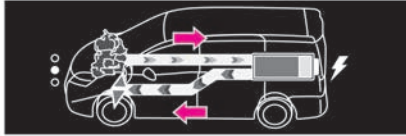
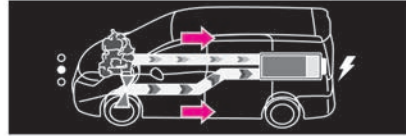
■ エネルギーモニター

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの  スイッチで、e-POWERグループ  を選択し、  スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは ( P.85) をお読みください。

- エンジン、リチウムイオンバッテリーおよびタイヤ間のエネルギーの流れを表示します。
- 画面は実際の表示とは異なる場合があります。

知識

- エンジンからの矢印は、エンジンで発電したエネルギーが流れている状態を示すものです。
- e-POWERシステムでは、発電しなくてもエンジンが作動することがあります。発電していないときは矢印は表示されません。

エネルギーモニター		
 ・エネルギーの流れがない状態	 ・リチウムイオンバッテリーに蓄えられたエネルギーを使って走行している状態	 ・回生ブレーキを使ってリチウムイオンバッテリーを充電している状態
 ・エンジンで発電したエネルギーで、リチウムイオンバッテリーを充電している状態	 ・エンジンで発電したエネルギーで、走行と充電の両方を行っている状態 ・エンジンで発電したエネルギーとリチウムイオンバッテリーに蓄えられたエネルギー、両方を使って走行している状態 ・エンジンで発電したエネルギーを使って走行している状態	 ・エンジンと回生ブレーキ、両方のエネルギーで充電している状態
エンジン表示色	バッテリー表示色	バッテリー充電表示
 灰色：エンジン停止状態 ・エンジンが停止しているときは、灰色で表示します。 緑色：エンジンエコ発電状態 ・エンジンがエコ発電しているときは、緑色で表示します。 黄色：エンジン高回転状態 ・アクセルを急に踏み込み、エンジンの回転数が高くなっている状態。 ・ボンネットが開いているため、エンジンが作動している状態。	 青色：バッテリー残量が通常状態 ・バッテリー残量を表示します。 黄色：バッテリー残量が低下状態 ・バッテリー残量が低下すると、青色から黄色に表示色が変わります。(バッテリー残量が少ないときは、通常よりも駆動出力が低下することがあります。)	 点灯：通常時のバッテリー充電状態 ・リチウムイオンバッテリーを充電している状態。 点滅：放電時のバッテリー充電状態 ・リチウムイオンバッテリーが放電状態でバッテリー残量が低いときは、バッテリー充電表示が点滅します。

■ EVオドメーター（積算・トリップ）

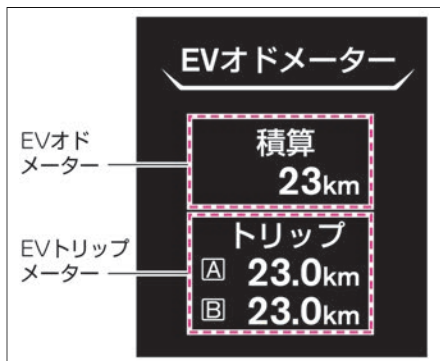
パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの◀▶スイッチで、e-POWERグループを選択し、▲▼スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（➡P.85）をお読みください。

EVオドメーター

- 燃料を消費せずに走行した総走行距離を表示します。

EVトリップメーター

- 燃料を消費せずに走行した区間距離を表示します。
TRIP **A**とTRIP **B**で2種類の区間を記録できます。
- リセットするときは0にしたい方を表示させ、トリップ切り替えスイッチを1秒以上押します。スイッチの位置については（➡P.73）をお読みください。

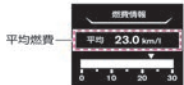


知識

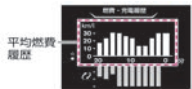
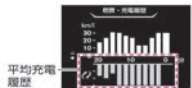
- EVトリップメーターは12Vバッテリーを外すと、**A**と**B**の記憶が消去され0に戻ります。

エコグループ ♪ (表示項目)

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで、エコグループ ♪ を選択し、 ▲▼ スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (➡ P.85)、設定例は (➡ P.105)、(➡ P.106) をお読みください。

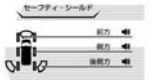
画面表示	項目	概要	詳細説明
	燃費情報	リセットしてからの平均燃費を表示します。平均燃費をリセットするときは、この画面を表示中に、ステアリングスイッチの OK スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度ステアリングスイッチの OK スイッチを押すとリセットされます。画面の切り替えかたについては (➡ P.85) をお読みください。	- 平均燃費は、12Vバッテリー交換後やリセット後は、約500m走行するまでは「---」と表示します。 - 平均燃費は約30秒ごとに更新されます。  知識 - バー表示が大きくなるように運転するとエコドライブにつながります。

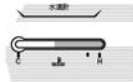
車両情報画面

画面表示	項目	概要	詳細説明
	燃費・充電履歴	2分ごとの平均燃費を、最大20分前まで棒グラフで表示します。 右端に現在の瞬間燃費を表示します。	知識 - アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「エコ情報設定」⇒「エコドライブレポート」を選択すると、「エコドライブレポート」の表示・非表示を切り替えることができます。 設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。 ① エコドライブレポートについて (P.117) ② 画面の切り替えかた (P.85) ③ 画面カスタマイズ (P.100)
		回生ブレーキによってリチウムイオンバッテリーに充電された2分ごとの平均充電電力量を、最大20分前まで棒グラフで表示します。	知識 エンジンで発電した電力量は含まれません。

インフォメーショングループ i (表示項目)

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで、インフォメーショングループ i を選択し、▲▼ を押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (P.85) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	プロパイロット★	● 走行支援システムの作動状態を表示します。 ● ステアリングスイッチのプロパイロットスイッチ  を押すとプロパイロット画面に切り替わります。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの OK スイッチを押すと、プロパイロットのメニュー画面を表示し、ハンドル支援のON・OFFを設定できます。詳しくは運転支援システム (P.96) 中の該当項目をお読みください。	● 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。 - ー  プロパイロット★ (P.322) - ー  インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.360) - ー  LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (P.409)
	セーフティ・シールド	● 走行支援システムのON・OFF状態を表示します。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの OK スイッチを押すと、走行支援システムのメニュー画面を表示し、各システムのON・OFFを設定できます。詳しくは運転支援システム (P.96) 中の該当項目をお読みください。	● 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。 - ー  BSW (後側方車両検知警報) / インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) (P.393) - ー  LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (P.409) - ー  インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.360)

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ドライブコンピュータ	● ドライブコンピュータを表示します。リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの OK スイッチを押します。その後「リセット」メニューからリセットする項目を選択し、再度ステアリングスイッチの OK スイッチを押すとリセットされます。(➡P.85)をお読みください。	📖 知識 ● ドライブコンピュータの項目 — 平均燃費 — 平均車速 — 走行距離 — 走行時間
	水温計	● エンジン冷却水の温度を表示します。	⚠ 警告 ● オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。詳しくは、オーバーヒートしたときは(➡P.560)をお読みください。
	シャシー制御★	● オートブレーキホールドの作動状態を表示します。	📖 知識 ● オートブレーキホールドについては、(➡P.248)をお読みください。
	速度標識	● 最高速度標識の検知状態を表示します。	📖 知識 ● 最高速度標識検知については、(➡P.435)をお読みください。

警告 ⚠

警告について

- 異常を検知するとマスターウォーニングが点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示します。
警告を一時的に消すときは、**OK** スイッチを押します。
- 警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

確認のしかた

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの  スイッチで、警告 ⚠ を選択すると、異常を検知している警告が確認できます。

警告メッセージの表示画面については、（  P.540 ）をお読みください。

ステアリングスイッチの使いかたは（  P.85 ）をお読みください。

各種設定画面

運転支援システムのON・OFF設定をはじめ、時計の調整やアラームの設定などができます。
ステアリングスイッチの使いかたは (➡ P.85) をお読みください。

設定 ⚙️ (各種設定画面)

各種設定画面では、次の機能の設定ができます。
ステアリングスイッチの ◀️ スイッチで設定 ⚙️ を選び、 ▶️ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。
走行中は操作できません。

➡ 設定例1 (画面カスタマイズ) (P.105)

➡ 設定例2 (オイル/オイルフィルター) (P.106)

■ VDC設定

ステアリングスイッチの ◀️ スイッチで設定 ⚙️ を選び、 ▶️ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。
走行中は操作できません。

項目1	機能
システム	● VDC機能のON・OFFを設定します。 ➡ VDCのON・OFFのしかた (P.314)

■ 運転支援システム

ステアリングスイッチの ◀️ スイッチで設定 ⚙️ を選び、 ▶️ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。
走行中は操作できません。

項目1	項目2	項目3	機能
プロパイロット★	ハンドル支援		● ハンドル支援のON・OFFを設定します。 ➡ プロパイロット★ (P.322)
側方支援	LDW (車線逸脱警報)		● LDW (車線逸脱警報) のON・OFFを設定します。 ➡ LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (P.409)
	LDP (車線逸脱防止支援)		● インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) のON・OFFを設定します。 ➡ LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (P.409)

項目1	項目2	項目3	機能
後側方支援	BSW（後側方車両検知警報）		● BSW（後側方車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（P.393）</u>
	BSI（後側方衝突防止支援）		● インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（P.393）</u>
	インジケータの明るさ設定		● インジケータの明るさを、明るい、標準、暗いから選択します。 ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（P.393）</u> ➡ <u>RCTA（後退時車両検知警報）（P.423）</u>
エマージェンシーブレーキ	システム		● インテリジェント エマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシスト、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ（P.360）</u> ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト（P.371）</u> ➡ <u>インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（P.417）</u>
速度標識表示			● 最高速度標識検知のON・OFFを設定します。 ➡ <u>標識検知機能（P.435）</u>

項目1	項目2	項目3	機能
道路標識表示			● 進入禁止標識検知／一時停止標識検知のON・OFFを設定します。 ➡ 標識検知機能 (P.435)
駐車支援	ソナー	フロントソナー	● フロントソナーのON・OFFを設定します。 ➡ ソナー機能 (P.115)
		リアソナー	● リアソナーのON・OFFを設定します。 ➡ ソナー機能 (P.115)
		ソナー画面切替	● 障害物に近づいたときの、割り込み表示ON・OFFを設定します。 ➡ ソナー機能 (P.115)
		ボリューム	● ボリューム（警報音(ブザー)）の大きさを、大、中、小から選択します。 ➡ ソナー機能 (P.115)
		センサー感度	● センサー検知距離を遠距離、中距離、近距離から選択します。障害物までの最長距離が、110%（遠距離）、100%（中距離）、90%（近距離）で変更できます。 中距離を選択した時の障害物までの最長距離は、 （➡ P.452）をご参照ください。 ➡ ソナー機能 (P.115)
	移動物検知★		● 移動物 検知のON・OFFを設定します。 ➡ 移動物 検知機能について (P.450)
	クロストラフィックアラート		● RCTA（後退時車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ➡ RCTA（後退時車両検知警報） (P.423)

項目1	項目2	項目3	機能
ふらつき警報★			● インテリジェント DA（ふらつき警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェント DA（ふらつき警報）★</u> (P.432)
走行時間	---分／---分		● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。 ▲▼スイッチで分が切り替わり、OK スイッチを押すと決定します。 － 最大360分まで設定できます。 － 設定時間は30分単位で切り替わります。 (➡ スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。)
	リセット		「はい」を選択すると、走行した時間をリセットできます。
凍結注意			● 外気温が3℃以下になったときに表示する凍結注意表示のON・OFFを設定します。

■ 画面カスタマイズ

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定  を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
表示項目選択		● インフォメーショングループ i (表示項目) で表示させたい項目を選択することができます。ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで項目を切り替えて、表示させたい項目で OK スイッチを押します。 ➡ <u>インフォメーショングループ (表示項目)</u> (P.93)
ECOモード カスタマイズ	クルーズコントロール★	● ECOモード使用時に燃費を優先する機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>ECOカスタマイズ (P.299)</u>
	空調	
Smartモード カスタマイズ	クルーズコントロール★	● S(Smart)モード使用時に燃費を優先する機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>ECOカスタマイズ (P.299)</u>
	空調	

項目1	項目2	機能
エコ情報設定	エコインジケータ	● ECOインジケータのON・OFFを設定します。OFFにすると、ECOインジケータが表示されなくなります。 ➡ <u>ECOインジケータ (P.77)</u>
	エコドライブレポート	● エコドライブレポートのON・OFFを設定します。OFFにすると、エコドライブレポートが表示されなくなります。 ➡ <u>エコドライブレポートについて (P.117)</u>
	燃費履歴リセット	● 燃費履歴画面を表示します。(リセットを選択すると履歴を消去します。)
プロパイロット画面切替★		● プロパイロット画面切替のON・OFFを設定します。ONにすると、プロパイロットのシステムをONにしたとき、画面がプロパイロット画面に切り替わります。 ➡ <u>プロパイロット★ (P.322)</u>
メータ演出	エコインジケータ演出	● ECOインジケータ演出のON・OFFを設定します。OFFにすると、ECOインジケータ演出が表示されなくなります。 ➡ <u>ECOインジケータ (P.77)</u>
	ディスプレイ演出	● ディスプレイ演出のON・OFFを設定します。OFFにすると、e-POWERシステム始動時のアニメーションが表示されなくなります。

各種設定画面

■ 車両設定

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定  を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
ライト/照明	ウェルカムヘッドライト★	● ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）のON・OFFを設定します。 ウェルカムライト機能(👉P.274、👉P.289)
	自動室内灯	● キー連動室内照明のON・OFFを設定します。 👉 マップランプ/ルームランプの使いかた (P.468)
	オートライト感度調整	● インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の点灯タイミングを、より早い、早い、標準、遅いから選択します。 AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた（👉P.262、👉P.277）
方向指示器	コンフォートフラッシャー	● コンフォートフラッシャー機能のON・OFFを設定します。 方向指示器の使いかた（👉P.273、👉P.288）
ロック	I-keyエントリー	● ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを設定します。 👉 ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた (P.128)
ワイパー	車速連動	● 車速連動のON・OFFを設定します。 👉 フロントワイパーの使いかた (P.293)
	リバース連動	● リバース連動のON・OFFを設定します。 👉 リヤワイパーの使いかた (P.294)

項目1	項目2	機能
ミラー自動格納		● キーロック連動格納機能のON・OFFを設定します。 ➡ キーロック連動格納機能について (P.197)

■ メンテナンス

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ⚙️ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目	機能
オイル/オイルフィルター タイヤ ユーザー	● [メンテナンス]では、次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を超えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。(定期交換部品等の交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。) － ▲▼スイッチで距離が切り替わり、 OK スイッチを押すと決定します。(➡ スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。) － 500km～30,000kmまでの範囲内で距離を設定できます。 － 設定距離は500km単位で切り替わります。(長押しすると1,000km単位で切り替わります。) － リセットを選択して OK スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。 ●機能を停止することができます。 － 停止する場合は、距離表示を「---」に合わせ OK スイッチを押して決定します。

各種設定画面

■ 時計

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ⚙️ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目	機能
時計調整	時計を調整します。 ① OK スイッチを押すと「時」調整画面に切り替わります。 ② ▲▼ スイッチを押して「時」を調整します。 ③ OK スイッチを押すと「分」調整画面に切り替わります。 ④ ▲▼ スイッチを押して「分」を調整します。 ⑤ OK スイッチを押すと時刻が設定されます。 (◀▶ スイッチを押すと前の調整画面に戻ります。)
12H/24H	● OK スイッチを押すと12時間表示、24時間表示を切り替えます。

■ 単位

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ⚙️ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

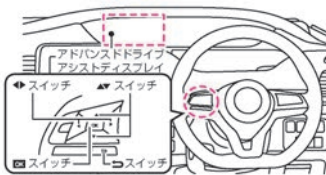
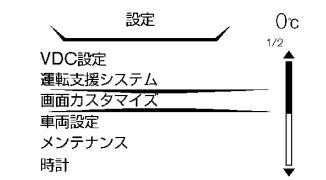
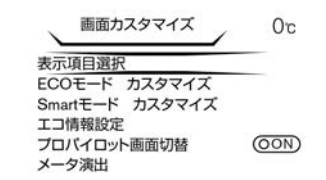
項目	機能
距離／燃費	● 距離と燃費の表示単位を km, km/ l または km, l/100km に切り替えます。
温度	● 温度の単位を °C または °F に切り替えます。

■ 工場出荷設定

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ⚙️ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

機能
工場出荷時の設定にリセットすることができます。 ● 「はい」を選択すると、各種設定が初期化されます。

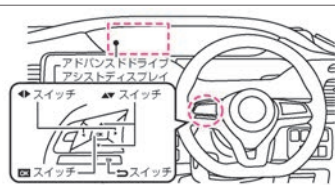
設定例1（画面カスタマイズ）

1	ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを数回押し、[設定] 画面を表示します。	
2	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[画面カスタマイズ] を選択し、 OK スイッチを押して決定します。	
3	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[表示項目選択] を選択し、 OK スイッチを押して決定します。	
4	表示させたい項目を、ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで選択し、 OK スイッチを押して選択すると表示できるようになります。	

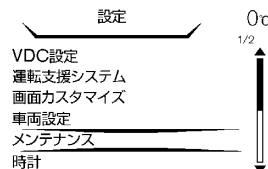
各種設定画面

設定例2（オイル/オイルフィルター）

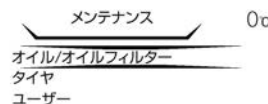
- 1 ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを数回押し、[設定] 画面を表示します。



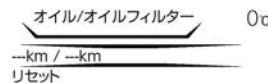
- 2 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[メンテナンス] を選択し、[OK] スイッチを押して決定します。



- 3 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[オイル/オイルフィルター] を選択し、[OK] スイッチを押して決定します。



- 4 [オイル/オイルフィルター] 画面でステアリングスイッチの [OK] スイッチを押して、次回メンテナンスを行う距離の設定画面に進みます。(“---/---” の右側の表示)
※ “---/---” の左側は、設定以降走行した距離を表示します。



知識

- 手順4でリセットを選択してステアリングスイッチの [OK] スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。(“---/---” の左側の表示)

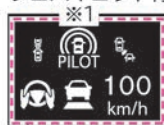
5

次回メンテナンスを行う距離を設定できます。(手順4 “---/---” 右側の表示)
ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、距離を切り替え、**OK** スイッチを押して決定します。
設定距離は500km単位で切り替わります。
(長押しすると1,000km単位で切り替わります。)
※機能を停止する場合は、距離表示を「---」にあわせ**OK** スイッチを押して決定します。



走行支援機能画面

プロパイロット付車



- ・プロパイロット表示
- ・インテリジェント エマージェンシーブレーキ表示
- ・LDW (車線逸脱警報) 表示
- ・インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 表示
- ・BSW (後側方車両検知警報) 表示
- ・インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) 表示
- ・インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) 表示

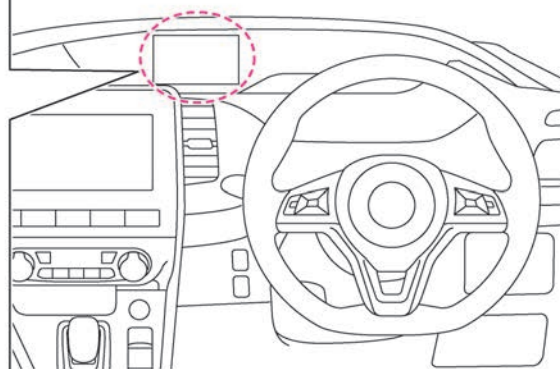
プロパイロット無車



- ・クルーズコントロール表示
- ・インテリジェント エマージェンシーブレーキ表示
- ・LDW (車線逸脱警報) 表示
- ・インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 表示
- ・BSW (後側方車両検知警報) 表示
- ・インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) 表示
- ・インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) 表示
- ・セーフティ・シールド表示



※1 LDW (車線逸脱警報)、インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 作動時は①が表示されます。

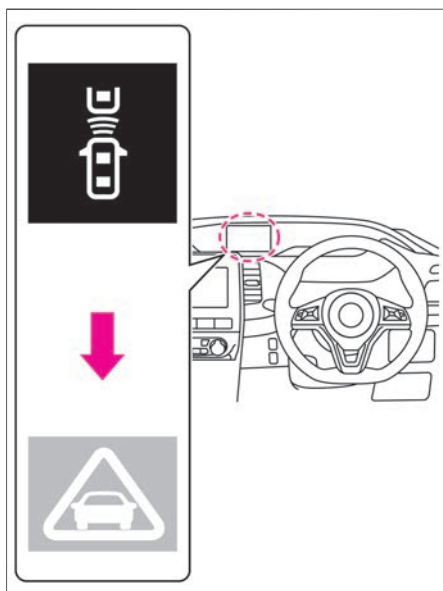


走行支援機能画面

インテリジェント エマージェンシーブレーキ表示

- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音（ブザー）とともにメーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）が黄色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音（ブザー）とともに軽いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキについては、（🔍P.360）をお読みください。

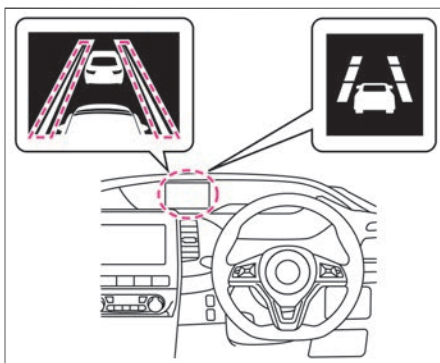


走行支援機能画面

LDW（車線逸脱警報）表示

- 車両が右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、オレンジ色に点滅します。

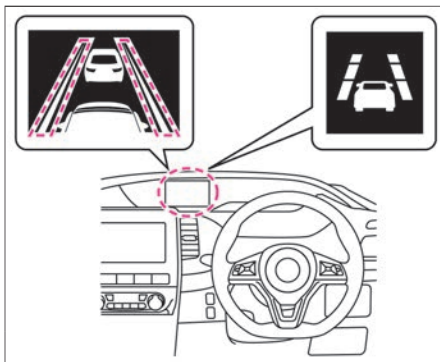
LDW（車線逸脱警報）については、
 (➡P.409)をお読みください。



インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）表示

- 車両が右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、オレンジ色に点滅します。
- インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、オレンジ色に点灯します。

インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）については、
 (➡P.409)をお読みください。



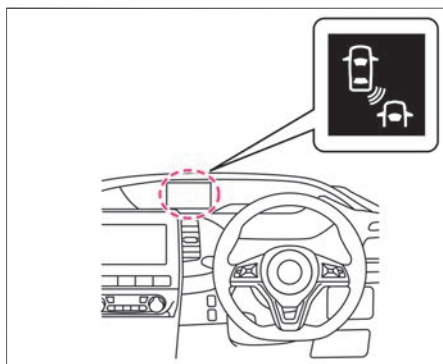
🚗 アドバイス

- 表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。e-POWERシステム再始動後もオレンジ色に点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

BSW（後側方車両検知警報）表示

- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると点滅します。

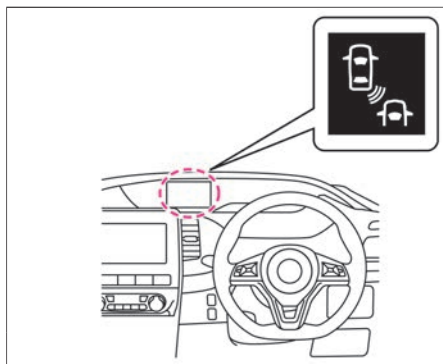
BSW（後側方車両検知警報）については、
（➡P.393）をお読みください。



インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）表示

- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると点滅します。
- インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）に異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインジケータが黄色に点灯します。

インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）については、
（➡P.393）をお読みください。



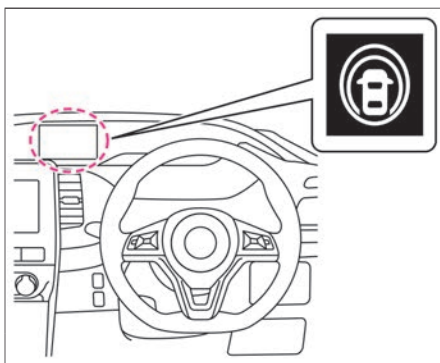
次ページに続く

走行支援機能画面

セーフティ・シールド表示★

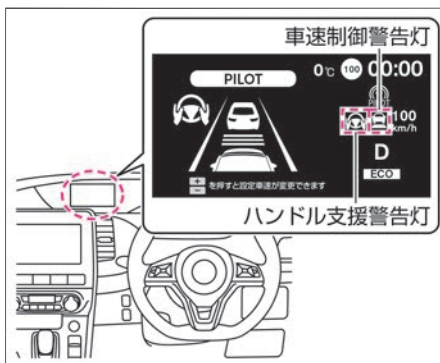
- アドバンスドドライブアシストディスプレイでインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）またはインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）をONにしているとき、セーフティ・シールドスイッチを押すと表示します。
- システムがONになると白色で表示します。

インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）については（➡P.393）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）については（➡P.409）をお読みください。



プロパイロット表示★

- プロパイロットスイッチ  をONにすると表示します。
 - プロパイロットの作動状態を表示します。
 - プロパイロットに異常があると、ハンドル支援警告灯および車速制御警告灯が黄色に点灯します。
- プロパイロットについては、(👉P.322)をお読みください。

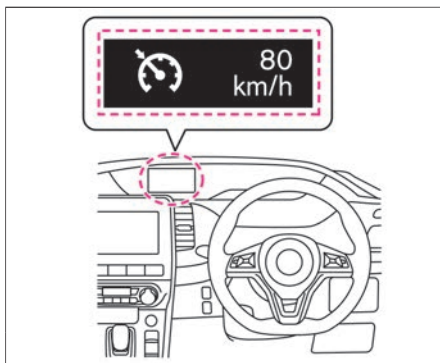


アドバイス

- 警告灯が黄色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
e-POWERシステム再始動後も黄色に点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

クルーズコントロール表示★

- クルーズコントロールをONにすると表示します。
 - クルーズコントロールシステムに異常があると、表示が点滅します。
- クルーズコントロールについては、(👉P.306)をお読みください。

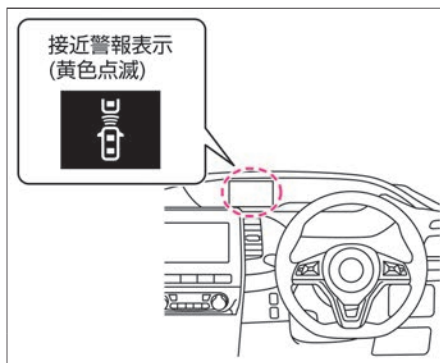


走行支援機能画面

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）表示

- 自車の回避操作が必要と判断すると、黄色に点滅するとともに警報音（ブザー）を鳴らして、運転者に注意を促します。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）については、（➡P.417）をお読みください。



その他の表示機能

車両と障害物との距離感を、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示することができます。

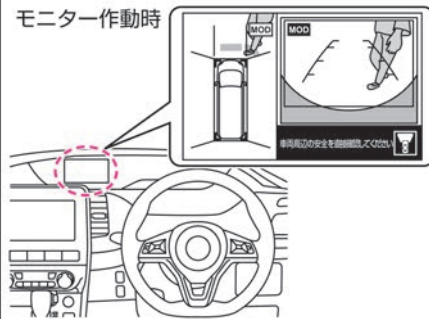
ソナー機能

- 車両が障害物に近づくと、メーター内ディスプレイのソナー表示色が緑→黄→赤の順に切り替わり、警報音（ブザー）が鳴ります。
- 次の場合にソナー機能が作動します。
 - － シフトポジションを **R** にしたとき（インテリジェント アラウンドビューモニターに表示）
 - － シフトポジションが **D** または **B** で障害物を検知したとき（10km/h 以下）
 - － ソナー表示中にステアリングスイッチの **OK** スwitch または **↶** スwitch を押すと、一時的にソナー機能を停止できます。
- ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
 - － シフトポジションを **R** 以外にしてから再度 **R** にしたとき
 - － 12km/h 以上で走行したとき
- ソナーについては、（➡ P.625）をお読みください。

表示色	警報音（ブザー）
緑	ピッ、ピッ、ピッ...
黄	ピピピピピ...
赤	ピー

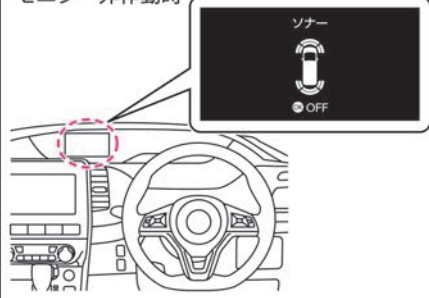
インテリジェント アラウンドビュー

モニター作動時



インテリジェント アラウンドビュー

モニター非作動時



知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」⇒「ソナー」を選択すると、ソナー機能の各種設定が行えます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.85)
運転支援システム (➡ P.98)
- インテリジェント アラウンドビューモニター作動時、非作動時でアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示が異なります。
- ソナー表示の見かたについては、（➡ P.452）をお読みください。

インテリジェント アラウンドビューモニター作動時

ソナーが障害物を検知すると、インテリジェントアラウンドビューモニター画面上にソナー検知位置を表示します。

➡ インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★ (P.443)

インテリジェント アラウンドビューモニター非作動時

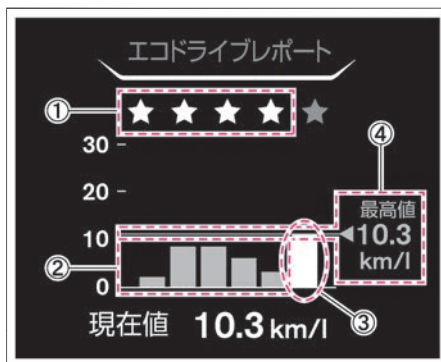
 知識

ソナーが障害物を検知すると、ソナー画面が割り込み表示します。割り込み表示はOFFにすることができます。
運転支援システム (🔍 P.98)

エコドライブレポートについて

パワースイッチをOFFにするとエコドライブレポート画面を表示します。
エコ運転評価の結果表示(★)は、約10分以上走行したときに表示します。

- ① **今回の評価**
エコドライブするほど★が増えます。
★は1～5段階で表示されます。
- ② **履歴**
過去5回分の平均燃費を表示します。
- ③ **現在値**
今回の平均燃費を表示します。
- ④ **最高値**
過去のベスト燃費を表示します。



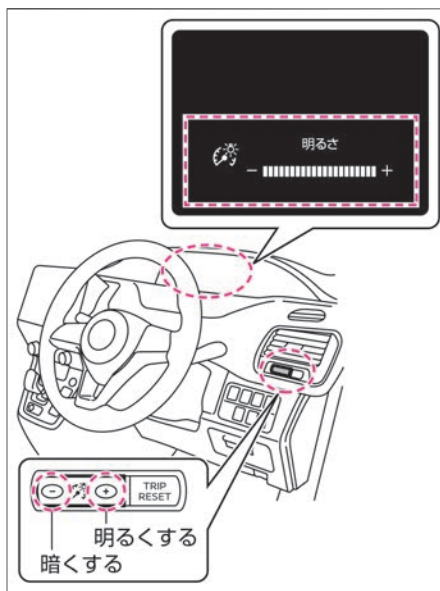
知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「エコ情報設定」⇒「エコドライブレポート」を選択すると、エコドライブレポートの表示・非表示を切り替えることができます。
設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.85)
➡ 画面カスタマイズ (P.100)

メーターの明るさの調節のしかた

パワースイッチがONのとき、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、アドバンスドドライバアシストディスプレイに表示されます。



知識

- 12Vバッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

キー

キー（インテリジェントキー）	P.120
キー（インテリジェントキー）に関する注意事項	P.124

ドアの施錠と解錠

ドア	P.128
フロントドア	P.133
スライドドア	P.134
オートスライドドア	P.141
デュアルバックドア	P.159

シートの調節

フロントシート	P.166
セカンドシート	P.170
サードシート	P.176

ハンドルの調節

ハンドル	P.183
------	-------

ミラーの調節

ルームミラー★	P.184
インテリジェント ルームミラー★	P.185
ドアミラー	P.195

窓ガラスの開閉

パワーウインドー	P.198
----------	-------

燃料補給口の開閉

燃料補給口	P.201
-------	-------

エアコンの操作

オートデュアルエアコン★	P.205
オートエアコン★	P.213
吹き出し口	P.219
オートエアコンシステムについて	P.221
エアコンを使うときに注意すること	P.222

オーディオ

オーディオの使いかた★	P.227
ステアリングスイッチ★	P.229

キー（インテリジェントキー）

キーを携帯するだけでドアの施錠・解錠、スライドドアの開閉およびe-POWERシステムの始動操作ができます。
 ドアの施錠・解錠のしかたは（➡P.128）、スライドドアの開閉のしかたは（➡P.141）、始動操作は（➡P.233）をお読みください。

各部名称と機能

① 作動表示灯

②～⑤のいずれかのスイッチを押すと、赤く点滅します。

② ドア施錠スイッチ

スイッチを押すと、全ドアが施錠します。

③ ドア解錠スイッチ

スイッチを押すと、全ドアが解錠します。

④ ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ（助手席側）

解錠後スイッチを約1秒以上押すと、スライドドアが自動で開閉します。

⑤ ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ（運転席側）

解錠後スイッチを約1秒以上押すと、スライドドアが自動で開閉します。

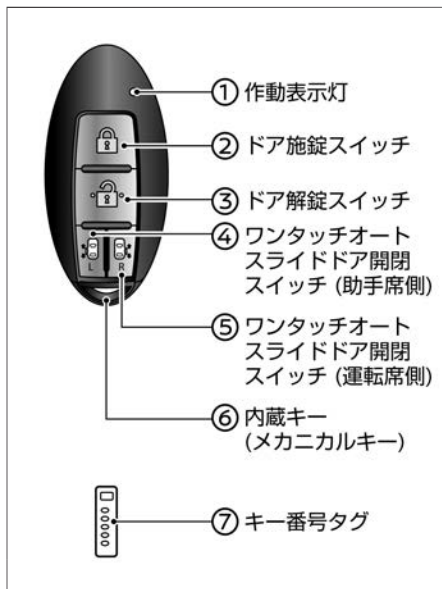
⑥ 内蔵キー（メカニカルキー）

キーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。

➡内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた（P.520）

⑦ キー番号タグ

キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。



🚗 アドバイス

- オートスライドドアがオート作動中にワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを約1秒以上押すと、停止前の作動方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。

📖 知識

- キーは2個ついています。
- キーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- キーにより、作動表示灯①の点滅回数が異なります。
- 作動表示灯が点滅しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。
- ➡キー（インテリジェントキー）の電池交換（P.613）

 知識

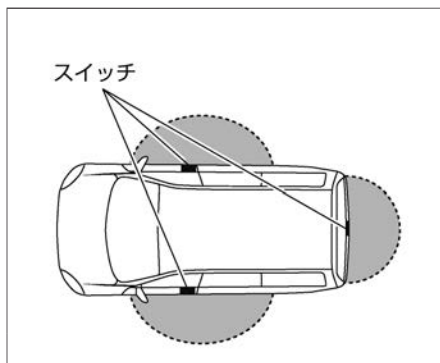
- キーの電池が切れても、ドアの施錠・解錠やe-POWERシステムの始動を行うことができます。
 - ➡ ドアが開かないときは (P.520)
 - ➡ キー（インテリジェントキー）で始動できないときは (P.522)

ドアの施錠・解錠の作動範囲

作動範囲は各ドアハンドルのスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は各ドアハンドルのスイッチを中心に球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

キーが作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアハンドルのスイッチを押して施錠・解錠できます。

- ドアハンドルのスイッチを押してドアを施錠したあとは、ドアが確実に施錠されていることを確認してください。
- ドアハンドルのスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずパワースイッチをOFFにして施錠してください。



■ キー（インテリジェントキー）に関する機能について

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
アンサーバック機能のブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）★

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。（施錠時約10秒、解錠時約30秒）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「ウェルカムヘッドライト」を選択すると、ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.85)

➡ 車両設定 (P.102)

キー連動室内照明システム

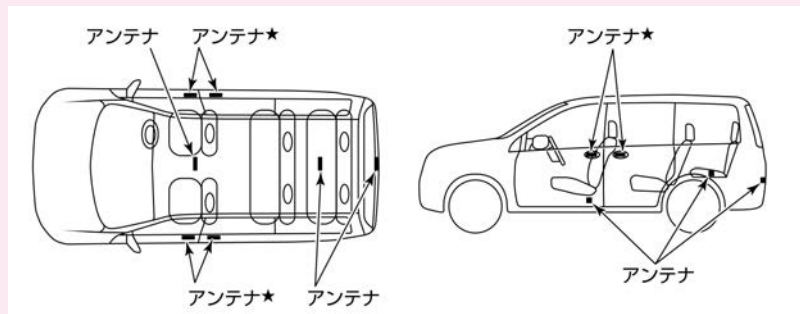
- ドアを解錠すると、室内照明（ラゲッジルームランプを除く）が約15秒間点灯します。
詳しくは、室内照明(➡ P.468)をお読みください。

オートロック機能

- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったときは、盗難防止のため全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、e-POWERシステム始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。
万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。



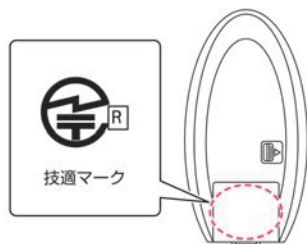
アドバイス

- キーは運転者が必ず携帯してください。
- キーは、必ず内蔵キー（メカニカルキー）を内蔵した状態で携帯してください。
- キーはドアポケットに入れしないでください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、ドアハンドルのスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。
 - － 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
 - － 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
 - － キーが金属製の物に接したり、覆われたりしているとき
 - － 近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
 - － キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
 - － コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
 - － 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
 - － 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - － 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）
 - － 日本国内のみで使用する

 アドバイス

- キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。
- ➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.613)
- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - ー 長時間高温になる場所に置かない
 - ー 分解しない
 - ー 無理に曲げたり、落したり、強い衝撃を与えたりしない
 - ー 水にぬらさない
 - ー 超音波洗浄器などにかけない
 - ー 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
 - ー テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない
- キーの認証技適マークはキーの裏面で確認できます。

 アドバイス

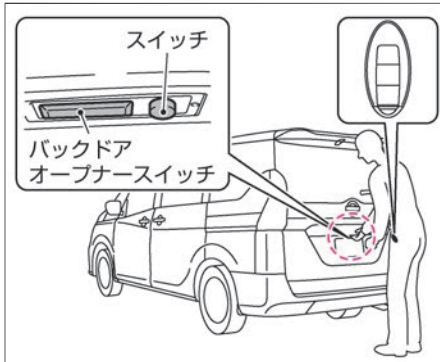
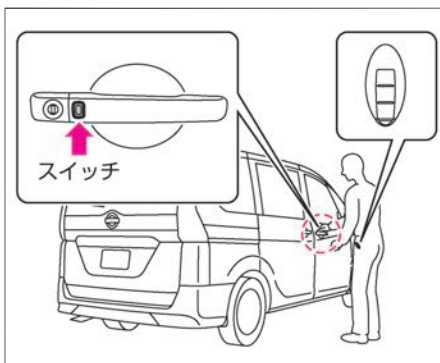


ドアハンドルのスイッチやキー（インテリジェントキー）のスイッチで施錠・解錠します。
施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。

ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた

- キーを携帯し、運転席、助手席ドアまたはバックドアにあるスイッチを押すと全てのドアが施錠・解錠します。
- キーが各スイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。
- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



アドバイス

- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれるため、施錠できないことがあります。

知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ロック」⇒「I-keyエントリー」を選択すると、ドアハンドルスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを切り替えることができます。I-keyエントリー機能をOFFにすると、スライドドアのワンタッチスイッチによる解錠機能やハンズフリー機能[★]もOFFになります。設定の詳細については、車両設定をお読みください。
- ➡ 画面の切り替えかた (P.85)
- ➡ 車両設定 (P.102)
- 次のような場合は、作動しません。
 - ー パワースwitchがONのとき（ワンタッチスイッチを除く）
 - ー ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき

 知識

(解錠のみできます)

- － キーが施錠・解錠の作動範囲内にな
いとき
- － 携帯しているキー以外に自車の
キーが車室内にあるとき
(解錠のみできます)
- － キーの電池が切れているとき

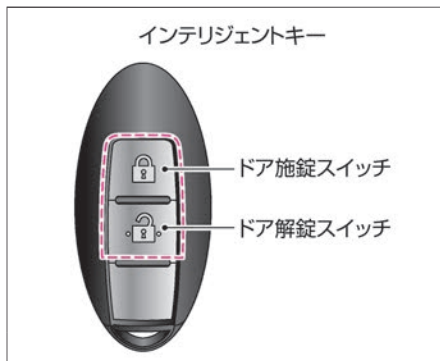
オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する
機能です。ドアハンドルのスイッチ
を押して解錠したときは、約30秒間
ドアを開けないと再び全ドアが施錠
されます。

キーのスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 全ドアを施錠するときは、ドア施錠スイッチ  を押します。
- 全ドアを解錠するときは、ドア解錠スイッチ  を押します。
- 作動範囲は、車両から約1mです。
- 施錠・解錠をしたときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



知識

- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
- ➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.613)
- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。
- ➡ 内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた (P.520)
- 次のような場合は、キーのスイッチを押しても作動しません。
 - － パワースイッチがONのとき
 - － ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
（解錠のみできます）
 - － 車から離れすぎているとき
 - － キーの電池が切れているとき

オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドア解錠スイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

■ キーを使用しない施錠のしかた

前席ドア

- ロックノブを押し込み、ドアハンドルを引ながらドアを閉めます。

➡ フロントドア (P.133)

スライドドア

- ロックノブを車両前方へ動かし、そのままドアを閉めます。

➡ スライドドア (P.134)

知識

- 次の場合は、運転席ロックノブまたはドアロックスイッチで施錠できません。
ー キーが車室内にあるとき

キー封じ込み防止機能

- キーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。ドアを閉めたときや施錠しようとしたときに、キーが車室内に残っているとブザーでお知らせし、全てのドアを解錠します。

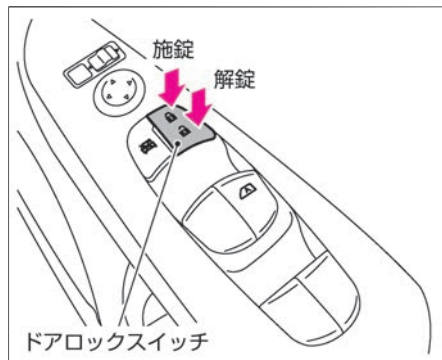
ドアに関する注意事項

警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉める。
走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、ドアロックスイッチを施錠側  に押します。
- 解錠するときは、ドアロックスイッチを解錠側  に押します。

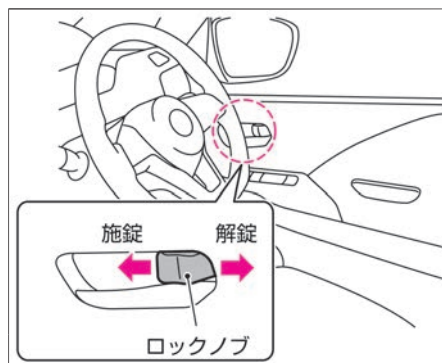


知識

- ドアロックスイッチを押すと、全ドアが施錠または解錠します。

■ ロックノブでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを車両前方に押し込みます。
- 解錠するときは、解錠するドアのロックノブを車両後方に引きます。



知識

- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠した状態でもドアハンドルを引くことで開くことができます。このとき、全てのドアが同時に解錠されます。

■ ドアスイッチでの解錠のしかた

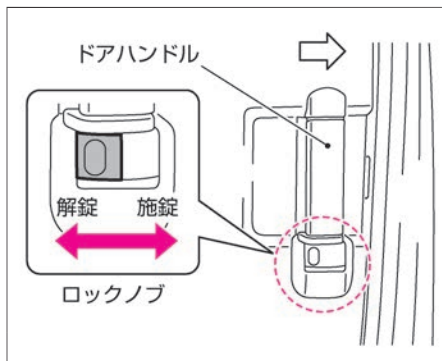
- 施錠時にキーを携帯し、前席ドアハンドルにあるスイッチを押すと全ドアが解錠します。
- ドアスイッチでの解錠の詳細については➡ ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた (P.128) をお読みください。

■ キーのスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 全ドアを施錠するときは、ドア施錠スイッチ  を押します。
- 全ドアを解錠するときは、ドア解錠スイッチ  を押します。
- キー（インテリジェントキー）のスイッチでの施錠・解錠の詳細については➡ キーのスイッチでの施錠・解錠のしかた (P.130) をお読みください。

■ ロックノブでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、ロックノブを車両前方に動かします。
- 解錠するときは、ロックノブを車両後方に動かします。



■ キーを使用しない施錠のしかた

- スライドドアのロックノブを車両前方に動かし、そのままスライドドアを閉めます。



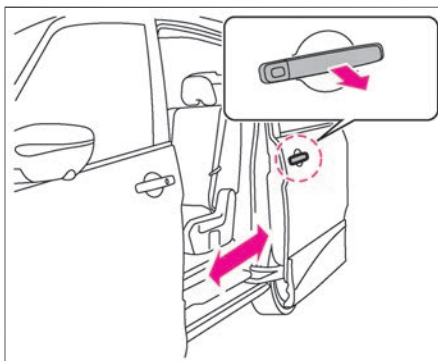
アドバイス

- キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

スライドドアの開閉のしかた

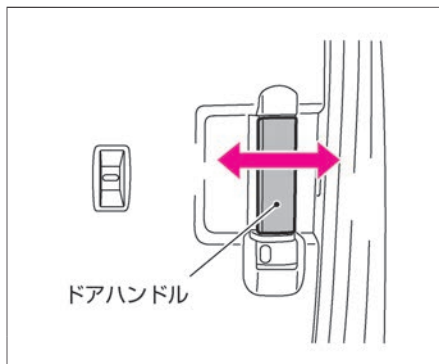
車外から開閉するには

- ドアハンドルを引きながら、スライドドアを開閉します。



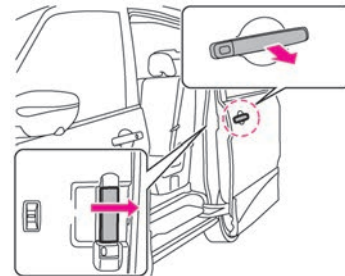
車室内から開閉するには

- 動かしたい方向にドアハンドルを操作して、スライドドアを開閉します。



知識

- スライドドアを全開すると全開位置でロックします。ロックしているときに、外側のドアハンドルを斜めに引いてもロックが外れず閉められません。ドアハンドルはスライドドアに対して垂直に引いてください。また、ロックは内側のドアハンドルを引いても外れます。



チャイルドセーフティドアロック

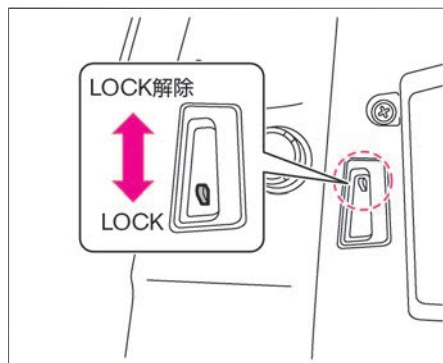
後席に乗せたお子さまなどが、誤って車室内からスライドドアを開けないようにロックできます。

ロックするには

- 左右のスライドドアにあるロックレバーをLOCK側にしてスライドドアを閉めます。

ドアを開けるには

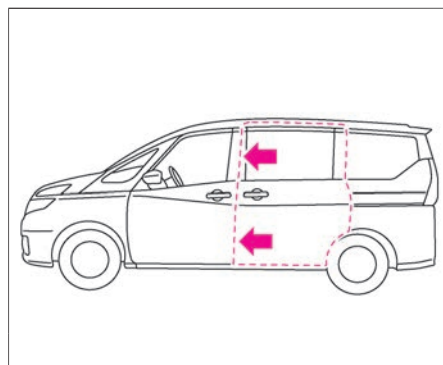
- チャイルドセーフティドアロックがかかっているときは、車外のドアハンドルを引いて開けます。



オートクローザーについて

オートクローザーは、自動的にスライドドアを全閉させる機能です。

閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



⚠ 注意

- スライドドアを閉めるときは、スライドドアや車体側に手を触れていたり、ドアグリップを握らない。また、スライドドアのふちやその周辺に手をかけない。手を挟まれてケガをするおそれがあります。スライドドアを閉めるときは、必ず外から閉めてください。

次ページに続く



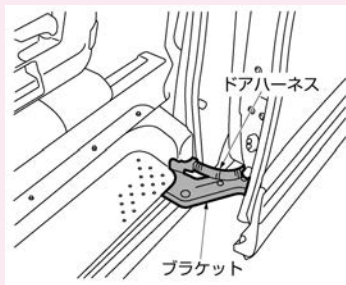
アドバイス

- ドアハンドルを開方向に引いたままスライドドアを閉めると、オートクローザーは作動しません。
- 12Vバッテリーが弱っているとオートクローザーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかe-POWERシステムを始動させてから閉め直してください。
- オートクローザーの故障によりスライドドアが閉まりきらないときは、スライドドアを一旦開け、再度手で閉めてください。
- オートクローザーの故障によりスライドドアが開かなくなった場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

スライドドアに関する注意事項

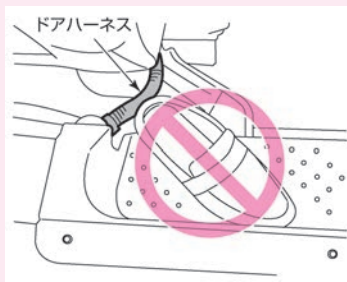
⚠ 注意

- スライドドアを開閉するときは、次のことを必ず守る。
 - ー 必ずドアハンドルを持って開閉してください。
 - ー 傾斜地でスライドドアを開けるときは、ロックするまで確実に開けてください。
 - ー スライドドアを強く開けないでください。
 - ー ドアハーネスやブラケットに手や足などをかけないでください。



⚠ 注意

- スライドドアを閉めるときは、ステップの上に物が無いことを確認してください。



📖 知識

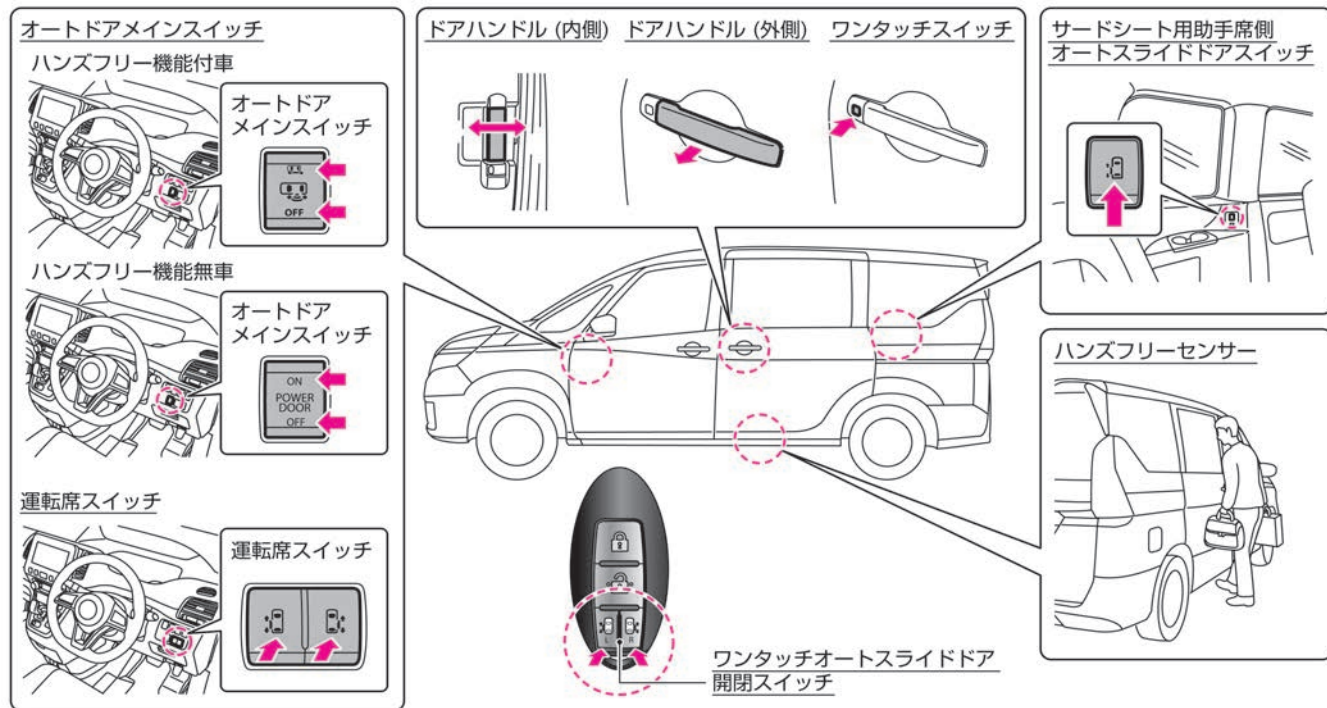
- 燃料補給口を開けているときに運転席側のスライドドアを開けると、リッドと干渉を防ぐために約半分開いたところで止まります。
- 運転席側のスライドドアが全開しているとき、燃料補給口を開けるとスライドドアと干渉します。

オートスライドドア

オートスライドドアは、スライドドアを自動的に開閉することができます。

オートスライドドアの機能について

オートスライドドアは、次の方法でスライドドアを自動的に開閉できます。



次ページに続く

ドアハンドルによる開閉：

ドアハンドルでスライドドアの開閉ができます。（➡P.147）

運転席スイッチ：

運転席スイッチでスライドドアの開閉ができます。（➡P.149）

ワンタッチスイッチ：

車外ドアハンドルのワンタッチスイッチでスライドドアの開閉ができます。
（➡P.150）

ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ：

キー（インテリジェントキー）のスイッチでスライドドアの開閉ができます。
（➡P.149）

サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチ：

車室内スライドドア開口部近くにあるサードシート用助手席側オートスライドドアスイッチでスライドドアの開閉ができます。（➡P.151）

ハンズフリーセンサーによる開閉（ハンズフリー機能付車）：

スライドドア下側に足先を出し入れするだけでスライドドアの開閉ができます。
（➡P.152）

また、オートスライドドアには、次の機能があります。

挟み込み防止機構：

オート作動中に手を挟むなど、挟み込みや引っかかりを検知すると、安全のため反対方向に少し作動して停止します。（➡P.155）

オートクローザー：

スライドドアを半ドア状態まで閉めると、自動的に全閉します。（➡P.137）

知識

- 閉作動時、半ドア位置までドアがスライドすると、オートクローザー機能が全閉します。（➡P.137）
- オートドアメインスイッチがONのとき、スライドドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。（停車またはスライドドアを閉めるとブザーは止まります。）
- オート作動の開始時とオート閉作動中は、ブザーが鳴ります。
- 燃料補給口が開いているときは、リッドとの干渉を防ぐため運転席側スライドドアのオートスライド（自動開閉）機能が作動しません。

オートスライドドアの作動について（ハンズフリー機能付車）

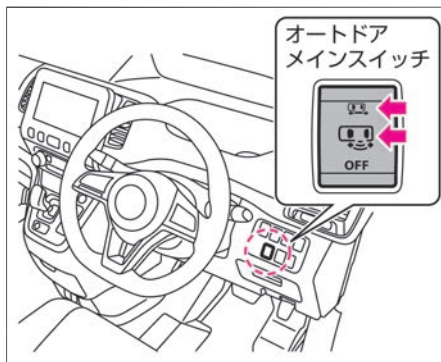
- オート作動は、オートドアメインスイッチが、または、車速が約3km/h以下のときに作動させることができます。

ただし、パワースイッチがONのときは、以下の条件のうちいずれか1つ以上を満たす必要があります。

- － シフトポジションが  に入っている
- － フットブレーキを踏んでいる
- － パーキングブレーキをかけている

- オートブレーキホールド機能★だけで停車しているときは作動しません。オートブレーキホールドについては、（ P.248）をお読みください。

- ハンズフリー機能は、キー（インテリジェントキー）がスライドドアハンドルから周囲約80cmの作動範囲内にあるときに作動させることができます。



アドバイス

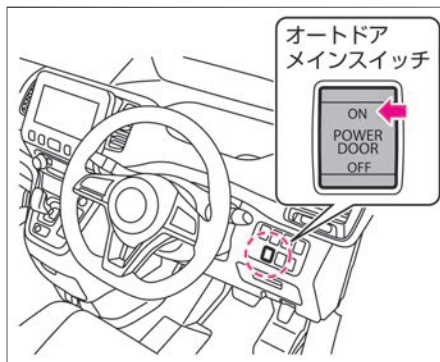
- オート作動中に作動可能条件が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動可能条件を再度満たすとオート作動させることができます。

知識

- オートドアメインスイッチをOFFにしてもオートクローザーは作動します。
- 12Vバッテリーが弱ってる（電圧が11V未満）ときは作動しません。

オートスライドドアの作動について（ハンズフリー機能無車）

- オート作動は、オートドアメインスイッチがON、車速が約3km/h以下のときに作動させることができます。
ただし、パワースイッチがONのときは、以下の条件のうちいずれか1つ以上を満たす必要があります。
 - － シフトポジションが **P** に入っている
 - － フットブレーキを踏んでいる
 - － パーキングブレーキをかけている
- オートブレーキホールド機能★だけで停車しているときは作動しません。
オートブレーキホールドについては、
(➡P.248) をお読みください。



アドバイス

- オート作動中に作動可能条件が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動可能条件を再度満たすとオート作動させることができます。

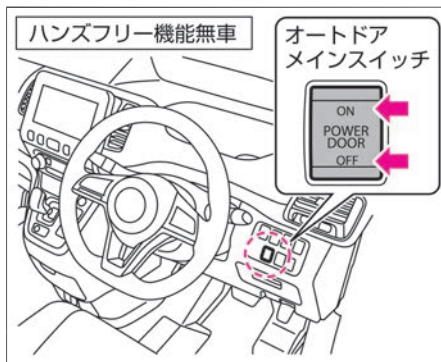
知識

- オートドアメインスイッチをOFFにしてもオートクローザーは作動します。
- 12Vバッテリーが弱ってる（電圧が11V未満）ときは作動しません。

■ オートスライドドアの使いかた（ハンズフリー機能無車）

オートドアメインスイッチで自動開閉機能のON・OFFを切り替えることができます。

- スwitchのON側を押すと、オートスライドドアがONになります。
- スwitchのOFF側を押すと、オートスライドドアがOFFになります。



知識

- オートドアメインスイッチをOFFにしてもオートクローザーは作動します。
- オート作動中にオートドアメインスイッチをOFFにすると、スライドドアが途中で止まります。

■ オートドアメインスイッチの作動

スイッチ位置	ドアハンドルによる開閉操作	運転席スイッチによる開閉操作	ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチによる開閉操作	ワンタッチスイッチによる開閉操作	サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチによる開閉操作
ON	作動	作動	作動※	作動	作動
OFF	非作動	非作動	非作動	非作動	非作動

※：パワースイッチがONのときは作動しません。

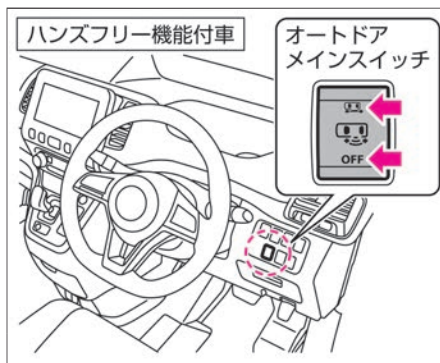
ハンズフリーオートスライドドアの使いかた（ハンズフリー機能付車）

オートドアメインスイッチでハンズフリー機能および自動開閉機能のON・OFFを切り替えることができます。

- スwitchの  側を押すと、ハンズフリー機能がOFFになります。

このとき、ハンズフリー機能以外の自動開閉機能はすべてONになります。

- スwitchを  位置（中立位置）にすると、ハンズフリー機能を含めたすべての機能がONになります。
- スwitchのOFF側を押すと、ハンズフリー機能および自動開閉機能のすべての機能がOFFになります。



知識

- オートドアメインスイッチをOFFにしてもオートクローザーは作動します。
- オート作動中にオートドアメインスイッチをOFFにすると、スライドドアが途中で止まります。

オートドアメインスイッチの作動

ス イ ッ チ 位 置	ドアハ ンドル による 開閉操 作	運転席ス イッ チによる開閉 操作	ワンタッチオート スライドドア開閉 スイッチによる開 閉操作	ワンタッチ スイッチに よる開閉操 作	サードシート用 助手席側オート スライドドアス イッ チによる開 閉操作	ハンズフ リーセン サーによる 開閉操作
	作動	作動	作動※	作動	作動	非作動
	作動	作動	作動※	作動	作動	作動
OFF	非作動	非作動	非作動	非作動	非作動	非作動

※：パワースイッチがONのときは作動しません。

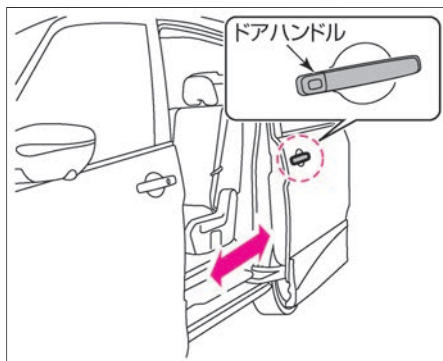
■ ドアハンドルによる開閉のしかた

オートスライドドアは、通常のスライドドアと同様にドアハンドルを使用しても開閉できます。

■ 車外のドアハンドル

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にドアハンドルを引くと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にドアハンドルを引くと、自動的に閉まります。
- オート作動中にドアハンドルを引くと、その位置でオート作動を停止します。再度、ドアハンドルを引くと反対の方向に動き、全閉または全開して停止します。

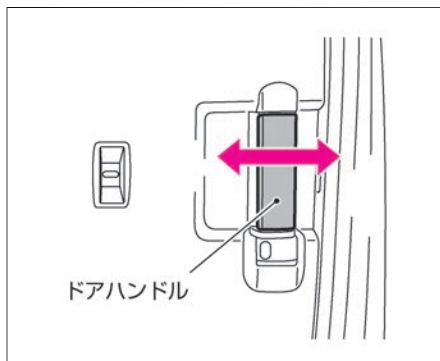


次ページに続く

■ 車室内のドアハンドル

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にドアハンドルを車両後方側へ操作すると、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にドアハンドルを車両前方側へ操作すると、自動的に閉まります。
- オート作動中にドアハンドルを開または閉方向に操作すると、その位置でオート作動を停止します。再度、ドアハンドルを任意に操作した方向に、全閉または全開して停止します。



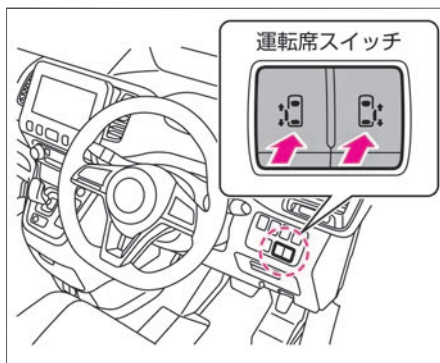
知識

- チャイルドセーフティドアロックをLOCK側にしているときは、車室内のドアハンドルでは開けることができません。
- ➡ チャイルドセーフティドアロック (P.137)

運転席スイッチによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約1秒間押すと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。



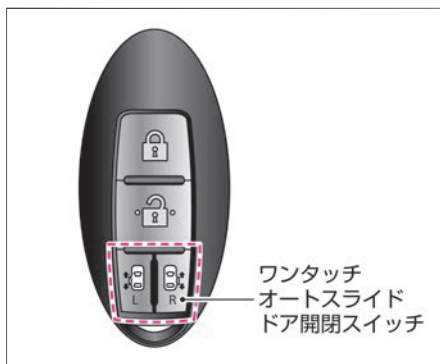
⚠ 注意

- 開閉操作をするときは、スライドドア周囲の安全を確認してください。挟まれたり、スライドドアに当たりケガをするおそれがあります。

ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約1秒間押すと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。

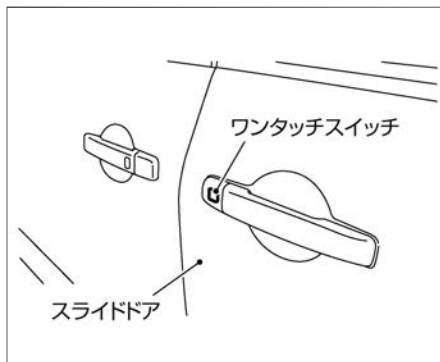


📖 知識

- パワースイッチがONのときは、ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチでの開閉はできません。

ワンタッチスイッチによる開閉のしかた

- スイッチを押すだけで、スライドドアを開閉することができます。
- 施錠時でもキー（インテリジェントキー）を携帯していれば、スイッチを押すだけでスライドドアを開けることができます。このとき全ドアが同時に解錠されます。
- キーがスイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。
- オート作動中にワンタッチスイッチを押すと、その状態で停止します。再度、ワンタッチスイッチを押すと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。



アドバイス

- ワンタッチスイッチでスライドドアを閉めただけでは、施錠状態になりません。車を離れるときは、必ず施錠してください。

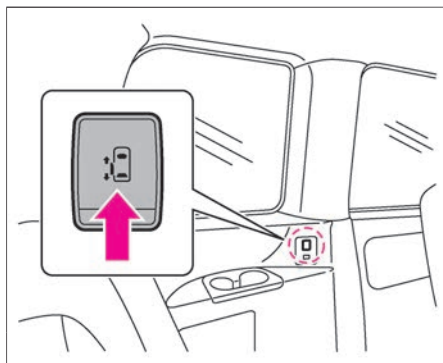
知識

- I-keyエントリー機能をOFFにすると、スライドドアのワンタッチスイッチによる解錠機能やハンズフリー機能★もOFFになります。
- ➡ 車両設定 (P.102)
- ➡ ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた (P.128)

サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチ

開閉操作をするときは、スライドドア周囲の安全を確認してください。スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にスイッチを約1秒間押し、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にスイッチを約1秒間押し、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約1秒間押しと作動していた方向と反対の方向に動き、停止します。



知識

- チャイルドセーフティドアロックがかかっているときは、サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチで、オート開作動はしません。（オート閉作動は作動します。）
- ➡ チャイルドセーフティドアロック (P.137)

全ドア連動ロック機能

- スライドドア全開状態で、スライドドアのロックノブを車両前方に動かすとスライドドア以外のドアが施錠されます。その後、スライドドアが閉まると、スライドドアも施錠されます。

知識

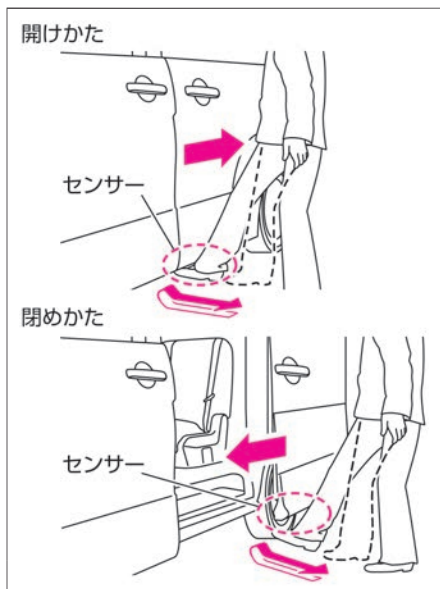
- パワースイッチがONのときは、施錠されません。（施錠操作後、すぐに全ドアが解錠されます。）
- 操作するスライドドア以外のドアが全て閉まっていないと施錠されません。

ハンズフリー機能による開閉のしかた★

- スライドドア下部のセンサーによって足の動きを感知し、スライドドアの開閉を自動的にを行います。
- 施錠時は全ドアが同時に解錠し、スライドドアが自動で全開します。
- オート作動中に、再度、足先を入れて引く動作を行ってもスライドドアは停止しません。また、オート作動中に任意で停止させた位置から、足先を入れて引く動作を行ってもオート作動はしません。

開けかた、閉めかた

- キー（インテリジェントキー）を携帯してください。
- オートドアメインスイッチのハンズフリー機能がONであることを確認してください。
- スライドドアハンドル後端部の真下あたりをねらって、足を入れたら止めずにすぐに引いてください。
（膝を曲げずに振り子のように足を振りあげると、センサーが反応しやすくなります。）
- スライドドアが動き出すまで少し待つと、「ピッピッ」というブザー音が鳴りドアが開閉します。



⚠ 注意

- ハンズフリー機能を使用するときは、作動中のスライドドアに接触しないように注意する。
スライドドアに接触し、思わぬケガをするおそれがあります。作動範囲より外側に立ってください。

🚗 アドバイス

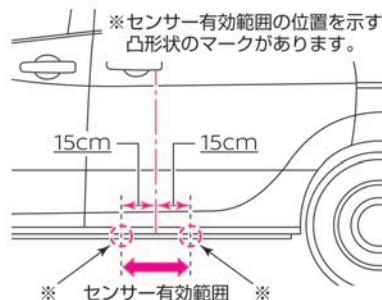
- センサー周辺に水がかかると誤作動するおそれがあります。
- 縁石などにスライドドア下部をぶつけると、ハンズフリーセンサーが故障するおそれがあります。正常に作動しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

📖 知識

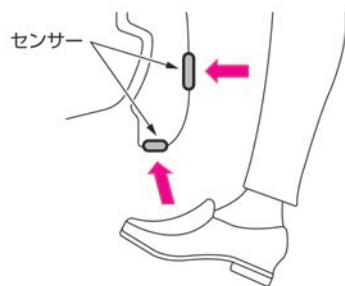
- ハンズフリー機能を使用するときは、センサー有効範囲に足先を入れて使用してください。マーク位置は下端面にあります。

ドアの施錠と解錠 オートスライドドア

知識

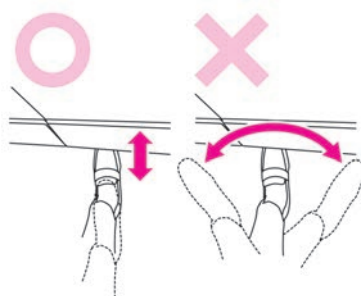


- 足のつま先とすねの両方をセンサーに近づけてください。



- 足はスライドドアに対して垂直方向に動かしてください。

知識



- 施錠時にハンズフリー機能を使用すると、全ドアが解錠します。

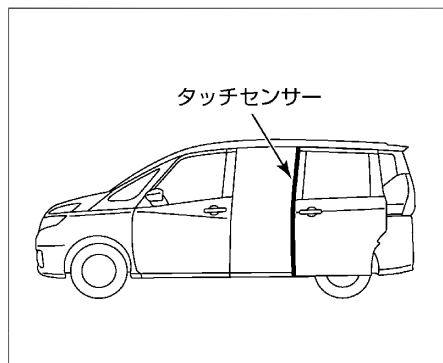
正常に作動しないとき

スライドドアがオートで動かないときは、次の内容で対処してください。

- 連続作動後に動かないときは、スライドドアを約5分間以上作動させずに放置したあと、作動させます。
- 12Vバッテリーが弱ってる（電圧が11V未満）ときは、スライドドアがオート開閉できません。その場合は、e-POWERシステムを始動させてから作動させます。
- ワンタッチスイッチを使うときは、キー（インテリジェントキー）がワンタッチスイッチから80cm以内にあるか確認してください。
- スライドドアが全閉または全開になっていることを確認してください。
- オートドアメインスイッチがONになっていることを確認してください。
- ハンズフリー機能★を使うときは、センサー位置および足の動かしかが、正しいか確認してください。
 ➡ ハンズフリー機能による開閉のしかた★ (P.152)
- ハンズフリー機能★は、電波塔付近などの電波環境下では正常に作動しないことがあります。その場合はドアハンドルを引くか、ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを押して開閉してください。
- ハンズフリー機能★を使うときは、スライドドアに足が接触しないようにしてください。センサーが正しく機能しない場合があります。
- I-keyエントリー機能をOFFにすると、スライドドアのワンタッチスイッチによる解錠機能やハンズフリー機能★もOFFになります。
 ➡ ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた (P.128)
 ➡ ハンズフリー機能による開閉のしかた★ (P.152)

挟み込み防止機構

- スライドドアのオート作動中に物や人が挟み込まれたり、引っかかるような動きを感知すると、ドアが作動方向と反対の方向に少し動いたあとに停止します。
- スライドドアがオート作動中にスライドドアのタッチセンサーに触れると、ドアが作動方向と反対の方向に少し動いたあとに停止します。



オートスライドドアに関する注意事項

注意

- 確実に停車している状態で開閉操作をする。
- 開閉操作をするときは、スライドドア周囲の安全を十分確認する。
周囲の人の身体がスライドドアや車体側に触れたままオート作動させると、手や腕などを挟まれたり、頭や腕を引き込まれて思わぬケガをするおそれがあります。
- 車が大きく傾いている状態ではオート作動をしない。
- オート作動中にスライドドアを押したり引いたりしない。
反転して挟まれたり、スライドドアに当たりケガをするおそれがあります。
- スライドドアレール部には手を入れない。
レール部のケーブルに触れると、スライドドアがオート作動するおそれがあります。

ハンズフリーセンサーについて（ハンズフリー機能付車）

- 足以外でも、キー（インテリジェントキー）を携帯したままハンズフリーセンサーに物を近づけると、スライドドアが開閉することがあるので注意する。
ハンズフリーセンサーが反応してスライドドアが突然開閉し、思わぬケガをするおそれがあります。
- 洗車、ワックスがけ、整備を行うとき、ハンズフリーセンサー周りに水を掛けるときなどは、オートドアメインスイッチをOFFにする。
ハンズフリーセンサーが反応してスライドドアが突然開閉し、思わぬケガをするおそれがあります。

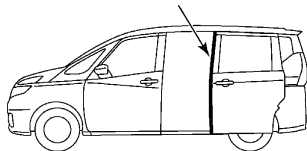


アドバイス

- e-POWERシステム停止時に何回も作動させないでください。12Vバッテリーがあがりe-POWERシステムの始動ができなくなります。
- オート作動中にe-POWERシステムを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 車を発進させるときは、スライドドアが全閉していることを確認してください。
- オート閉作動中に発進すると、スライドドアは閉まりますが、安全制御が働くため、次にスライドドアを開けるときにロック部より大きな音が発生する場合があります。確実に全閉したことを確認してから発進してください。
- 次の場合は、オートドアメインスイッチをOFFにしてください。
 - － スライドドアが故障したとき
 - － スライドドアを長時間開いたままにすると
 - － 洗車（ワックスがけ）や整備を行うとき
 - － 手動で使用する時
- 全開時には、車外または車室内のドアハンドルに不用意に手を掛けたり、ワンタッチスイッチに触れないでください。ドアハンドルまたはスイッチを操作すると自動でドアが閉まります。
- スライドドア前端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切断されると、オートスライド機能は作動しなくなります。

アドバイス

タッチセンサー



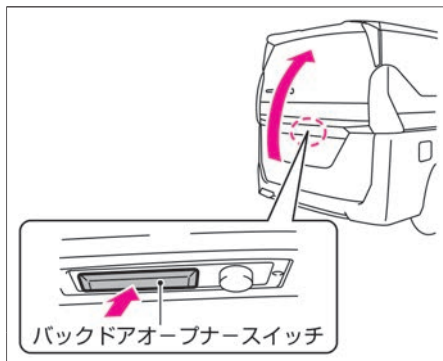
- 12Vバッテリーあがりや12Vバッテリーの脱着を行ったあと、スライドドアが開いている状態で再び12Vバッテリーをつないだときは、必ず一旦手でドアを全閉してからオート作動を行ってください。全閉位置以外からは、オートスライドドア機能がはたらきません。

デュアルバックドア

デュアルバックドアは、使用状況に合わせてバックドア（全体）／ハーフバックドア（上側）の2通りで開閉することができます。

バックドアの開けかた

- 解錠されているときは、バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。
- 施錠されているときは、キー（インテリジェントキー）を携帯してバックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。（全ドアも同時に解錠します。）



🚗 アドバイス

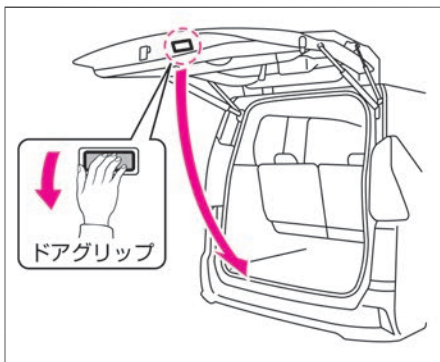
- バックドアオープナースイッチを押したまま、キーのスイッチでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。
- 手を添えないと全開にならない場合は、ガススターの保持力が低下しているおそれがあります。お近くの日産販売会社にて、早めの点検を受けてください。

📖 知識

- ハーフバックドアを開けた状態でも、バックドアの開閉が行えます。

バックドアの閉めかた

- ドアグリップに手を掛け、バックドアを降ろし確実にロックするまで押しつけます。



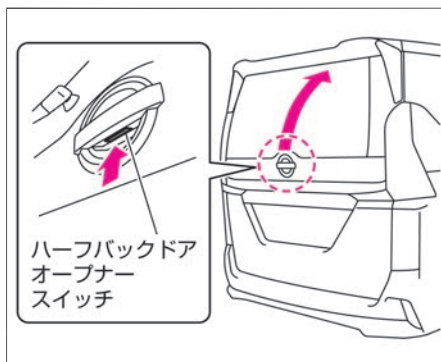
アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



■ ハーフバックドアの開けかた

- 解錠されているときは、ハーフバックドアオープナースイッチを押し、ハーフバックドアを持ち上げます。
- 施錠されているときは、キー（インテリジェントキー）を携帯してハーフバックドアオープナースイッチを押し、ハーフバックドアを持ち上げます。（全ドアも同時に解錠します。）



アドバイス

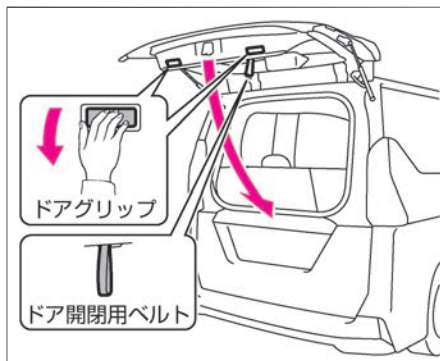
- ハーフバックドアオープナースイッチを押したまま、キーのスイッチでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因となります。
- 手を添えないと全開にならない場合は、ガステーの保持力が低下しているおそれがあります。お近くの日産販売会社にて、早めの点検を受けてください。

知識

- ハーフバックドアを開けた状態でも、バックドアの開閉が行えます。

■ ハーフバックドアの閉めかた

- ドアグリップまたはベルトに手を掛け、ハーフバックドアを降ろし確実にロックするまで押しつけます。



🚗 アドバイス

- ハーフバックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやハーフバックドアのロックが破損し、ハーフバックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



デュアルバックドアに関する注意事項

警告

- デュアルバックドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- デュアルバックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にデュアルバックドアを確実に閉める。
走行中に突然デュアルバックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。
急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 走行前にデュアルバックドアが確実に閉まっていることを確認する。
デュアルバックドアを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

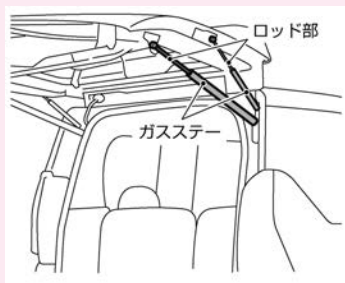
- デュアルバックドアや車体側に手を触れたままデュアルバックドアを閉めない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- デュアルバックドアを閉めるときは、頭をぶつけたり手を挟んだりしないように注意する。
デュアルバックドアのふちやその周辺で手を挟んだり、頭や顔に当たったりしてケガをするおそれがあります。必ず外から押して閉めてください。
- デュアルバックドアを開ける前に、デュアルバックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。
重量物が付いたままデュアルバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- デュアルバックドアを開けるときは、必ず全開にする。
途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときにデュアルバックドアを開ける場合は特に注意する。
風にあおられ、急に閉まることがあります。
- デュアルバックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

デュアルバックドアガスステーについて

- デュアルバックドアのガスステーは、デュアルバックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。
 - ー ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない。
 - ー ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない。
- ガスステーを持って、デュアルバックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。
手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

ドアの施錠と解錠 デュアルバックドア

⚠ 注意



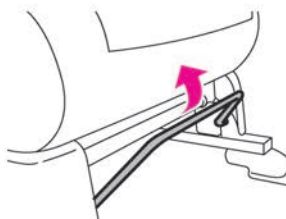
シートの調節のしかた



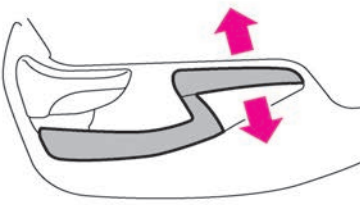
- 背もたれの角度調節(リクライニング)
- レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。



- 前後位置の調節(スライド)
- レバーを引いたまま、調節したい方向にシートを動かします。



- 上下位置の調節(運転席/リフター)
- 引き上げると高くなります。
 - 押し下げると低くなります。



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。

 注意

顔や身体にあたり、思わぬケガをするおそれがあります。

- シートの下に手を入れるときは注意する。

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。

**アドバイス**

- シートを操作するときは、USB電源ソケットにUSB端子がささっていないことを確認してください。USB電源ソケットやモバイル機器が破損するおそれがあります。

➡ USB電源ソケットの使いかた
(P.482)

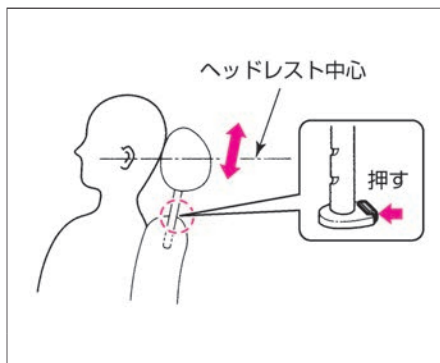
- 助手席にお子さまや小柄な方を乗せたり、クッションなどを使用すると、シートベルトリマインダーが正常に作動しなくなるおそれがあります。

シートベルトリマインダー (➡ P.532)

ヘッドレストの調節のしかた

ヘッドレストの中心が、耳の高さになる位置に調節します。

- 高くするときは、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外したまま走行しない。
万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

■ アームレストの使いかた（運転席・助手席）

- アームレストは運転席と助手席にあります。
- 使うときはアームレストを前に倒します。格納するときは引き上げます。

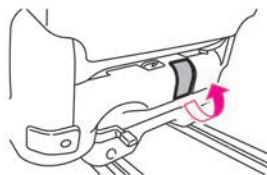


シートの調節のしかた

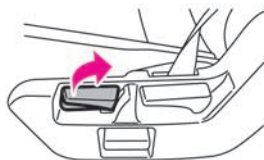


助手席側のみ

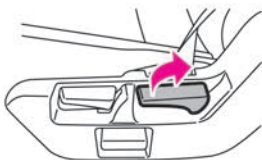
- 前後位置の調節 (背面レバー/スライド)
- レバーを引いたまま、調節したい方向にセカンドシートを動かします。



- 前後位置の調節 (側面レバー/スライド)
- レバーを引いたまま、調節したい方向にセカンドシートを動かします。



- 背もたれの角度調節 (リクライニング)
- レバーを引いたまま、背もたれを動かします。



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。
顔や身体にあたり、思わぬケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。
車室内を清掃するときやシートの下に

 注意

落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。

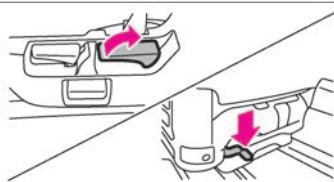


アドバイス

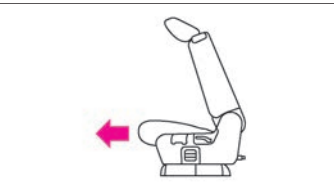
- シートを操作するときは、USB電源ソケットにUSB端子がささっていないことを確認する。
USB電源ソケットやモバイル機器が破損するおそれがあります。
 USB電源ソケットの使いかた
(P.482)

サードシートへの乗り降り（ウォークイン機構）

- 1 セカンドシートのリクライニングレバーまたはセカンドシート背面下部のペダルを踏んで、背もたれを前に倒します。



- 2 セカンドシートを前方にスライドさせます。



- 3 戻すときは、シートを後方にスライドさせたあと、背もたれを起こして固定します。



⚠ 注意

- ウォークイン機構を作動させるときは背もたれを手で押さえ、ゆっくり作動させる。
急に背もたれが倒れたりシートがスライドすると、顔や身体などに当たったり、手や足を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- シートを倒すときは十分に注意してください。物や飲物などを置いたままウォークイン機構を作動させないでください。物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。

ヘッドレストの使いかた

- ヘッドレストの中心が耳の高さになるように調節します。耳の高さにならない場合は、1段上のロックする位置まで上げて使います。
 - ー 高くするときは、ヘッドレストを引き上げます。
 - ー 低くするときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。

注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、**前後の向きを間違えない。**
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- ヘッドレストを取り付けたあとは、**ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。**
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 脱着のしかたは、フロントシートと同じです。
➡ ヘッドレストの外しかた、付けかた (P.168)

■ アームレストの使いかた

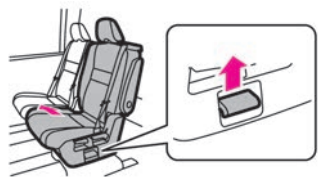
- アームレストはセカンドシート左右席にあります。
- 使うときはアームレストを前に倒します。格納するときは引き上げます。



横スライド機構（運転席側／助手席側）

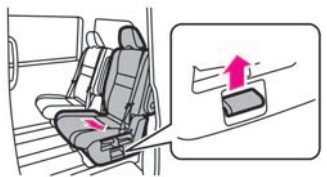
1

シート横側にある横スライドレバーを引いたまま、シートを車両中央側に動かし固定します。

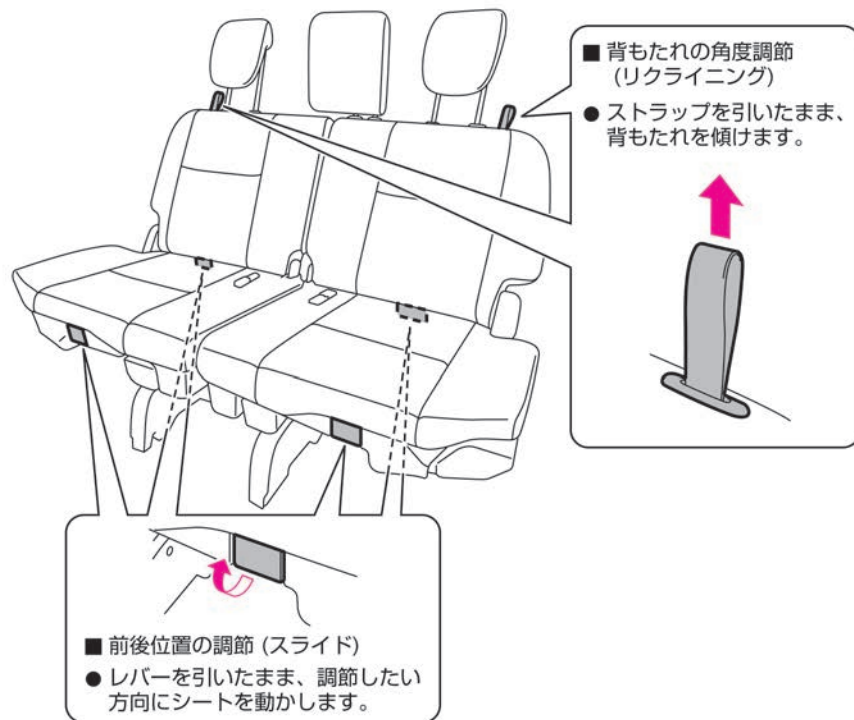


2

元に戻すときは、横スライドレバーを引いたまま、シートを元の位置に動かし固定します。



シートの調節のしかた



⚠ 警告

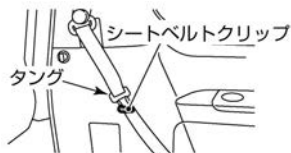
- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。
顔や身体にあたり、思わぬケガをするおそれがあります。

 アドバイス

- シートを戻すときは、必ずシート脚部（レッグ部）を起こしてから操作してください。
- シートを操作するときは、左右のシートベルトのタングをシートベルトクリップで留めます。



- シートを操作するときは、USB電源ソケットにUSB端子がささっていないことを確認する。
USB電源ソケットやモバイル機器が破損するおそれがあります。
- ➡ USB電源ソケットの使いかた
(P.482)

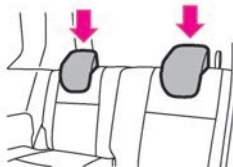
シートの折りたたみかた

- 1 中央席にヘッドレストを装着しているときは、ラゲッジルーム内の格納場所にヘッドレストを格納してください。

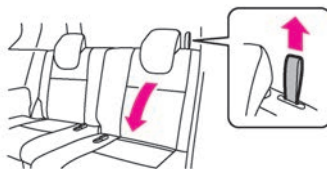
➡ ヘッドレストの使いかた (P.182)

- 2 左右席のヘッドレストを一番下に下げます。

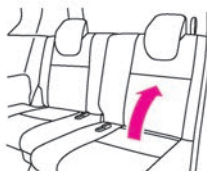
➡ ヘッドレストの使いかた (P.182)



- 3 ストラップを引いたまま、前側に倒します。



- 4 元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。



⚠ 警告

- シートを元の位置に戻したときは、確実に固定されたことを確認する。

⚠ 注意

- シートを倒すときは十分に注意する。
シートに人が乗っていたり、物や飲物などを置いたまま操作を行うと、ケガをしたり、物を壊したり、車室内を汚すおそれがあります。

🚗 アドバイス

- シートを操作するときは、USB電源ソケットにUSB端子がささっていないことを確認する。
USB電源ソケットやモバイル機器が破損するおそれがあります。
➡ USB電源ソケットの使いかた (P.482)

5

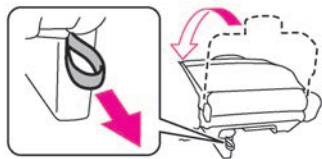
シートを元に戻したときは、中央席ヘッドレストを取り付けます。

➡ ヘッドレストの使いかた (P.182)

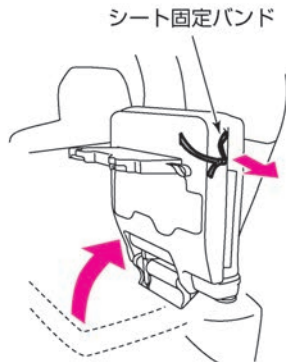
格納のしかた

- 1 中央席ヘッドレストを装着しているときは、ラゲッジルーム内の格納場所にヘッドレストを格納してください。
➡ ヘッドレストの使いかた (P.182)

- 2 青色のストラップを引いてシート脚部（レッグ部）のロックを解除します。（同時に背もたれが前に倒れます。）



- 3 シートを窓側へ折りたたみ、シート固定バンドを引き出します。



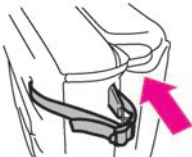
⚠ 警告

- シートを元に戻したときは、シート脚部（レッグ部）のロックが確実に固定されていることを確認する。

⚠ 注意

- シートを倒すときは十分に注意する。
シートに人が乗っていたり、物や飲物などを置いたまま操作を行うと、ケガをしたり、物を壊したり、室内を汚すおそれがあります。特にストラップで背もたれを倒すときは、シートで前方が見えにくいので注意してください。

シートの調節 サードシート

4	シート固定バンドのフックを側面のフック掛けに確実に引っ掛けます。シート固定バンドの長さを調節して、シートをしっかりと固定します。	 フック シート固定バンド
5	シート脚部（レッグ部）を折りたたみます。	
6	元に戻すときは、シート固定バンドをシートに格納してから、横に折りたたんだときと逆の手順で操作します。背もたれを戻すときは、ストラップは引かずに背もたれを起こします。	

アドバイス

- シート固定バンドは確実にシートベルト上部のフックにねじれないように掛けてください。振動で外れたりすると危険です。
- シートを操作するときは、USB電源ソケットにUSB端子がささっていないことを確認する。
USB電源ソケットやモバイル機器が破損するおそれがあります。
➡ USB電源ソケットの使いかた
(P.482)

ヘッドレストの使いかた

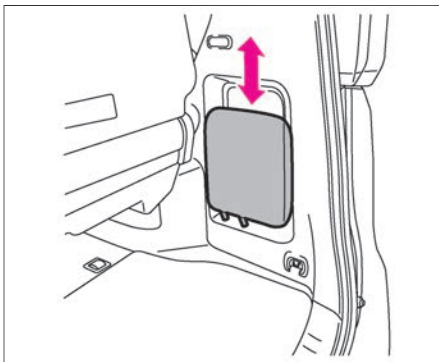
- サードシート左右席のヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。
 - ー 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
 - ー 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。
- サードシート中央席のヘッドレストは、差し込んでロックする位置で使います。

注意

- ヘッドレストはロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用する。
格納状態では機能が十分に発揮できません。

ヘッドレスト（中央）の取り出しかた、格納のしかた

- サードシート中央席のヘッドレストはラゲッジルーム内に格納されています。
- 上方向に引き抜きます。
- 格納するときには、向きに注意して差し込みます。



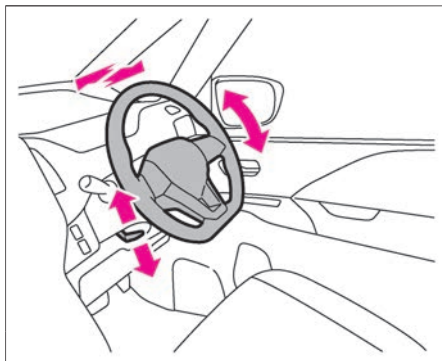
ヘッドレストの外しかた、付けかた

- ヘッドレストの脱着のしかたは、フロントシートと同じです。
➡ [ヘッドレストの外しかた、付けかた \(P.168\)](#)

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節してください。

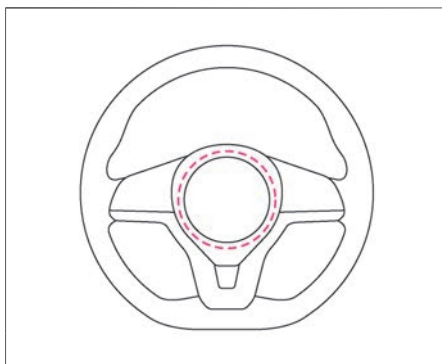
■ ハンドル位置の調節のしかた

- ハンドル下のレバーを押し下げ、ハンドルを前後・上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。



■ ホーンの鳴らししかた

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。



⚠ 警告

- ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの調節 ルームミラー★

ルームミラーは、後方が十分確認できるように、正しい運転姿勢で座ってから調節してください。

■ ルームミラーの調節のしかた

- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。
- 夜間など後続車のヘッドランプがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。
- 昼間など通常走行時は、防眩切り替えレバーを元の位置に戻してお使いください。



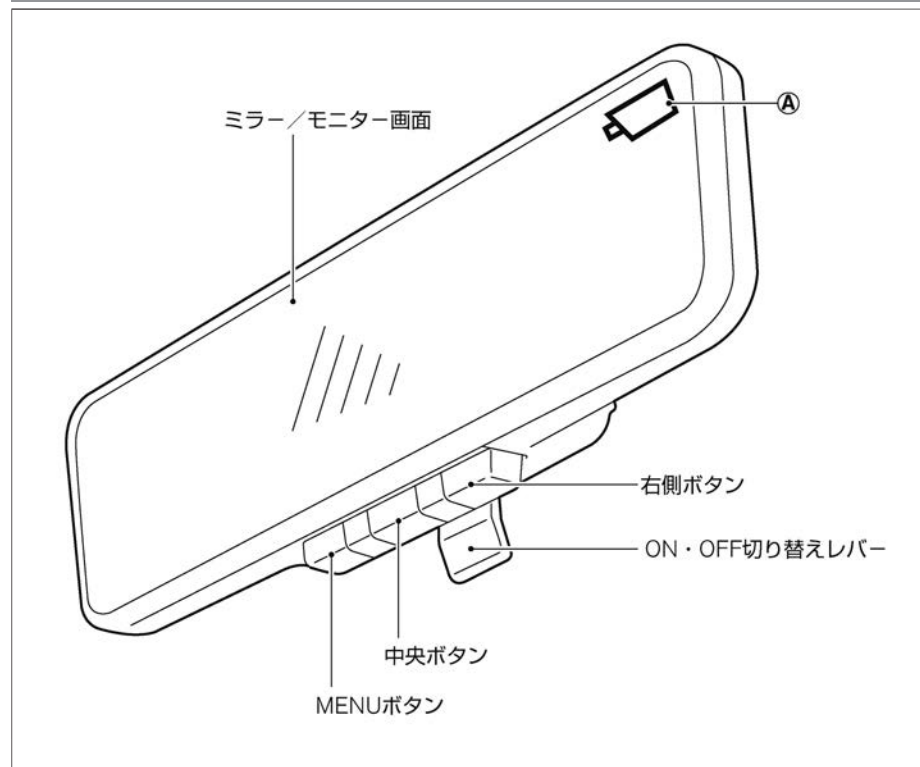
⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。また、防眩への切り替えは必要なおとぎのみ行う。
走行中にミラーを調節したり、不必要に防眩へ切り替えたりしていると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

インテリジェント ルームミラー★

乗員、ヘッドレスト、積載物などでさえぎられがちなルームミラーの後方視界をクリアに保ちます。車室内の状況に関わらず、車両後方にあるカメラの画像をルームミラーに映し出します。ON・OFF切り替えレバーでミラー状態とモニター表示状態を切り替えることができます。

インテリジェント ルームミラーの使いかた



⚠ 注意

- 走行前に、ルームミラーの調節を必ず行う。
ルームミラーモード（ミラー状態）にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、インテリジェント ルームミラーモード（モニター表示状態）にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。

📖 知識

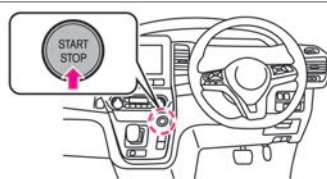
ルームミラーモード

- ミラーとして使用します。

インテリジェント ルームミラーモード

- モニターとして使用します。
（インテリジェントルームミラーモードのときは、④が表示されます。）

1 パワースイッチをONにします。



2 インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引きます。



3 インテリジェント ルームミラーモードに切り替わり、モニターに車両後方の画像が表示されます。
インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、モニター画面がOFFになり、ルームミラーモードとして使用できます。

知識

- 周囲の明るさにより見づらかったり、眩しく感じたときはインテリジェント ルームミラーモードをOFFにし、ルームミラーモードでご使用ください。

インテリジェント ルームミラーの画質調節

インテリジェント ルームミラーモードのときに、MENUボタンを押すと、モニター画像の各種調節ができます。MENUボタンを押すごとに調節項目が切り替わります。

調節項目の切り替わりかた

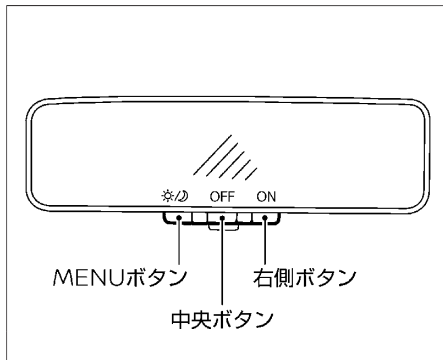
MENU（通常画面）⇒ ☆ / ㊟ （常時昼モード切り替え）（車幅灯またはヘッドランプ点灯時）⇒ BRIGHTNESS（明るさ）⇒ DOWN/UP（上下）⇒ LEFT/RIGHT（左右）⇒ ROTATION（回転）⇒ INDICATION（モニター文字表示、非表示の切り替え）⇒ PLS（Point Light Sourceモード切り替え）⇒ MENU（通常画面）

■ 常時昼モードのON・OFFのしかた（車幅灯またはヘッドランプ点灯時）

車幅灯またはヘッドランプを点灯させると、自動でモニターが夜モード ㊟ になります。夜モード ㊟ ではモニター画面の明るさを弱め、眩しさを軽減します。日中や薄暮時、ヘッドランプを点灯させたときでも、夜モード ㊟ にしたくないときは、設定をONにすると昼モード ☆ になります。

MENUボタンを押して、☆ / ㊟ （常時昼モード切り替え）モードにします。

- 中央ボタンを押すと、OFF（夜モード ㊟ ）になります。
- 右側ボタンを押すと、ON（昼モード ☆ ）になります。



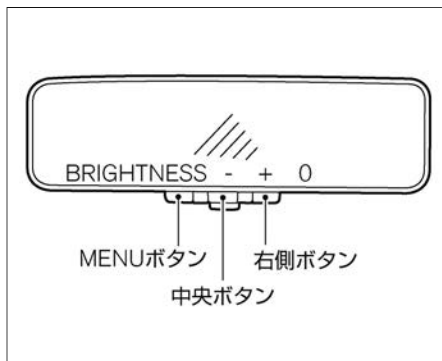
知識

- PLSモードがONのときは、この項目は表示されません。
- パワースイッチをONにするたびに、設定はOFFになります。

■ 明るさ調節のしかた

MENUボタンを押して、明るさ調節 (BRIGHTNESS) モードにします。

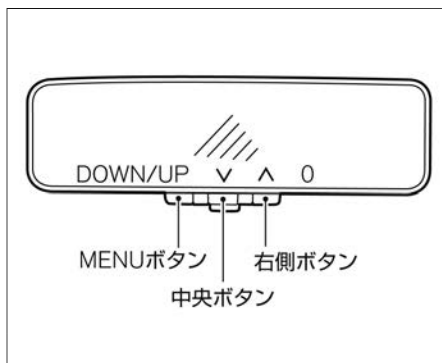
- 中央ボタンを押すと、画面が暗くなります。
- 右側ボタンを押すと、画面が明るくなります。
- 調節幅：-6(暗い)～+6(明るい)



■ 画面の上下位置調節のしかた

MENUボタンを押して、画像位置の上下調節 (DOWN/UP)モードにします。

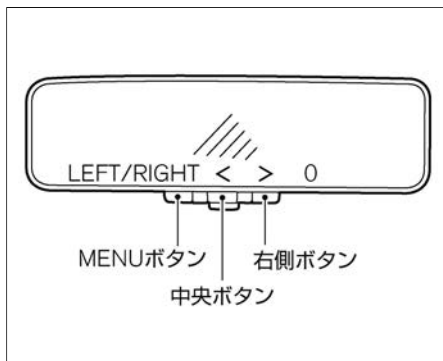
- 中央ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が上に移動します。
- 調節幅：-4(下方向)～+4(上方向)



■ 画面の左右位置調節のしかた

MENUボタンを押して、画像位置の左右調節 (LEFT/RIGHT)モードにします。

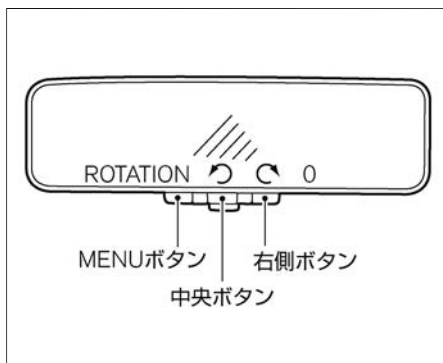
- 中央ボタンを押すと、画像が左に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に移動します。
- 調節幅：-4(左)～+4(右)



■ 画面の回転位置調節のしかた

MENUボタンを押して、画像位置の回転調節 (ROTATION)モードにします。

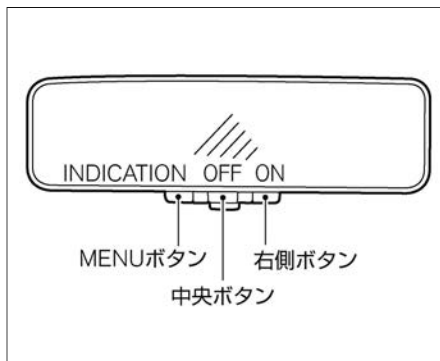
- 中央ボタンを押すと、画像が左に回転します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に回転します。
- 調節幅：-8(左回り)～+8(右回り)



■ モニター文字表示のON・OFFのしかた

MENUボタンを押して、モニター文字表示、非表示を切り替える（INDICATION）モードにします。

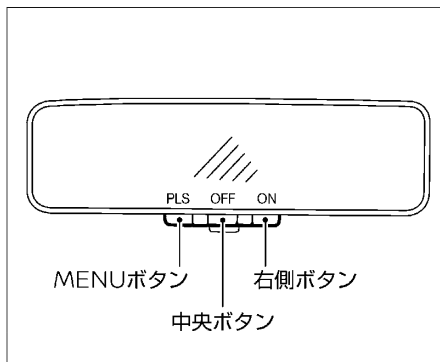
- 中央ボタンを押すと、モニター文字表示が非表示になります。
- 右側ボタンを押すと、モニター文字表示が表示されます。



■ PLSモードのON・OFFのしかた

MENUボタンを押して、PLS（Point Light Sourceモード切り替え）モードにします。

- 中央ボタンを押すと、OFFになります。
 - 右側ボタンを押すと、ONになります。
- PLSモードは、後方の車両のヘッドランプがまぶしいときなどに使用するとヘッドランプを認識しやすくなります。



知識

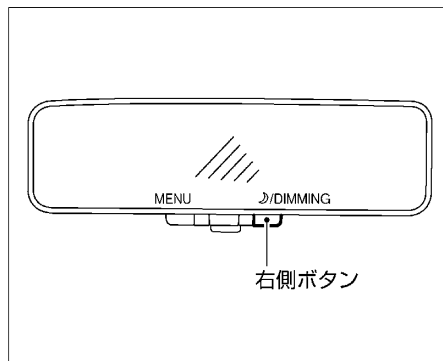
- PLSモードがONのときは、画面右上に「PLS」と表示されます。
- パワースイッチをONにするたびに、設定はOFFになります。

■ DIMMINGモードの切り替えかた（車幅灯またはヘッドランプ点灯時）

夜モード  時の画面が明るいと感じたときに右側ボタンを押すと、モニター画面の明るさを弱め、眩しさを軽減します。

（DIMMINGモード）

もう一度右側ボタンを押すと、夜モード  に切り替わります。



知識

- DIMMINGモード時は、画面右上に「DIMMING」と表示されます。
- PLSモードがONのときは、この項目は表示されません。
- パワースイッチをONにするたびに、設定は夜モード  になります。

インテリジェント ルームミラー使用時の注意事項

 警告

- **あらかじめ死角範囲を確認する。**
インテリジェント ルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- **ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしない。**
異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し日産販売会社にご相談ください。
- **走行中に操作しない。**
走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけない。**
破損や車両火災の原因となります。

 注意

- **インテリジェント ルームミラーが故障したときは、すぐにルームミラーモードに戻す。**
- **モニターを凝視しない。**
 - ー 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ー 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- **太陽や後方車両のヘッドランプなどの強い光源がカメラに入ると、インテリジェント ルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。**



アドバイス

- e-POWERシステムが停止している間に長時間使用すると12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- 無線機のアンテナをインテリジェント ルームミラー近くに取り付けしないでください。無線機の電波により、インテリジェント ルームミラーの映像に乱れが出ることがあります。
- ボタンを強く押しすぎたり、レバーを強く操作したりすると故障の原因となります。また、ミラー本体が落下するおそれがあります。
- ミラーを90度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。
- ミラー本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 車両後方についているカメラやカメラカバーに無理な力をかけないでください。カメラが外れたり、故障するおそれがあります。
- 外部光による影響でモニターが見えにくいときは、ルームミラーモード（ミラー状態）にして使用してください。
- LED光源を使用した照明の一部が映った場合、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 外部環境の乱反射により、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 素早い動きにはモニター表示が追従できない場合がありますが、故障ではありません。
- 夕暮れ時やトンネル、立体駐車場などではヘッドランプを点灯してください。ヘッドランプを点灯すると、モニターおよびカメラシステムが夜間モードになり、眩惑を防ぎます。
- ルームミラーとは後方の見えかたが異なります。インテリジェント ルームミラーの機能を過信せず、直接後方を確認するなど、責任のある運転を心掛けてください。

 アドバイス

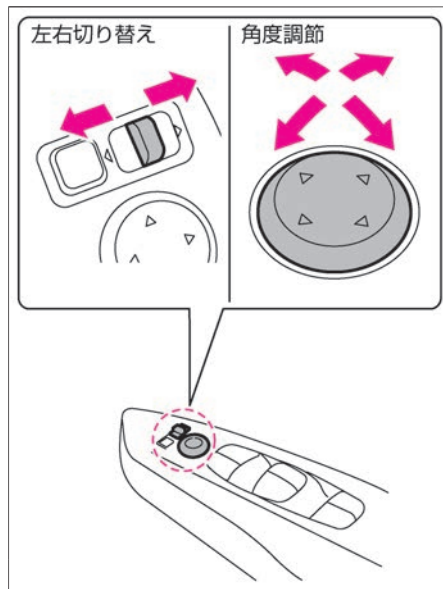
- モニターの明るさを明るく調節し過ぎると、運転中に目が疲れることがあります。明るさを適切に調節してください。
- 雨天時はリヤワイパーを併用してください。リヤワイパーを併用してもカメラ映像が不鮮明の場合、リヤワイパーゴムの劣化を確認してください。
- リヤワイパー使用中は、カメラ前をリヤワイパーが通過した際に、画面がちらつくように見える場合がありますが、故障ではありません。
- カメラ映像が不鮮明な場合は、インテリジェント ルームミラーカメラ前面のバックドアガラスを清掃してください。清掃してもカメラ映像が不鮮明な場合は、ガラス面に油膜が付いているおそれがあります。油膜取りを使用して清掃してください。
➡ 外観リヤ (P.4)、➡ インテリジェント ルームミラーのお手入れ★ (P.629)
- バックドアガラスがくもった場合は、リヤウインドーデフォグガーを使用し、バックドアガラスのくもりを取ってください。くもりが完全に取れるまではルームミラーモードで使用してください。
- インテリジェント ルームミラーのモニターが熱を帯び、高温になることがあります。が、故障ではありません。
- 遠いものや暗いときは色が認識しにくいことがあります。が、故障ではありません。インテリジェント ルームミラーのお手入れについては (➡ P.629) をお読みください。

ミラーの調節 ドアミラー

パワースイッチがONまたはOFFでACC状態のときに操作できます。
ACC状態については、オートACC機能 (➡P.238) をお読みください。

ドアミラーの角度調節のしかた

- 左右切り替えスイッチを、調節したいミラーの方に動かします。
- 角度調節スイッチを前後左右に押して、鏡面角度を調節します。



警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

ドアミラーの格納のしかた

- スイッチを押すと、左右のミラーが格納します。
- スイッチをもう一度押すと、元の位置に戻ります。



⚠ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れない。
手を挟んだり、ミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。



アドバイス

- 手動でミラーを開閉しないください。手動で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手動で開閉してしまったときは、走行前にスイッチで開閉操作を行ってください。



知識

- スイッチ操作を連続して行くと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉するとパワースイッチをONにしたとき、格納スイッチの位置によりミラーが動き出すことがあります。

■ キーロック連動格納機能について

ドアの施錠に連動させ、ミラーを格納することができます。ドアミラー格納スイッチが押し込まれていない状態で使います。

- リモコンまたは、ドアハンドルのスイッチで施錠すると、左右のミラーが格納されます。
- パワースイッチをONにすると、元に戻ります。

■ ドアミラーヒーターの使いかた★

- パワースイッチがONのとき、リヤウインドーデフォッガースイッチ (➡P.559) を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し、霜やくもりが取れます。

知識

- ドアミラー格納スイッチが押し込まれているときは、キーロック連動格納機能は作動しません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「車両設定」⇒「ミラー自動格納」を選択すると、キーロック連動格納機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.85)
➡ 車両設定 (P.102)

パワーウィンドー

パワースイッチがONのとき操作できます。

パワーウィンドーの開けかた、閉めかた

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチおよび後席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。

開けるには

- スイッチを軽く押すと、押している間だけ開きます。

閉めるには

- スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

自動開閉するには

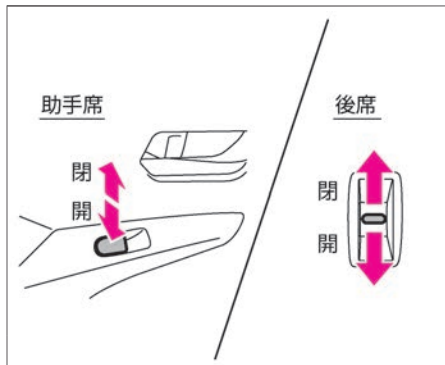
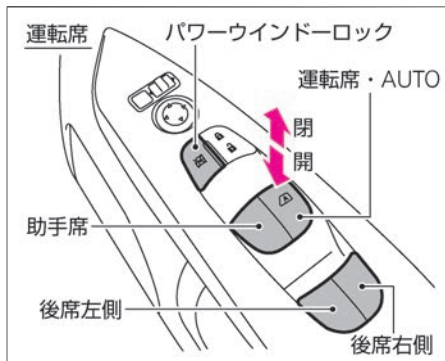
運転席の窓ガラスはワンタッチで自動開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

開閉操作をロックするには

お子さまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

- パワーウィンドーロックスイッチを押し込むと、運転席以外の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すとロックが解除されます。



警告

- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。

- ー 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- ー 窓ガラスを開閉するときには、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ー お子さまにはパワーウィンドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウィンドーロックスイッチを押し込んでください。
- ー 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。
- ー 車から離れるときはパワースイッチをOFFにし、キーとお子さまを

窓ガラスの開閉 パワーウィンドー

警告

車室内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

キーOFF後作動機構

- 運転席の窓ガラスは、パワースイッチをOFFにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアまたは助手席ドアを開けると、窓ガラスの開閉はできなくなります。

挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスをワンタッチで閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。

注意

- 指などを挟まれないように注意する。
窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

知識

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

正常に作動しないとき

運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

- ① e-POWERシステムを始動します。
- ② スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
- ③ スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
- ④ 正常に作動することを確認し、正常に作動しないときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

燃料補給口

給油口にキャップがない燃料タンクです（キャップレス給油口）。リッドを開け、給油ノズルを直接差し込むだけで給油することができます。給油ノズルを引き抜くと、給油口が密閉します。給油口は運転席側の車両後方にあります。

燃料の補給

燃料タンクの容量は、約55ℓです。

エンジン型式	指定燃料
HR12DE	無鉛レギュラーガソリン



アドバイス

- 指定以外の燃料は補給しないでください。



知識

- 燃料が少なくなるとアドバンスドドライバアシストディスプレイに警告が表示されます。
警告メッセージ (➡P.543)

燃料補給のしかた

- 1** 運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。

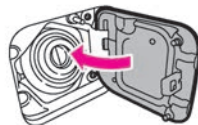


- 2** 給油ノズルをゆっくりとしっかり奥まで差し込み、給油します。
給油中はノズルを動かさないでください。



- 3** 給油ノズルが自動停止したら、給油ノズルに残っている燃料がこぼれないように、約5秒待ってから給油ノズルを引き抜きます。

- 4** リッドを閉めます。



燃料補給時の注意事項

 警告

- 燃料補給時は、次のことを必ず守る。
 - e-POWERシステムを停止する
 - 車のドアや窓を閉める
 - タバコなどの火気を近づけない
 - 気化した燃料を吸わない
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去する。
放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行う。
作業中に車室内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。
給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしない。
継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守る。
- 給油自動停止後、すぐに給油ノズルを引き抜かない。
給油ノズル内に残った燃料がこぼれ出るおそれがあります。
- 携行缶から給油する場合、給油ノズルを確実に奥まで差し込む。
給油口には2枚のフラップがあります。給油ノズルを2枚目のフラップの奥まで差し込まないと、給油できず燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。

次ページに続く

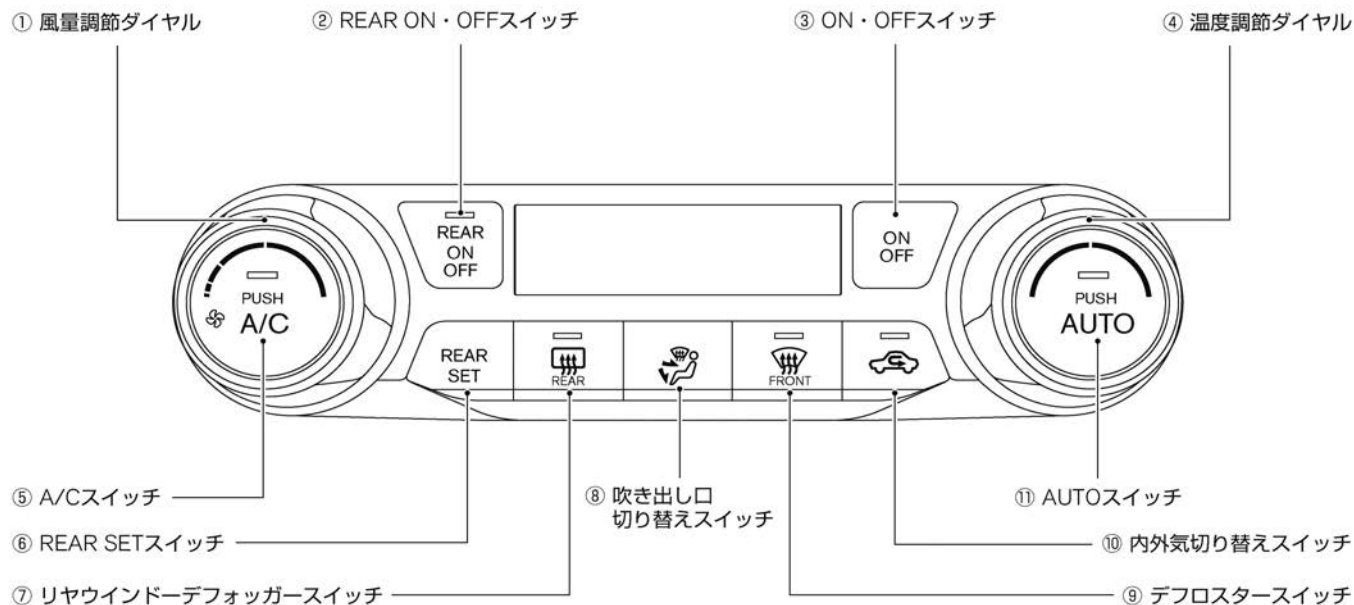
注意

- フラップを指などの給油ノズル以外のものでも開く、またはのぞき込んだりしない。
フラップの故障やシール不良、損傷のおそれがあります。
- リッドが開いた状態で、高圧洗浄機で給油口付近を洗浄しない。
燃料タンク内に水が混入するおそれがあります。

オートデュアルエアコン★

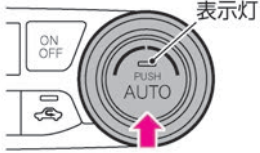
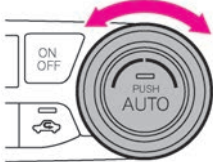
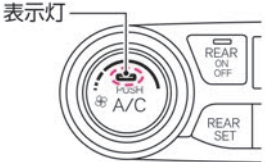
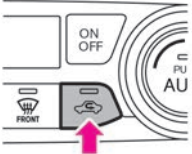
吹き出し温度、吹き出し口、風量を自動で制御し、設定した温度に保ちます。
また、内気循環／外気導入を自動制御モードに設定することで自動制御に切り替えます。

各スイッチの名称と機能



- ① **風量調節ダイヤル**
ダイヤルを回して風量を切り替えます。
- ② **REAR ON・OFFスイッチ**
後席用エアコンのON・OFFを切り替えます。
- ③ **ON・OFFスイッチ**
オートデュアルエアコンのON・OFFを切り替えます。
- ④ **温度調節ダイヤル**
ダイヤルを回して設定温度を切り替えます。(18℃～32℃)
- ⑤ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能ON・OFFを切り替えます。
- ⑥ **REAR SETスイッチ**
表示部にREARと表示され、前席で後席用エアコンを操作できます。
- ⑦ **リヤウインドーデフォグgersスイッチ (➡P.559)**
バックドアガラスのくもりを取ります。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動して霜やくもりを取ります。
- ⑧ **吹き出し口切り替えスイッチ (➡P.219)**
スイッチを押すごとに、吹き出し口が切り替わります。
- ⑨ **デフロスタースイッチ (➡P.558)**
フロントガラスのくもりが取れます。
- ⑩ **内外気切り替えスイッチ**
スイッチを押すごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。(内気循環のとき、スイッチの表示灯が点灯します。)
- ⑪ **AUTOスイッチ**
自動制御に切り替えます。吹き出し温度、吹き出し口、風量の切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。

前席エアコン操作部でのオートの使いかた（前席用）

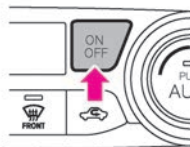
1	AUTOスイッチを押します。 （スイッチの表示灯が点灯）	
2	温度調節ダイヤルを回して、設定温度を調節します。 右回し： 設定温度を上げる 左回し： 設定温度を下げる	
3	A/Cスイッチの表示灯が消灯しているときは、A/Cスイッチを押します。（スイッチの表示灯が点灯） A/Cスイッチ点灯時：冷房・除湿機能ON	
4	内外気切り替えスイッチを約2秒間押し続けます。 スイッチの表示灯が2回点滅すると、自動制御モードに切り替わります。	

知識

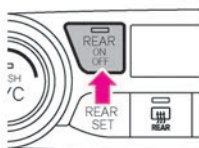
- オートで使用中に風量の調節または吹き出し口の切り替えを行うとAUTOスイッチの表示灯は消灯しますが、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。
また、内気循環／外気導入が自動制御モード中に内外気切り替えスイッチを押すと、マニュアルモードに切り替わります。
（点灯の場合は内気循環、消灯の場合は外気導入の状態になります。）
- パワースイッチをOFFにし、再度パワースイッチをONにすると、エアコンの条件によっては、内気循環／外気導入が自動制御モードになる場合があります。

前席エアコン操作部でのオートの使いかた（後席用）

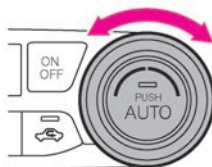
1 ON・OFFスイッチを押します。



2 REAR ON・OFFスイッチを押して後席用エアコンをONにします。



3 温度調節ダイヤルを回して、設定温度を調節します。
右回し： 設定温度を上げる
左回し： 設定温度を下げる



知識

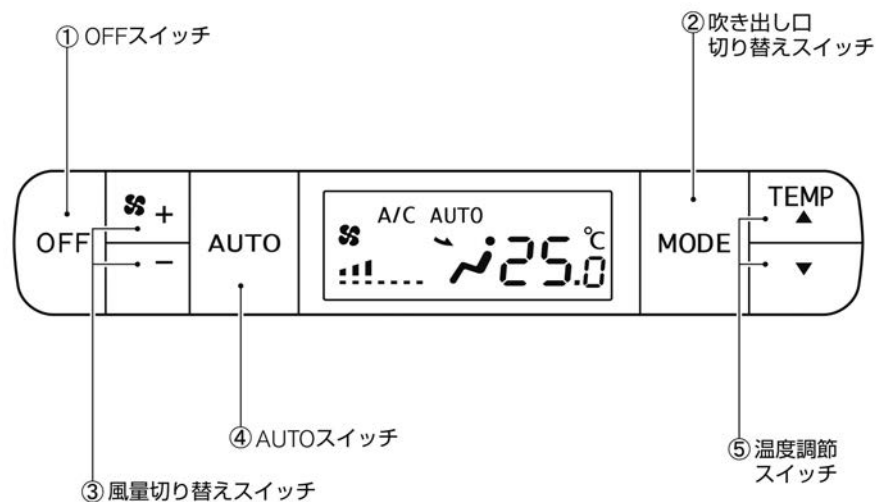
ヒーターとして使うとき

- 除湿を行わない自動調節のヒーターとして使えます。
 - － ①後席用エアコン作動中、REAR SETスイッチを押してリヤ操作画面に切り替えます。（表示部に「REAR」と表示）
 - － ②吹き出し口切り替えスイッチを押して、後席の吹き出し口を足元にします。
 - － ③温度調節ダイヤルを回して希望温度にします。
 - － ④REAR SETスイッチを押して、フロント操作画面に切り替えます。
 - － ⑤A/Cスイッチを押して、スイッチの表示灯を消灯させます。
- ヒーターとして使うときは、天井の吹き出し口からは送風されません。また、車内温度は外気温度より低くなりません。外気温、湿度が低いときなどに使ってください。
- 除湿しながら暖房したいときは、A/Cスイッチを押してエアコン（冷房・除湿機能）を作動させてください。

 知識

- 必要のないときは後席用エアコンをOFFにすると燃費がよくなります。
 - － 暖房使用時：3列目に人が乗っていないとき
 - － 冷房使用時：2列目以降に人が乗っていないとき

各スイッチの名称と機能（後席用）



- 前席用エアコン作動時に使えます。
- 前席でREAR ON・OFFスイッチの表示灯が消灯している場合でも、後席AUTOスイッチを押すと使うことができます。
- 後席エアコン操作部は、セカンドシートの天井部中央にあります。

① **OFFスイッチ**

エアコンがOFFになります。

② **吹き出し口切り替えスイッチ**

スイッチを押すごとに、吹き出し口が切り替わります。

③ **風量切り替えスイッチ**

風量が切り替わります。

＋…風量が多くなる

－…風量が少なくなる

④ **AUTOスイッチ**

吹き出し温度、吹き出し口、風量の切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。

⑤ **温度調節スイッチ**

設定温度が調節できます。(18℃～32℃)

▲…温度を上げる

▼…温度を下げる

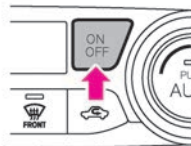


アドバイス

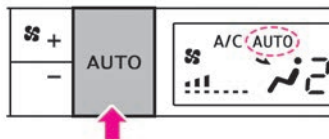
- 前席でREAR ON・OFFスイッチを押すと、前席エアコン表示部にREARと表示され、前席で後席エアコンの操作が行えます。
- 後席エアコン作動時、前席でREAR SETスイッチを押すと、前席エアコン表示部にREARと表示され、前席で後席エアコンの操作が行えます。

後席エアコン操作部でのオートの使いかた（後席用）

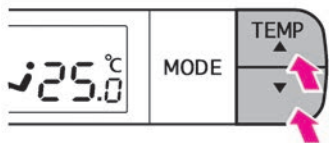
- 1** 前席エアコン操作部のON・OFFスイッチを押してONにします。



- 2** 後席エアコン操作部のAUTOスイッチを押します。
（表示部にAUTOが表示）



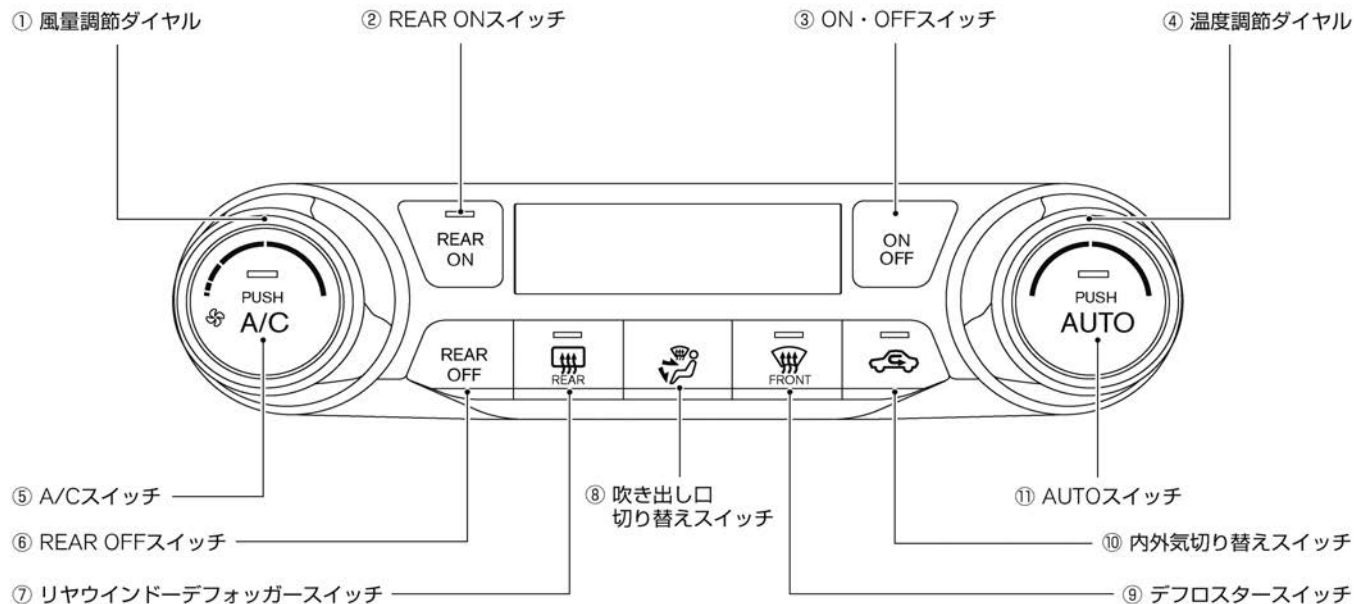
- 3** 後席エアコン操作部の温度調節スイッチを押して、設定温度を調節します。
▲：設定温度を上げる
▼：設定温度を下げる



エアコンの操作 オートエアコン★

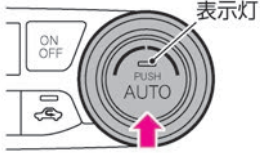
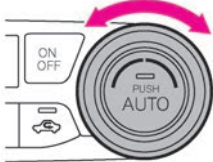
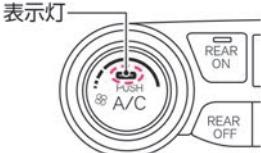
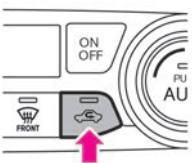
吹き出し温度、吹き出し口、風量を自動で制御し、設定した温度に保ちます。
また、内気循環／外気導入を自動制御モードに設定することで自動制御に切り替えます。

各スイッチの名称と機能



- ① **風量調節ダイヤル**
ダイヤルを回して風量を切り替えます。
- ② **REAR ONスイッチ**
後席リヤクーラーがONになります。
- ③ **ON・OFFスイッチ**
オートエアコンのON・OFFを切り替えます。
- ④ **温度調節ダイヤル**
ダイヤルを回して設定温度を切り替えます。(18℃～32℃)
- ⑤ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能ON・OFFを切り替えます。
- ⑥ **REAR OFFスイッチ**
後席リヤクーラーがOFFになります。
- ⑦ **リヤウインドーデフォグgersスイッチ (➡P.559)**
バックドアガラスのくもりを取ります。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動して霜やくもりを取ります。
- ⑧ **吹き出し口切り替えスイッチ (➡P.219)**
スイッチを押すごとに、吹き出し口が切り替わります。
- ⑨ **デフロスタースイッチ (➡P.558)**
フロントガラスのくもりが取れます。
- ⑩ **内外気切り替えスイッチ**
スイッチを押すごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。(内気循環のとき、スイッチの表示灯が点灯します。)
- ⑪ **AUTOスイッチ**
自動制御に切り替えます。吹き出し温度、吹き出し口、風量の切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。

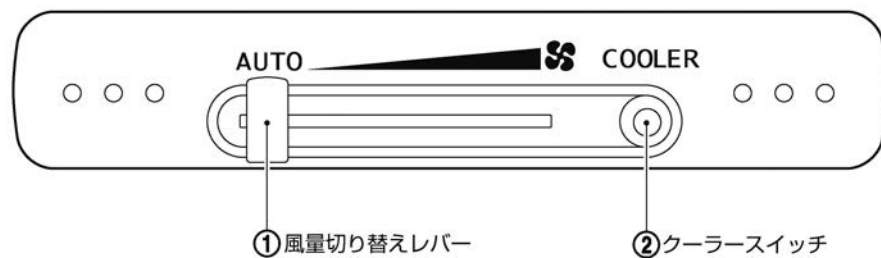
オートでの使いかた

1	AUTOスイッチを押します。 (スイッチの表示灯が点灯)	
2	温度調節ダイヤルを回して、設定温度を調節します。 右回し： 設定温度を上げる 左回し： 設定温度を下げる	
3	A/Cスイッチの表示灯が消灯しているときは、A/Cスイッチを押します。(スイッチの表示灯が点灯) A/Cスイッチ点灯時：冷房・除湿機能ON	
4	内外気切り替えスイッチを約2秒間押し続けます。 スイッチの表示灯が2回点滅すると、自動制御モードに切り替わります。	

知識

- オートで使用中に風量の調節または吹き出し口の切り替えを行うとAUTOスイッチの表示灯は消灯しますが、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。
また、内気循環／外気導入が自動制御モード中に内外気切り替えスイッチを押すと、マニュアルモードに切り替わります。
(点灯の場合は内気循環、消灯の場合は外気導入の状態になります。)
- パワースイッチをOFFにし、再度パワースイッチをONにすると、エアコンの条件によっては、内気循環／外気導入が自動制御モードになる場合があります。

各スイッチの操作と機能（リヤクーラー）



- 前席用エアコン作動時に使えます。また、前席でREAR ONスイッチを押していない場合でも、クーラースイッチを押すと使うことができます。
- 後席クーラー操作部は、セカンドシートの天井部中央にあります。

① 風量切り替えレバー

レバーを動かし、風量を調節します。AUTO位置にあるときは、風量が自動調節されます。

左側：風量少ない

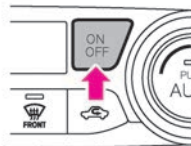
右側：風量多い

② クーラースイッチ

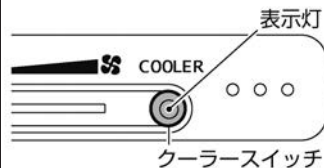
スイッチを押すごとに、リヤクーラーのON・OFFが切り替わります。

リヤクーラーの使いかた

- 1 前席エアコン操作部のON・OFFスイッチを押してONにします。



- 2 クーラースイッチを押します。
(スイッチの表示灯が点灯)



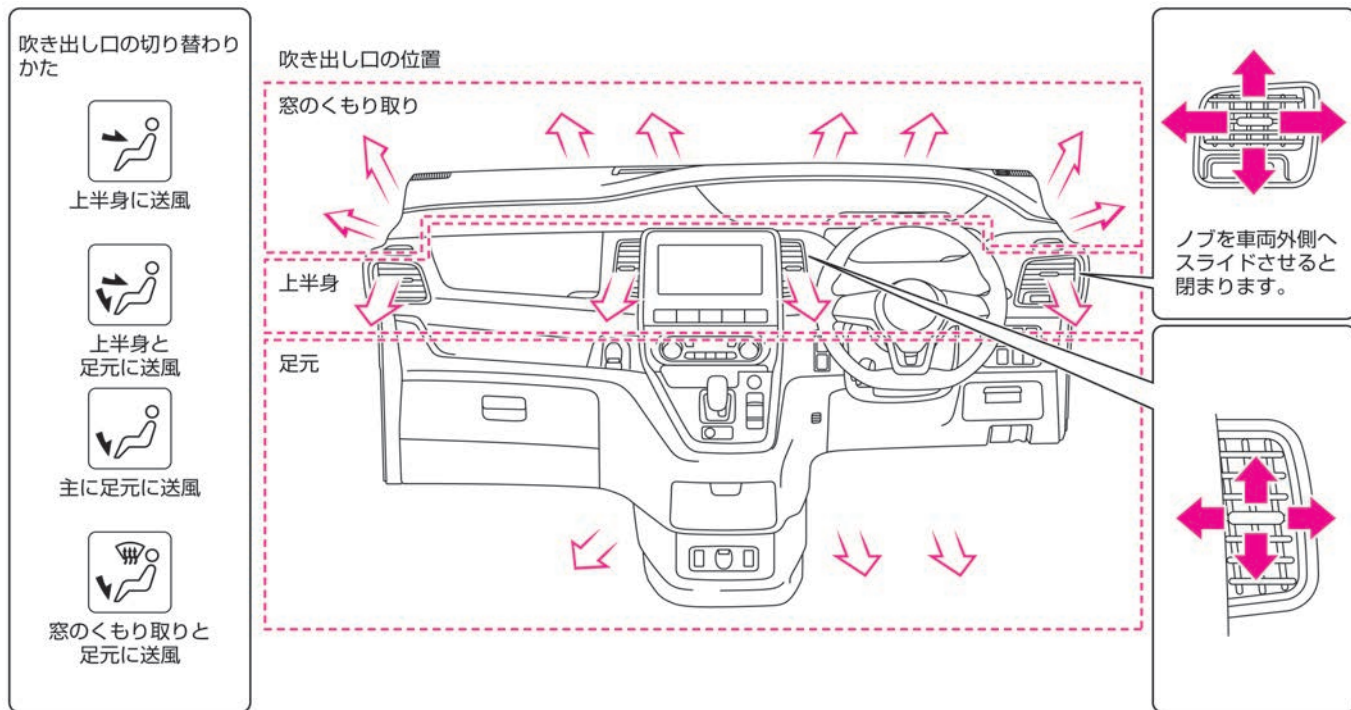
- 3 風量切り替えレバーを動かし、風量を調節します。
AUTO位置にあるときは、風量が自動調節されます。



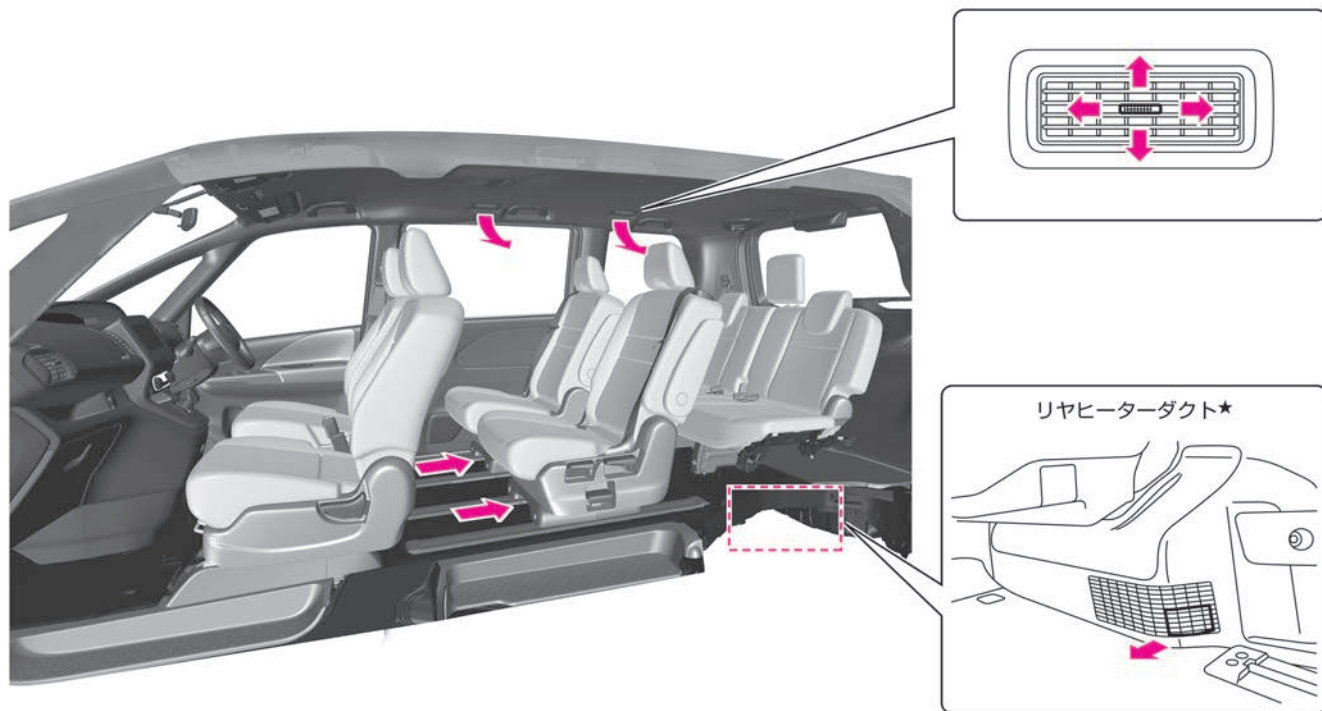
- 4 止めるときはクーラースイッチ、または前席エアコン操作部のREAR OFFスイッチを押します。

エアコンの操作 吹き出し口

吹き出し口切り替えスイッチを押すごとに吹き出し口が切り替わります。

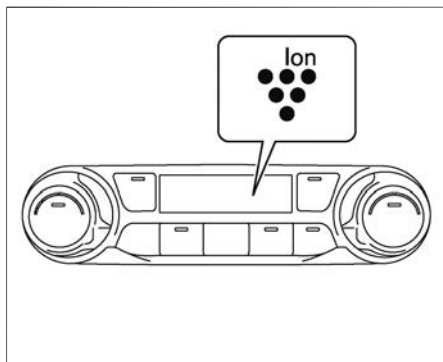


次ページに続く



■ プラズマクラスターイオン[®]オートエアコン（除湿機能付）★

- 送風中は常時作動し、高濃度プラズマクラスターイオンをエアコンの吹き出し風に含ませ、除菌とともに内装に染み付いたにおいを低減します。
さらに肌の保湿効果をプラスしました。



📖 知識

- 本商品には、シャープ株式会社のプラズマクラスターイオン技術を搭載しています。プラズマクラスター、プラズマクラスターイオンおよびPlasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。

エアコンに関する注意事項

警告

- 内気循環で長時間使用しない。
窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険ですので、一時的にご使用ください。

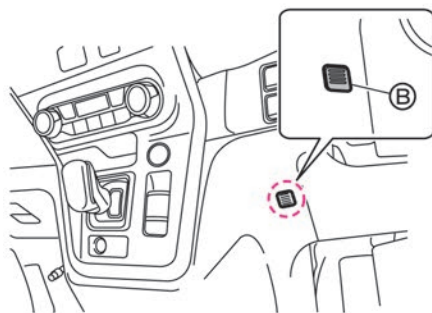
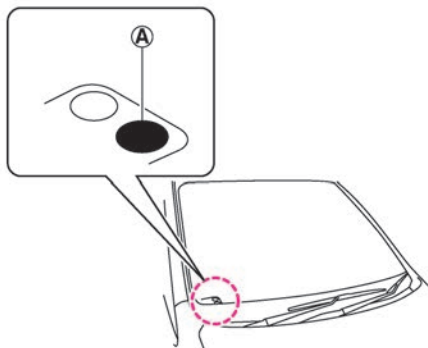
注意

- 吹き出し風を長時間連続して身体にあてない。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間あたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- デフロスタースイッチをONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- オートエアコンの自動温度調節は、日射センサー①と温度センサー②で行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

 アドバイス



アドバイス

- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんし、タバコやペットなどのにおいをフィルター内の活性炭が吸着除去するクリーンフィルター（脱臭機能付）を装着しています。集じん・脱臭性能を維持するため、クリーンフィルター（脱臭機能付）は定期的に交換してください。

交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと

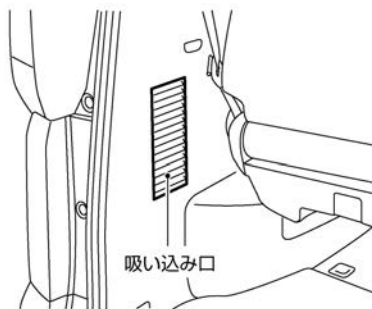
- クリーンフィルター（脱臭機能付）が交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコン装置のオイル循環を切らさないために、ときどきA/CスイッチをONにしてください。なお、外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ずHFC134a（R134a）を入れてください。
- 地球温暖化防止のためエアコンガスを大気放出しないでください。
- この車両では、エアコンのシステムに特殊なオイルを使用しています。エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。

知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が0℃近くまで下がると、A/Cスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。

知識

- エアコンがONのとき、またはOFFにした直後に、“カチカチ”、“シュー”、“コツ”などの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- エアコンの運転中または運転後などに車両の下に水が垂れることがあります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。
- ラゲッジルームにある吸い込み口を荷物などでふさがないでください。吹き出し風量が減少するおそれがあります。



エアコンのにおいについて

- エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じることがあります。

エアコンを使うときに注意すること

知識

- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

安全運転のために

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお聞きください。

ラジオの受信について

- ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。

警告

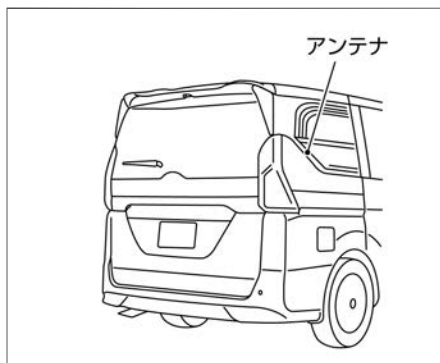
- 走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。
前方不注意となるおそれがあります。
- 音量を大きくしない。
大きすぎると車外の状況が分からないため、思わぬ事故の原因となります。

知識

- オーディオを聞いているとき、車室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

■ アンテナについて

- アンテナ線は、リヤサイドガラスの内側にあります。



🚗 アドバイス

- リヤサイドガラスにミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- リヤサイドガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽くふいてください。
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ステアリングスイッチ★

日産オリジナルナビゲーションシステムを操作することができます。

① 音量スイッチ (+/-)

音量を調節できます。

＋：音量を上げる

－：音量を下げる

押したままにすると連続して音量の増減ができます。

② 選曲／選局スイッチ

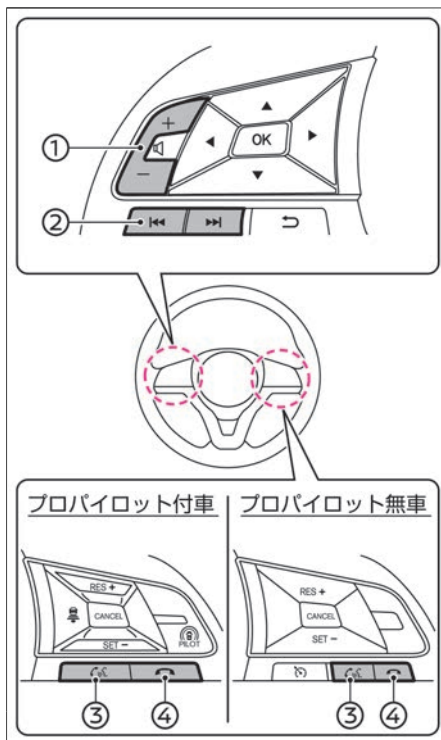
曲や放送局などの切り替えができます。

③ 通話開始スイッチ

着信中に押すと電話を受けます。

④ 通話終了スイッチ

通話中に押すと電話を切ります。



知識

- 取り扱いについては、日産オリジナルナビゲーションシステム用取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。
- 日産純正品以外のナビゲーションシステムでは作動の保証はいたしません。

MEMO

始動する

パワースイッチ	P.233
オートACC機能	P.238

運転する

セレクトレバー	P.239
パーキングブレーキ★	P.242
電動パーキングブレーキ★	P.243
オートブレーキホールド★	P.248
発進	P.253
停車・駐車	P.257

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ（タイプA）	P.259
ライトスイッチ（タイプB）	P.275
ヘッドランプレベライザースイッチ （ハロゲンヘッドランプ付車）	P.290
フォグランプスイッチ★	P.292
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.293

運転支援機能

e-POWER Drive	P.297
チャージモード	P.302
マナーモード	P.304
クルーズコントロール★	P.306
ABS（アンチロックブレーキシステム）	P.311
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）	P.312
ヒルスタートアシスト	P.316
車両接近通報装置	P.318
走行支援システム	P.320
プロパイロット★	P.322
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.360
踏み間違い衝突防止アシスト	P.371
BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI （後側方衝突防止支援システム）	P.393
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI （車線逸脱防止支援システム）	P.409
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）	P.417
RCTA（後退時車両検知警報）	P.423
インテリジェント DA（ふらつき警報）★	P.432
標識検知機能	P.435

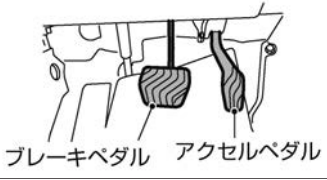
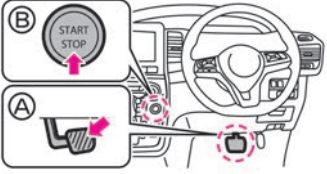
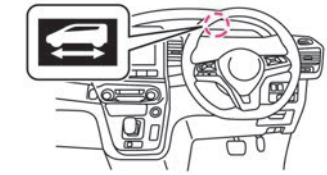
カメラシステム

インテリジェント アラウンドビューモニター
(移動物 検知機能付) ★ P.443

インテリジェント アラウンドビューモニターに関する
注意事項★ P.456

始動する パワースイッチ

e-POWERシステムの始動のしかた

1	アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（➡P.28）がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。	 ブレーキペダル アクセルペダル
2	ブレーキペダル④をしっかりと踏み込みながら、パワースイッチ③を1回押します。	
3	メーター内の走行可能表示灯  が点灯し、走行できるようになります。	

⚠ 警告

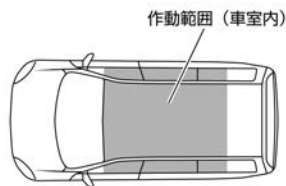
- e-POWERシステムを始動する前にペダルの位置を確認する。
ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- 換気の悪い場所では、暖機運転をしたりe-POWERシステムを長時間作動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- e-POWERシステムを始動するときは、必ず運転席に座る。
運転席以外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 車両状態によってはパワースイッチを押したあと、走行可能表示灯  が点滅から点灯に変わるまでにエンジンが作動することがあります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が低下している状態ではパワースイッチを押したあと、走行可能表示灯  が点滅から点灯に変わるまでに数分かかることがあります。その間は、エネルギーモニターやバッテリー充電表示などは表示されません。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- システム始動前のペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、走行可能表示灯  が点灯しませんので、ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。

知識

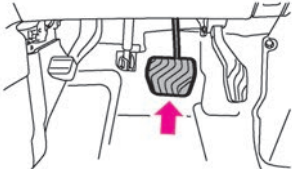
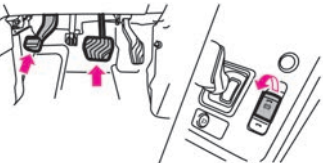
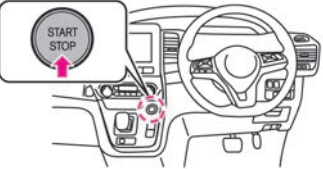
- キーが作動範囲（車室内）にあるときに、e-POWERシステムを始動することができます。



- e-POWERシステムが始動できない場合には、一旦パワースイッチをOFFにして、5秒以上待ってから再始動してください。

始動する パワースイッチ

e-POWERシステムの停止のしかた

1	ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。	
2	ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。 ① パーキングブレーキのかけかた (P.242) ② 電動パーキングブレーキのかけかた (P.243)	
3	セレクトレバーの下側にあるⓅスイッチを押し、シフトポジションをPに切り替えます。 ① セレクトレバーの操作 (P.239)	
4	パワースイッチを押します。 走行可能表示灯  が消灯していることを確認したら、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。	

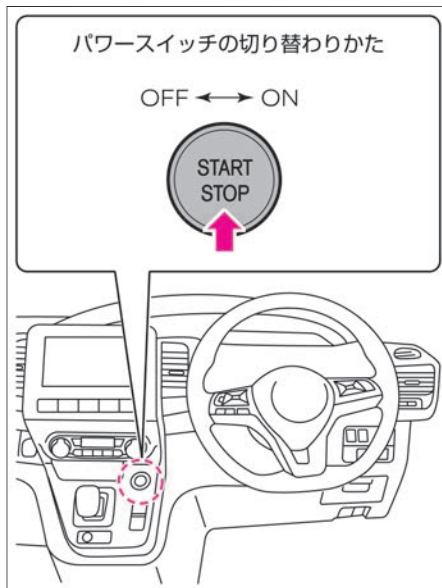
次ページに続く

パワースイッチでのモードの切り替えかた

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、次のようにモードが切り替わります。

モード	働き
OFF	● ドアミラーなどが使える位置（ACC状態のとき） ● e-POWERシステムを停止する位置
ON	● すべての電装品が使える位置

- キー（インテリジェントキー）を携帯しているときに、次の作動をします。
 - － ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、モードが切り替わります。
 - － ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すと、e-POWERシステムが始動します。
 - － e-POWERシステムが始動中にパワースイッチを押すと、e-POWERシステムが停止します。



アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、電装品はe-POWERシステムを始動した状態でご使用ください。e-POWERシステムを始動しないときは、電装品を長時間使用することや同時に複数使用することは避けてください。
- 次の条件がそろった状態で約10分経過すると自動的にパワースイッチがOFFになります。
 - － パワースイッチがONのとき
 - － 停車しているとき
 - － 非常点滅表示灯および方向指示器が作動していないとき

知識

- パワースイッチがOFFの位置でも、ACC状態のときはドアミラーなどの電装品を使うことができます。ACC状態については、オートACC機能（ P.238）をお読みください。

e-POWERシステムの非常停止のしかた

緊急時など、走行中に強制的にe-POWERシステムを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- パワースイッチをすばやく3回押す。
- パワースイッチを2秒以上押し続ける。

警告

- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。
非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

パワースイッチがOFFのときでも、特定の条件で、ドアミラーなどの電装品が使える状態（ACC状態）に自動で切り替わる機能です。e-POWERシステムの停止後や、パワースイッチをONにする前でも、ドアミラーなどが使用できます。

オートACC機能について

- 次の場合、自動でACC状態に切り替わります。
 - ー リモコン（インテリジェントキー）機能でドアを解錠したとき
 - ー e-POWERシステムを停止したとき

ACC状態を停止するには

- 次の場合、ACC状態が完全に停止します。
 - ー ACC状態のまま約13分間経過したとき
 - ー e-POWERシステム停止後、リモコン（インテリジェントキー）機能で施錠してから3分間経過したとき



アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、電装品はe-POWERシステムを始動した状態でご使用ください。やむをえず使用するときは、長時間使用したり、同時に複数の電装品を使用しないでください。



知識

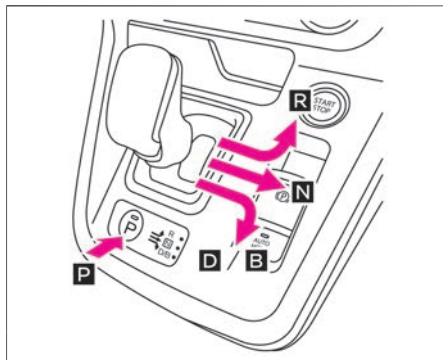
- キーロック連動格納機能によってドアミラーが格納されている場合は、ACC状態でドアミラー格納スイッチを押しても作動しません。
 ➡ キーロック連動格納機能について (P.197)
- ディーラーオプションのナビゲーションシステム★を取り付けた場合は、パワースイッチをOFFにするとオーディオおよびナビゲーションシステムもOFFになります。

セレクトレバー

メーター内の走行可能表示灯  が点灯しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。セレクトレバーを操作したあとは、目的のシフトポジションに切り替わっていることを必ず確認してください。

セレクトレバーの操作

P	セレクトレバーの下側にあるⓅスイッチを押します。
R	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って車両前方へスライドさせます。
N	ブレーキペダルを踏みながら、右にスライドさせ、しばらく保持します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って右手前にスライドさせます。
B	D のときに右手前にスライドすると B に切り替わります。もう一度スライドすると D に戻ります。(NORMALモードのみ  e-POWER Drive (P.297))



注意

- セレクトレバーには物を掛けない。車両が突然発進するなど、事故の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けしないでください。故障の原因になります。
- ➡ ポジションインジケーター (P.74)

知識

- セレクトレバーは、操作後に手を離すと中央に戻ります。
- セレクトレバーが中央に無いときは、Ⓟスイッチを押しても**P**に切り替えられません。
- シフトポジションを**R**に切り替えるとブザーが鳴ります。
- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションは**N**に切り替わります。
 - ー 前進中にシフトポジションを**R**に切り替える
 - ー 後退中にシフトポジションを**D**に切り替える

知識

- S (Smart) モードやECOモード (➡P.297) のときはシフトポジションを **B** に切り替えることはできません。
- S (Smart) モード、ECOモード時にシフトポジションを **B** に切り替える操作を行っても「ピピッ」と警告音が鳴りシフトポジションは **B** に切り替わりません。
- NORMALモードでシフトポジションが **B** のときに、S (Smart) モードまたはECOモードへ切り替えるとシフトポジションは **D** になります。
その後もう一度、NORMALモードに切り替えるとシフトポジションは **B** になります。ただしパワースイッチをOFF、またはシフトポジションを **P・N・R** にしてからNORMALモードに切り替えた場合は、シフトポジションは **D** になります。
➡e-POWER Drive (P.297)
- この車両にはオートP機能 (➡P.241) がありますが、電制シフトが故障した場合は、シフトポジションが **P** 以外でパワースイッチをOFFにしようとしても、ブザーが鳴り、パワースイッチをOFFに切り替えられません。

知識

- パワースイッチをOFFにできないときは、次の操作を行ってください。
- ー ①停車してパーキングブレーキをかけます。
 - ー ②ブレーキペダルを踏み込みながらパワースイッチを押して、パワースイッチをONに切り替えます。
 - ー ③セレクトレバーの下側にある **P** スイッチを押して **P** に切り替えます。
 - パワースイッチがONでも走行可能表示灯  が点灯していないときは、**D・B・R** には切り替えられません。
 - 以下の条件が重なったとき、シフトポジションが自動で **P** に切り替わる場合があります。
 - ー S (Smart) モードまたはECOモードで停車しているとき
 - ー 運転席シートベルトを外したとき
 - ー 運転席ドアを開けたとき

各シフトポジションの機能

シフトポジション	働き
P	駐車およびe-POWERシステムを始動するとき
R	後退するとき
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行するとき
B	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なとき

知識

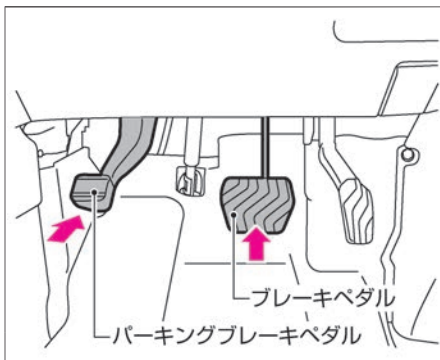
- シフトポジションを**P**に切り替えずにパワースイッチをOFFにすると、自動的にシフトポジションが**P**に切り替わります。（オートP機能）

パーキングブレーキ★

停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。パーキングブレーキペダルで操作します。

パーキングブレーキのかけかた

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。



警告

- **パーキングブレーキをかけたまま走行しない。**
ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

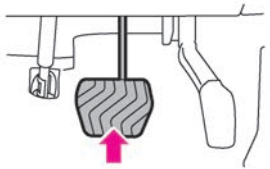
- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

パーキングブレーキの解除のしかた

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。電動パーキングブレーキスイッチで操作します。

電動パーキングブレーキのかけかた

1	ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。	
2	電動パーキングブレーキスイッチを引き上げます。 スイッチを引き上げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が点灯し、メーター内の電動パーキングブレーキ警告灯（赤色）  が、約2秒後に点灯します。	

知識

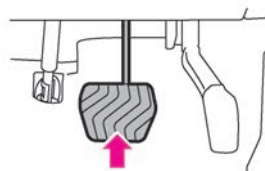
- オートブレーキホールドが作動しているときにシフトポジションを **P** にすると、パーキングブレーキがかかります。その他、オートブレーキホールドについては (➡P.248) をお読みください。

■ 急な坂道または立体駐車場に駐車するとき

- 急な坂道または立体駐車場に駐車するときは、電動パーキングブレーキスイッチを2回引き上げてください。パーキングブレーキの効きが最大になります。

電動パーキングブレーキの解除のしかた

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。



- 2 電動パーキングブレーキスイッチを押し下げます。
スイッチを押し下げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が消灯し、電動パーキングブレーキが解除されるとメーター内の電動パーキングブレーキ警告灯（赤色）が消灯します。



⚠ 警告

- 電動パーキングブレーキを作動させたまま走行しない。
ブレーキに不具合が生じ、事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- 電動パーキングブレーキは、パワースイッチがONのときのみ解除できます。

■ 自動解除のしかた

電動パーキングブレーキスイッチを操作しなくても、パーキングブレーキを解除することができます。

渋滞や上り坂での発進に便利です。

- 電動パーキングブレーキがかかっている状態でシフトポジションを **D** または **R** にし、アクセルペダルをゆっくり踏んでください。
パーキングブレーキが解除され、電動パーキングブレーキ警告灯 (P) が消灯します。
- パーキングブレーキの自動解除は、以下の条件を満たしている必要があります。
 - － 運転席シートベルトを着用している
 - － e-POWERシステムが始動している
 - － シフトポジションが **P**、**N** 以外するとき

電動パーキングブレーキに関する注意事項

⚠ 警告

- 車両を離れるときは、電動パーキングブレーキをかけたあと、シフトポジションを **P** 位置に切り替える。
- 電動パーキングブレーキをかけたり、解除したりの操作を短時間に繰り返さない。
システムの過熱を防ぐために電動パーキングブレーキが作動しなくなる場合があります。約1分間経過してから再度操作してください。

アドバイス

- 寒冷時に駐車するときは、電動パーキングブレーキをかけずにシフトポジションを **P** 位置に入れ、電動パーキングブレーキを解除したまま車輪の前後に適切な輪留めをしてください。寒冷時に電動パーキングブレーキをかけると、パーキングブレーキが凍結し、解除できなくなるおそれがあります。
- 電動パーキングブレーキが12Vバッテリーあがりや故障などで解除できなくなったときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

知識

- 電動パーキングブレーキをかけたり解除したりすると、車両の下部から作動音が聞こえることがありますが、これは異常ではありません。
- パワースイッチがOFFのときに電動パーキングブレーキスイッチを引くと、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯がしばらく点灯状態になることがあります。
- 走行中、非常事態で電動パーキングブレーキをかける必要が生じたときは、電動パーキングブレーキスイッチを引き上げ続けてください。ブザーが鳴り、電動パーキングブレーキがかかります。スイッチから手を離すと、電動パーキングブレーキは解除されます。

知識

- パワースイッチがOFFまたはACC状態のときに、電動パーキングブレーキスイッチを引くと、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯がしばらく点灯状態になることがあります。
ACC状態については、オートACC機能（➡P.238）をお読みください。

オートブレーキホールド★

オートブレーキホールド機能は、信号待ちなどで停車中にブレーキ力を保持する機能です。

オートブレーキホールド機能について

- オートブレーキホールド機能は、運転者のブレーキ操作によって停車した際に、ブレーキ力を保持する機能です。ブレーキ力が保持されているときにアクセルペダルを踏むと、ブレーキが解除され、発進することができます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイをシャシー制御に切り替えると、オートブレーキホールドの作動を画面で確認することができます。詳しくは、[\(➡P.94\)](#) をお読みください。



■ オートブレーキホールド機能の作動について

オートブレーキホールド機能をONにする

- パワースイッチをONにし、オートブレーキホールドスイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯します。
- オートブレーキホールド機能は、次の条件が満たされたときのみ、メーター内のオートブレーキホールド表示灯（白色）が点灯し、待機状態になります。（🔍P.538）
 - － 運転席シートベルトを着用している
 - － 電動パーキングブレーキが解除されている
 - － シフトポジションがP位置以外にある

オートブレーキホールド機能をOFFにする

オートブレーキホールド機能がONのとき、オートブレーキホールドスイッチを押すと、スイッチの表示灯が消灯しオートブレーキホールド機能がOFFになります。
ブレーキ力が保持されている状態で、オートブレーキホールドをOFFにするときは、ブレーキペダルを踏みながらオートブレーキホールドスイッチを押します。

⚠ 注意

- オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されているときに、オートブレーキホールド機能をOFFにするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
ブレーキが解除され車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車両が停止してもブレーキ保持が開始されないときは、オートブレーキホールド表示灯（緑色）が点灯するまでブレーキペダルを踏み込む。

📖 知識

- パワースイッチをONにしたときは、オートブレーキホールド機能はOFFになっています。

オートブレーキホールド機能の使いかた

■ ブレーキ力を保持させる

オートブレーキホールド機能が待機状態（メーター内のオートブレーキホールド表示灯  が白色に点灯）のとき、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させると、オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されます。

ブレーキ力が保持されているときは、メーター内のオートブレーキホールド表示灯  が緑色に点灯します。（➡P.538）

■ 発進する

シフトポジションが **P** または **N** 位置以外にあり、ブレーキ力が保持されている状態でアクセルペダルを踏むと、保持されているブレーキ力が解除されて発進します。

ブレーキ力の保持が解除されると、メーター内のオートブレーキホールド表示灯  が白色に点灯し、待機状態に戻ります。

知識

- 坂道では、オートブレーキホールドが作動開始するまでブレーキペダルを強く踏み込む必要があります。

オートブレーキホールド機能使用時の注意事項

⚠ 警告

- 急な坂道や滑りやすい路面で使用しない。
オートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。
- オートブレーキホールド機能が作動していても停止状態を維持できないときは、ブレーキを使用して車両を停車させる。
ブレーキ力保持状態のときに外的要因で車両が動くと、警告音が鳴り、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。
警告メッセージ (➡P.542)
- 次の場合はオートブレーキホールド機能をOFFにする。
 - 洗車機を使用するとき
 - 車両にけん引されるとき
- 次の場合はシフトポジションをP位置にしてパーキングブレーキが確実にかかっているか確認する。
 - 駐車するとき
 - 人が乗降するとき
 - 荷物の積み下ろしをするとき
車両が不意に動き出し重大な傷害や事故を起こすおそれがあります。
- メーター内のVDC警告灯 (⚠) (➡P.532)、ブレーキシステム警告灯 (黄色表示) (ⓘ) (➡P.531)、電動パーキングブレーキ警告灯 (P) (➡P.529)、またはメーター内のマスターウォーニング (⚠) (➡P.536) が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「シャシー制御表示」の警告メッセージ (➡P.543) が表示されたときは、オートブレーキホールド機能は作動しません。
- ブレーキ力を保持しているときは、車両の停車状態を維持するため、作動音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

次ページに続く



アドバイス

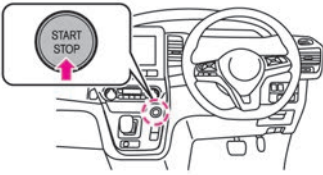
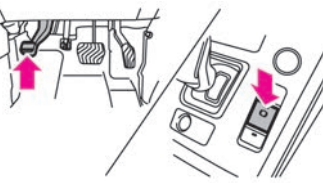
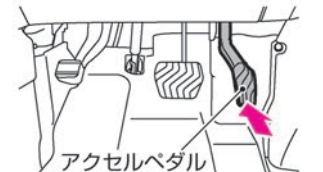
- 次の場合は、システムに異常が発生しているおそれがあります。ただちに日産販売会社で点検を受けてください。
 - ー アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されたとき
 - ー オートブレーキホールドスイッチを押してもスイッチの表示灯が点灯しないとき



知識

- オートブレーキホールド機能がONでブレーキ力が保持されているときに、次の状態になるとパーキングブレーキがかかり、ブレーキ力が解除されます。
 - ー オートブレーキホールド機能によるブレーキ力の保持が3分以上継続されたとき
 - ー 運転席シートベルトを外したとき
 - ー パワースイッチをOFFにしたとき
 - ー オートブレーキホールド機能に不具合が生じたとき
 - ー シフトポジションを **P** 位置にしたとき

発進のしかた

1	ブレーキペダルを踏んだまま、パワースイッチを押して、e-POWERシステムを始動します。 ➡ e-POWERシステムの始動のしかた (P.233)	
2	ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを右手前にスライドさせ、シフトポジションを D に切り替えます。 ➡ セレクトレバーの操作 (P.239)	
3	パーキングブレーキを解除します。 ➡ パーキングブレーキの解除のしかた (P.242) ➡ 電動パーキングブレーキの解除のしかた (P.244)	
4	ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。	

警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。
急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 停車中、シフトポジションが **D**、**N** 以外に入っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
クリープ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 電動パーキングブレーキをかけ、運転席シートベルトを着用せずにアクセルペダルを踏むと、電動パーキングブレーキが解除されず、電動パーキングブレーキが故障するおそれがあります。（電動パーキングブレーキ付車）

知識

- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト (➡ P.316) が作動します。
- 緩やかな坂道ではヒルスタートアシ

 知識

ストが作動しない場合がありますが、自動的に車両の後退を抑制する機能が働き、一定の車速以上では後退しないように制御します。

走行のしかた

- シフトポジションを **D** に入れたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。
- 下り坂では、回生ブレーキを併用して走行します。シフトポジションは **D** より **B**、ドライブモードがNORMALよりS (Smart) モード、ECOモード (→ p.297) のほうが、回生ブレーキの効きが強くなります。速度が出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。
- 回生ブレーキは、長い下り坂でリチウムイオンバッテリーが満充電になった場合や低温時、滑りやすい路面ではブレーキの効きが弱くなることがあります。
- クリープ現象について
ドライブモードがS (Smart) モード、ECOモードでアクセルペダルを戻して減速した際は、クリープ現象は発生しません。ブレーキペダルを一度踏み込んでから離すとクリープ現象が発生します。

警告

- **下り坂ではフットブレーキと回生ブレーキを併用する。**
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じて回生ブレーキを併用してください。
- **走行中はシフトポジションを **N** に入れない。**
回生ブレーキが作動しないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **回生ブレーキの効きが弱くなった場合はブレーキペダルを踏んで減速する。**
- **坂道で駐停車するときは、ブレーキを踏んで車両を停止させる。**
ブレーキを踏まずにアクセルペダル操作のみで車両を停止させ続けると、走行用モーターが過熱するおそれがあります。停車時にはアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。



アドバイス

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 上り坂でシフトポジションを **D** または **B** のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で **R** のまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 冠水路など深い水たまりは無理に走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



知識

- リチウムイオンバッテリーが満充電になった場合は、回生で発電した電力を、発電用モーターでエンジンを作動させることで消費させます。その際にエンジン音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- 走行中にセレクトレバーの下側にある **Ⓢ** スイッチを押した場合は、操作



知識

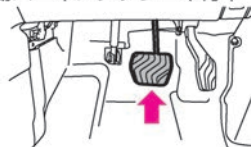
が無効となります。（ブザーが鳴り、操作前のシフトポジションが維持されます。）

停車・駐車のかた

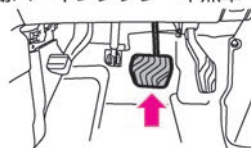
1

停車するときは、シフトポジションは**D**または**B**のままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

電動パーキングブレーキ付車



電動パーキングブレーキ無車



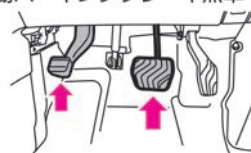
2

そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。

電動パーキングブレーキ付車



電動パーキングブレーキ無車



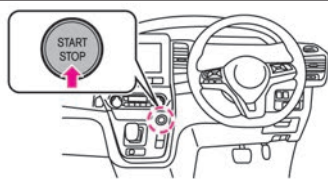
警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。
操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としただけにしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。
- 停車中の空ぶかしはしない。
万一、シフトポジションが**P**、**N**以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後に再発進するときは、シフトポジションの位置を目で確認してください。
- 換気の悪い場所では、e-POWERシステムを作動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- 3 セレクトレバーの下側にあるⓅスイッチを押し、シフトポジションを**P**に切り替えます。



- 4 パワースイッチを1回押すと、e-POWERシステムが停止します。



⚠ 警告

- 車から離れるときは、必ずシフトポジションを**P**にして、e-POWERシステムを停止する。
e-POWERシステムが作動したままで、シフトポジションが**P**、**N**以外だと、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐車しない。
排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意する。

アドバイス

- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

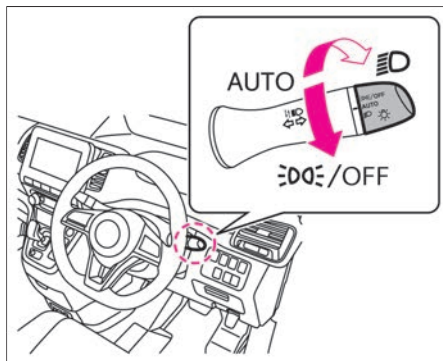
ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプA)

ライトスイッチの使いかた

スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
⌂ / OFF (⌂ / OFFの位置に回しても手を離すと自動でAUTOの位置に戻ります。)	停車時に ⌂ / OFFの位置に回すと車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。 停車時に ⌂ / OFFの位置に回して1.5秒以上保持すると、全ランプが消灯します。 走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ランプが自動点灯・消灯します。
AUTO	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯します。
☾	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているときはメーター内のテールランプ表示灯  が点灯します。



アドバイス

- e-POWERシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

知識

- 通常時はAUTOの位置で使用してください。

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したままパワースイッチをOFFにし、リモコンまたはドアハンドルのスイッチで施錠すると12Vバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。
- 次回、次の操作を行うとランプが再点灯します。
 - ー パワースイッチをONにする
 - ー ライトスイッチを操作する

ライト消し忘れ警告

- パワースイッチがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合にブザーが鳴ります。
 - ー ライトスイッチが ☾ の位置にあるとき
 - ー ライトスイッチを ⌂ / OFFの位

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ（タイプA）

知識

置に回して、メーター内のテールランプ表示灯  が点灯しているとき

オートレベライザー★

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、照射方向を調整するシステムです。

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ（タイプA）

☞ /OFFの使いかた

- ライトスイッチは ☞ /OFFの位置に回しても手を離すと自動でAUTOの位置に戻ります。
- ランプの点灯状態は次のとおりです。

ライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回したとき

- 停車時にライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回すと、車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。
- 停車時にライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回しても、走行すると周囲の明るさに応じてヘッドランプが自動点灯します。
- 走行中にライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回すと、周囲が明るいときは車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。周囲が暗いときはライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回しても、点灯しているヘッドランプを消灯できません。（停車時またはフォグランプ点灯時★のみ消灯可能です。）
- フォグランプ点灯時、車両が完全に停止する前にライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回してヘッドランプを消灯した場合、再度走行してもヘッドランプは点灯しません。再度ヘッドランプを点灯させるときは、ライトスイッチを ☞ /OFFまたは ☞ の位置に回すか、フォグランプをOFFにします。（フォグランプ付車）

ライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回して1.5秒以上保持したとき

- 停車時にライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回して1.5秒以上保持すると、全ランプが消灯します。
- 停車時にライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回して1.5秒以上保持しても、走行すると周囲が暗いときはヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
- 走行中にライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回して1.5秒以上保持しても、点灯しているランプを消灯できません。

📖 知識

- 次の操作をすると、AUTO（自動点灯・消灯）に戻ります。
 - － 再度ライトスイッチを ☞ /OFFの位置に回す
 - － ☞ の位置にしてからAUTOの位置にする

AUTO (自動点灯・消灯) の使いかた

- パワースイッチがOFFのときは消灯します。
- パワースイッチがONのときは次のように作動します。

周囲が明るいとき

- 停車中、走行中ともにヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯します。

周囲が暗いとき

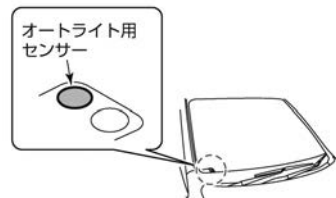
- 停車中、走行中ともにヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯します。

フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能

- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。
- 周囲が明るいときにフロントワイパーに連動してヘッドランプが点灯したときは、ライトスイッチを  /OFFの位置に回すと、ヘッドランプを消灯することができます。ヘッドランプを消灯したあとは、パワースイッチをOFFにするまでフロントワイパーに連動してヘッドランプは点灯しません。

アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラススクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「オートライト感度調整」を選択すると、インテリジェントオートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の感度調整ができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.85)

ランプをつける、ワイパーを使う
ライトスイッチ（タイプA）



➡ 車両設定 (P.102)

🔍 の使いかた

- ライトスイッチを 🔍 の位置に合わせるとヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

自動点灯ランプの消灯のしかた

ヘッドランプの消灯方法

- 停車中、ライトスイッチを ㊦ /OFFの位置に回すと、ヘッドランプが消灯します。
- 走行中、フォグランプがONの状態ではライトスイッチを ㊦ /OFFの位置に回すと、ヘッドランプが消灯します。（フォグランプ付車）

すべてのランプの消灯方法

- 停車中、ライトスイッチを ㊦ /OFFの位置に回して1.5秒以上保持すると、全ランプが消灯します。

📖 知識

- フォグランプ点灯中★を除き、ヘッドランプは走行中に消灯できない仕様となっています。

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプA)

ハイビームアシスト (ハロゲンヘッドランプ付車)

先行車または対向車や周囲の明るさなどに
応じ、ハイビーム (上向き) とロービーム
(下向き) が切り替わります。

約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが
点灯しているときに切り替えを行い、約
15km/h以下になるとロービーム (下向
き) に切り替わります。

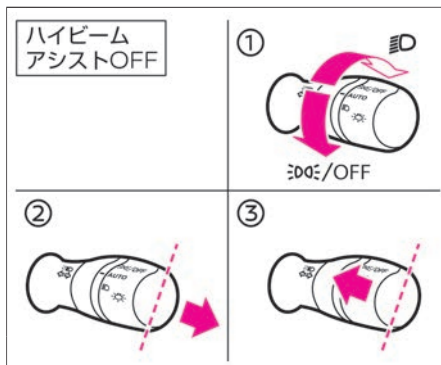
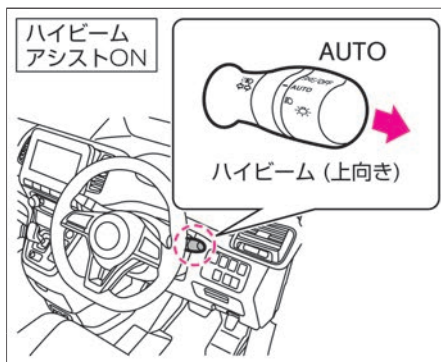
ハイビームアシストをONにする方法

- ライトスイッチがAUTOの位置でレバー
を車両前方に押すと、ハイビームアシス
トがONになります。(メーター内のハ
イビームアシスト表示灯が点灯)

ハイビームアシストをOFFにする方法

次のいずれかの操作をすると、ハイビーム
アシストがOFFになります。

- ハイビームのとき
ー ライトスイッチをAUTOの位置以外にす
る…①
ー ライトスイッチを車両前方に押す
(ハイビームに切り替わります) …②
ー ライトスイッチを車両後方に引く
(ロービームに切り替わります) …③
- ロービームのとき
ー ライトスイッチをAUTOの位置以外にす
る…①
ー ライトスイッチを車両前方に押す
(ハイビームに切り替わります) …②



警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応
じて上向きと下向きを手動で切り替
えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシ
ストが正しく作動しない場合がある
ため、必要に応じて上向きと下向き
を手動で切り替える。
 - ー 悪天候のとき (雨、霧、雪、強風
など)
 - ー 周囲にヘッドランプや尾灯に似た
光源があるとき
 - ー 対向車または先行車が無灯火のとき
 - ー 対向車のヘッドランプが汚れてい
たり、光軸がずれているとき
 - ー 明るさの急激な変化が連続してい
るとき
 - ー 段差や起伏のある道路を走行して
いるとき
 - ー カーブが多い道路を走行している
とき
 - ー ミラーや標識など反射の強いもの
が前方にあるとき

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプA)

警告

- － トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- － 対向車のヘッドランプが破損または汚れているとき
- － パンクやけん引などで車両が傾いているとき

アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーター内にハイビームアシスト表示灯  が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。
ハイビームアシスト表示灯
(P.537)

知識

- ハイビームアシストがONでロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。
(ハイビームアシストはONを維持)
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

知識

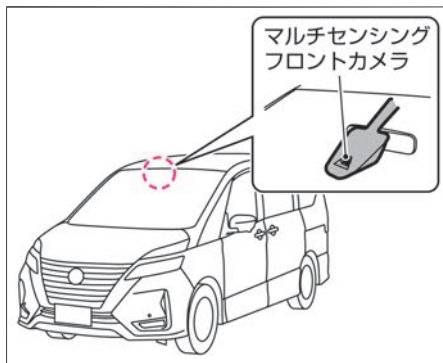
- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - － 対向車または先行車のランプの明るさ
 - － 対向車または先行車の向きや動き
 - － 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
 - － 対向車または先行車が二輪車
 - － 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
 - － 乗車している人数や荷物の量

■ マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を検知するためのカメラがあります。
ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリやステッカーなどを取り付けしないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。

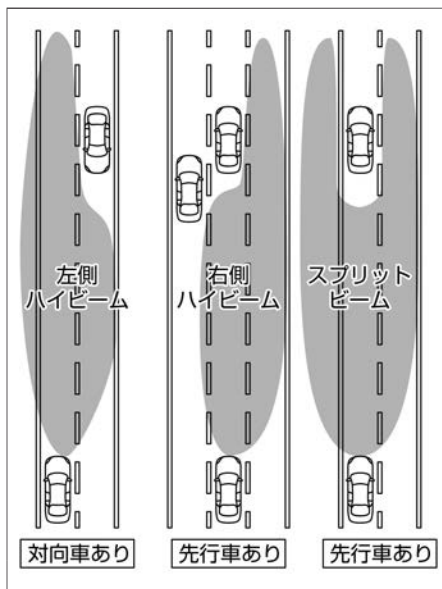
➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.622)



■アダプティブLEDヘッドライトシステム（LEDヘッドランプ付車）

先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム（上向き）の照射範囲を切り替えます。

約30km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約15km/h以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。



ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプA)

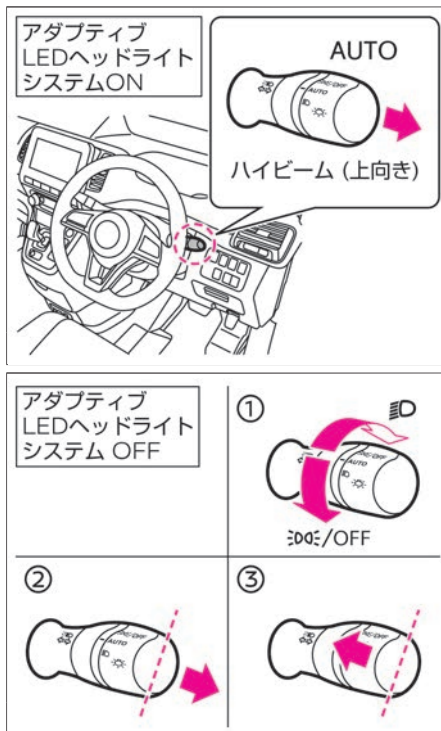
アダプティブLEDヘッドライトシステムをONにする方法

- ライトスイッチがAUTOの位置でレバーを車両前方に押すと、アダプティブLEDヘッドライトシステムがONになります。(メーター内のアダプティブLEDヘッドライト表示灯  が点灯)

アダプティブLEDヘッドライトシステムをOFFにする方法

次のいずれかの操作をすると、アダプティブLEDヘッドライトシステムがOFFになります。

- アダプティブLEDヘッドライトシステムが制御中のとき
 - ライトスイッチをAUTOの位置以外にする…①
 - ライトスイッチを車両前方に押す(ハイビームに切り替わります)…②
 - ライトスイッチを車両後方に引く(ロービームに切り替わります)…③
- アダプティブLEDヘッドライトシステムが制御していないとき
 - ライトスイッチをAUTOの位置以外にする…①
 - ライトスイッチを車両前方に押す(ハイビームに切り替わります)…②



警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- 次のようなときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。
 - 悪天候のとき(雨、霧、雪など)
 - 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
 - カメラ前方のフロントガラスが曇っていたり、汚れなどが付着しているとき
 - カメラの向きがずれているとき
 - 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
 - 対向車または先行車が無灯火のとき
 - 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたり、光軸がずれているとき
 - 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプA)

警告

- 歩行者など光を発しないものとき
- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき
- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- パンクやけん引などで車両が傾いているとき

アドバイス

- アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しなかったり、作動中にメーター内にアダプティブLEDヘッドライト表示灯  が点灯しなかったりしたときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。
アダプティブLEDヘッドライト表示灯 (🔍 P.538)

知識

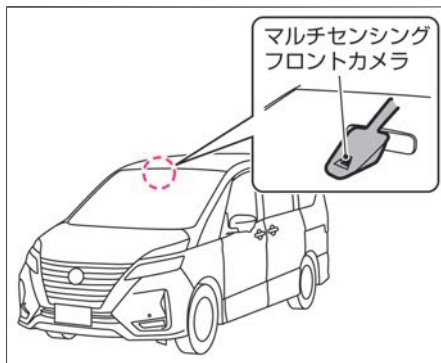
- アダプティブLEDヘッドライトシステムがONでロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。
(アダプティブLEDヘッドライトシステムはONを維持)
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。
- 次のような原因で、照射範囲の切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の向きや動き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
 - 対向車または先行車が二輪車
 - 道路状況 (カーブや勾配、路面状況など)
 - 乗車している人数や荷物の量
- 対向車または先行車を検知し、照射範囲を切り替えているときにも、ヘッドランプ上向き表示灯  が点灯することがあります。(ハイビームの一部が点灯しているため)
ヘッドランプ上向き表示灯 (🔍 P.537)

■ マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を検知するためのカメラがあります。
アダプティブLEDヘッドライトシステムを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリやステッカーなどを取り付けしないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。

➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.622)



知識

- フロントガラスが汚れていたり、マルチセンシングフロントカメラの前が障害物でふさがれていたり、カメラが前方を撮像できないとき、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「ヘッドランプ警告」の警告メッセージ (➡ P.543) が表示されることがあります。
カメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してください。

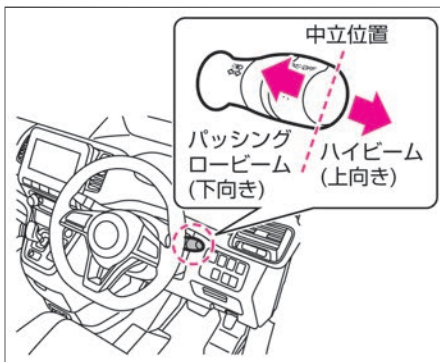
ハイビーム (上向き) への切り替えかた

ライトスイッチが ② の位置のとき

- ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。ロービームに戻りたいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。

ライトスイッチがAUTOの位置のとき

- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に2回押すとハイビームに切り替わります。(1回押すとハイビームアシスト (➡P.265) またはアダプティブLEDヘッドライトシステム (➡P.268) がONになります。)
- ロービームに戻りたいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。



アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

知識

- ハイビームに切り替えているときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯  が点灯します。
- ハイビームアシストまたはアダプティブLEDヘッドライトシステムがONのとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプA)

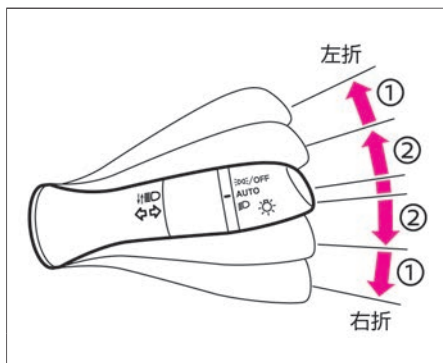
方向指示器の使いかた

パワースイッチがONのとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かし軽く押さえます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。

コンフォートフラッシャー機能について

スイッチを②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離れたときは3回点滅し消灯します。



アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。

➡ 電球 (バルブ) 交換 (P.570)



知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「車両設定」⇒「方向指示器」⇒「コンフォートフラッシャー」を選択すると、コンフォートフラッシャー機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.85)

➡ 車両設定 (P.102)

その他の機能について

■ ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）★

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。（施錠時約10秒、解錠時約30秒）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「ウェルカムヘッドライト」を選択すると、ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ [画面の切り替えかた \(P.85\)](#)

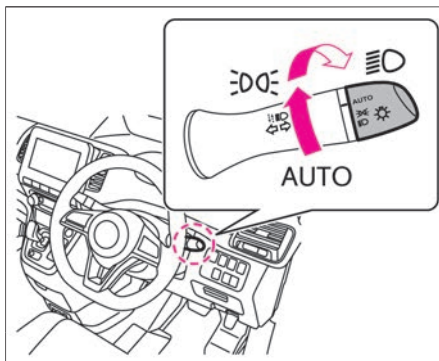
➡ [車両設定 \(P.102\)](#)

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプB)

ライトスイッチの使いかた

スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。ランプが点灯しているときはメーター内のテールランプ表示灯  が点灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
AUTO	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯
	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯 ヘッドランプが自動点灯・消灯
	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯



アドバイス

- e-POWERシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

知識

- ライトスイッチがAUTOの位置で、パーキングブレーキをかけている場合は、パワースイッチをOFFからONにしてもランプは点灯しません。
- 通常時はAUTOの位置で使用してください。

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したままパワースイッチをOFFにし、リモコンまたはドアハンドルのスイッチで施錠すると12Vバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。
- 次回、次の操作を行うとライトが再点灯します。
 - ー パワースイッチをONにする
 - ー ライトスイッチを操作する

オートレベライザー★

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ（タイプ®）

知識

人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、照射方向を調整するシステムです。

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプB)

AUTO (自動点灯・消灯) の使いかた

- パワースイッチがONのとき、スイッチ位置をAUTOの位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドランプや車幅灯などを点灯、消灯させます。
- パワースイッチがOFFのときは消灯します。
- ライトスイッチがAUTOの位置で、パーキングブレーキをかけている場合は、パワースイッチをOFFからONにしてもランプは点灯しません。
- パーキングブレーキを解除して走行した後、ランプが点灯している場合は、パーキングブレーキをかけても消灯しません。

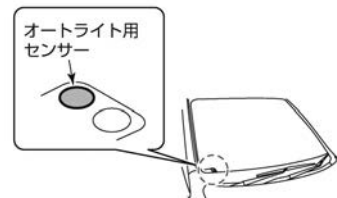
フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能

- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。



アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラススクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



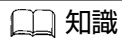
知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「オートライト感度調整」を選択すると、インテリジェントオートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の感度調整ができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。

🔍 画面の切り替えかた (P.85)

次ページに続く

ランプをつける、ワイパーを使う
ライトスイッチ (タイプB)



➡ [車両設定 \(P.102\)](#)

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ（タイプB）

☞ （ヘッドランプ自動点灯・消灯）の使いかた

- パワースイッチがONのとき、スイッチ位置を ☞ の位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドランプを点灯・消灯させます。
- 以下の場合にはヘッドランプが消灯し、車幅灯などが点灯します。
 - － パワースイッチがOFFのとき
 - － シフトポジションが **P** のとき
 - － 車両が停止している状態で、パーキングブレーキをかけているとき
 - － フォグランプ★が点灯しているときに、スイッチ位置をAUTOから ☞ 、または ☞ から ☞ にしたとき

自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）

ヘッドランプの消灯方法

- ライトスイッチを ☞ の位置にし、シフトポジションを **P** にする、またはパーキングブレーキをかけると、ヘッドランプが消灯します。

すべてのランプの消灯方法

- ライトスイッチをAUTOの位置にし、シフトポジションを **P** または **N** に入れ、パーキングブレーキをかけてパワースイッチをOFFにします。その後、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、パワースイッチをOFFからONにすると、すべてのランプが消灯状態を保ちます。

知識

- 自動点灯したヘッドランプは走行中に消灯できない仕様となっています。

ハイビームアシスト (ハロゲンヘッドランプ付車)

先行車または対向車や周囲の明るさなどに
応じ、ハイビーム (上向き) とロービーム
(下向き) が切り替わります。

約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが
点灯しているときに切り替えを行い、約
15km/h以下になるとロービーム (下向
き) に切り替わります。

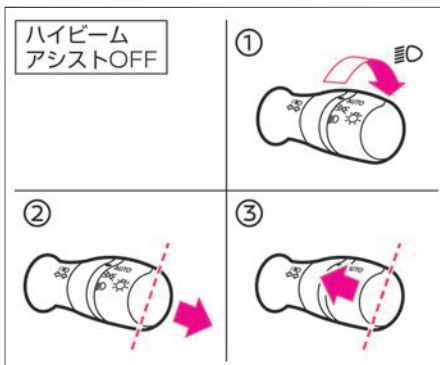
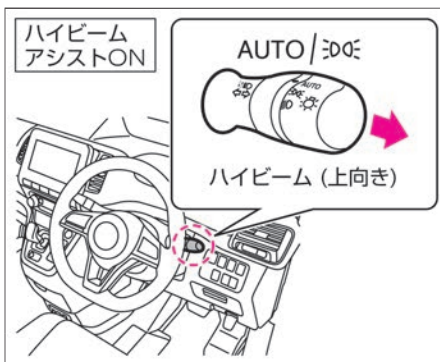
ハイビームアシストをONにする方法

- ライトスイッチがAUTOまたは  の位
置でレバーを車両前方に押すと、ハイ
ビームアシストがONになります。
(メーター内のハイビームアシスト表示
灯  が点灯)

ハイビームアシストをOFFにする方法

次のいずれかの操作をすると、ハイビーム
アシストがOFFになります。

- ハイビームのとき
ー ライトスイッチを  位置にする…①
ー ライトスイッチを車両前方に押す
(ハイビームに切り替わります) …②
ー ライトスイッチを車両後方に引く
(ロービームに切り替わります) …③
- ロービームのとき
ー ライトスイッチを  位置にする…①
ー ライトスイッチを車両前方に押す
(ハイビームに切り替わります) …②



警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応
じて上向きと下向きを手動で切り替
えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシ
ストが正しく作動しない場合がある
ため、必要に応じて上向きと下向き
を手動で切り替える。
 - ー 悪天候のとき (雨、霧、雪、強風
など)
 - ー 周囲にヘッドランプや尾灯に似た
光源があるとき
 - ー 対向車または先行車が無灯火のとき
 - ー 対向車のヘッドランプが汚れてい
たり、光軸がずれているとき
 - ー 明るさの急激な変化が連続してい
るとき
 - ー 段差や起伏のある道路を走行して
いるとき
 - ー カーブが多い道路を走行してい
るとき
 - ー ミラーや標識など反射の強いもの
が前方にあるとき

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ（タイプB）

⚠ 警告

- － トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- － 対向車のヘッドランプが破損または汚れているとき
- － パンクやけん引などで車両が傾いているとき

🚗 アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーター内にハイビームアシスト表示灯  が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。
ハイビームアシスト表示灯
(➡ P.537)

📖 知識

- ハイビームアシストがONでロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。
(ハイビームアシストはONを維持)
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

📖 知識

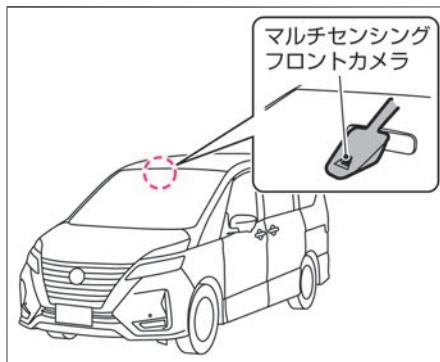
- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - － 対向車または先行車のランプの明るさ
 - － 対向車または先行車の向きや動き
 - － 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
 - － 対向車または先行車が二輪車
 - － 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
 - － 乗車している人数や荷物の量

■ マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を検知するためのカメラがあります。
ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリやステッカーなどを取り付けしないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。

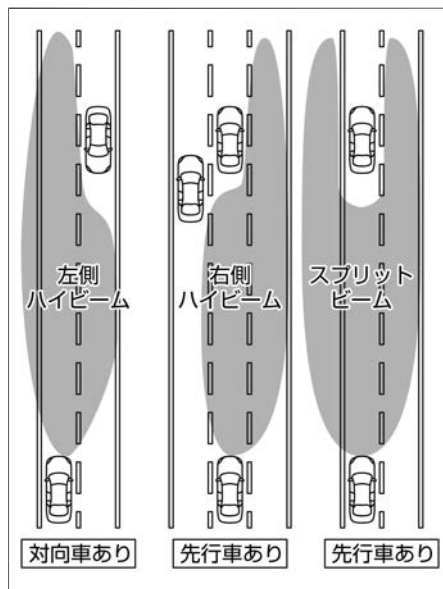
➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.622)



■ アダプティブLEDヘッドライトシステム（LEDヘッドランプ付車）

先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム（上向き）の照射範囲を切り替えます。

約30km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約15km/h以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。



ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプB)

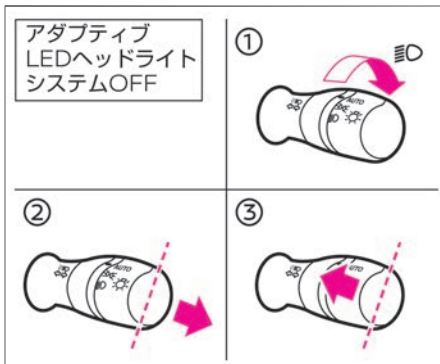
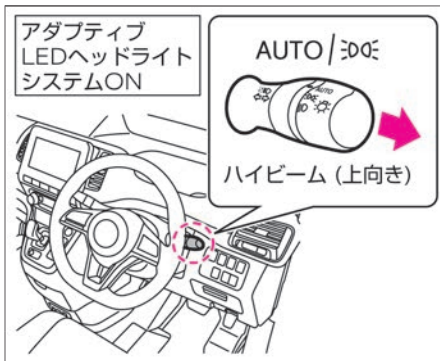
アダプティブLEDヘッドライトシステムをONにする方法

- ライトスイッチがAUTOまたは  の位置でレバーを車両前方に押すと、アダプティブLEDヘッドライトシステムがONになります。(メーター内のアダプティブLEDヘッドライト表示灯  が点灯)

アダプティブLEDヘッドライトシステムをOFFにする方法

次のいずれかの操作をすると、アダプティブLEDヘッドライトシステムがOFFになります。

- アダプティブLEDヘッドライトシステムが制御中のとき
 - ー ライトスイッチを  位置にする…①
 - ー ライトスイッチを車両前方に押す(ハイビームに切り替わります)…②
 - ー ライトスイッチを車両後方に引く(ロービームに切り替わります)…③
- アダプティブLEDヘッドライトシステムが制御していないとき
 - ー ライトスイッチを  位置にする…①
 - ー ライトスイッチを車両前方に押す(ハイビームに切り替わります)…②



⚠ 警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- 次のようなときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。
 - ー 悪天候のとき(雨、霧、雪など)
 - ー 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
 - ー カメラ前方のフロントガラスが曇っていたり、汚れなどが付着しているとき
 - ー カメラの向きがずれているとき
 - ー 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
 - ー 対向車または先行車が無灯火のとき
 - ー 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたり、光軸がずれているとき
 - ー 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ（タイプB）

⚠ 警告

- － 歩行者など光を発しないものとのとき
- － 明るさの急激な変化が連続しているとき
- － 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- － カーブが多い道路を走行しているとき
- － ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- － トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- － バンクやけん引などで車両が傾いているとき

アドバイス

- アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しなかったり、作動中にメーター内にアダプティブLEDヘッドライト表示灯  が点灯しなかったりしたときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。
アダプティブLEDヘッドライト表示灯
(➡ P.538)

知識

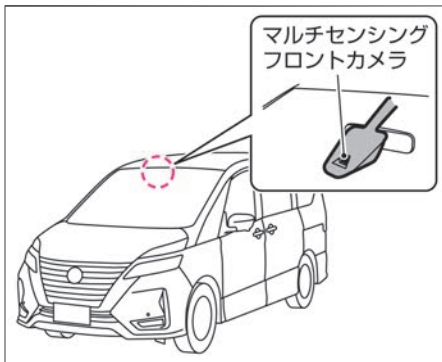
- アダプティブLEDヘッドライトシステムがONでロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。
（アダプティブLEDヘッドライトシステムはONを維持）
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。
- 次のような原因で、照射範囲の切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - － 対向車または先行車のランプの明るさ
 - － 対向車または先行車の向きや動き
 - － 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
 - － 対向車または先行車が二輪車
 - － 道路状況（カーブやこう配、路面状況など）
 - － 乗車している人数や荷物の量

■ マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を検知するためのカメラがあります。アダプティブLEDヘッドライトシステムを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリやステッカーなどを取り付けしないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。

➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.622)



知識

- フロントガラスが汚れていたり、マルチセンシングフロントカメラの前が障害物でふさがれていたり、カメラが前方を撮像できないとき、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「ヘッドランプ警告」の警告メッセージ (P.543) が表示されることがあります。カメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してください。

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ (タイプB)

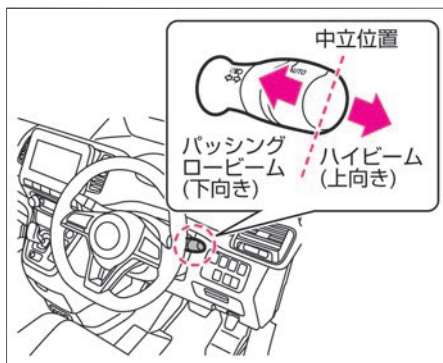
ハイビーム (上向き) への切り替えかた

ライトスイッチが 位置のとき

- ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。

ライトスイッチがAUTOまたは 位置のとき

- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に2回押すとハイビームに切り替わります。(1回押すとハイビームアシスト (P.280) またはアダプティブLEDヘッドライトシステム (P.283) がONになります。)
- ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。



アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

知識

- ハイビームに切り替えているときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯  が点灯します。
- ハイビームアシストまたはアダプティブLEDヘッドライトシステムがONのとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

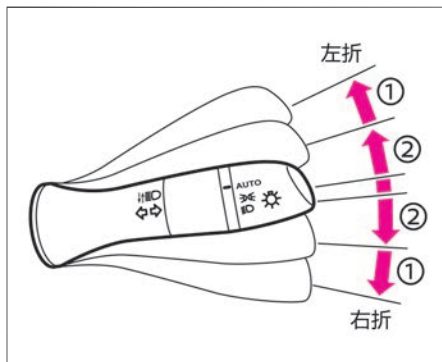
方向指示器の使いかた

パワースイッチがONのとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かし軽く押さえます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。

コンフォートフラッシャー機能について

スイッチを②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離れたときは3回点滅し消灯します。



🚗 アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
➡ 電球 (バルブ) 交換 (P.570)

📖 知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「車両設定」⇒「方向指示器」⇒「コンフォートフラッシャー」を選択すると、コンフォートフラッシャー機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.85)
➡ 車両設定 (P.102)

その他の機能について

■ ウェルカムライト機能 (フェアウェル機能付) ★

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。(施錠時約10秒、解錠時約30秒)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「ウェルカムヘッドライト」を選択すると、ウェルカムライト機能(フェアウェル機能付)のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.85)

➡ 車両設定 (P.102)

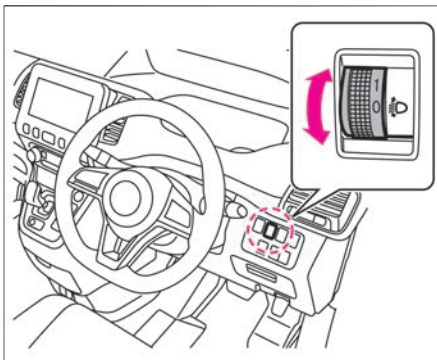
ヘッドランプレベライザースイッチ（ハロゲンヘッドランプ付車）

ヘッドランプの照らす方向（光軸）を調節します。乗員の人数や荷物の重さなどに応じ、調節してください。

ヘッドランプレベライザースイッチの使いかた

ヘッドランプが下向きするとき、ダイヤルを回して調節します。

- 通常は、ダイヤルが0の位置で使います。
- ダイヤルを大きな数字の方へ回すほど、照らす方向は下向きになります。



アドバイス

- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドランプが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調節してください。



知識

- LEDヘッドランプ付車は、ヘッドランプが下向き点灯時の乗車人員や、荷物量の違いによる車両姿勢の変化を調節するオートレベライザー機能が付いています。

ヘッドランプレベライザースイッチ（ハロゲンヘッドランプ付車）

■ ダイヤル位置の目安

次の表を目安に、乗員の人数や荷物の量に応じてダイヤル位置を選択してください。

乗員	ラゲッジルームの積載状況	スイッチ位置
運転席のみ	積載なし	0
フロントシート2名		0
フロントシート2名+サードシート3名		1
7名		2
運転席のみ	満載	2
		3

ランプをつける、ワイパーを使う フォグランプスイッチ★

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、ヘッドランプの補助として使用します。

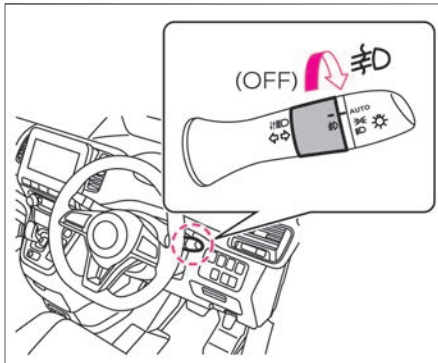
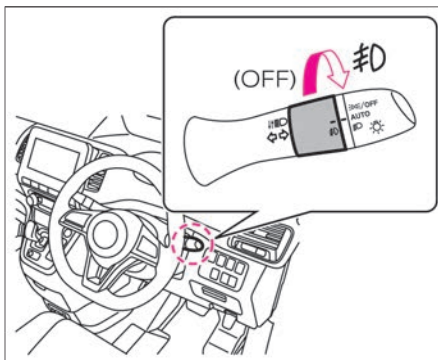
フォグランプの使いかた

- ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているとき使用できます。
- スイッチを回して ④ を ① の位置に合わせて使用します。
- フォグランプが点灯しているときは、メーター内のフォグランプ表示灯 ④ が点灯します。

※：車種により、ライトスイッチが2タイプあります。

上段イラスト：ライトスイッチ（タイプA）

下段イラスト：ライトスイッチ（タイプB）



知識

- 濃霧時にヘッドランプを消灯して走行したい場合は、次の操作を行うと車幅灯とフォグランプの点灯で走行することができます。
 - － フォグランプが点灯しているときに、ライトスイッチをAUTOから ③ / OFFの位置に回す、または ④ から ③ / OFFの位置に回す（ライトスイッチ（タイプA））
 - － フォグランプが点灯しているときに、スイッチ位置をAUTOから ③、または ④ から ③にする（ライトスイッチ（タイプB））

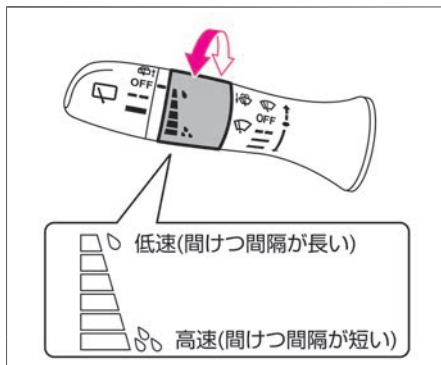
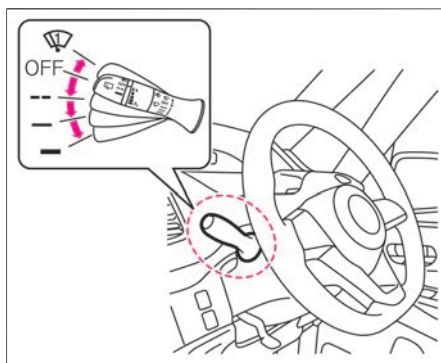
ランプをつける、ワイパーを使う ワイパー・ウォッシャースイッチ

パワースイッチがONのとき使用できます。

フロントワイパーの使いかた

スイッチを動かすと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
	レバーを上げている間作動します。 手を離すとOFFに戻ります。
OFF	停止します。
--	間けつで作動します。 スイッチを回し、ワイパーの間けつ時間を調節します。
—	低速で連続して作動します。
■	高速で連続して作動します。



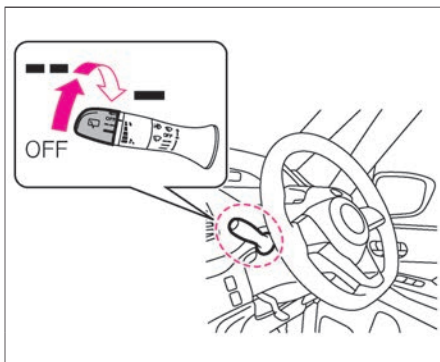
知識

- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくランプが点灯します。
AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた（[P.262](#)、[P.277](#)）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「車速連動」を選択すると、車速連動機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。
[⇒ 画面の切り替えかた \(P.85\)](#)
[⇒ 車両設定 \(P.102\)](#)

リヤワイパーの使いかた

スイッチを回すと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
OFF	停止します。
— —	間けつで作動します。
—	低速で連続して作動します。



知識

リバース連動機能

- フロントワイパー作動中にシフトポジションを **R** に入れると、リヤワイパーが間けつで作動します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「リバース連動」を選択すると、リバース連動機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡️ 画面の切り替えかた (P.85)

➡️ 車両設定 (P.102)

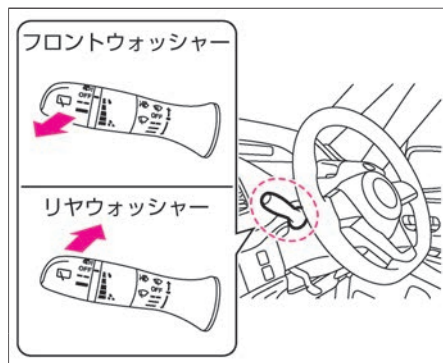
ウォッシャーの使いかた

フロントウォッシャー

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

リヤウォッシャー

- スイッチを車両前方に押すと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを押している間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。



ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項

警告

- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。
寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分程度）待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

e-POWER Drive

e-POWERシステムは3つのドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

各モードの働き

モード		特徴
e-POWER Drive※1	S (Smart)	<u>EVらしさと燃費を両立させたモード</u> ● モーター特性を際立たせてアクセルペダル操作に瞬時に応じる高レスポンスを実現 ● アクセルペダルOFF時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収 ● アクセルペダル操作のみで楽に速度調整が可能
	ECO	<u>燃費重視のモード</u> ● 無駄なエネルギー消費を抑えるための穏やかな加速性能 ● アクセルペダルOFF時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収 ● アクセルペダル操作のみで楽に速度調整が可能 ● インテリジェント クルーズコントロール★の加速を穏やかにし、暖房/冷房の効きを弱めることで燃費を向上※2
NORMAL		<u>ガソリンエンジン車とほぼ同等の走りを楽しめるモード</u> ● モーター駆動特有のレスポンスよくスムーズな加速 ● ガソリンエンジン車に近い感覚でのアクセルペダルOFFでの減速

※1：普段の運転ではECOモード、軽快な加速とECOを両立したいときはS (Smart) モードをおすすめします。

※2：インテリジェント クルーズコントロール★の加速を優先したいときや、暖房/冷房の効きを優先したいときはECOカスタマイズ機能にて変更できます。➡ ECOカスタマイズ (P.299)



アドバイス

- S (Smart)モードおよびECOモードでは、アクセルペダルOFFによる減速で停車する場合がありますが、ブレーキ力を保持して停車させ続ける機能はないため、停車時はブレーキペダルを必ず踏み込んでください。

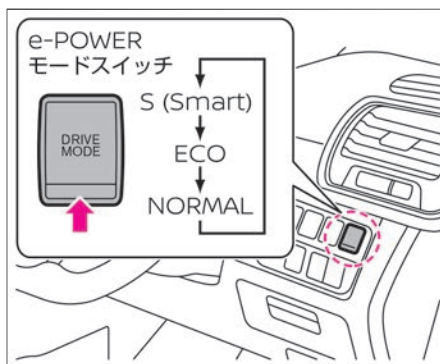


知識

- S (Smart)モード、ECOモードのときは、回生ブレーキ (➡ P.15) の効率を上げるため、走行中にアクセルペダルを離すとNORMALモードのときよりも、強めのエンジンブレーキをかけているように減速度合いが強くなります。
- S (Smart)モード、ECOモードのときは、ブレーキを踏まずに減速した場合でも減速度合いに応じて制動灯が点灯します。

モードの切り替えかた

- パワースイッチがONのとき、e-POWER モードスイッチを押すごとに次の順でモードが切り替わります。
S (Smart) → ECO → NORMAL → S (Smart)
- S (Smart) モードのときはS (Smart) モードインジケータ  が点灯します。
➡ S (Smart) モードインジケータ (P.75)
- ECOモードのときはECOモードインジケータ  が点灯します。
➡ ECOモードインジケータ (P.76)



知識

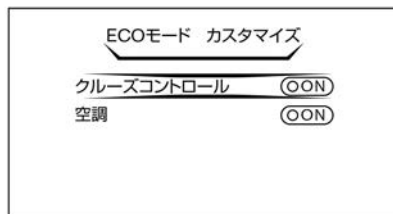
- S (Smart) モードやECOモードのときはシフトポジションを  に切り替えることはできません。
- S (Smart) モード、ECOモード選択中にシステム異常が発生した場合、モードインジケータ点滅とともに、自動的にNORMALモードへ切り替わる場合があります。
- システム異常が発生している状態で、NORMALモードからS (Smart) モードに切り替えた場合、S (Smart) モードインジケータが点滅後消灯し、NORMAL状態が維持されます。
- モードの設定は、パワースイッチをOFFにしても、再度設定変更するまで、その状態が維持されます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイが航続可能距離表示以外でも、ドライブモードを切り替えると、その車両状態に応じた航続可能距離が表示されます。
➡ 画面の切り替えかた (P.85)

ECOカスタマイズ

- ECOカスタマイズは、インテリジェントクルーズコントロール★とエアコン機能を燃費重視の設定に切り替える機能です。ドライブモードがS(Smart)モードまたはECOモードのときにカスタマイズが可能です。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「画面カスタマイズ」⇒「ECOモード カスタマイズ」を選択すると、ECOモード時の燃費重視機能のON・OFFを切り替えることができます。
- S(Smart)モードカスタマイズについては同様に「Smartモード カスタマイズ」を選択しON・OFFを切り替えることができます。

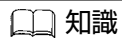
画面の切り替えかた(➡P.85)

画面カスタマイズ(➡P.100)



知識

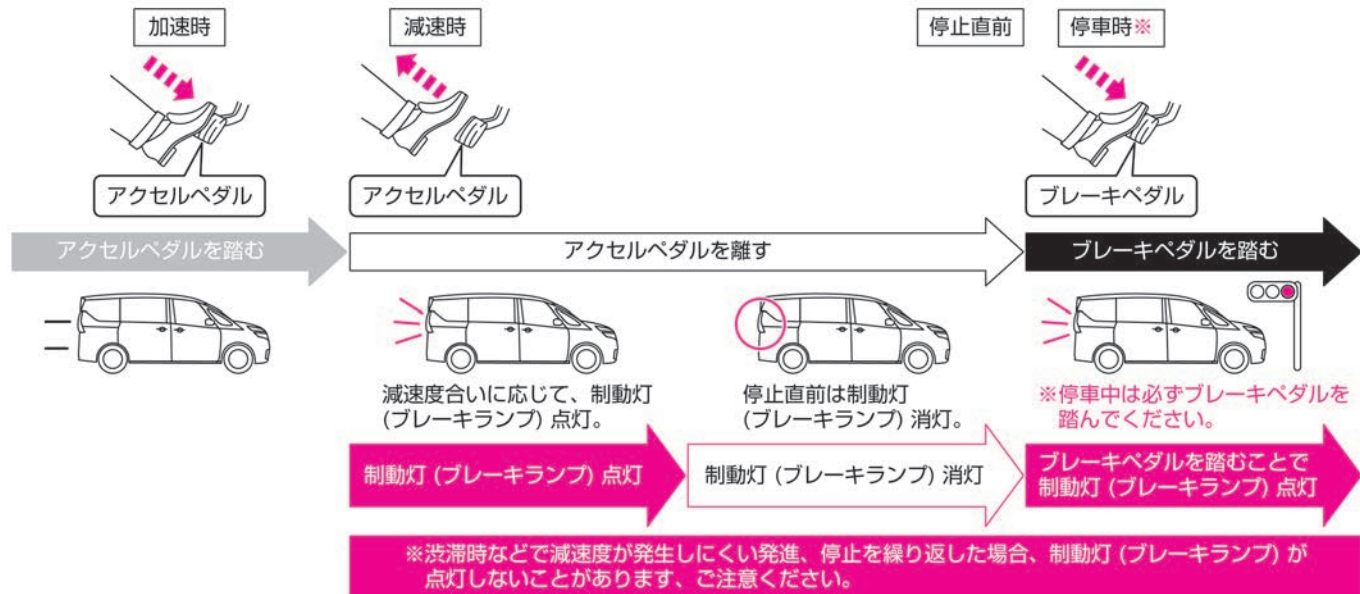
- ECOカスタマイズで「クルーズコントロール」をON（燃費優先）にすると、インテリジェント クルーズコントロール★の加速度がOFF時に比べて穏やかにすることで、燃費向上を図ります。
- ECOカスタマイズで「空調」をON（燃費優先）にすると、OFF時に比べて暖房/冷房の効きを弱めることで、燃費向上を図ります。
- 工場出荷時のECOカスタマイズの設定は、ECOモード時はON（燃費優先）、S(Smart)モード時はOFFとなります。
- ECOカスタマイズの設定は、パワースイッチをOFFにしても、再度設定変更をするまではその状態が維持されます。
- 次のような場合、ECOカスタマイズで「空調」をON（燃費優先）にしても、エアコン機能が優先となります。
 - ー エアコンの温度設定を18℃または28℃以上にしたとき（18.5～27.5℃に設定すると燃費優先になります）



- ー デフロスタースイッチ (➡P.205または➡P.213) をONにしたとき

S (Smart) モード、ECOモード時の制動灯（ブレーキランプ）について

アクセルペダルを離した際、発生する減速度合いに応じて制動灯（ブレーキランプ）を点灯させて、停止直前～停車中に消灯します。停車中はブレーキペダルを踏むことで、制動灯（ブレーキランプ）が点灯します。安全のためにも必ずブレーキペダルを踏んでください。

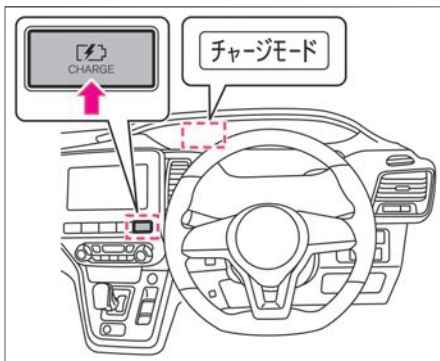


チャージモード

チャージモードスイッチを押すと強制的にエンジンを始動し、リチウムイオンバッテリーの充電を行います。マナーモードによる走行距離を長くしたいとき、あらかじめリチウムイオンバッテリーを充電するモードです。

チャージモードの使いかた

- 走行可能表示灯  が点灯しているとき、チャージモードスイッチを押すごとにチャージモードON・OFFが切り替わります。
- チャージモードは、ドライブモードがS (Smart) モード、ECOモードのときに使用できます。
- マナーモード中にチャージモードスイッチを押すと、チャージモードに切り替わります。
- ONにするとアドバンスドドライブアシストディスプレイにチャージモードインジケーターが点灯します。



アドバイス

- システムに異常が発生したときは、自動的にチャージモードが解除されます。

知識

- チャージモードを使用すると、エンジンで発電するため燃費が悪化します。
- チャージモードでは、リチウムイオンバッテリー残量が満充電近くまで充電されます。またチャージモード作動中でも、エンジンが始動しないこともあります。
- システムの状態によっては、充電時間が長くなることがあります。
- チャージモード中でも、急加速、上り坂など走行負荷が高いときは、充電ができない場合があります。
- チャージモード中でも、リチウムイオンバッテリーを保護するために一時的に発電を停止することがあります。
- 外気温が低いときは、チャージモードを使用できないことがあります。

知識

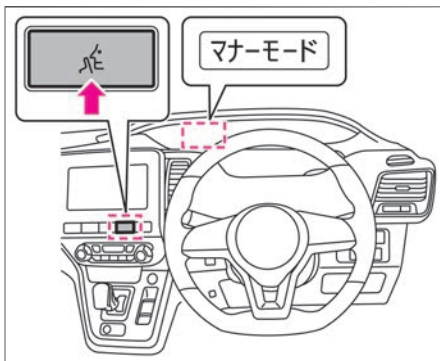
- 外気温が低いときは、充電時間が長くなる場合があります。
- 駐停車中にチャージモードを使用しエンジンが始動した場合、アイドリングストップに関する条例違反により罰則の対象となるおそれがあります。アイドリングストップの詳しい条例については、関係する自治体に確認してください。

マナーモード

マナーモードスイッチを押すと、エンジンの始動を極力抑えて走行することができます。バッテリー電力だけで走行するので、早朝や深夜の住宅街など、静かに走行したいときに使用するモードです。

マナーモードの使いかた

- 走行可能表示灯  が点灯しているとき、マナーモードスイッチを押すごとにマナーモードON・OFFが切り替わります。
- マナーモードは、ドライブモードがS（Smart）モード、ECOモードのときに使用できます。
- チャージモード中にマナーモードスイッチを押すと、マナーモードに切り替わります。
- ONにするとアドバンスドドライブアシストディスプレイにマナーモードインジケータが点灯します。
- チャージモードをONにしてリチウムイオンバッテリー残量を増やしておくと、バッテリー電力だけで走行できる距離が長くなります。
- 外気温が低いときはエンジンが始動することがありますが、エンジンが始動する前にマナーモードスイッチをONにすると、エンジンの始動が抑えられてバッテリー電力だけの走行が可能です。



アドバイス

- システムに異常が発生したときは、自動的にマナーモードが解除されます。

知識

- ブレーキ操作を行うと、システムの判断により一時的にエンジンを始動します。なおマナーモードは解除されません。
- マナーモード作動中にドライブモードをNORMALモードに切り替えると、マナーモードは解除されます。
- シフトポジションが **P** のときにアクセルを操作すると、エンジンが始動しマナーモードを解除します。
- 長い下り坂で回生ブレーキによりリチウムイオンバッテリー残量の上限まで充電されると、リチウムイオンバッテリー保護のためマナーモードを解除します。
- 急加速や上り坂などでアクセルを強く踏み込んだ場合、エンジンを始動し、マナーモードも解除されます。
- 走行可能表示灯  が点灯している

知識

ときにボンネットを開けると、強制的にエンジンが始動しマナーモードを解除します。

- フロントガラスのデフロスタースイッチ (➡P.558) を押すと、暖機のためにエンジンが始動しマナーモードを使用できない、またはマナーモードを解除します。
- システムが強制充電を必要と判断した場合、マナーモードを解除しエンジンを始動します。
- システムが暖機が必要と判断した場合、エンジンを始動し、マナーモードも解除されます。
- 外気温が低いときは、マナーモードを使用できないことがあります。

クルーズコントロール★

クルーズコントロールは、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度（約40km/h以上）で走行できるシステムです。プロパイロット付車には、クルーズコントロールと同様の機能である定速制御機能（➡P.354）があります。

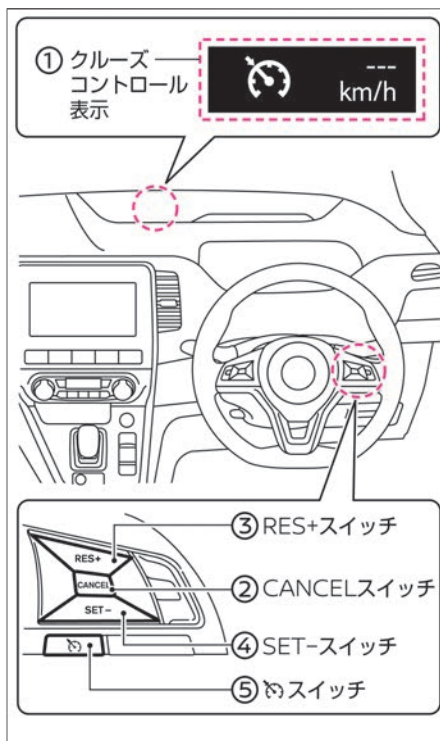
各部名称と機能

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- ① **クルーズコントロール表示**
- スイッチをONにすると点灯します。セットすると設定した速度を表示します。

ステアリングスイッチ

- ② **CANCELスイッチ**
-クルーズコントロールを解除します。
- ③ **RES+スイッチ**
-設定速度を上げます。
-クルーズコントロールを解除後、解除前の設定速度に再度セットします。
- ④ **SET-スイッチ**
-設定速度を下げます。
-クルーズコントロールをセットします。
- ⑤ **スイッチ**
-クルーズコントロールのON・OFFができます。



警告

- クルーズコントロールを使用するときは、十分な車間距離をとる。
車間制御は行わないため、ブレーキ操作制御や警報は行われません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。
- 次の状況では、クルーズコントロールを使用しない。
 - － 交通量の多い道や急カーブのある道
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - － 急な下り坂
- クルーズコントロールを使用しないときは、 スイッチを必ずOFFにする。
誤ってセットされると事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- クルーズコントロール表示が点滅し続いたりセットできないときは、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦

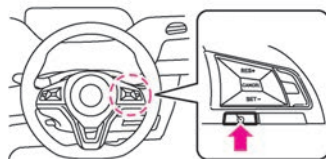


アドバイス

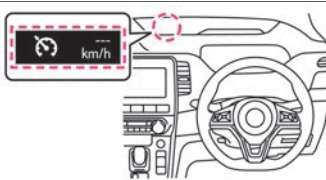
停止し、再始動してから再度クルーズコントロールをセットしてください。点滅が続いたり、セットできないときは日産販売会社で点検を受けてください。

定速走行のしかた

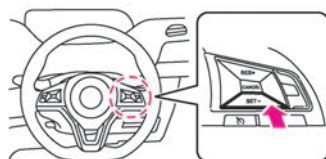
- 1** ハンドルにある  スイッチを押し、クルーズコントロールをON（待機状態）にします。



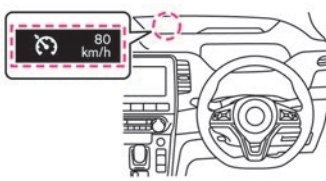
- 2** アドバンスドドライブアシストディスプレイにクルーズコントロール表示が点灯していることを確認します。
(表示灯が白色に点灯)



- 3** 設定したい速度まで加速または減速し、SET-スイッチを押しします。



- 4** スイッチを離すと、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示された速度で定速走行を開始します。
(表示灯が緑色に点灯)



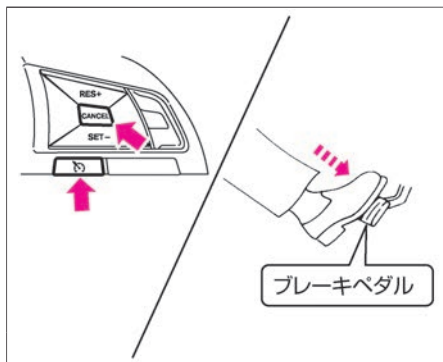
知識

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- CANCELスイッチを押す
-  スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む



アドバイス

- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。(アドバンスドドライブアシストディスプレイ内のクルーズコントロール表示が白色に点灯)
もう一度、定速走行にする場合は、再度SET-スイッチを押します。(アドバンスドドライブアシストディスプレイ内のクルーズコントロール表示が緑色に点灯)
- 次の場合は、解除されます。
 - 速度が30km/h以下になったとき
 - 設定速度より約13km/h以上速度が低下したとき
 - VDCが作動したとき
 - タイヤが空転したとき
 - シフトポジションを**N**に入れたとき
 - システムに異常があるとき

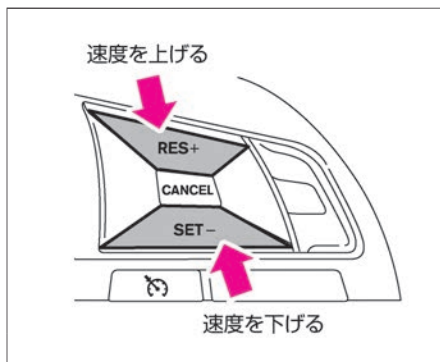
設定速度の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中にRES+スイッチを押し続けると加速します。設定したい速度で手を離します。

速度を下げる

- 定速走行中にSET-スイッチを押し続けると減速します。設定したい速度で手を離します。



知識

- アクセルペダルまたはブレーキペダルの操作でも設定速度を調節できます。アクセルペダルまたはブレーキペダルの操作で速度を調節し、設定したい速度でSET-スイッチを押します。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABSについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- パワースイッチをONにしたときや、e-POWERシステムを始動後最初の発進時に、エンジンルームから音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。

警告

- **カーブの手前では十分に減速する。**
ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。

- **でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、特に速度を控え、車間距離を十分にとる。**

ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控え、車間距離を十分にとって運転してください。

- **タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。**

ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCは、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCの機能について

- VDCのシステムには次の機能があります。
 - － VDC機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。
 - － トラクションコントロール機能(TCS)：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、走行用モーターの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
 - － ブレーキLSD機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
 - － ABS機能：ABS（➡P.311）

警告

- **滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。**
この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。
- **次の場合、メーター内のVDC警告灯が点灯し正常に作動しないことがあるので注意する。**
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキ、ステアリング関係部品などを純正品以外に交換したり、改造したとき
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- **VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。**

知識

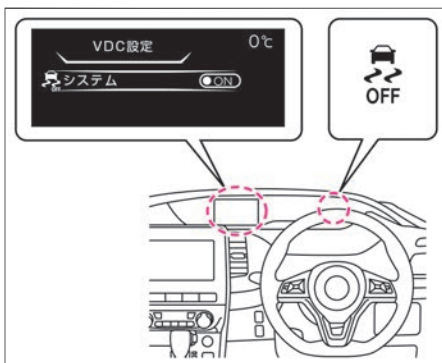
- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

VDCの作動について

- VDCの作動と警告灯
 - － VDCが作動しているときは、メーター内のVDC警告灯  が点滅します。
 - － トラクションコントロール機能(TCS)のみが作動しているときもVDC警告灯  が点滅します。VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
- 次の場合、VDC警告灯  が点灯することがあります。一度パワースイッチをOFFにし、再度e-POWERシステムを始動するとVDC警告灯は消灯します。
 - － 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき
 - － 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき

VDCのON・OFFのしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「VDC設定」⇒「システム」を選択すると、VDC機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、VDC設定をお読みください。
画面の切り替えかた（➡P.85）
VDC設定（➡P.96）
- VDC機能をOFFに切り替えると、VDCが停止し、メーター内のVDC OFF表示灯  が点灯します。
- 再度、VDCを使用（ON）するときは、もう一度アドバンスドドライブアシストディスプレイでVDC機能をONに切り替えます。メーター内のVDC OFF表示灯  が消灯し、VDCがONになります。



アドバイス

- VDCが作動しているときは、ぬかるみや雪道から脱出するときに、スリップ状態を検知するため、アクセルペダルを踏み込んでタイヤの回転数が上がらないことがあります。タイヤの回転数を上げたいときはアドバンスドドライブアシストディスプレイでVDCを停止してください。
- VDC機能をOFFにすると、VDCのすべての機能と、次の機能が停止します。（ABS機能およびブレーキLSD機能を除く）
 - － プロパイロット★（➡P.322）
 - － インテリジェント エマージェンシーブレーキ（➡P.360）
 - － 踏み間違い衝突防止アシスト（➡P.371）
 - － インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（➡P.395）
 - － インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）（➡P.409）
 - － インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（➡P.417）

知識

- パワースイッチをONにするたびに、VDCはONになります。
- VDCが作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- パワースイッチをONにしたときや、e-POWERシステム始動後最初の発進時に、エンジンルーム内から音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、上り坂での発進を補助するシステムです。

ヒルスタートアシストについて

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。
- シフトポジションが **P**、**N** 以外するとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。



警告

- **ヒルスタートアシストの機能を過信しない。**
凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転に心がけてください。
緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動せず後退する場合があります。その際はブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキをかけてください。
- **坂道での駐停車にヒルスタートアシストを使用しない。**
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **停車するときは、ブレーキペダルを踏み続ける。**
この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にシフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキをかけてください。



アドバイス

- セレクトレバーを操作した直後は、ブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。シフトポジションを **P** から **D** または **N** から **D** に操作した直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。



知識

- メーター内のVDC警告灯  (➡ P.532) が点灯したときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生することがありますが、異常ではありません。

車両接近通報装置

車両接近通報装置は、低速走行中に車両が接近していることを音で歩行者に知らせるシステムです。

車両接近通報装置について

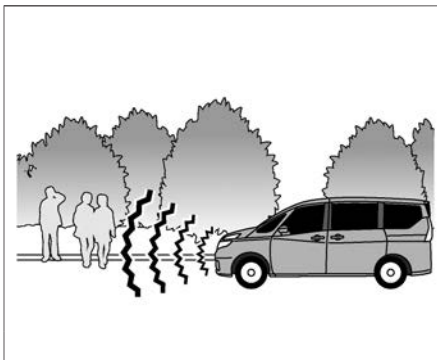
車両接近通報装置は、メーター内の走行可能表示灯  が点灯しているとき、次の場合に作動します。

- 発進時、車速が30km/h以下のとき
- 減速時、車速が25km/h以下になったとき
- シフトポジションが **R** のとき

車両接近通報装置の故障について

- システムに異常があると、メーター内の車両接近通報システム警告灯が点灯します。

車両接近通報システム警告灯
( P.536)



警告

- 車両接近通報装置の音が聞こえないときは、日産販売会社で点検する。
車両接近通報装置の音が聞こえないときは、安全で静かな場所に停車し、音が聞こえるか確認してください。ブレーキペダルを確実に踏みながら、シフトポジションを **R** にし、窓を開けて音が聞こえるか確認します。車両前方から音が聞こえないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

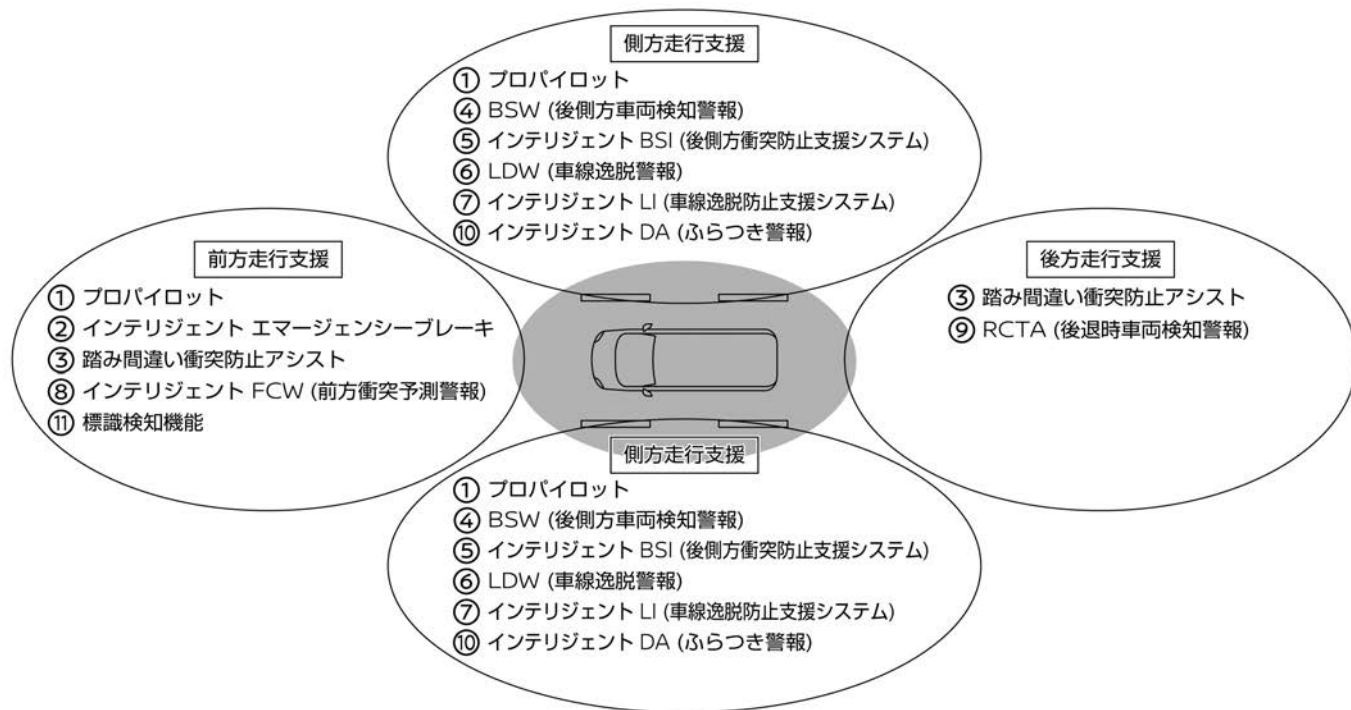
知識

- 次の条件がそろそろとパワースイッチをOFFにし忘れたことを防止するため、車両接近通報装置が作動します。
 - － シフトポジションが **P** のとき
 - － 走行可能表示灯  が点灯しているとき
 - － 運転席シートベルトが非装着のとき
 - － 運転席ドア、助手席ドアまたはスライドドアが開いているとき
- 車両接近通報装置の音を大きくした

 知識

い場合は、日産販売会社へご相談ください。音を小さくすることはできません。

走行支援システムについて

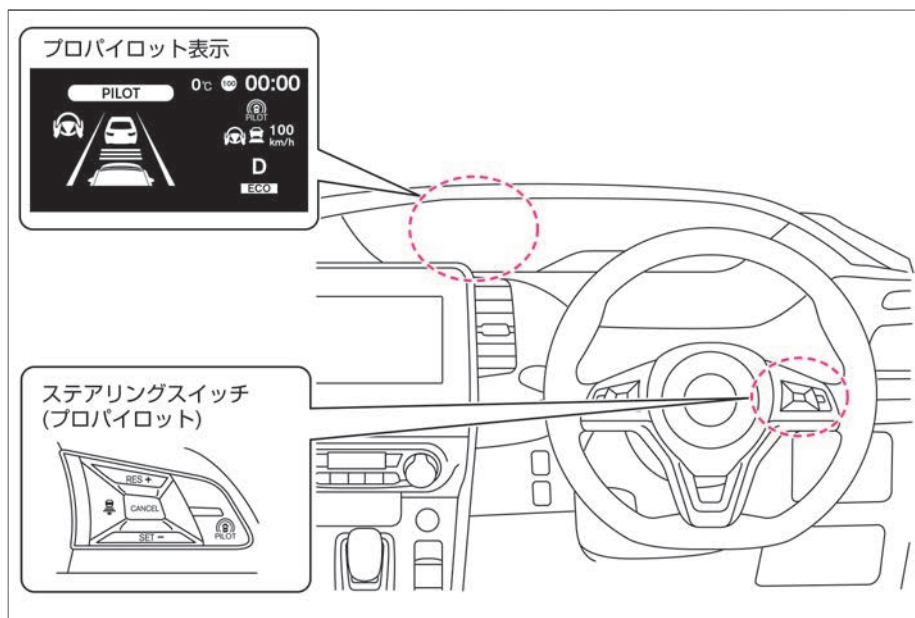


- ① **プロパイロット★**
走行中、前方車両との車間距離を制御し、前方車両停車時は停車してその状態を保持します。また、走行車線内を走行するようにハンドルを制御することで運転操作の負担を減らします。(➡P.322)
- ② **インテリジェント エマージェンシーブレーキ**
前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。(➡P.360)
- ③ **踏み間違い衝突防止アシスト**
進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者(前進時のみ)などがいる場所で、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いやブレーキ操作が遅れたとき、音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。(➡P.371)
- ④ **BSW(後側方車両検知警報)**
車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。(➡P.393)
- ⑤ **インテリジェント BSI(後側方衝突防止支援システム)**
隣車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両をもとの車線内に戻す方向に力を発生させ、隣接車両との接触を回避するよう支援します。(➡P.393)
- ⑥ **LDW(車線逸脱警報)**
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。(➡P.409)
- ⑦ **インテリジェント LI(車線逸脱防止支援システム)**
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。(➡P.409)
- ⑧ **インテリジェント FCW(前方衝突予測警報)**
前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、警報によって運転者に注意を促します。(➡P.417)
- ⑨ **RCTA(後退時車両検知警報)**
後退時に、後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報によって注意を促します。(➡P.423)
- ⑩ **インテリジェント DA(ふらつき警報)★**
ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、音と表示により運転者に休憩を促します。(➡P.432)
- ⑪ **標識検知機能**
走行中に検知した進入禁止標識、一時停止標識、および最高速度標識の情報をアドバンスドライバアシストディスプレイに表示し、運転者にお知らせする機能です。(➡P.435)

プロパイロット★

プロパイロットは、運転者が設定した車速を上限に先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- **高速道路や自動車専用道路で使用する。**
プロパイロットは、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- **プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がける。**
自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行するとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマーカーに近づくことがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。
レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。
- **手放し運転を行うことはできない。**

 警告

運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

- **停止中の車両には反応しない。**
料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては減速しません。十分注意してください。

プロパイロットについて

- プロパイロットのシステムには次の機能があります。

インテリジェント クルーズコントロール

- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速(約30km/h以上)を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
 - 先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、インテリジェント クルーズコントロールは停止した状態を保持します。
 - 先行車が発進したときは、ステアリングスイッチのRES+スイッチを押すか、アクセルペダルを踏むと停止状態を解除し、再びインテリジェント クルーズコントロールによる追従走行を開始します。
 - 先行車を検出していない場合は運転者がセットした車速で定速走行します。(約30km/h以下では前方に車両がない場合使用できません。)
- ➡ インテリジェント クルーズコントロールの作動 (P.329)

ハンドル支援

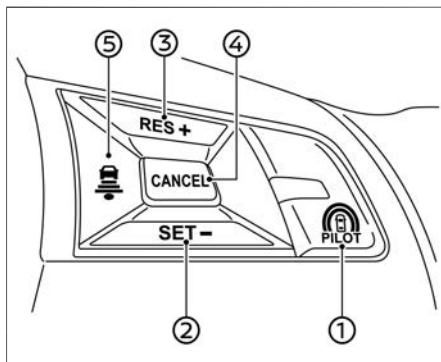
- 車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。(約50km/h以下では前方に車両がいる場合に作動できます。)
- ➡ ハンドル支援の作動 (P.341)

知識

- アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができる定速制御機能については、➡ 定速制御機能について (P.354)をお読みください。

ステアリングスイッチ（プロパイロット）

- ① **プロパイロットスイッチ** 
-プロパイロットのON・OFFができます。
- ② **SET-スイッチ**
-SET-スイッチを押したときの車速でプロパイロットを開始できます。
-設定速度を下げるができます。
- ③ **RES+スイッチ**
-プロパイロットを解除後、解除前の設定速度で再び開始することができます。
-設定速度を上げるができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
-プロパイロットの解除ができます。
- ⑤ **車間設定スイッチ** 
-車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

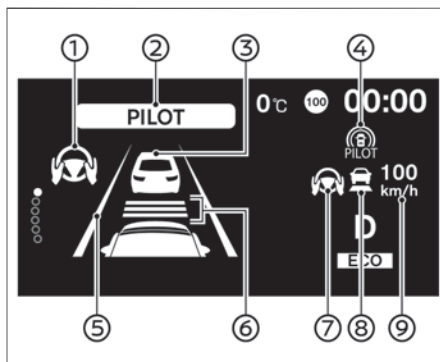


知識

- プロパイロットをONにすると、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）も同時にONになります。
詳しくは、➡BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（P.393）
➡LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）（P.409）をお読みください。

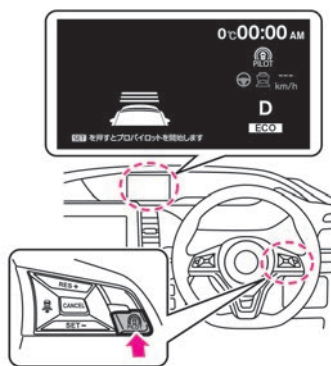
アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- ① ハンドル支援作動表示
- ハンドル支援中は緑色に点灯
- ② プロパイロット作動表示
- プロパイロット作動中は青色に点灯
- ③ 先行車検出表示
- 先行車検出有り：表示
- 先行車検出無し：非表示
- ④ プロパイロット作動灯
- プロパイロットON：白色に点灯
- プロパイロット作動開始：青色に点灯
- ⑤ 車線検出表示
- 車線検出有り：緑色に点灯
- 車線検出無し：灰色に点灯
- ⑥ 車間設定表示
- 車間距離の設定状況を表示
- ⑦ ハンドル支援作動灯／警告灯
- ハンドル支援中は緑色に点灯
- ⑧ 車速制御作動灯／警告灯
- 定車間制御中：緑色に点灯
- 定速制御中：緑色（線画）に点灯
- ⑨ 設定車速表示
- 設定車速を表示



プロパイロットの使いかた

- 1** プロパイロットスイッチ  を押します。
 ・プロパイロットがONになります。
 ・アドバンスドドライブアシストディスプレイにプロパイロットの状態が表示されます。



- 2** 設定したい速度まで加速または減速します。

知識

- プロパイロットには次の機能があります。
 ➡ インテリジェント クルーズコントロールの作動 (P.329)
 ➡ ハンドル支援の作動 (P.341)
- プロパイロットスイッチ  を約1.5秒押し続けると、定速制御機能に切り替わります。
 ➡ 定速制御機能について (P.354)
- 車間設定は、e-POWERシステムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。
- e-POWERシステムを停止するとプロパイロットはOFFになります。

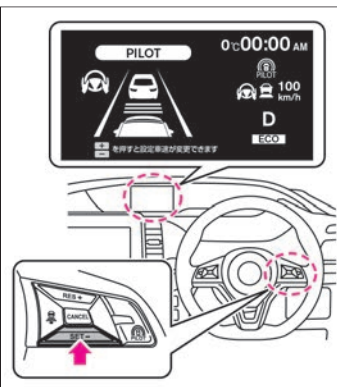
3

SET-スイッチを押します。

・スイッチを押したときの速度が設定速度になり、プロパイロットの制御が開始します。

（車速約30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定速度は30km/hになります。）

プロパイロット作動灯、プロパイロット作動表示が青色で点灯します。



知識

- 次の場合は、プロパイロットの制御を開始することができません。（設定車速表示が約2秒間点滅します。）



- － 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアが開いているとき
- － 運転席シートベルトを着用していないとき
- － 車速が約30km/hを下回っていて、先行車両を検出していないとき
- － シフトポジションが**D**または**B**以外のとき
- － 電動パーキングブレーキが作動しているとき
- － ブレーキを踏んでいるとき
- － VDCをOFFにしたとき
- － VDC/TCSが作動したとき
- － タイヤが空転したとき

インテリジェント クルーズコントロールの作動

先行車を検出しているとき

- 運転者がセットした車速(約30km/h以上)を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車検出表示が点灯し、車速制御作動灯が定車間表示(緑)で点灯します。

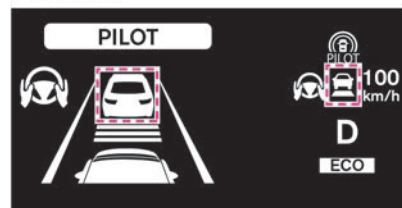
先行車が停止したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、インテリジェント クルーズコントロールは停止した状態を保持します。(停止した状態を保持しているときは、「RES+を押すと再開します」と表示されます)

先行車が発進したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで停止状態を保持しているときに先行車が発進したときは、RES+スイッチを押すか、アクセルペダルを踏むと停止状態は解除され、再びインテリジェント クルーズコントロールによる追従走行を開始します。

追従走行時



車両停止保持時

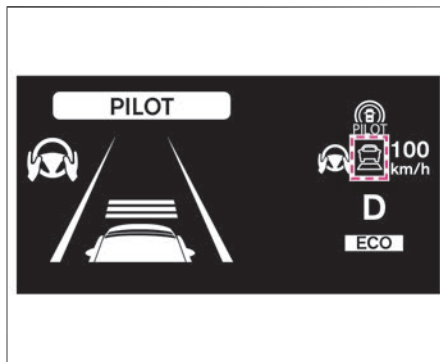


知識

- インテリジェント クルーズコントロールで自車が停止したとき、停止した状態を保持するまでは周囲に注意してください。
- 車間設定スイッチ により、車間を設定することができます。
➡ 車間距離設定の変更のしかた (P.333)
- インテリジェント クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動した場合は、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。
- 車両停止保持状態のときに、RES+スイッチを押すと、約3秒間は発進待機状態になります。(車両停止保持状態が解除されます)
- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止した後、約3分を経過すると、解除音とともに電動パーキングブレーキが作動し、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

先行車を検出していないとき

- 運転者が設定した速度で、定速走行します。先行車検出表示が消灯し、車速制御作動灯が定速表示（緑）で点灯します。



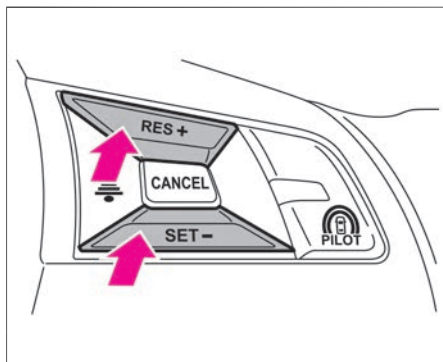
知識

- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 先行車を検出していない場合、車速が約25km/h以下になると、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

設定車速の変更のしかた

設定車速が5km/hきざみで変更できます。

- 設定車速を上げたいときは、RES+スイッチを押します。
- 設定車速を下げたいときは、SET-スイッチを押します。



知識

- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、RES+スイッチを押して、設定車速を上げても加速しません。
このとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速はアドバンスドライバアシストディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

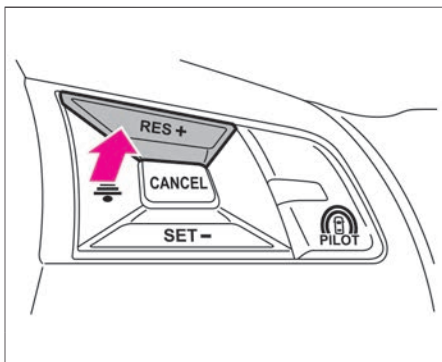
一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

- アクセルペダルを踏むと、加速します。
- アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
- 解除前の設定速度で再びセットしたいときは、RES+スイッチを押します。



知識

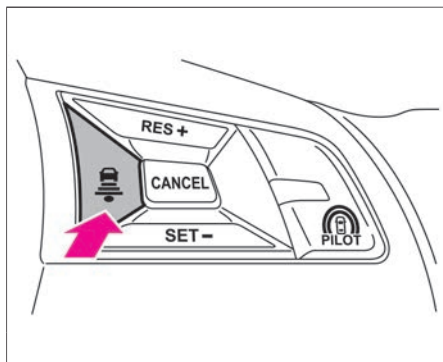
- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェント クルーズコントロールによるブレーキ制御も接近警報も行いません。
- 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要ときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうなときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。
- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、SET-スイッチで設定速度を下げた場合などで設定速度より実際の速度の方が高くなったときは、設定速度表示が点滅します。



車間距離設定の変更のしかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。インテリジェント クルーズコントロール制御中またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

- 車間設定スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」の順に切り替わります。



知識

- 車間距離は車速に応じて変わり、速度が高いほど長くなります。

車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

- 車間設定は、e-POWERシステムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。
- メーター内にインテリジェント アラウンドビューモニターのカメラ画面が表示されている場合は、車間距離設定の変更はできません。

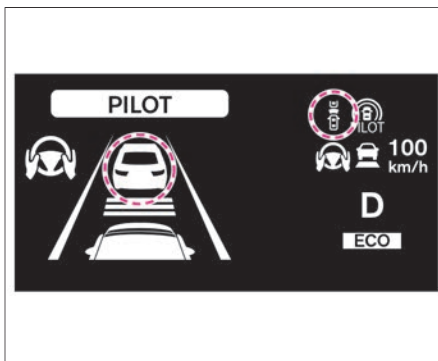
次ページに続く

割り込み検知

- 自車に近い位置に他車が割り込んできたときは、“ポーン”という音とともに先行車検出表示が点滅し、運転者にお知らせします。

接近警報

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーとアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。
- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴り、アドバンスドドライブアシストディスプレイの先行車検出表示および接近警報表示が点滅します。



知識

- 接近警報が頻繁に作動するような状況では、インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。
 - － 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
 - － 先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
 - － 他車が至近距離に割り込んできたとき
- 料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては接近警報は作動しません。

追い越し時加速機能

- 設定車速が70km/h以上でインテリジェント クルーズコントロール制御中、先行車が設定車速以下のとき、方向指示器を右折側に操作すると、車両が加速し先行車を追い越す準備を始めます。
- 運転者がステアリングを操作し、追い越すために車線を変更したときに先行車を検出した場合は、運転者がセットした車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車を検出なかった場合は運転者がセットした車速で定速走行します。

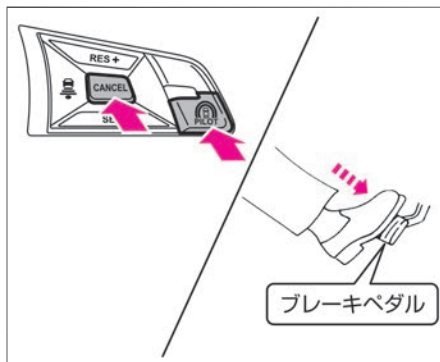
知識

- 方向指示器を右折側に操作し、車両が加速しているときに先行車との距離が近づきすぎると加速は停止し、設定してある車間距離に戻ります。
- 次の場合は追い越し時加速機能が解除されます。
 - － ブレーキを踏んだとき
 - － CANCELスイッチを押したとき

インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた

次のいずれかの操作でインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- プロパイロットスイッチ  を押す
- ブレーキペダルを踏む
(インテリジェント クルーズコントロールにより、自車が停止状態を保持しているときを除く)



警告

- 車から離れるときは、必ずプロパイロットスイッチ  を押して、プロパイロットをOFFにし、シフトポジションを  に入れ、e-POWERシステムを停止する。

インテリジェント クルーズコントロールの自動解除

- 次の場合は、解除音とともにインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。
 - － 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
 - － 運転席のシートベルトを解除したとき
 - － 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
 - － インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止後、約3分が経過したとき
 - － シフトポジションを **D** または **B** 以外にしたとき
 - － 電動パーキングブレーキをかけたとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 - － VDC/TCSが作動したとき
 - － タイヤが空転したとき
 - － 周辺の電波源の影響を受けているとき
- 次の場合は「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と表示され、作動が停止します。
 - － センサー部が汚れ、先行車の検出が困難になったとき
システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止してレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから再始動し、再びシステムをONにしてください。
 - － 道路形状や周辺の建造物により、レーダーが先行車を正確に検知できないとき
(例：長い橋、雪原、長い壁の横など)
システムを再び作動させる場合は、上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。



アドバイス

- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止状態を保持中に運転席ドアを開けたとき、電動パーキングブレーキが正常に作動しなかった場合は「停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください」と警告メッセージが表示されま



知識

- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止状態を保持しているとき、次の条件により、インテリジェント クルーズコントロールが解除されると電動パーキングブレーキが作動します。
 - － 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
 - － 運転席のシートベルトを解除したとき
 - － インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止後、約3分が経過したとき
 - － シフトポジションを **D** または **B** 以外にしたとき

知識

- － VDCをOFFにしたとき
- － インテリジェント クルーズコントロールに異常があるとき
- － CANCELスイッチを押したとき
- － プロパイロットスイッチ  を押したとき

インテリジェント クルーズコントロールの故障について

- システムに異常があると、警告音とともにアドバンスドドライバアシストディスプレイ内に車速制御警告灯（黄色）、およびハンドル支援警告灯（黄色）が点灯し、警告が表示され、システムが停止します。

車速制御警告灯 (→ P.326)

ハンドル支援警告灯 (→ P.326)



アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■ プロパイロット（インテリジェント クルーズコントロール）警告メッセージ

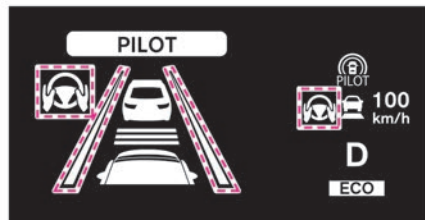
警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。メーター内の表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 作動範囲外のため現在使用できません	● VDC/TCSが作動したとき ● タイヤの空転を検出したとき ● VDCをOFFにしたとき	● VDC/TCSが作動する、または、タイヤが空転するような状況ではインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。 ● VDCがOFFの場合はインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 パーキングブレーキが作動しているため使用できません	● 電動パーキングブレーキが作動したとき	● 電動パーキングブレーキが作動しているときはインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 シートベルトが解除されているため使用できません	● 運転席のシートベルトを解除したとき	● 運転席のシートベルトが解除されている場合はインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 警告  システム故障 取扱説明書を見てください	● システム故障	● 安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
 警告 停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	● インテリジェント クルーズコントロールにより車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき	● 速やかにブレーキを踏んでください。

ハンドル支援の作動

車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。

- ハンドル支援は、次の条件を満たすとき作動することができます。
 - － インテリジェント クルーズコントロールの制御が開始しているとき
 - － 両側のレーンマーカータを検出しているとき
レーンマーカータとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。
 - － 先行車を検出しているとき（車速が約50km/hを下回っている場合のみ）
 - － 運転者がハンドルを持っているとき
 - － 車線の中央を走行しているとき
 - － 方向指示器が作動していないとき
 - － ワイパーが高速で作動していないとき
- ハンドル支援が作動すると、ブザーが鳴るとともにハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が緑色になります。



■ ハンドル支援のON・OFFのしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「プロパイロット」⇒「ハンドル支援」を選択すると、ハンドル支援のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ [画面の切り替えかた \(P.85\)](#)

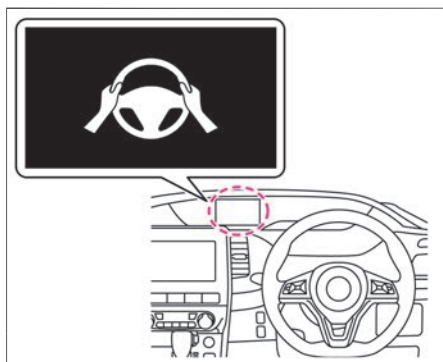
➡ [運転支援システム \(P.96\)](#)

知識

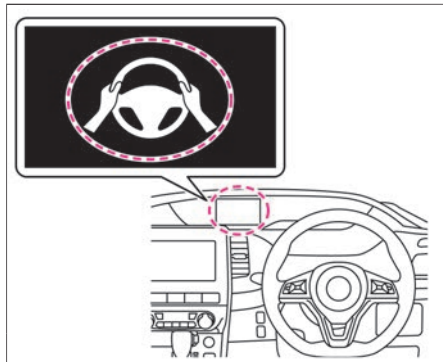
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの車両情報画面がプロパイロット画面のときは、ステアリングにある **OK** スイッチを押すとプロパイロットの設定画面が表示されます。
- ハンドル支援のON・OFF設定はe-POWERシステムを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

手放し警告について

- 運転者がハンドルを持っていない、または操作していない場合、アドバンスドドライバシストディスプレイに手放し警告が表示されます。



- 手放し警告が表示がされているにもかかわらず、運転者のハンドル操作が検出されない場合は、警告音とともに手放し警告が点滅し、ハンドル支援機能は一時待機状態となります。



警告

- **手放し運転を行うことはできません。**
運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

アドバイス

- ハンドルに手を軽く添えて運転をしている場合など、ハンドル操作を検出できず、手放し警告が表示されることがあります。

知識

- 手放し警告によりハンドル支援が一時待機状態となった後、再び運転者がハンドル操作すると手放し警告は消灯し、ハンドル支援機能が復帰します。

■ ハンドル支援の一時待機について

運転操作による一時待機

- 方向指示器を作動させたときは、ハンドル支援機能が一時待機状態になります。（再び作動条件を満たすと作動を再開します）
- ハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が灰色になります。
プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（🔔P.346）

システムによる一時待機

- 次の場合は、ブザーとともに警告メッセージが表示され、ハンドル支援機能が一時待機状態になります。（再び作動条件を満たすと作動を再開します）
 - － 両側の車線を検出しなくなったとき
 - － 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき
- ハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が灰色になります。
プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（🔔P.346）

■ ハンドル支援の自動解除

- 次の場合は、警告メッセージが表示され、ハンドル支援機能が解除されます。
 - － ワイパーを高速で作動させたとき
 - － 走行車線内にレーンマーカに見えようなものがあるなど、レーンマーカが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカなど）
- プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（🔔P.346）

知識

- ハンドル支援によるステアリング制御は、運転者のハンドル操作によりいつでも修正することができます。

ハンドル支援機能の故障について

- システムに異常があると、警告音とともにアドバンスドドライバアシストディスプレイに車速制御警告灯（黄色）、およびハンドル支援警告灯（黄色）が点灯し、警告が表示され、システムが停止します。

車速制御警告灯（➡P.326）

ハンドル支援警告灯（➡P.326）



アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。メーター内の表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 ハンドル支援は一時的に作動できません	● 両側の車線を検出しなくなったとき ● 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき	● 作動条件を再度満たすとハンドル支援機能は再開されます。
 	● ハンドルを持っていない、またはハンドル操作がないとき	● 速やかにハンドルを持って操作してください。運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、ハンドル支援機能が復帰します。
レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	● 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど）	● 再びハンドル支援機能を使用したいときは、レーンマーカーがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを解除し、再度セットしてください。
 悪天候のため 現在使用できません	● ワイパーを高速で作動させたとき	● ワイパーの高速作動を解除して再度セットしてください。
 カメラが認識できないため 現在使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき ● 前方から強い光を受けたとき	● 状況が改善すると、プロパイロットを使用することができません。 ● 警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止してカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 カメラが高温のため 現在使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● 室内の温度が下がるとプロパイロットを使用することができます。

プロパイロットに関する注意事項

⚠ 警告

- プロパイロットは協見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。
先行車との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転に心がけてください。
- プロパイロットの性能には限界があります。次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、プロパイロットを使用しないでください。
 - － 急カーブや曲がりくねった道
プロパイロットは直線路や緩やかなカーブ路での使用を想定して設計しているため、車線中央付近を維持できなくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 急勾配の坂道
停止状態を保持できず、車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 急な下り坂
設定車速を超えてしまうおそれがあります。また先行車がいる場合は、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - － 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況
ブレーキ作動が遅れて車間距離が短くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 道路構造物（壁、ガードレール、ポール、縁石など）と、レーンマーカースが極端に近い道
道路構造物に接近し思わぬ事故につながるおそれがあります。

 警告

- 次のような状況では先行車との車間距離が正確に検出できない、またはレーンマーカーが検出できない場合があります、適切に制御できず、思わぬ事故につながるおそれがありますのでプロパイロットを使用しないでください。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - － 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
 - － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - － 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行するとき
 - － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - － 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - － オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 次のような状況ではプロパイロットは正しく機能しません。プロパイロットを使用しないでください。
 - － タイヤの空気圧が適正ではないとき

 警告

- 摩耗しているタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
 - カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
 - 極端に重い荷物を積んでいるとき
 - けん引しているとき
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

知識

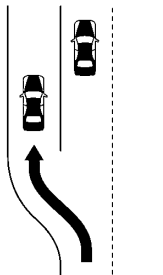
- プロパイロットを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラス、レーダーセンサーおよびその周辺のお手入れを行ってください。

② マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.622)

③ レーダーセンサーの取り扱い (P.621)

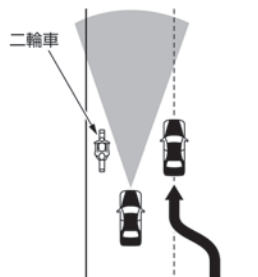
インテリジェント クルーズコントロールについて

- 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でインテリジェント クルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 近距離ではセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、車間距離が適切に保てない場合があります。

知識



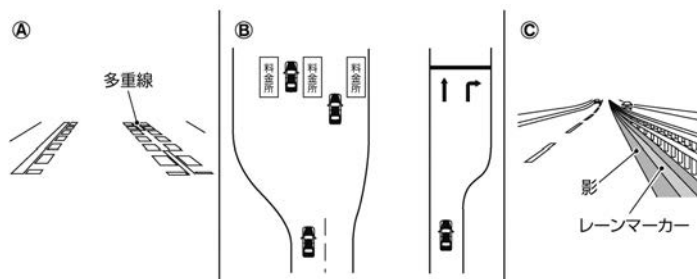
- センサーの汚れを判定する機能を備えておりますが万全ではありません。
状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、適切な作動ができなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、レーダーセンサーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。
なお、汚れを判定した場合は、インテリジェント クルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や自車の状況（ハンドル操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に先行車を検出できなくなったり、隣の車線の車両や周辺ものを検出して制御したり、警報が作動する場合があります。
また、一時的に先行車を検出できず、先行車に近づく場合があります。

ハンドル支援機能について

- 次のような状況ではレーンマーカーを正しく検出できず、適切なハンドル制御が行えない場合があります。

知識

- レーンマーカーが消えかかっている、汚れているなど不明瞭なとき
- レーンマーカーが路面の色と似ており見えにくいとき
- レーンマーカーが多重に描かれているとき④
- 消されたレーンマーカーが、まだ薄く残っているとき
- 料金所や交差点手前などでレーンマーカーがない、またはレーンマーカーが大きく変化しているとき⑤
- 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- 停止禁止部分または立ち入り禁止部分がある道を走行しているとき
- 濡れている、または水たまりがある路面を走行しているとき
- 工事などで車線内に複数のレーンマーカーがある道を走行しているとき
- 道路構造物、街路樹、建物などの影が差している路面を走行しているとき⑥
- 合流、分岐路を走行しているとき

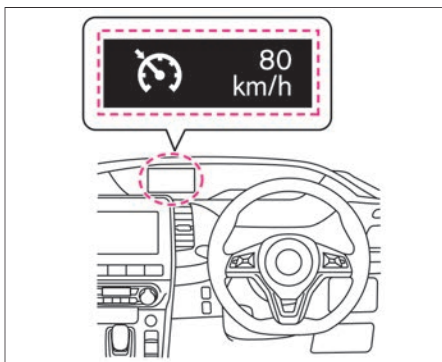


定速制御機能について

定速制御機能を使用すると、シフトポジションが**D**または**B**のとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。（ハンドル支援や車間制御は行いません。）約40km/h以上で任意の速度にセットできます。

定速制御機能表示

- プロパイロットスイッチ  をONにすると点灯し、システムの作動状態を色で表示します。セットすると設定した速度を表示します。
 - － 白色：
プロパイロットスイッチ  を1.5秒以上押し、システムがONになると表示します。
 - － 緑色：
車速を設定すると表示します。
 - － オレンジ色（警告灯）：
システムが故障すると表示します。



警告

- 定速制御機能を使用するときは、十分な車間距離をとる。
定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次の状況では、**思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使用しない。**
 - － 交通量の多い道や急カーブのある道
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - － 急な下り坂

アドバイス

- 定速制御機能表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止し、再始動してから再度定速制御機能をセットして



アドバイス

ください。e-POWERシステムを再始動後もセットできない、または定速制御機能表示がオレンジ色に点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

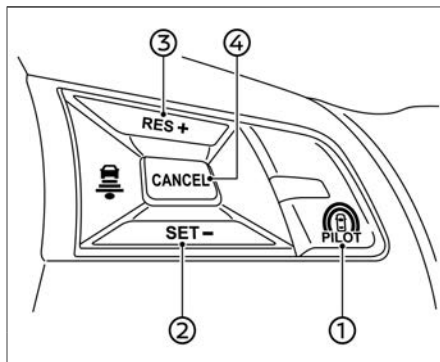


知識

- 定速制御機能使用時は、ハンドル支援を行いません。

■ステアリングスイッチ（定速制御機能）

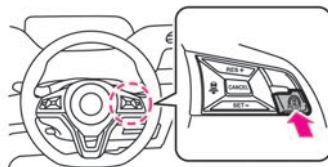
- ① **プロパイロットスイッチ** 
— 一定速制御機能のON・OFFができます。
- ② **SET-スイッチ**
— スイッチを押したときの車速で定速制御機能をセットできます。
— 設定車速を下げるができます。
- ③ **RES+スイッチ**
— 一定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
— 設定速度を上げることができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
— 一定速制御機能の解除ができます。



定速走行のしかた

1

ハンドルにあるプロパイロットスイッチ  を1.5秒以上押して定速制御機能をON（待機状態）にします。
アドバンスドライバアシストディスプレイに定速制御機能表示が点灯します。

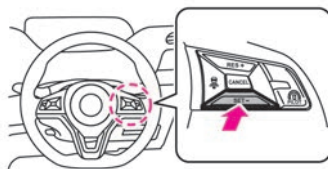


2

設定したい速度まで加速または減速します。

3

SET-スイッチを押します。
SET-スイッチを押したときの車速で定速走行を開始します。



知識

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

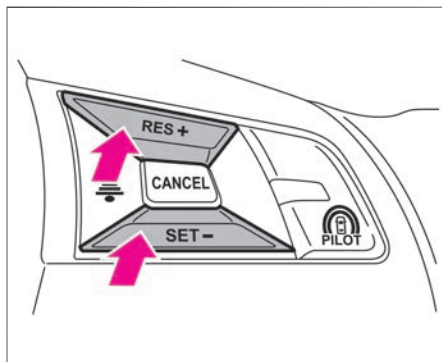
設定車速の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中にRES+スイッチを押し続けると加速します。設定したい速度で手を離します。

速度を下げる

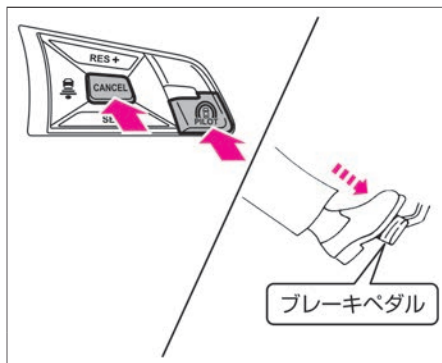
- 定速走行中にSET-スイッチを押し続けると減速します。設定したい速度で手を離します。



定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- プロパイロットスイッチ  を押す
- ブレーキペダルを踏む



アドバイス

- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+スイッチを押します。
(車速が約40km/h以上るとき戻せません。)
- 次の場合は、“ピー”という音とともに制御が解除されます。
ー 速度が約30km/h以下になったとき



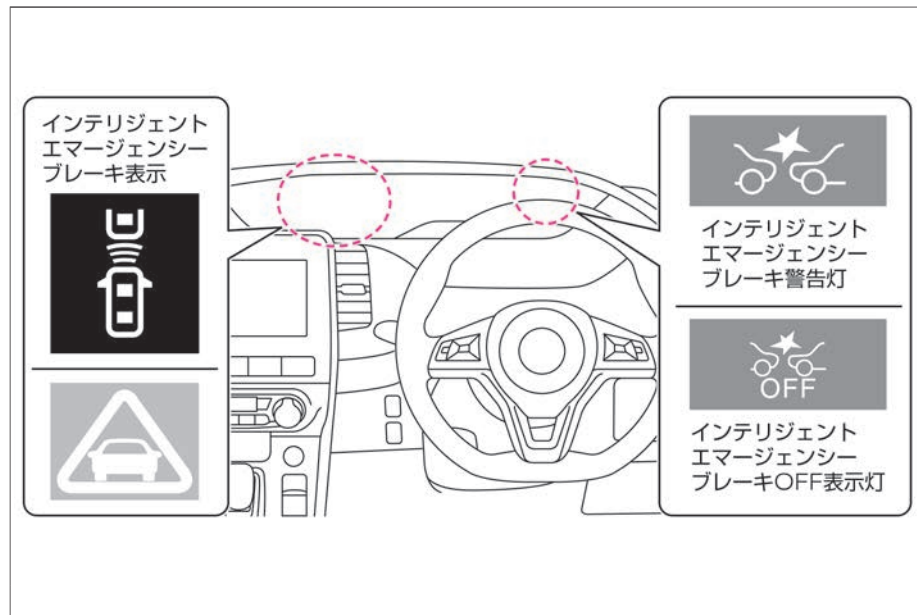
アドバイス

- 設定速度より約13km/h以上速度が低下したとき
- VDC/TCSが作動したとき
- タイヤが空転したとき
- シフトポジションを**D**または**B**以外にしたとき
- システムに異常があるとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示

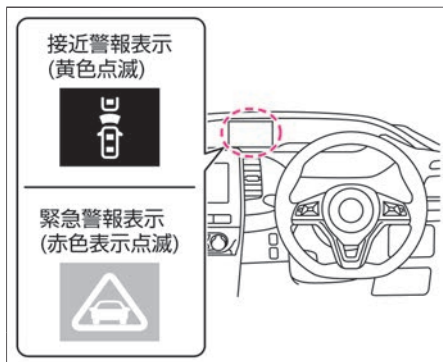


警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。
必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキについて

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩者を検知します。
- 車速約10～80km/hの範囲で作動します。
(車速約60km/h以上では、歩行者に対しては作動しません。)
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）が黄色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音（ブザー）とともに軽いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。



知識

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - ー アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ー ハンドルを大きく、または素早くきったとき
 - ー 前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- システムによるブレーキ作動中にブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生することがあります。

知識

ますが異常ではありません。また踏力を加えることで、ブレーキ力を増すことができます。

- アドバンスドドライバアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」および「プロパイロット」★に切り替えると、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動状態をアドバンスドドライバアシストディスプレイ内で確認することができます。

詳しくは、 画面の切り替えかた (P.85)をお読みください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた

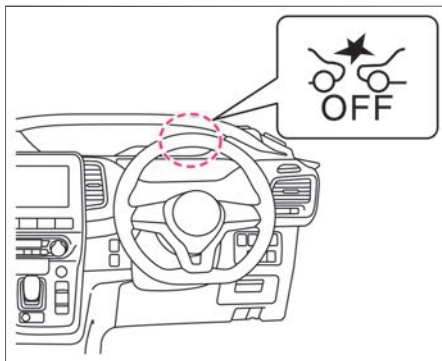
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「エマージェンシーブレーキ」⇒「システム」を選択すると、インテリジェント エマージェンシーブレーキ機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.85)

➡ 運転支援システム (P.96)

- 機能をOFFにすると、システムが停止します。(インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯)



知識

- e-POWERシステムを再始動するとONになります。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）も連動してOFFになります。
- ➡ 踏み間違い衝突防止アシスト (P.371)
- ➡ インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.417)

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項

知識

- 次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 対向車両
 - － 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などの付着やワイパーの拭き残しがあるとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき

知識

- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
- 始動してから約15秒間
- カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
- カメラの向きがずれているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

知識

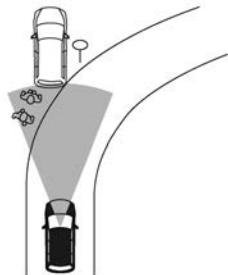
- 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。
 - － 歩行者の移動速度が速いとき
 - － 対向して接近する歩行者
 - － 歩行者の姿勢や手足の状態（手を上げているときなど）により、歩行していると特定できないとき
 - － 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - － 車高の低い車両
 - － 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - － 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - － 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - － 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
 - － 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
 - － 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - － リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - － 四輪車以外の車両(二輪車など)
 - － 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
 - － ショッピングカートやベビーカーなどを押しているとき
- 以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - － 複数の対象物同士が近接している場合
 - － 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。

知識

- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 勾配のある路面を走行しているとき
- 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
- 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
- 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 車両が傾いているとき(後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき)
- 路面または壁面の影や模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示、濡れた路面に映り込んだ模様、わだちなどや光の反射を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、カーブミラー、電柱や電線、看板）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。
- 右左折中の前の車両にシステムが作動を継続する場合があります。
- 前の車両に接近し追い越す場合、システムが作動する場合があります。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、ワインディング道、車線規制や工事中など）によっては、一時的に自車正面の対向車にシステムが作動する場合があります。
- 自転車で行走している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。

知識

- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



- 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行路にある物（近接する樹木など）

インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点灯し、作動が停止します。
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - ー VDCをOFFにしたとき
 - ー 周辺の電波源の影響を受けているとき
停止したときの状態が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。
- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  およびインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - ー フロントガラスの汚れなどにより、カメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき
 - ー 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - ー 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
(室内の温度が下がると、作動を復帰します。)
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
警告灯 (➡P.534)
警告メッセージ (➡P.544)



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(➡P.622)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (➡P.534)

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点灯するとともにアドバンスドドライバアシストディスプレイに「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、システムが自動的に停止します。
 - － 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、e-POWERシステムを再始動してください。
 - － 道路形状や周辺の建造物により、レーダーが先行車を正確に検知できないとき
(例：長い橋、雪原、長い壁の横など)
上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。

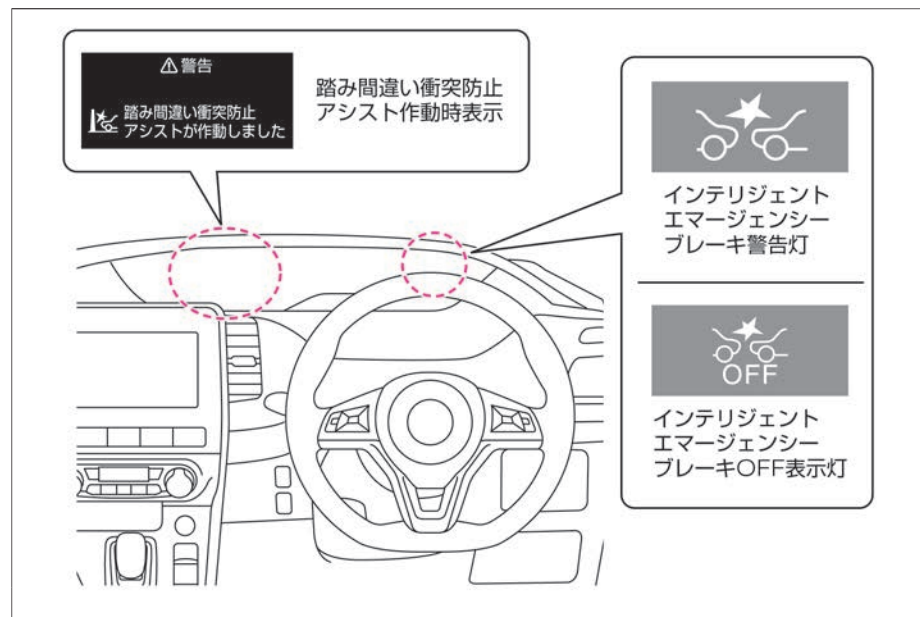
知識

- VDCをOFFにしたときは、メーターの表示と警報音（ブザー）のみ作動します。
- 夜間、ライトを付けずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点滅する場合があります。

踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストは、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがいる場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。さらにe-POWERシステムやブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

システムに関連する表示



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

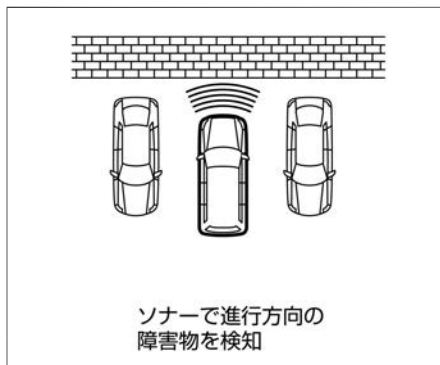
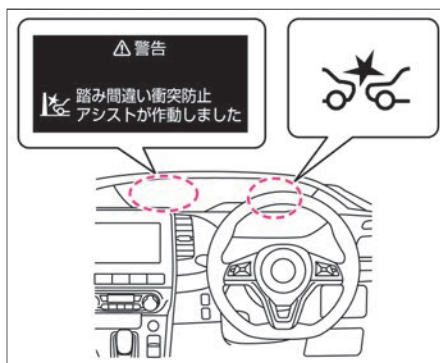
踏み間違い衝突防止アシストについて

前進時

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。

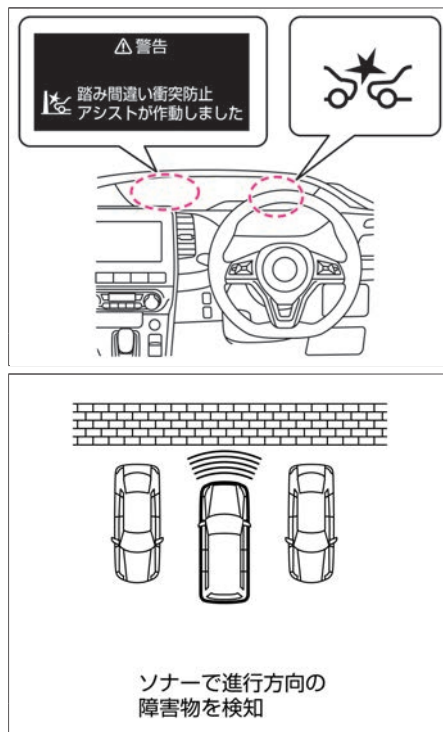
後退時

- リヤバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。
- 踏み間違い衝突防止アシストには、2つの機能があります。次ページ以降をお読みください。



低速加速抑制機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/hの範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/hの範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音（ブザー）と警告灯の点滅、およびアドバンスドドライバアシストディスプレイの表示によって運転者に警告します。
警告灯（➡P.534）
警告メッセージ（➡P.543）

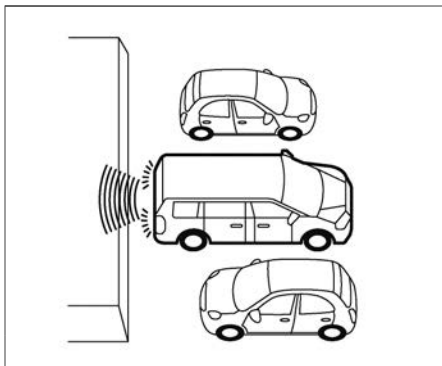
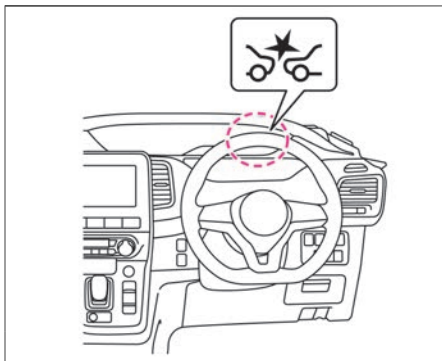


警告

- **故意にアクセルペダルを踏み込まない。**
低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、または後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、e-POWERシステムの出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約2～15km/hの範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音（ブザー）と警告灯の点滅によって運転者に警告します。
警告灯（🔊 P.534）



知識

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

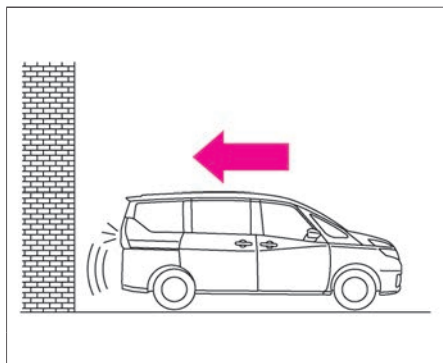
■ 低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうになったとき

万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）と警告灯が点滅し、ブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。

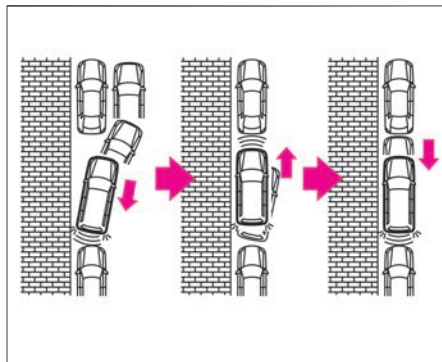
- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。

アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

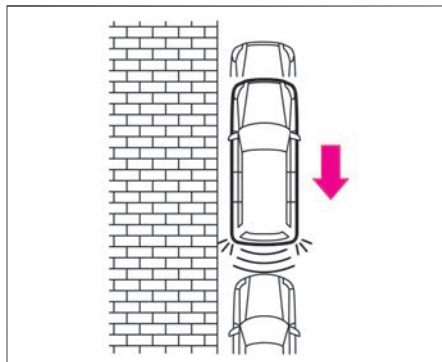


縦列駐車をするとき

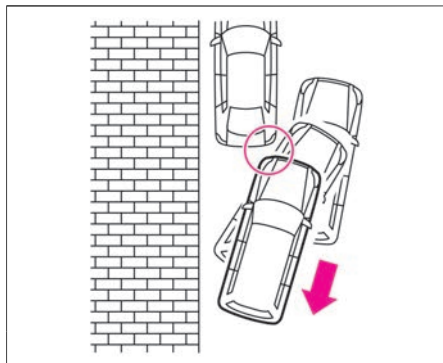
シフトポジションを **D** から **R**、または **R** から **D** に切り替えたときは、セレクタレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。



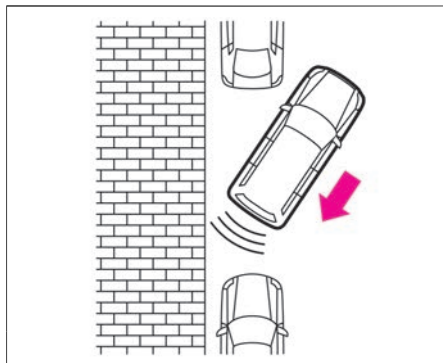
- ブレーキ制御が作動したあと、シフトポジションを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をした場合は、ブレーキ制御は作動しません。
- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。



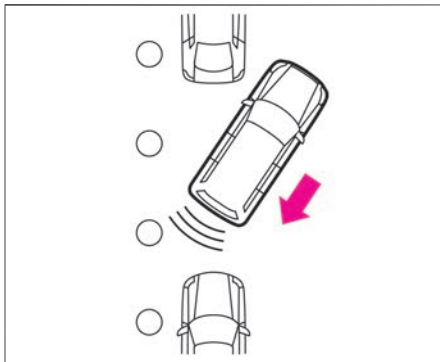
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対して作動しません。



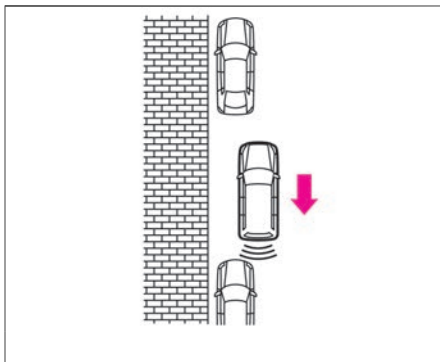
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。

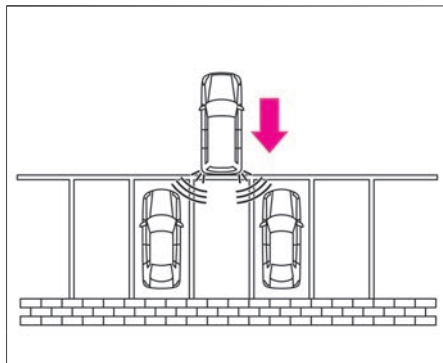


- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

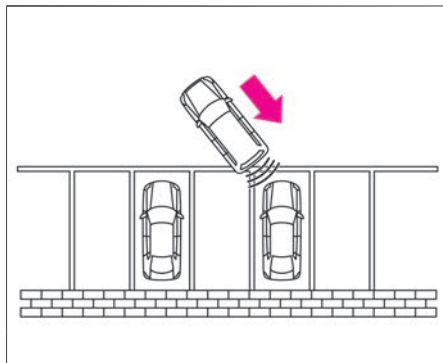


並列駐車をするとき

- 狭いスペースに進入するときには作動することがあります。

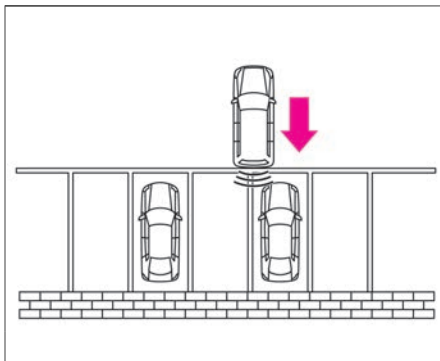


- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。

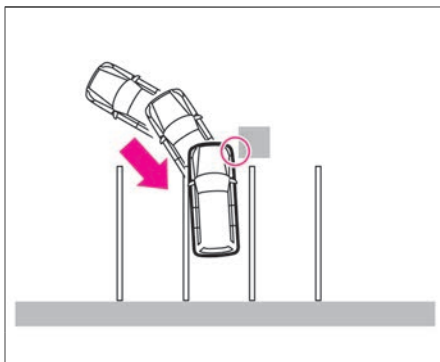


踏み間違い衝突防止アシスト

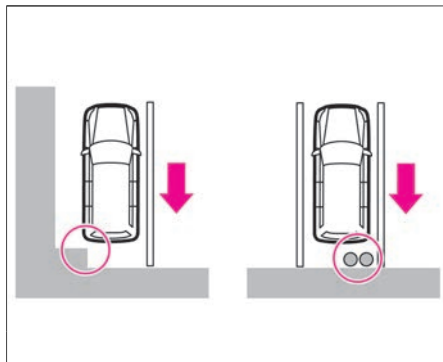
- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。



- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。

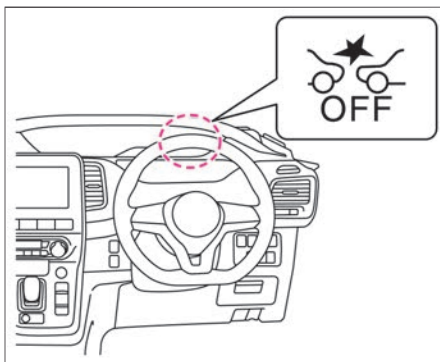


- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「エマージェンシーブレーキ」⇒「システム」を選択すると、踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
- ➡ [画面の切り替えかた \(P.85\)](#)
- ➡ [運転支援システム \(P.96\)](#)
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。（インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯）



知識

- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）の設定と連動しています。

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項

警告

- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、**踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。**
 - － けん引するとき
 - － トレーラーなどに積載するとき
 - － 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
 - － 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)
- ソナーは次のような障害物は検知しません。
 - － 背の低い障害物
 - － 幅の狭い障害物
 - － 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - － バンパーに非常に近い障害物
 - － 急に進行方向に現れた障害物
- ソナーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - － 地面から高い位置に存在する障害物
 - － 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - － 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - － スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。
 - － 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき

次ページに続く

警告

- 周囲で大きな音が鳴っているとき
- 周囲に超音波を発するものがあるとき
- 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- **ソナーは次のような場合は検知することがあります。**
 - 周囲に草が生い茂っているとき
 - 車両側面の近くに壁があるとき
 - 路面上に段差や突起物があるとき
 - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
 - 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
 - 背が高く上部が張り出しているものがあるとき
- **マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。**
 - 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - 対向車両
 - 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- **マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。**
 - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - 前方を横切って通過する車両
 - 斜めもしくは前向きに止まっている車両

⚠ 警告

- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - － カーブを走行しているとき
 - － 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - － 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - － 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
 - － 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
 - － 始動してから約15秒間
 - － カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
 - － カメラの向きがずれているとき

⚠ 警告

- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - － 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - － 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - － 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - － 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - － 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - － 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - － 車高の低い車両
 - － 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - － 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - － 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - － 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
 - － 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
 - － 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - － リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - － 四輪車以外の車両(二輪車など)
 - － 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象物を正しく検出できない場合があります。

⚠ 警告

- 複数の対象物同士が近接している場合
- 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏む。
低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

⚠ 注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。
車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。

アドバイス

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
 - － 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - － 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - － 滑りやすい路面を走行しているとき
 - － ハンドルを大きく切って旋回しているとき
 - － 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - － 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効が悪くなっているとき
 - － 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効が悪くなっているとき
 - － 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
 - － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スベアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - － 車両が傾いているとき(後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき)
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。（前方の車両、歩行者を除く）

知識

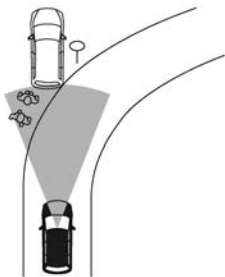
低速加速抑制機能について

- ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
 - － 車速が約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約25km/h以上）
 - － ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - － シフトポジションが **D**、**B**、**R** 以外のとき
 - － トラクションコントロール機能（TCS）が作動しているとき
 - － タイヤが空転しているとき
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車

知識

両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。

- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。
 - ー 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



- ー 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
- ー 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- ー 駐車場内にある物（梁など）

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 次の場合は作動しません。

知識

- 車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき
- シフトポジションが **D**、**B**、**R** 以外のとき
- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点灯し、作動が停止します。
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - ー VDCをOFFにしたとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点滅し、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。
詳しくは、➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき (P.369)をお読みください。
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
警告灯 (➡ P.534)
警告メッセージ (➡ P.544)



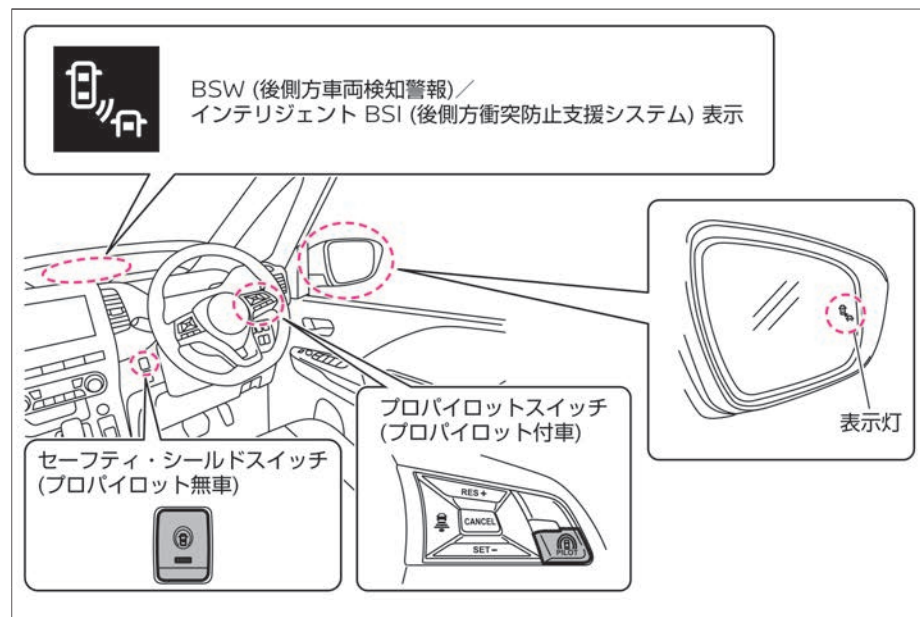
アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、(➡ P.625)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (➡ P.534)

BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）

BSW（後側方車両検知警報）は、車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。
インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は、隣車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両をもとの車線内に戻す方向に力を発生させ、隣接車両との接触を回避するよう支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

BSW（後側方車両検知警報）およびインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防ぐ機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。

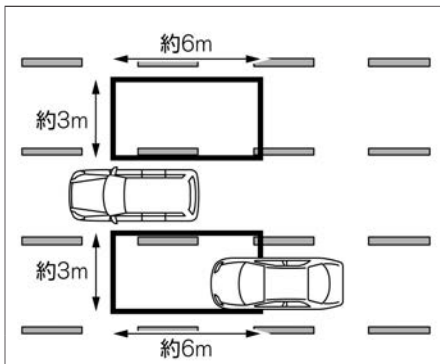
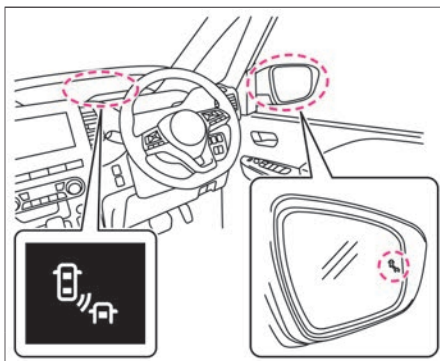
- レーダーセンサーおよびカメラには限界があるため、機能を過信しない。
道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

BSW（後側方車両検知警報）について

- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。
- 車速約30km/h以上で作動します。
- レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知すると、検知した側のドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。
- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのBSW（後側方車両検知警報）表示と、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。

検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にいる車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。



知識

- ドアミラー鏡面の表示灯はパワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。
- 方向指示器が作動しているときに、レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知した場合には、表示灯は点滅しますが音は鳴りません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、BSW（後側方車両検知警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。

🔄 画面の切り替えかた (P.85)

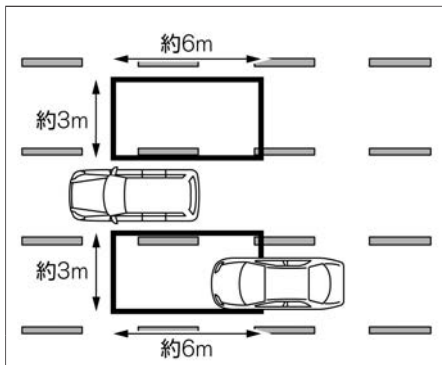
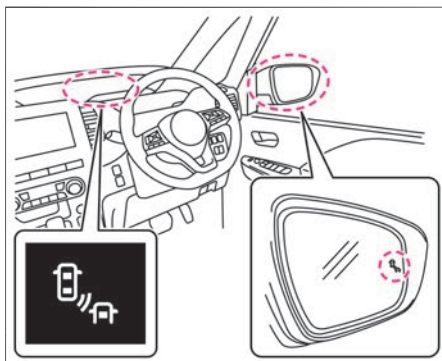
インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）について

- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。また、ルームミラー上方に取り付けられたカメラを使用し、走行している車線のレーンマーカーを検知します。
- 約60km/h以上で走行中に隣車線の車両を検知しているとき、検知している側のレーンマーカーに自車両が接近すると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）表示と、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。同時にブレーキを制御し、車両をもとの車線に戻す方向に制御力を短時間発生させ、自車両をもとの車線に戻す操作を促します。

レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にある車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。



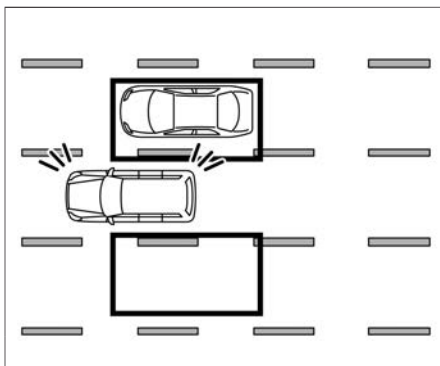
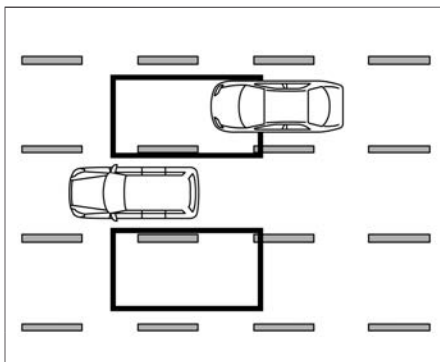
知識

- あらかじめ表示灯が点灯した状態で自車両がレーンマーカーに接近すると、警報とブレーキ制御の両方が作動します。
ただし、自車両がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、警報とブレーキ制御は作動しません。
- インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）よりも先に作動します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、➡[画面の切り替えかた](#)（P.85）をお読みください。

■ 作動するとき・しないとき

後方から車両が接近してくるとき

- 後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲内に入るとドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。
- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



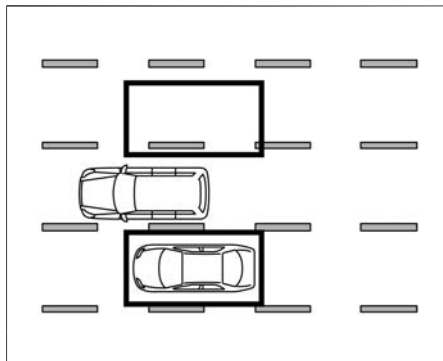
⚠ 注意

- 車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認する。
自車両より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

📖 知識

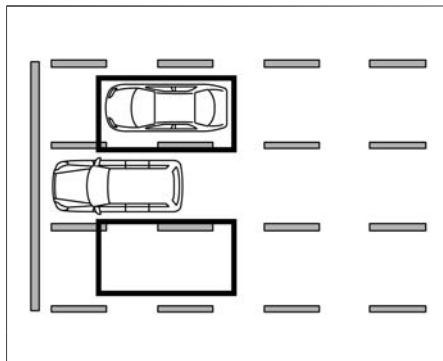
- 方向指示器を作動した後に、検知範囲に車両が入ってきたときは、表示灯は点滅しますが警報音（ブザー）は鳴りません。
- 自車両がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、警報とブレーキ制御は作動しません。

- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



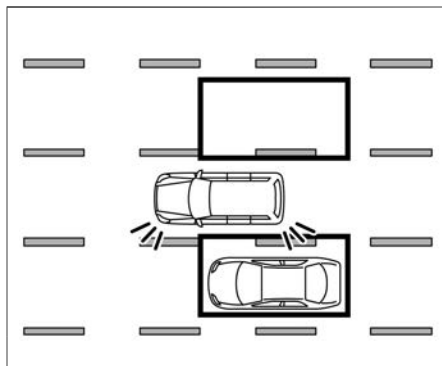
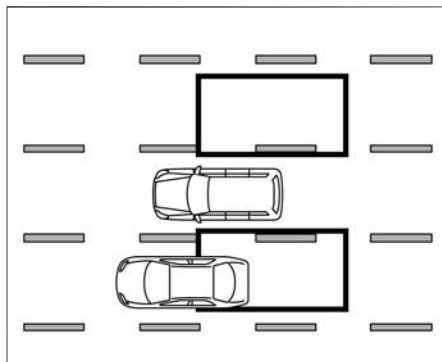
発進するとき

- 停車状態から検知範囲に居続ける車両は検知できないことがあります。



他の車両を追い越すとき

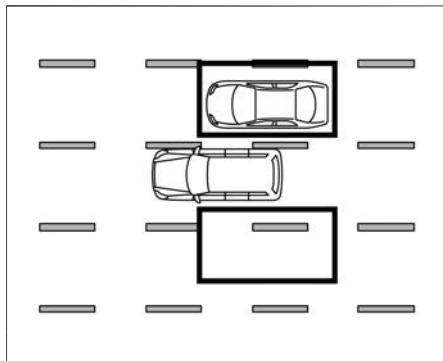
- 他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲内に2秒以上とどまるとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。
- 車両を検知し表示灯が点灯しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



知識

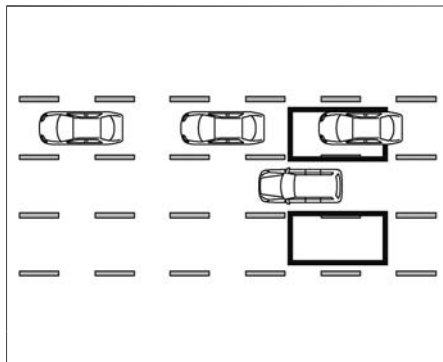
- 速度の遅い車両を素早く追い越したときはシステムが検知しません。

- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



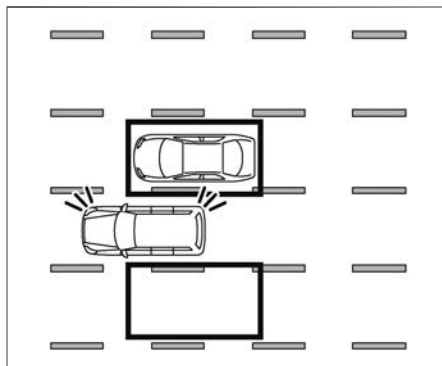
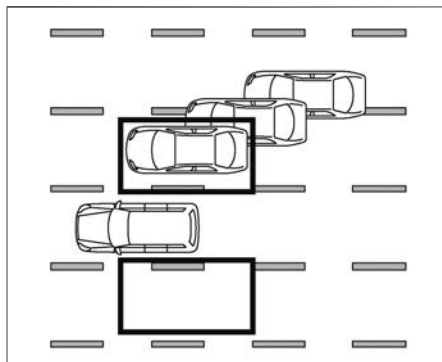
他の車両に追い越されるとき

- 複数の車両に連続して追い越されるとき、追い越す車両の車間距離が短い場合は、1台目の車両以外が検出されないことがあります。



他の車線から車両が接近してきたとき

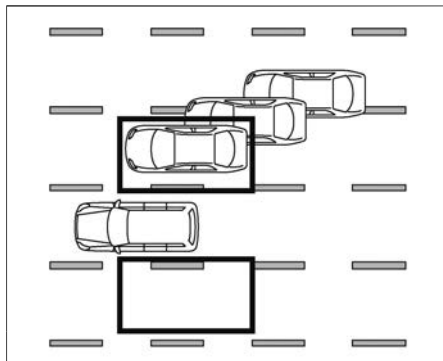
- 車線変更などで車両が接近してきたときは、検知範囲内に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。
- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、ドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。



知識

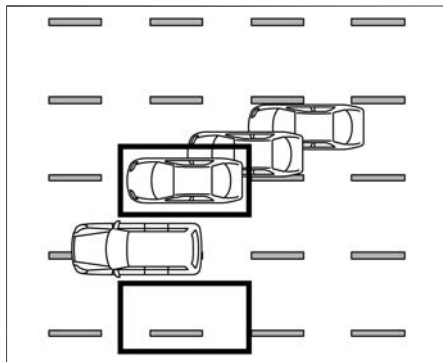
- 自車両とほぼ同じ速度で走行する車両が車線変更してきた場合、検出できないことがあります。
- 方向指示器を作動させたあとに、検知範囲に車両が入ってきたときは、表示灯は点滅しますが警報音（ブザー）は鳴りません。

- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



自車両がレーンマーカの上を走行しているとき

- 検知範囲に車両が入ってもインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は作動しません。この場合、BSW（後側方車両検知警報）のみが作動します。



■ BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）の使いかた

BSW（後側方車両検知警報）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「後側方支援」⇒「BSW（後側方車両検知警報）」を選択すると、BSW（後側方車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.85)

➡ 運転支援システム (P.96)

インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「後側方支援」⇒「BSI（後側方衝突防止支援）」をONにしているとき、プロパイロットスイッチ （プロパイロット付車）またはセーフティ・シールドスイッチ（プロパイロット無車）を押すとシステムがONになります。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.85)

➡ 運転支援システム (P.96)

ドアミラー鏡面の表示灯の明るさ

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「後側方支援」⇒「インジケータの明るさ設定」を選択すると、ドアミラー鏡面にある表示灯の明るさを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.85)

➡ 運転支援システム (P.96)

知識

- プロパイロットスイッチ （プロパイロット付車）またはセーフティ・シールドスイッチ（プロパイロット無車）を押すと、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）のON・OFFを同時に切り替えることができます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「後側方支援」⇒「BSI（後側方衝突防止支援）」でOFFにすると、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）だけをOFFにできます。
- e-POWERシステムを停止するとインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）はOFFになります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイのON・OFF設定は、e-POWERシステムを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

■ BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）を使用しないでください。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - － 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - － 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - － 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき
 - － 純正部品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。
 - － 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
 - － 停車状態から検知範囲に居続ける車両
 - － 後方から速い速度で接近してくる車両
 - － 自車両が速い速度で追い越した車両
 - － 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両
- 次のような場合は、隣の車線の車両を検知できないことがあります。

次ページに続く

 警告

- － 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
- － 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - － 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
 - － 急なカーブのある道路を走行するとき
 - － 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
 - － 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報したり、制御したりする場合があります）
 - － 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
 - － 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
 - － 先行車との車間距離が短く、マルチセンシングフロントカメラの検出範囲が遮られるとき
 - － 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
 - － 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
 - － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
 - － 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

 注意

- レーダーセンサーは次のような障害物は検知しません。
 - － 歩行者、自転車、動物など
 - － 対向車

 アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

 知識

- 車線の幅が極端に広い道路を運転する場合、隣の車線にいる車両を検知できないことがあります。また、車線の幅が極端に狭い道路を運転する場合、2つ隣の車線にいる車両を検知することがあります。
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、植物、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 次の場合はブレーキ制御を行いません。
 - － ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - － 素早いハンドル操作を行ったとき
 - － インテリジェント クルーズコントロール★の接近警報が鳴っているとき
 - － インテリジェント エマージェンシーブレーキが作動しているとき
 - － 非常点滅表示灯を作動させているとき
 - － カーブ路でスピードを出して走行しているとき

 知識

- ブレーキ制御しているとき、運転者がアクセルペダルを踏み増すとブレーキ制御を中止します。

BSW（後側方車両検知警報）の作動が停止するとき

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - － レーダーセンサーが汚れているとき
 - － レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
警告メッセージ（➡P.544）



アドバイス

- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからe-POWERシステムを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、（➡P.621）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
e-POWERシステム再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■ インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）の作動が停止するとき

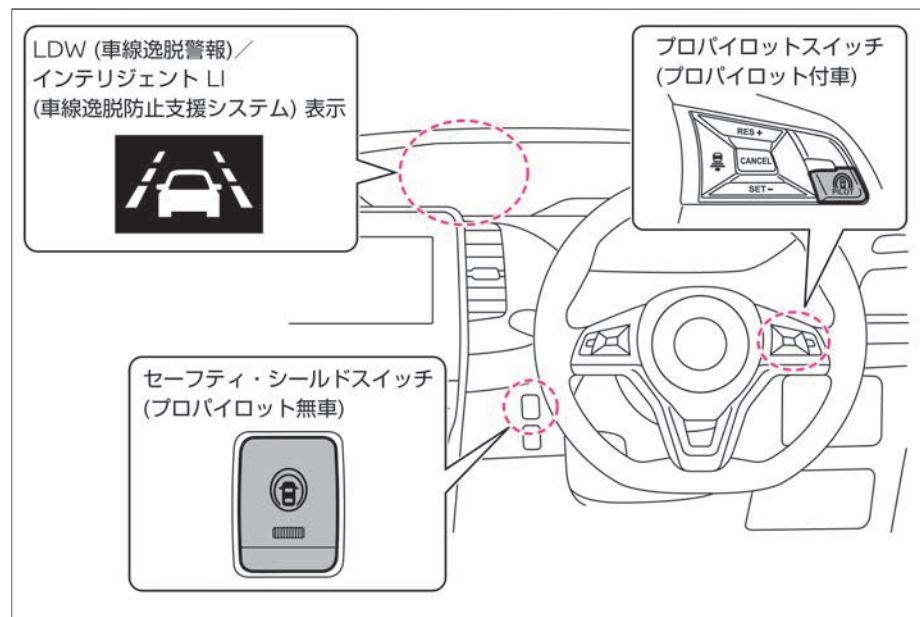
- 次の場合は“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。
 - － ABSまたはVDC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度プロパイロットスイッチ （プロパイロット付車）またはセーフティ・シールドスイッチ（プロパイロット無車）をOFFにし、再度インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）をONにしてください。
- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。システムを再び作動させる場合は、室内の温度が下がってから再びシステムをONにしてください。
- 次の場合は“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、システムが停止します。
 - － サイドレーダー周辺が汚れているとき
 - － サイドレーダー周辺に雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）表示が黄色に点灯し、作動が停止します。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

LDW（車線逸脱警報）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなおとき、警報によって注意を促します。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなおとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

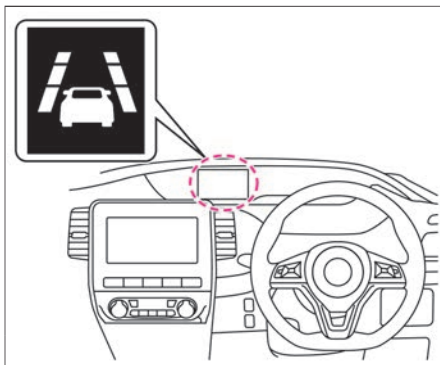
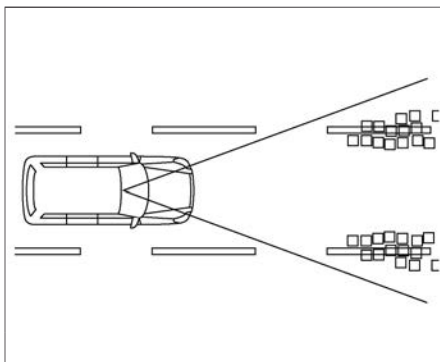
- カメラには限界があるため、機能を過信しない。

道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

LDW（車線逸脱警報）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカに近づいたと判断すると、警報音(ブザー)とともにメーター内のLDW(車線逸脱警報)表示がオレンジ色に点滅します。

レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

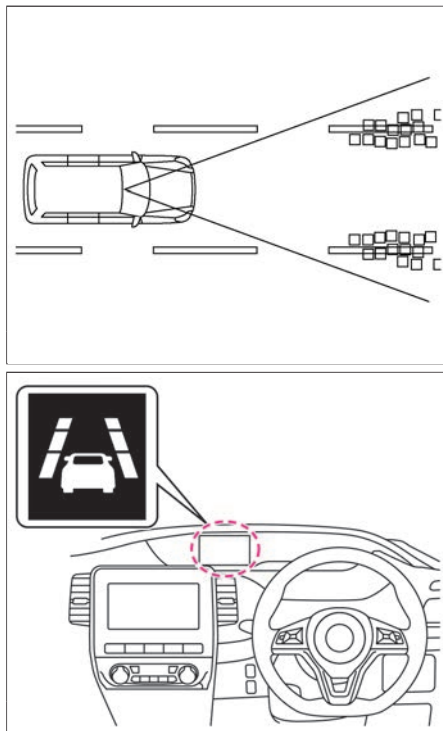


知識

- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。（方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません。）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、運転支援システムをお読みください。
- ➡ 画面の切り替えかた (P.85)
- ➡ 運転支援システム (P.96)

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
 - 車速が約60km/h以上で作動します。
 - 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、警報音(ブザー)とともにメーター内のインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、車両を車線内に戻す方向に制御力を短時間発生させて車両を車線内に戻す操作を促します。
- レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。



知識

- 車両の移動する方向に方向指示器を使用している場合は、警報もブレーキ制御も行いません。（方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません。）
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。詳しくは運転支援システムをお読みください。
- ➡ 画面の切り替えかた (P.85)
➡ 運転支援システム (P.96)

ON・OFFのしかた

LDW（車線逸脱警報）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「側方支援」⇒「LDW（車線逸脱警報）」を選択すると、LDW（車線逸脱警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
- ➡ [画面の切り替えかた \(P.85\)](#)
- ➡ [運転支援システム \(P.96\)](#)

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「側方支援」⇒「LDP（車線逸脱防止支援）」をONにしているとき、プロパイロットスイッチ （プロパイロット付車）またはセーフティ・シールドスイッチ（プロパイロット無車）を押すとシステムがONになります。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
- ➡ [画面の切り替えかた \(P.85\)](#)
- ➡ [運転支援システム \(P.96\)](#)

知識

- プロパイロットスイッチ （プロパイロット付車）または セーフティ・シールドスイッチ（プロパイロット無車）を押す と、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）のON・OFFを同時に切り替えることができます。
- 設定は、e-POWERシステムを再始動しても維持されます。
- e-POWERシステムを停止するとインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）はOFFになります。

LDW(車線逸脱警報)／インテリジェント LI(車線逸脱防止支援システム)に関する注意

⚠ 警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）を使用しないでください。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - － 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - － 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - － 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
 - － 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - － 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
 - － 急なカーブのある道路を走行するとき
 - － 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
 - － 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります。）
 - － 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
 - － 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき

次ページに続く

 警告

- － 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
- － 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- － 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
- － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- － 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）



アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

作動が停止するとき

LDW（車線逸脱警報）

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、メーター内のLDW（車線逸脱警報）表示が点滅し、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、作動を復帰します。）
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
警告（🔍P.544）



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（🔍P.622）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
e-POWERシステム再始動後も警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
🔍LDW（車線逸脱警報）表示（P.110）

インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）

- 次の場合は、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。
 - － ABSまたはVDC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき
 - － VDCをOFFにしたとき

システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度プロパイロットスイッチ （プロパイロット付車）またはセーフティ・シールドスイッチ（プロパイロット無車）をOFFにし、再度インテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）をONにしてください。

- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。システムを再び作動させる場合は、室内の温度が下がってから再びシステムをONにしてください。
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント Li（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点灯し、作動が停止します。



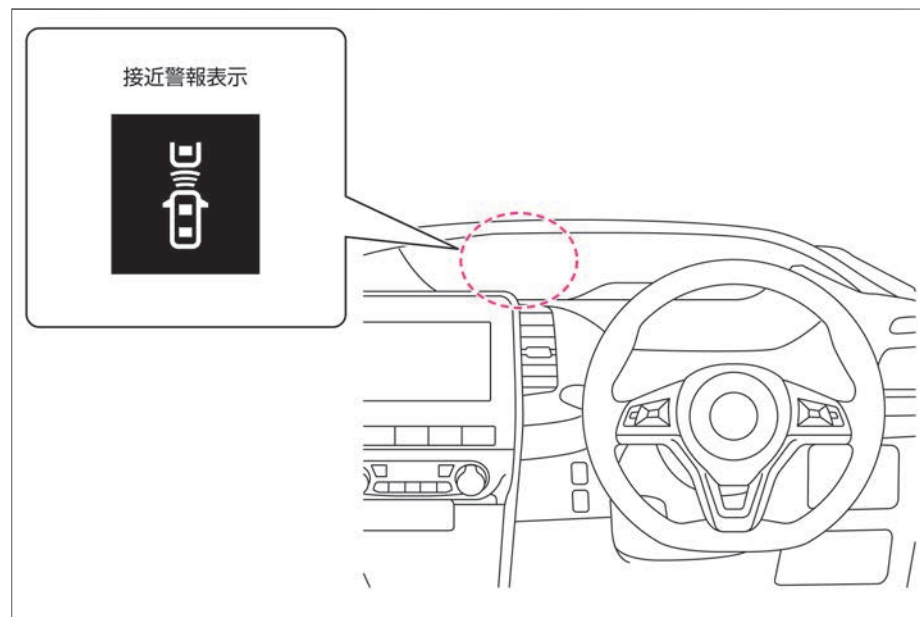
アドバイス

- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停止し一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。e-POWERシステム再始動後も警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、警報によって運転者に注意を促します。

システムに関する表示



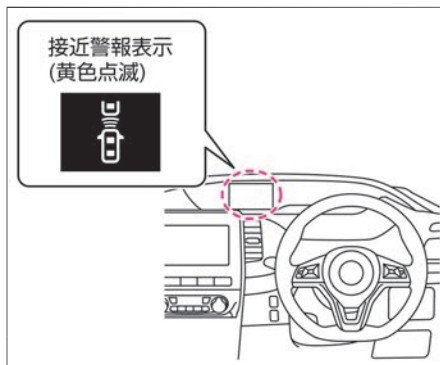
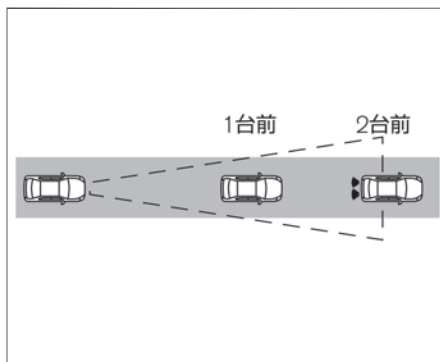
警告

- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は前方を走行する2台前の車両の急な減速などを検知したとき運転者に警報を行いますが、衝突を回避する機能はありません。
- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。
前方の車両との車間距離、周囲の状態に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）について

- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は車速が約5km/h以上で作動します。
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサーにより前方の2台前の車両との距離を計測します。
- 自車の回避操作が必要と判断すると、アドバンスドドライブアシストディスプレイの接近警報表示が黄色に点滅するとともに警報音（ブザー）を鳴らして、運転者に注意を促します。



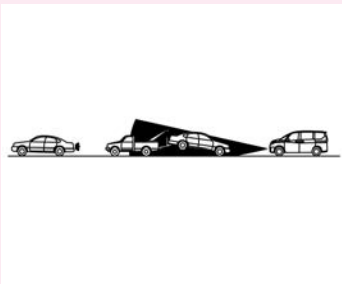
知識

- インテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えると、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、踏み間違い衝突防止アシストも連動してON・OFFされます。
- ➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.360)
- ➡ 踏み間違い衝突防止アシスト (P.371)

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）に関する注意事項

⚠ 警告

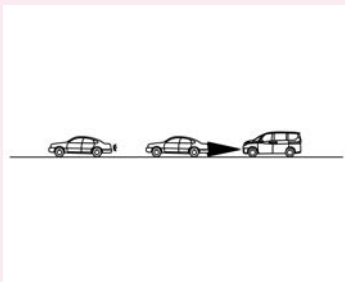
- 次のような障害物は検知しません。
 - － 歩行者、自転車、動物、道路上に落ちている障害物
 - － 対向車両
 - － 前方を横切って通過する車両
- 次のような場合は、前方の2台前の車両を検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - － 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - － トンネル内を走行しているとき
 - － 前方の車両がけん引を行っているとき



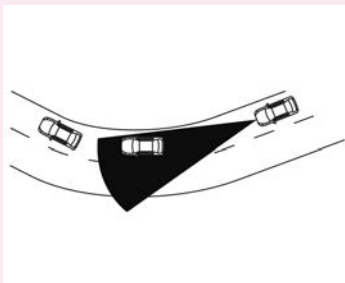
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

警告

- 前方の車両との距離が極端に近いとき



- 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき

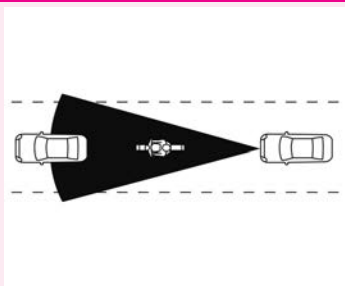


- 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のときは、前方の車両を検知できず、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）により警報を行わないことがあります。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）



警告



- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）の作動が停止するとき

- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点灯し、作動が停止します。
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキが異常により作動を停止したとき
 - ー VDCをOFFにしたとき
 - ー 周辺の電波源の影響を受けているとき
 停止したときの状態が改善されるとシステムは作動を再開します。
- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点灯するとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「フロントレーダー及びその周辺が汚れています拭いてください」と警告が表示され、システムが停止します。
 - ー 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
 上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、e-POWERシステムを再始動してください。
- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯  が点灯するとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「システムが故障しているため使用できません」と警告が表示され、システムが停止します。
 - ー インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）に異常があるとき
 上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。



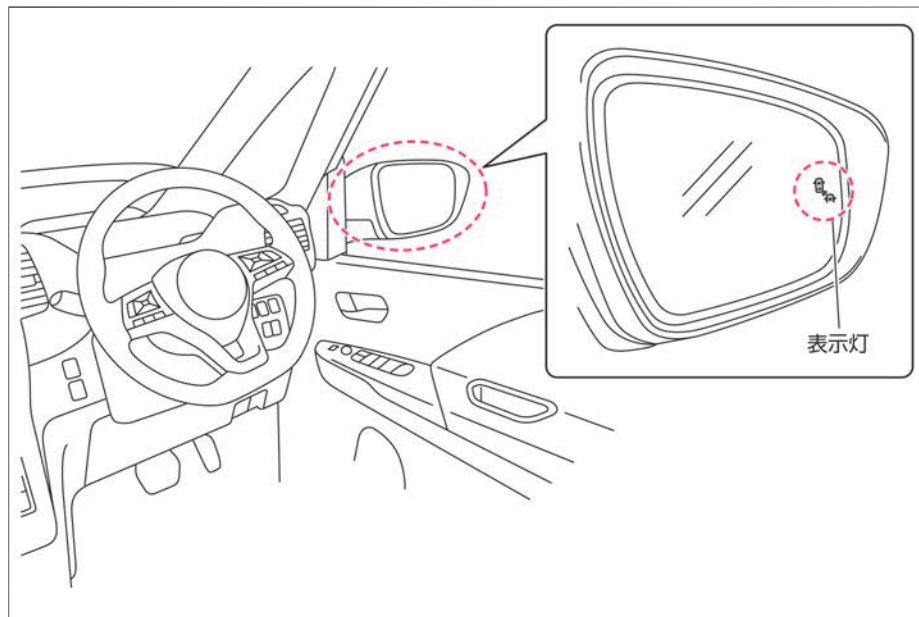
アドバイス

- インテリジェント エマージェンシーブレーキをONにできない、または警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (🔍 P.534)
- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからe-POWERシステムを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(🔍 P.621)をお読みください。

RCTA（後退時車両検知警報）

RCTA（後退時車両検知警報）は、後退時に後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報によって注意を促します。

システムに関連する表示



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

RCTA（後退時車両検知警報）は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

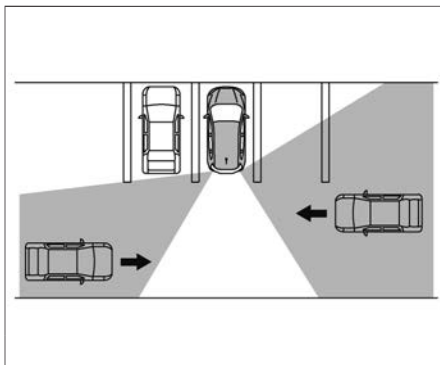
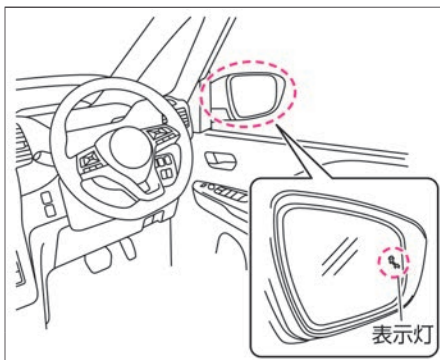
RCTA（後退時車両検知警報）

RCTA（後退時車両検知警報）について

- 車両後部のレーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知します。
- シフトポジションが **R** で、車速約 8km/h 以下のとき作動します。
- レーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知すると、警報音（ブザー）とともに検知した側のドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。

検知範囲について

- レーダーセンサーは、約20m先から近づいてくる車両を検知します。



知識

- ドアミラー鏡面の表示灯はパワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。

RCTA（後退時車両検知警報）

RCTA（後退時車両検知警報）の使いかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」⇒「クロストラフィックアラート」を選択すると、RCTA（後退時車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
画面の切り替えかた( P.85)
運転支援システム ( P.96)

知識

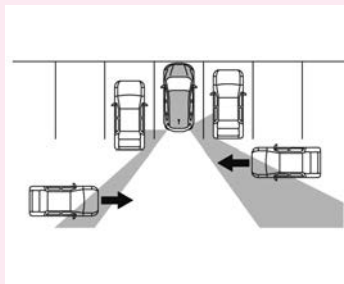
- 設定は、e-POWERシステムを再始動しても維持されます。

RCTA（後退時車両検知警報）

RCTA（後退時車両検知警報）に関する注意事項

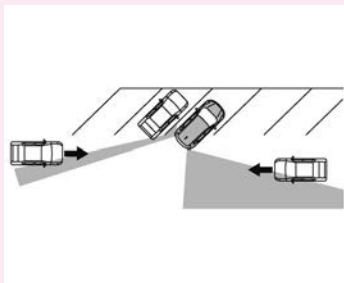
警告

- 後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。
 - － 歩行者、自転車、動物など
 - － 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - － 約8km/h以下の速度で通過する車両
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。
 - － 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき

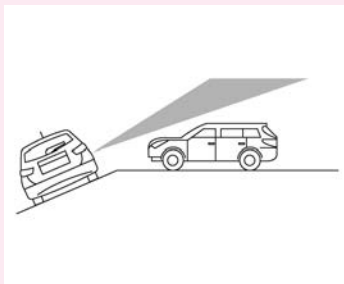


警告

- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



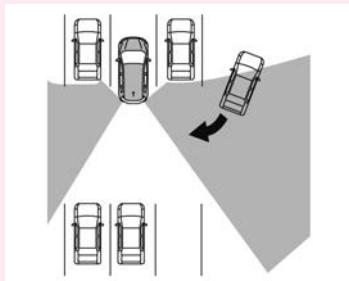
- 傾斜した地面に駐車しているとき



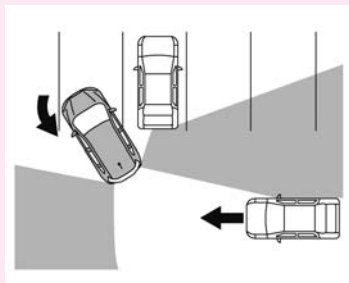
RCTA（後退時車両検知警報）

警告

- 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき



- 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき



- 次のような場合は、思わぬ事故につながるおそれがありますので、システムを使用しないでください。

- 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき

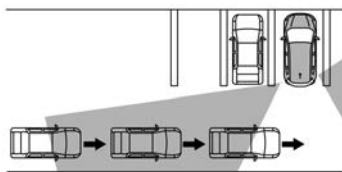
RCTA（後退時車両検知警報）

⚠ 警告

- － 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー付近に付着しているとき
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

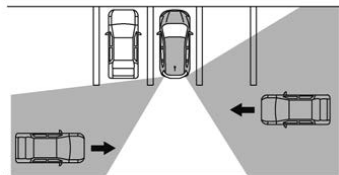
📖 知識

- 複数の車両が連続して後方を通過する場合や、最初に検知した車両と逆方向から車両が接近してきた場合、2台目以降に対して警報が作動しない場合があります。



RCTA（後退時車両検知警報）

知識



RCTA（後退時車両検知警報）の作動が停止するとき

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - ー レーダーセンサーが汚れているとき
 - ー レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。
警告メッセージ (➡P.544)



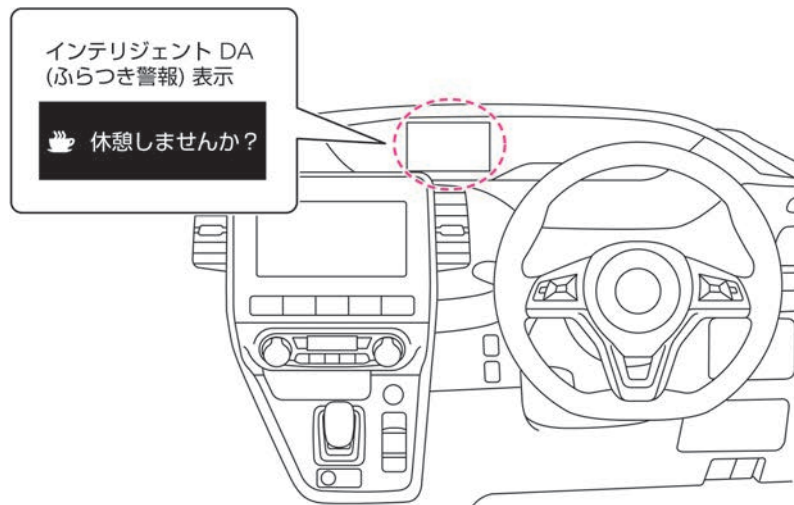
アドバイス

- レーダーセンサー周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからe-POWERシステムを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(➡P.621)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
e-POWERシステム再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント DA（ふらつき警報）★

インテリジェント DA（ふらつき警報）は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、アドバンスドドライバアシストディスプレイの表示と音により運転者に休憩を促します。

システムに関連する表示



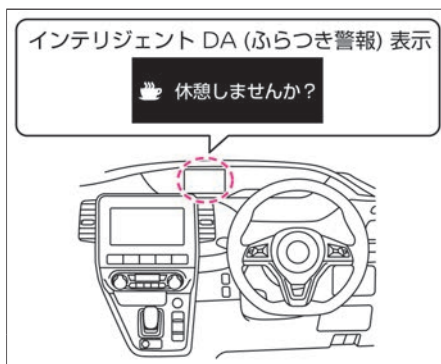
⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故に至る危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。

インテリジェント DA（ふらつき警報）★

インテリジェント DA（ふらつき警報）について

- 車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「休憩しませんか？」と警告メッセージを表示します。
警告メッセージ（➡P.545）



インテリジェント DA（ふらつき警報）の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「運転支援システム」⇒「ふらつき警報」を選択すると、インテリジェント DA（ふらつき警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
➡画面の切り替えかた (P.85)
➡運転支援システム (P.96)

知識

- 設定は、e-POWERシステムを再始動しても維持されます。
- プロパイロット★作動中は、インテリジェント DA（ふらつき警報）のシステムはOFFになります。
➡プロパイロット★ (P.322)

インテリジェント DA（ふらつき警報）の作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動が停止します。
警告メッセージ（🔔P.545）

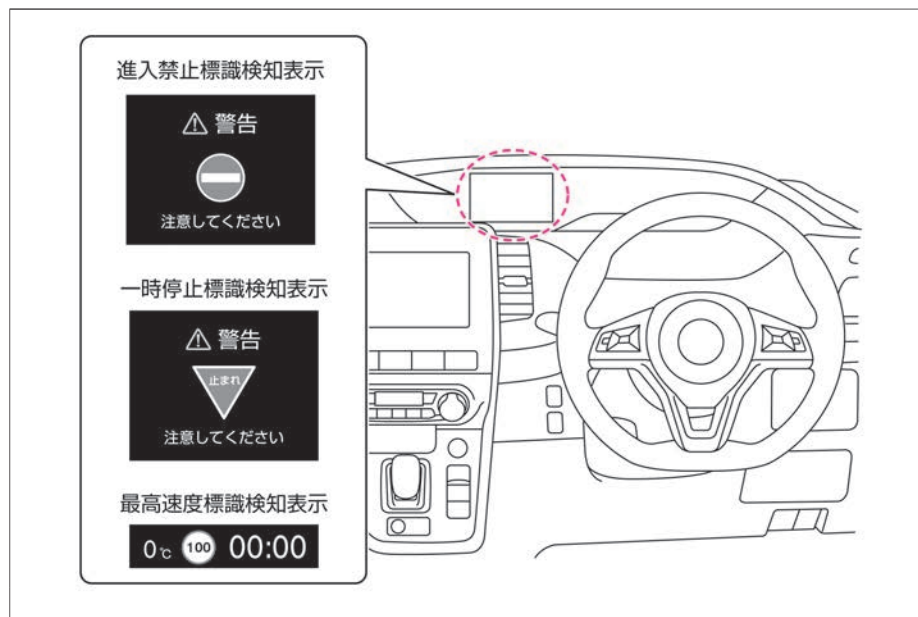


アドバイス

- 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。
通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

システムに関連する表示



警告

- 走行中は運転者の責任で実際の標識を確認する。
標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。
標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。
運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

標識検知機能について

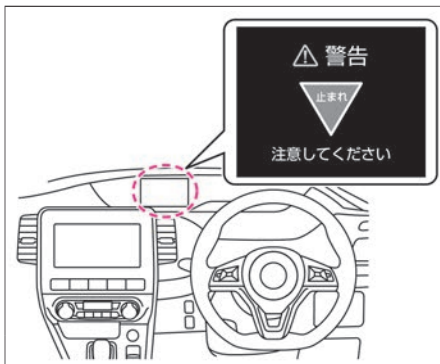
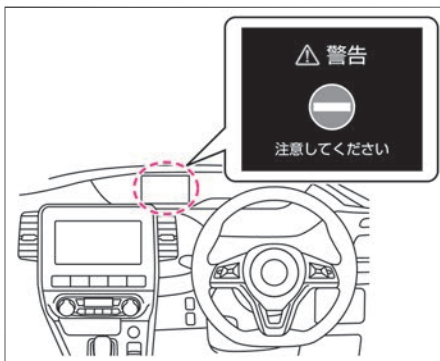
- 標識検知機能には次の機能があります。

進入禁止標識検知

- 前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告表示します。
- 万一、車両進入禁止標識を通過した場合には警告音が鳴ります。

一時停止標識検知

- 前方の一時停止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

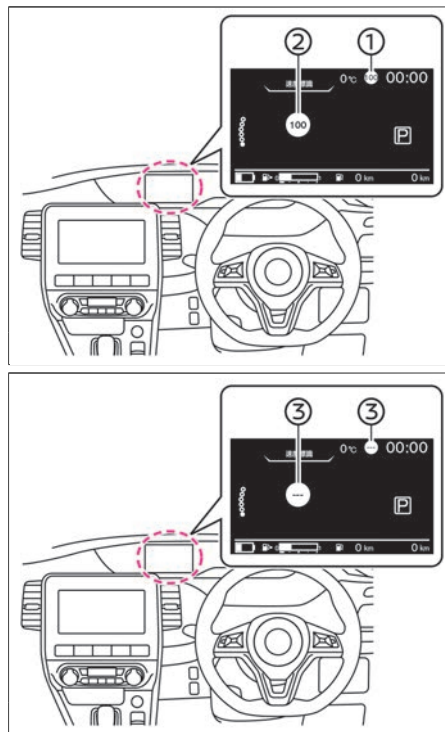


知識

- 次のような道路標識は検知しません。
 - － 電光式の最高速度標識
 - － 補助標識（時間帯、区間の終わりなど）

最高速度標識検知

- 前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイ①、およびインフォメーショングループ **i** ②に表示されます。
- ➡ **インフォメーショングループ（表示項目）**（P.93）
- 次の場合は、最高速度標識の表示が切り替わります。
 - ー 表示中の最高速度と異なる最高速度標識を検知したとき
- 次の場合は、最高速度標識の表示を終了し③が表示されます。
 - ー 最高速度標識を検知し、車両がその標識を通過してから一定の距離を走行したとき
 - ー 右左折などで走行している路線が変わったとシステムが判断したとき
- 最高速度標識を検知できない場合は③が表示されます。



進入禁止標識／一時停止標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「道路標識表示」を選択すると、進入禁止標識／一時停止標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
 [画面の切り替えかた \(P.85\)](#)
 [運転支援システム \(P.96\)](#)

知識

- いずれの設定も、e-POWERシステムを再始動しても維持されます。

最高速度標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「速度標識表示」を選択すると、最高速度標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
 [画面の切り替えかた \(P.85\)](#)
 [運転支援システム \(P.96\)](#)

標識検知機能に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような場合は、標識の検知が遅れたり、検知できないことがあります。
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界がさえぎられているとき
- カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- 前方車両から反射した強い光（太陽光など）を受けているとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 隣を走る車で視界がさえぎられているとき
- 標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
- 標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
- 標識が自車から遠く離れた位置にあるとき
- 夜間で標識に自車のヘッドライトの光が届きにくい位置にあるとき
- 標識が色あせたり、折れ曲がっているとき
- 標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき
- 標識が泥、雪、または霜などで覆われたとき

次ページに続く

 警告

- 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
 - 標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき
 - 標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
 - 標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
 - 標識が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき
 - カメラの向きがずれているとき
 - 始動してから約15秒間は標識を検知しません
- 次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識が無いのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります）
- 数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
 - 検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物など）

⚠ 警告

- 自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の一時停止標識や最高速度標識など）



⚠ 注意

- 標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。
標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる表示をしたりする場合があります。
運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。
- 標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

⚠ 注意



 アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(➡P.622)をお読みください。

 知識

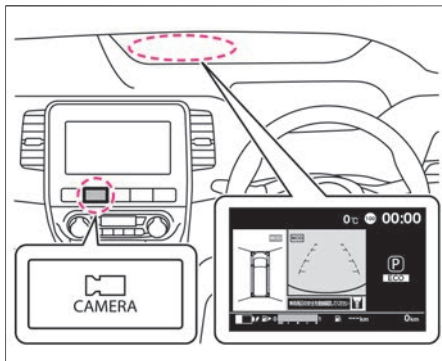
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

インテリジェント アラウンドビューモニターは自車両を上から見たような映像を映し出すことで、駐車時の運転操作を支援します。

インテリジェント アラウンドビューモニターについて

- インテリジェント アラウンドビューモニターはメーターのアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されます。
- パワースイッチがONのときに、 スイッチを押すか、シフトポジションを**R**に操作すると表示します。



警告

- **インテリジェント アラウンドビューモニターの機能を過信しない。**
インテリジェント アラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。
- **実際の距離感を間違えないように注意する。**
インテリジェント アラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

知識

- ディーラーオプションのナビゲーションシステムを取り付けた場合、インテリジェント アラウンドビューモニターの画面はナビゲーションシステムに表示されます。

次ページに続く

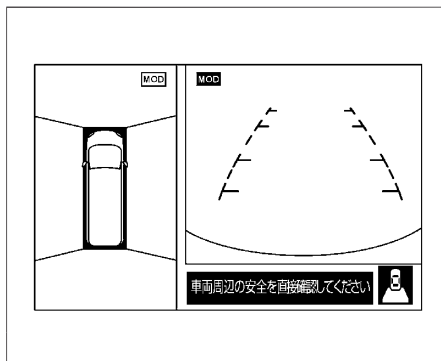
知識

詳しくは、日産オリジナルナビゲーションシステム用取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。

- 日産純正品以外のナビゲーションシステムでの作動の保証はいたしません。

インテリジェント アラウンドビューモニターの使いかた

- シフトポジションを **R** に入れるとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）/リヤビュー（右側画面）を表示します。シフトポジションを **R** から他の位置に動かすと、インテリジェント アラウンドビューモニターがOFFになります。
-  スイッチを押すとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）/フロントビュー（右側画面）を表示します。
-  スイッチを押すことで、左側画面を切り替えることができます。（トップビュー → サイドブラインドビュー → インテリジェント アラウンドビューモニターOFF）
- 右側画面にフロントビューが表示されているときにシフトポジションを **R** に入れると、リヤビューに切り替わります。シフトポジションを **R** から他の位置に動かすと、再度、フロントビューに切り替わります。



警告

- ドアミラーを格納した状態で使用しない。
適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

知識

3分タイマー機能

-  スイッチを押してから約3分後にインテリジェント アラウンドビューモニター表示が消える機能です。シフトポジションが **R** 以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中に  スイッチを押したり、ソナーまたは移動物検知機能が作動したりするとタイマーがリセットされます。）

画面の見かた

①左側画面

- トップビューまたはサイドブラインドビューを表示します。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

- 移動物検知機能を作動させる側のアイコンを青色で表示します。

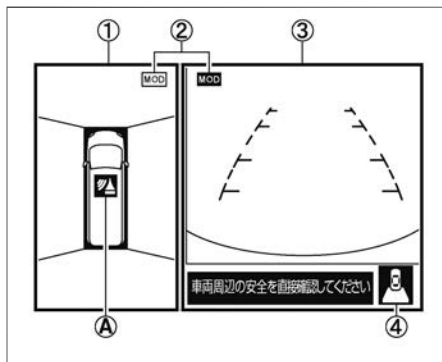
-  : 移動物 検知機能が作動します
-  : 移動物 検知機能が作動しません

③右側画面

- シフトポジションが **R** のときはリヤビューを、**R** 以外のときはフロントビューを表示します。

④方向指示アイコン

- 右側画面の映している方向を表します。
-  : リヤビュー表示
-  : フロントビュー表示



知識

- パワースイッチをONにしてから初めてインテリジェント アラウンドビューモニターを表示したときに、アイコン(A)の色と点滅（約3秒間）で、ソナーの作動状況を表します。
 - 赤色に点滅：ソナーON
 - 灰色に点滅：ソナーOFF（ソナーをOFFにした直後も点滅します。）
- 表示しているビューで映している範囲のみ移動物 検知機能が作動します。例えば、リヤビューで移動物 検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

画面表示の種類について

■ フロントビュー／リヤビュー

- 車両の前方／後方の映像をインテリジェントアラウンドビューモニター右側画面に表示します。

距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を示します。

- ①赤色：約0.5m
- ②黄色：約1m
- ③緑色：約2m
- ④緑色：約3m

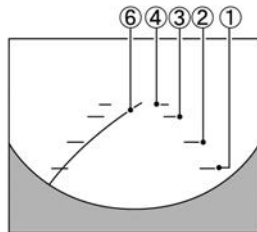
⑤車幅目安ライン

- 車幅の目安を示します。

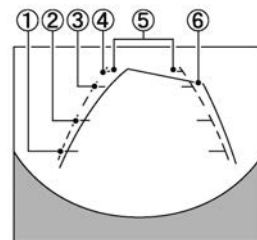
⑥予想進路線

- 運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。
- フロントビューは、車速が10km/hを超えると表示されなくなります。

<フロントビュー>



<リヤビュー>



⚠ 警告

- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

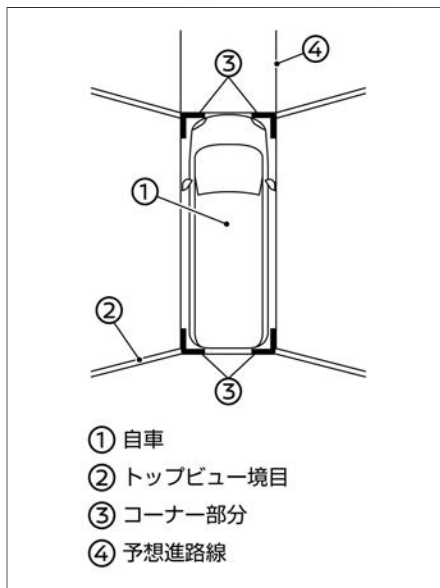


アドバイス

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた鏡像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

■ トップビュー

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をインテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。
- 車両アイコン①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。カメラで撮影できない領域トップビュー境目②は、黒色で表示されます。
- パワースイッチをONにし、初めてトップビューを表示すると、トップビュー境目②と表示されないコーナー部分③は、約4秒間黄色で強調表示されます。フロント&バックソナーがOFFのとき、表示されないコーナー部③は赤色で表示されます。
- 予想進路線④は、運転操作時に予測進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切った角度に応じて移動します。



⚠ 警告

- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせ処理した疑似的な映像のため、トップビューは障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

■ サイドブラインドビュー

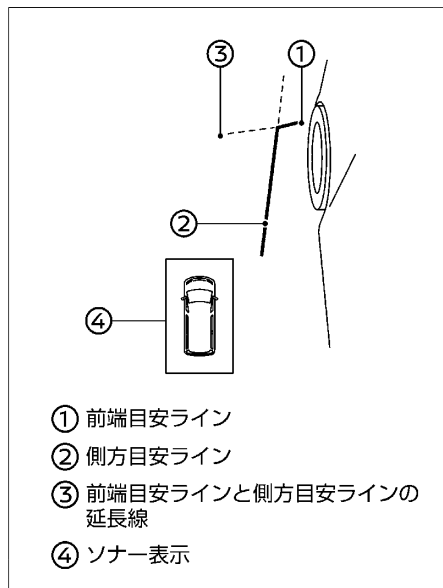
- 車両の左側前輪付近から前方を、インテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

目安ライン

- モニターには車幅と車両の前端を示す目安ラインが表示されます。
 - － ①前端目安ラインは、車両前部の位置の目安を示します。
 - － ②側方目安ラインは、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
 - － ③前端目安ラインと側方目安ラインの延長線は、緑色の破線で表示します。

ソナー表示

- ④ソナー表示は、ソナーが障害物を検知すると、表示されます。



アドバイス

- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。

移動物 検知機能について

- 車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。
- 車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。
- トップビューに **MOD** 表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。
- 移動物 検知機能は以下の条件のとき、**MOD** が表示されている画面で作動します。
 - － シフトポジションが **P** または **N** で車両が停車しているときに、トップビュー側で作動します。
 - － シフトポジションが **D** または **B** で車速約8km/h以下のときに、フロントビューで作動します。
 - － シフトポジションが **R** で車速約8km/h以下のときに、リヤビューで作動します。

注意

- 車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

知識

- ソナーブザーが鳴っている場合は移動物 検知機能ブザーは鳴りません。
- サイドブラインドビューには移動物 検知機能がないため、**MOD** アイコンを表示しません。

画面の見かた

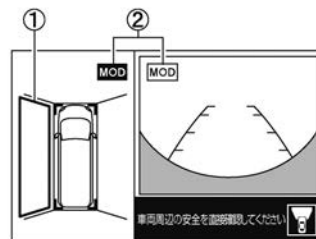
①移動物 検知表示

- 移動物 検知機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

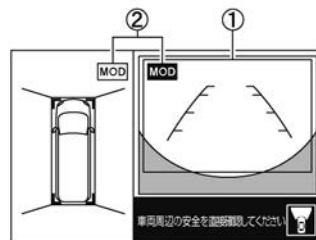
②移動物 検知機能作動状態アイコン

- 移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。
 - MOD : 移動物 検知機能が作動します
 - MOD : 移動物 検知機能が作動しません

<トップビュー>



<フロントビュー>

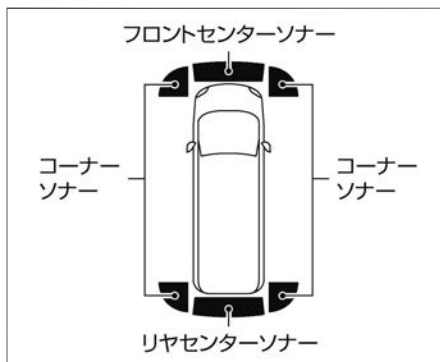


知識

- 以下の場合には移動物 検知機能は作動しません。
 - 車速やセレクトレバーの位置が移動物 検知機能の作動条件から外れている場合
 - トップビューによる移動物 検知機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
 - リヤビューによる移動物 検知機能作動中でバックドアが開いている場合
- トップビューによる移動物 検知機能作動中で電動格納ミラーが作動している場合、誤検知することがあります。

ソナー機能について

- インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）を表示させて、走行中にソナーが静止した障害物を検知した場合は、ソナー表示とブザーでお知らせします。
- ソナー表示はトップビューまたはサイドブラインドビュー画面に表示されます。
- 障害物を検知してから、ソナー表示とブザーが出るまでに多少時間がかかります。



⚠ 警告

- バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 純正以外の部品を取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。

⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - ソナーに非常に近い障害物

⚠ 注意

- 急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。
 - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
 - 周囲に草が生い茂っているとき
 - 車両側面の近くに壁があるとき
 - 路面上に段差や突起物があるとき
 - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 車両感応センサーやホーン、他車

⚠ 注意

- のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
- 炎天下や寒冷時
- 表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸に形状を成している場合）
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があってもソナーが検知しないことがあります。（氷が解ければ、正常に復帰します）
- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリなどを取り付けないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

**アドバイス**

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、（📖P.625）をお読みください。

■ コーナーソナー

障害物までの距離 （目安）	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■ フロントセンターソナー

障害物までの距離 （目安）	100～60cm	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	遅い	早い	点灯
ブザー音	無し	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■ リヤセンターソナー

障害物までの距離 （目安）	150～70cm	70～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点減速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■ ソナー表示色

- ソナー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

■ ブザー音

- 障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
- 障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- フロントソナーが検知したときは低音、リヤソナーが検知したときは高音でお知らせします。
- 走行中にコーナーソナーが障害物を検知したときは、障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- 障害物を検知しているときは、ステアリングスイッチの **OK** スイッチでソナーの音がOFFになります。

■ ソナーシステムの作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスドドライバアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
ソナーシステム異常警告 (🔊 P.545)

⚠ 警告

- カメラはフロントグリル中央部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けしないでください。字光式ナンバープレートやナンバープレートリムを装着すると、フロントビューおよびリヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。
- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。

アドバイス

- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなることがあります。カメラを清掃してください。
- ② フロントビュー／サイドビューカメラの取り扱い★ (P.623)
- ② リヤビューカメラの取り扱い★ (P.624)



アドバイス

- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて含ませた布でふき取ったあと、乾いた布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。



知識

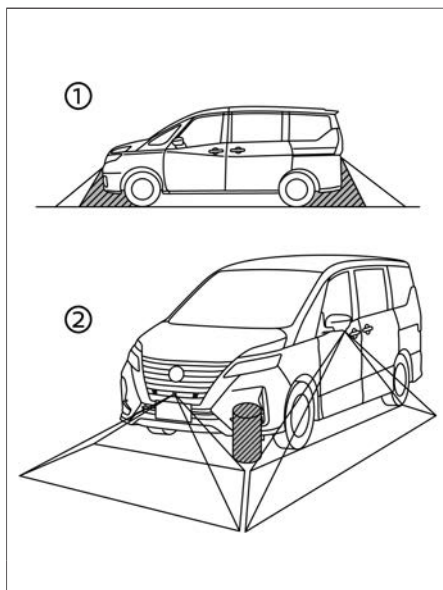
- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広がっています。
- シフトポジションが **R** 以外のとき、 ボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターを表示させたあと、ソナーまたは移動物検知機能が作動しない状態で約3分間操作を行わないでいると、インテリジェント アラウンドビューモニター表示が消えます。（3分タイマー機能）
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。インテリジェント アラウンドビューモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなるがありますが、異常ではありません。
- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなるがありますが、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出るがありますが、異常ではありません。

 知識

- インテリジェント アラウンドビューモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。
- 暗い所や夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがありますが、異常ではありません。
- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
 - ー 立体物が倒れこんで見える
 - ー 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
 - ー 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
 - ー 各カメラ画像の明るさが違う

映し出す範囲

- 特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビューまたはリヤビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。

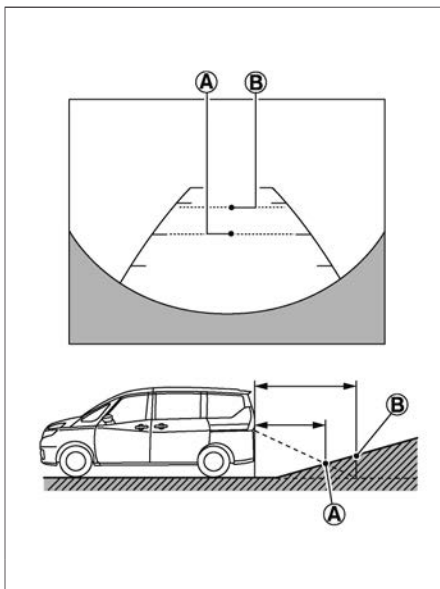


映像と実際の路面との誤差

- フロントビューとリアビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

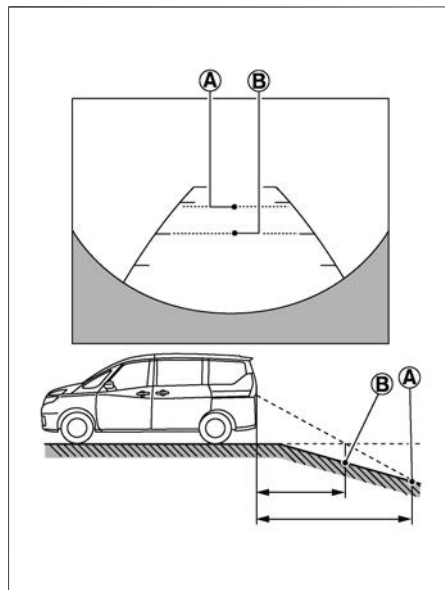
急な上り坂が後方にあるとき

- 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置①までの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置②です。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くに見えるようになります。



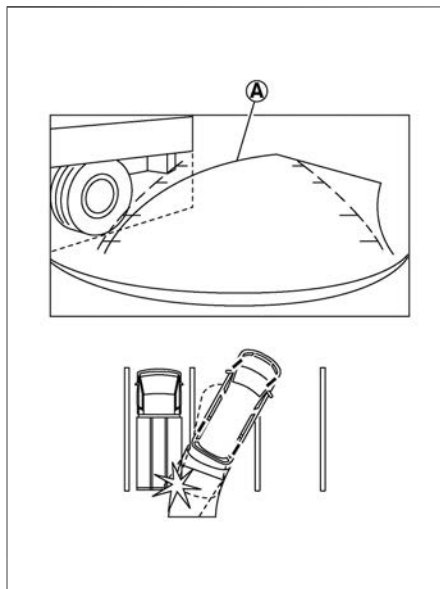
急な下り坂が後方にあるとき

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置①までの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置②です。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。

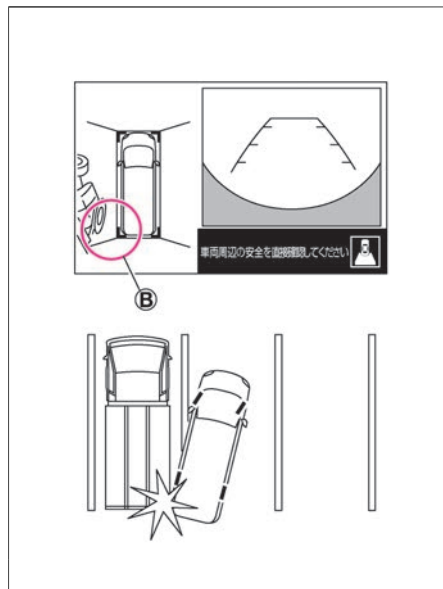


立体物が近くにあるとき

- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
- 例1: 予想進路線①は表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。

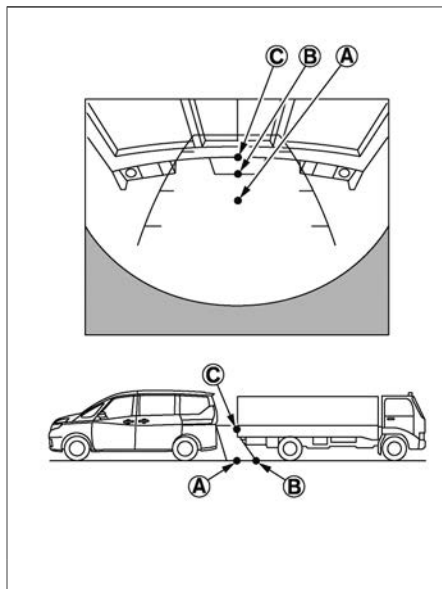


- 例2:表示されているトップビュー⑧では、自車とトラックの車体間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。



立体物に接近するとき

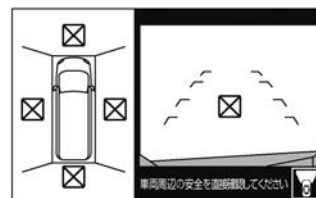
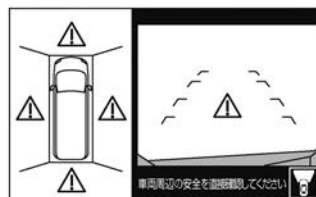
- ㉔の位置は㉕の位置よりも遠くにあるように見えますが、実際は㉓の位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、㉓の位置まで下がるとぶつかることがあります。



画面のエラー表示について

⚠ アイコンが画面内に表示された場合は、インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

☒ アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。



MEMO

運
転
の
し
か
た

室内照明

マップランプ／ルームランプ／ラゲッジルームランプ	P.468
--------------------------	-------

収納装備

運転席ロアボックス	P.471
グローブボックス	P.472
運転席／助手席アッパーボックス	P.473
カップホルダー／ボトルホルダー	P.474

その他の室内装備

ステアリングヒーター★	P.478
ヒーターシート★	P.479
電源ソケット	P.480
USB電源ソケット	P.482
ロールサンシェード	P.484
パーソナルテーブル	P.485
コンビニフック	P.487
フロアカーペット	P.488
サンバイザー／バニティミラー	P.490
チケットホルダー	P.491
ラゲッジアンダーボックス	P.492
シートバックフック	P.493
アシストグリップの使いかた	P.495
ラゲッジフック	P.496

マップランプ/ルームランプの使いかた

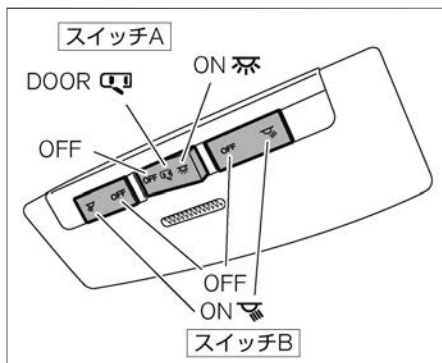
- マップランプは、フロントシート天井部の中央にあります。
- ルームランプは、セカンドシート天井部の中央にあります。
- 次のように点灯・消灯します。

スイッチA

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON 常	常時点灯
DOOR (中立)	スイッチが中立位置にあるときにドア（デュアルバックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	消灯

スイッチB

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON 常	常時点灯
OFF (水平)	スイッチAが中立のとき、ドア（デュアルバックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。



アドバイス

- e-POWERシステムが停止しているときは、長時間マップランプやルームランプを点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

知識

キー連動室内照明システム（ラゲッジルームランプを除く）

- スイッチAがDOOR 位置にあると、次の条件で点灯します。
 - － パワースイッチをOFFにしてから約15秒間
 - － パワースイッチがOFFのとき、ドア（デュアルバックドアを除く）を解錠してから約15秒間
 - － パワースイッチがOFFのとき、ドア（デュアルバックドアを除く）を閉めてから約15秒間
 - － ドア（デュアルバックドアを除く）が開いているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内

 知識

灯」を選択すると、キー連動室内照明システム機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.85)

➡ 車両設定 (P.102)

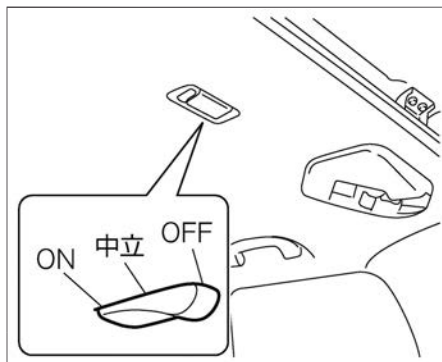
バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、マップランプおよびルームランプは10分以上点灯し続けると消灯します。

ラゲッジルームランプの使いかた

- 次のように点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
OFF	消灯
中立位置	デュアルバックドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。
ON	常時点灯



アドバイス

- e-POWERシステムが停止しているときは、長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

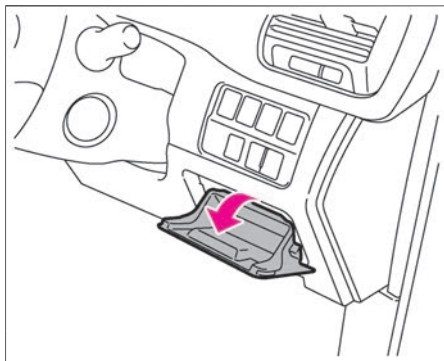
知識

バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、ラゲッジルームランプは10分以上点灯し続けると消灯します。

運転席ロアボックス

- ふたを引いて開けます。
- 閉めるときは、前方へ押してロックします。

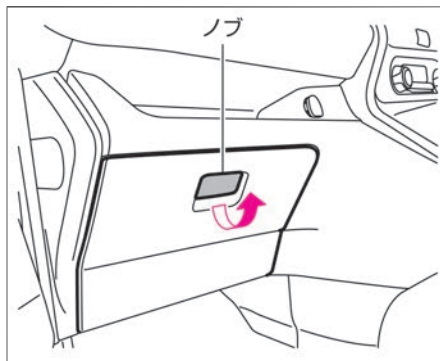


知識

- ふたを開けると、ETCユニット★があります。

グローブボックスの使いかた

- 開けるときは、ノブを手前に引きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。

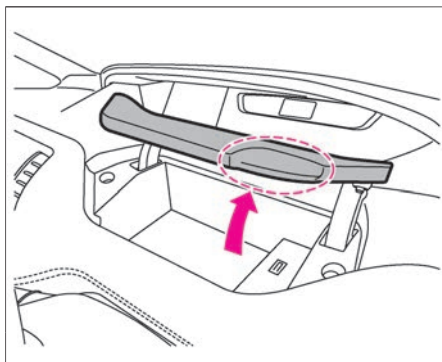


⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しない。
走行中に収納したものが飛び出したり、開いたふたが身体に当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

運転席アッパーボックス

- 切り欠き部を持ち上げます。
 - 閉めるときは、押し戻します。
 - ボックス内部にUSB電源ソケットがあります。
- ➡ USB電源ソケット (P.482)

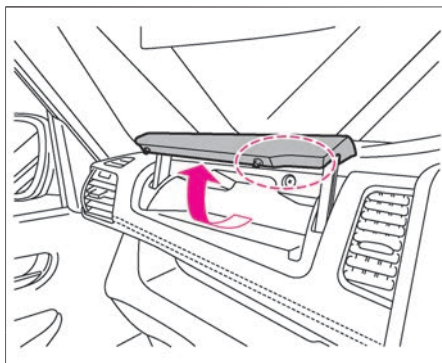


⚠ 注意

- ふたを開けたまま走行しない。
収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

助手席アッパーボックス

- 切り欠き部を持ち上げます。
- 閉めるときは、押し戻します。

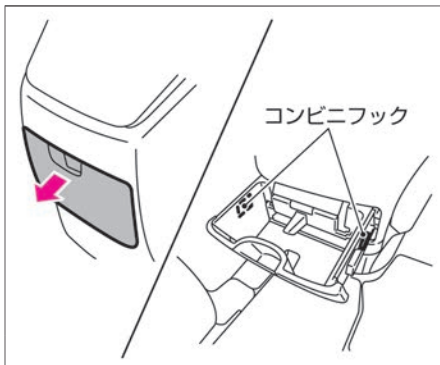
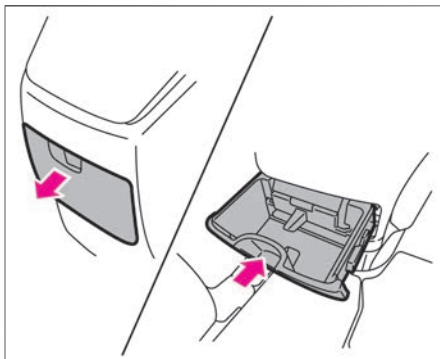


⚠ 注意

- ふたを開けたまま走行しない。
収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

フロントシート用カップホルダーについて

- 手前に引き出して使います。
- 格納するときは、押し戻します。



アドバイス

- コンビニフックに3kg以上の物を掛けしないでください。カップホルダーが破損するおそれがあります。
- コンビニフックを使用中は、カップホルダーを格納しないでください。コンビニフックが破損するおそれがあります。
- ➡ コンビニフックの使いかた (P.487)
- 物を入れたまま格納しないでください。入れた物やカップホルダーが破損します。
- フロントシートからセカンドシートに移動するときは、カップホルダーを格納してください。

■ サードシート用カップホルダー

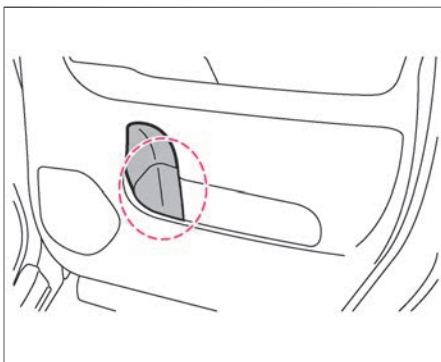
- サードシートの横にあります。



ボトルホルダー

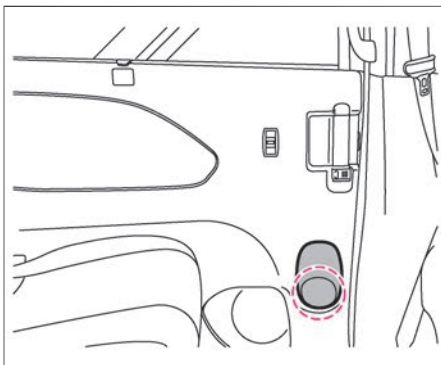
フロントドアポケット左右

- ペットボトルのふたを閉めてから収納してください。



スライドドアポケット左右

- ペットボトルのふたを閉めてから収納してください。



■ カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項

⚠ 警告

- **走行中に飲物を出し入れしない。**
走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。
- **ビンなどの硬いものは入れない。**
側面衝突などの事故のとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **熱い飲物を置かない。**
熱い飲物をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、飛び散ったりして、乗員がやけどを負うおそれがあります。
- **飲物をこぼさないように注意する。**
飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。
- **車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。**
故障や火災のおそれがあります。



アドバイス

- 飲物や液体がいっぱい満たされた容器をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、漏れ出したりして、車両の電子機器などに損傷を与えるおそれがあります。いっぱい満たされた容器を置かないでください。

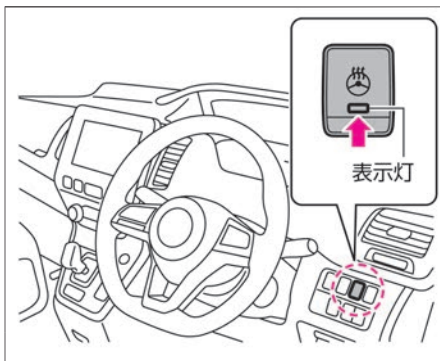
ステアリングヒーター★

ハンドルを温めます。

パワースイッチがONのときに使えます。

■ ステアリングヒーターの使いかた

- スイッチを押すと約30分間作動します。
(スイッチの表示灯が点灯)
- 作動中は、ハンドルの表面温度が約20℃を超える温度を保ちます。
- 作動中にスイッチを押すと作動が停止します。
(スイッチの表示灯が消灯)



📖 知識

- ハンドルの温度が約20℃以上のときは、スイッチを押してもステアリングヒーターは作動しません。

ヒーターシート★

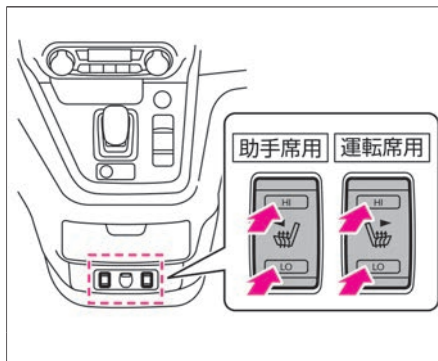
フロントシートを温めます。
 パワースイッチがONのときに使えます。

ヒーターシートの使いかた

- スイッチのHI側またはLO側を押すと作動します。
 (スイッチの表示灯が点灯)

スイッチ	働き
HI	早く温めたいとき
LO	保温したいとき

- 止めるときは、スイッチを中立の位置に戻します。
 (スイッチの表示灯が消灯)



⚠ 注意

- 長時間の連続使用はしない。
 低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- 硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。

🚗 アドバイス

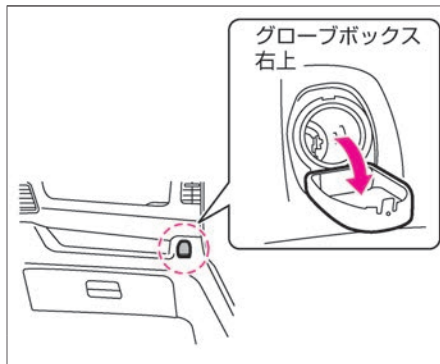
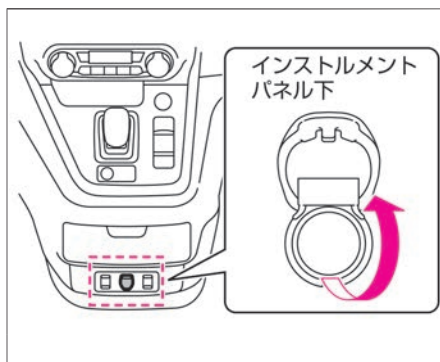
- 過熱するおそれがあるため、シートに毛皮や座布団を載せたり、シートカバーを使用しないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。
- 12Vバッテリーあがりを防止するため、走行可能表示灯🚦が点灯しているときに使ってください。

電源ソケット

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。パワースイッチがONまたはOFF（ACC状態）のとき使えます。ACC状態については、オートACC機能（➡P.238）をお読みください。

電源ソケットの使いかた

- 電源ソケットは以下の場所にあります。
 - ー インストルメントパネル下
 - ー グローブボックスの右上
- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源をOFFにするか、パワースイッチをOFFにしてください。



警告

- 電源ソケットを使うときは、次のことを守る。
電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。
 - ー 2マタソケットなどでタコ足配線しない
 - ー 消費電力120W以下のものを使用する
 - ー 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入する
 - ー 使用中や使用後はソケットやプラグに注意する
 - ー シガーライターをソケットに差し込まない
 - ー ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない

アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、走行可能表示灯が点灯しているときに使用してください。また、長

 アドバイス

時間使用したり、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォグガーなどを同時に使用しないでください。

- パワースイッチをOFFにするときは、モバイルバッテリーなどの充電機能を備えたカーアクセサリーを外してください。

接続したままの場合、車両の12Vバッテリーあがりや警告灯が点灯するなど、電装システムが正常に作動しない原因となることがあります。その際は接続されている機器を取り外し、問題が改善されるか確認してください。

改善された場合、機器を電源ソケットから外したあとでパワースイッチをOFFにするか、電源ソケットではなくUSB電源ソケットをご使用ください。

➡ USB電源ソケットの使いかた (P.482)

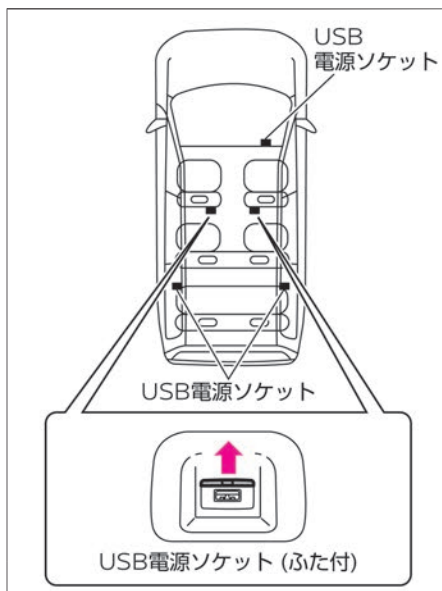
USB電源ソケット

USB電源ソケットはモバイル機器などの充電専用です。パワースイッチがONまたはOFF（ACC状態）のとき使えます。ACC状態については、オートACC機能（➡P.238）をお読みください。

USB電源ソケットの使いかた

モバイル機器を充電するのに便利なUSB電源ソケットが用意されています。

- USB電源ソケットは以下の場所にあります。
 - － 運転席アッパーボックス内
 - － 運転席シートと助手席シートの背もたれの裏側
 - － サードシート左右のカップホルダーの横
- 運転席シートと助手席シート背もたれの裏側にあるUSB電源ソケットは、ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は1か所につき、5V（ボルト）、2.4A（アンペア）、12W（ワット）です。



警告

- **SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。**
SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **USB電源ソケットを使用するときは、次のことを守る。**
USB電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
 - － 複数のUSB電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんのモバイル機器を充電しない
 - － 消費電力12W以下のものを使用する
 - － ケーブルはしっかり奥まで挿入する
 - － ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
 - － ソケットの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない

USB電源ソケット

⚠ 注意

- モバイル機器または接続用のケーブルは、**運転の邪魔にならない場所に固定する。**
運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 両面挿し（リバーシブル）対応のUSBケーブルは、USB電源ソケットの内部端子を破損するおそれがあるので使用しないでください。



リバーシブルタイプUSBコネクタ
(接点基板が中央にある)

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、e-POWERシステムを始動した状態で使用してください。

🚗 アドバイス

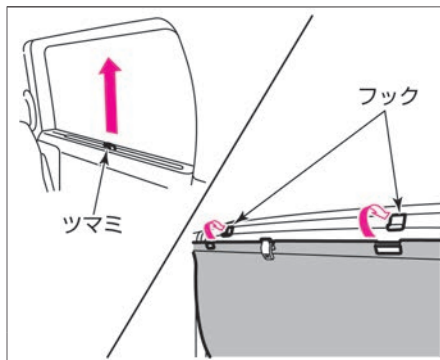
- サードシート左右のUSB電源ソケット使用時は、ラジオ・テレビにノイズ（雑音）が入ることがあります。

ロールサンシェード

セカンドシートの左右にあります。

ロールサンシェードの使いかた

- ツマミを持って上方向に引き出し、フックに引っ掛けます。
- 格納するときには、フックから外して元の位置に格納します。



⚠ 注意

- ロールサンシェードを使用しているときは、窓ガラスを開けた状態で走行しない。
風にあおられてロールサンシェードがフックから外れてケガをしたり、シェード部分にしわがでたりするおそれがあります。

🚗 アドバイス

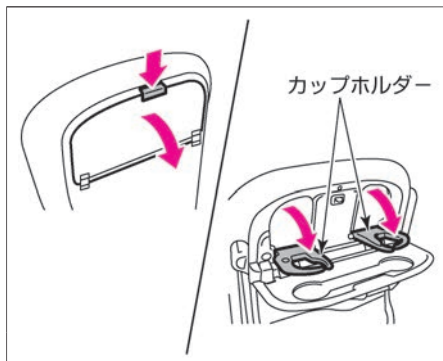
- ロールサンシェードを上方向以外に引っ張らないでください。破損の原因になります。
- ロールサンシェードを格納するときには、傾けた状態で格納しないでください。しわになる場合があります。
- スライドドアの開閉時はロールサンシェードを操作しないでください。ロールサンシェードが破損するおそれがあります。

パーソナルテーブル

フロントシート、セカンドシートの背もたれの裏側に折りたたみ式テーブルがあります。

パーソナルテーブル（セカンドシート用）の使いかた

- 中央のボタンを押し、テーブルを手前に開きます。
- カップホルダーは手前に倒して使用します。
- 格納するときはカップホルダーを元の位置に戻し、テーブルを押し上げてロックするまで押しつけます。



⚠ 注意

- 走行中はテーブルを格納し、使用しない。
- テーブルを使うときは、確実に固定されていることを確認する。
- テーブルに3kg以上の物を載せない。

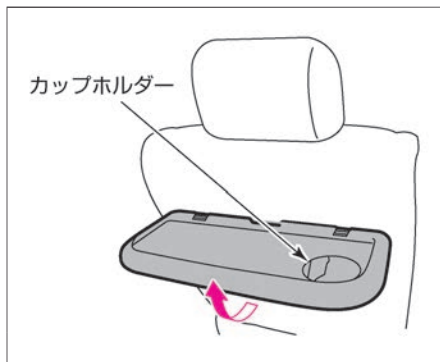
破損したり、物が落ちたりして思わぬケガをするおそれがあります。また、カップホルダー部に熱い飲物を置いているときは、こぼれてやけどをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- テーブル、カップホルダーの使用位置から下向きに必要な以上の負荷をかけないでください。テーブル、カップホルダーが破損するおそれがあります。

■ パーソナルテーブル（サードシート用）の使いかた

- 手前に引き上げて使います。
- 格納するときには、テーブル先端の中央部を持ち、押し下げます。



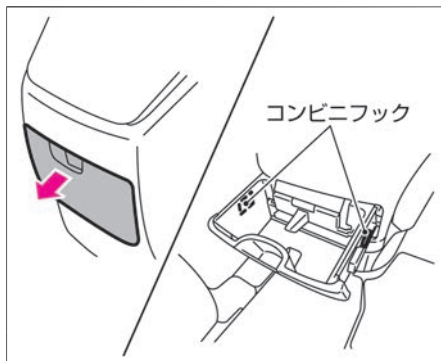
⚠ 注意

- 走行中はテーブルを格納し、使用しない。
- テーブルを使うときは、確実に固定されていることを確認する。
- テーブルに**3kg**以上の物を載せない。

破損したり、テーブルが格納してしまい、物が落ちたりして思わぬケガをするおそれがあります。また、カップホルダー部に熱い飲物を置いているときは、こぼれてやけどをするおそれがあります。

コンビニフックの使いかた

- フロントシート用カップホルダーを引き出して使用します。



アドバイス

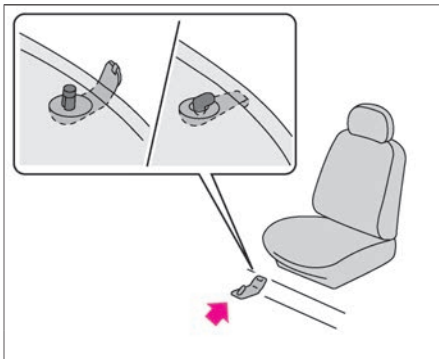
- コンビニフックに3kg以上の物を掛けないでください。カップホルダーが破損するおそれがあります。
- コンビニフックを使用中は、カップホルダーを格納しないでください。コンビニフックが破損するおそれがあります。
- ➡ フロントシート用カップホルダーについて (P.474)
- 物を入れたままカップホルダーを格納しないでください。入れた物やカップホルダーが破損します。
- フロントシートからセカンドシートに移動するときは、カップホルダーを格納してください。

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

■ 固定のしかた

- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。



⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用する。
フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬ速度が出る、またはブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。
 - － 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない
 - － フロアカーペットでペダルを覆わない
 - － フロアカーペットを重ねて敷かない
 - － 運転席専用のフロアカーペットを使用する
 - － フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返して使用しない
- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- 運転に支障がないことを確認する。
運転する前、パワースイッチがOFF

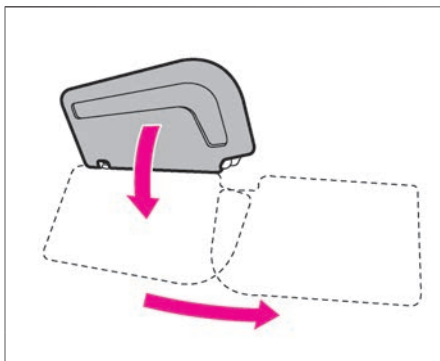
 警告

の状態でシフトポジションが**P**のとき、各ペダルをいっばいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

- **タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。**
火災につながるおそれがあります。

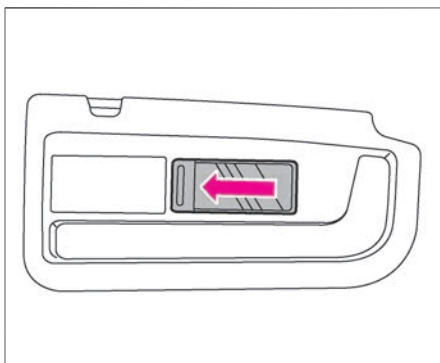
■ サンバイザーの使いかた

- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



■ バニティミラーの使いかた

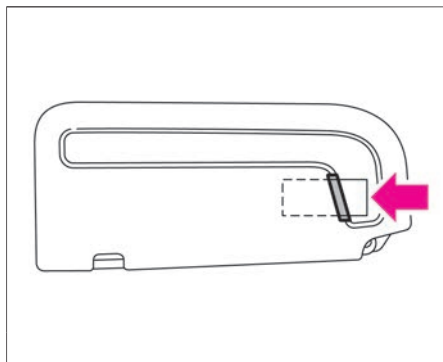
- サンバイザー裏側にバニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げ、カバーを横にスライドさせて使います。



チケットホルダー

チケットホルダーの使いかた

- 挟みこんで使います。
- パーキングチケットなど約1mm以下のカードを3枚程度入れることができます。



アドバイス

- 厚さ1mm以上のカードを無理に入れないでください。カードが変形、破損またはサンバイザーに傷がつくおそれがあります。

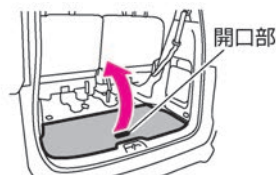
ラゲッジアンダーボックス

収納スペースとしてお使いください。

ラゲッジアンダーボックスの使いかた

- 1 バックドアを開けます。
➡ バックドアの開けかた (P.159)

- 2 開口部に手を入れて、ラゲッジボードを持ち上げます。



- 3 ラゲッジボード裏側にあるフックをサードシートのヘッドレストステーに引っ掛け、ラゲッジボードを固定します。



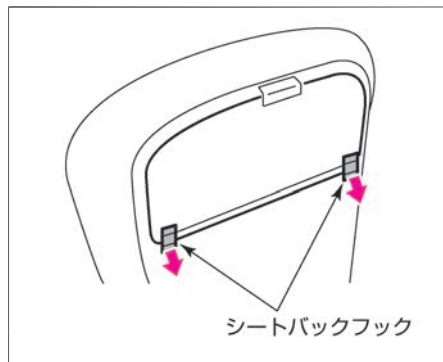
知識

- ラゲッジボードを開いたままサードシートを移動させたり、走行したりしないでください。荷物やラゲッジボードを損傷させるおそれがあります。
- サードシートの位置によっては、ラゲッジボード裏側にあるフックがサードシートのヘッドレストステーに引っ掛けにくいときがあります。

シートバックフックの使いかた

■ セカンドシート用

- フロントシート左右背もたれの裏側に2箇所ずつあります。
- 買い物袋などを引っ掛けるときに使用します。
- フックを手前に倒して使います。



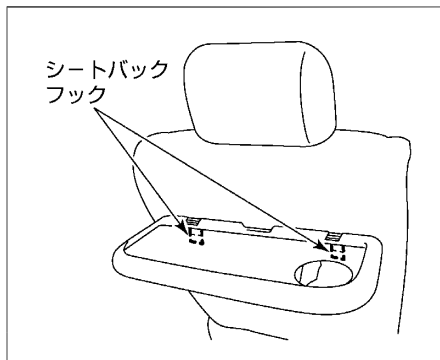
アドバイス

- フックには大きな力がかからないようにしてください。破損するおそれがあります。
- 3kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

シートバックフック

■ サードシート用

- セカンドシート左右背もたれの裏側に2箇所ずつあります。
- 買い物袋などを引っ掛けるときに使いま
- パーソナルテーブル（サードシート用）使用時に使うことができます。

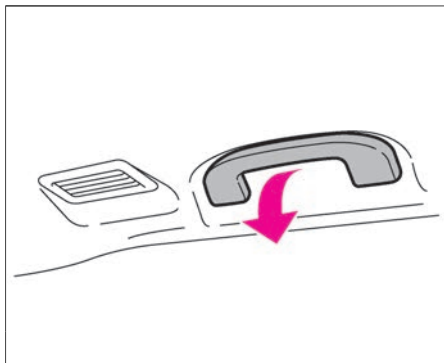


アドバイス

- フックには大きな力がかからないようにしてください。破損するおそれがあります。
- 3kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

アシストグリップの使いかた

- アシストグリップは、フロントシート左右およびセカンドシート左右、サードシート左右にあります。



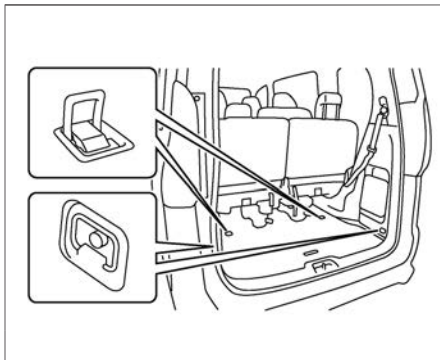
ラゲッジフック

荷物の固定用としてロープなどをかけるときに使います。

ラゲッジフックの使いかた

■ ラゲッジフロア（4箇所）

- ラゲッジフロアの左右に2箇所ずつあります。
- 使わないときは、格納しておきます。



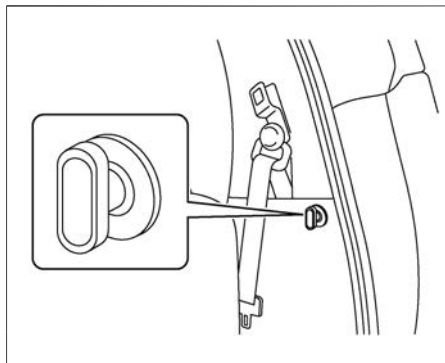
アドバイス

- フックには大きな力がかからないようにしてください。破損するおそれがあります。
- 30kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

ラゲッジフック

■ ラゲッジルームピラー部（2箇所）

- ラゲッジルームの左右に1箇所ずつあります。



アドバイス

- フックには大きな力がかからないようにしてください。破損するおそれがあります。
- 3kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

MEMO



室内裝備

トラブルがおきたときは

まずはじめに

故障したときは	P.500
発炎筒	P.501
けん引について	P.502

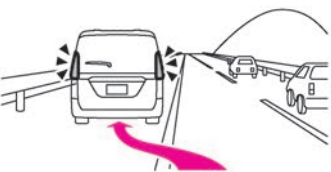
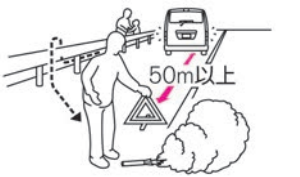
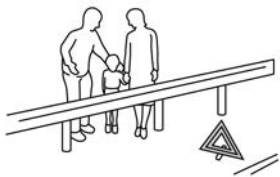
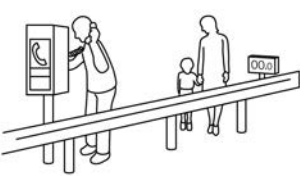
緊急時の対処方法

パンクしたときは	P.506
ドアが開かないときは	P.520
キー（インテリジェントキー）で始動できないときは	P.522
12Vバッテリーがあがったときは	P.523
出力制限表示灯が点灯したときは	P.527
警告灯がついたときは	P.528
表示灯がついたときは	P.537
警告メッセージが表示されたときは	P.540
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.557
窓ガラスがくもったときは	P.558
オーバーヒートしたときは	P.560
雪道やぬかるみにはまったときは	P.562
水没したときは	P.563
ヒューズ	P.565
電球（バルブ）交換	P.570

故障したときは

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

故障したときの対処のしかた

1	非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。	
2	同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。 ➡ 発炎筒 (P.501)	
3	運転者もガードレールの外側などに避難します。避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないよう注意してください。	
4	非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。	

警告

- 発炎筒はトンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

注意

- e-POWERシステムが停止しているときは慎重に運転する。
故障によりe-POWERシステムが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなるので慎重に運転してください。

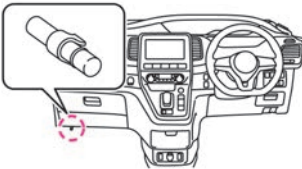
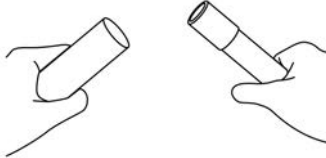
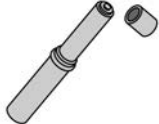
アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

発炎筒

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。
発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

1	助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。	
2	本体をひねりながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。	
3	先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。	

警告

- お子さまには触らせない。
いたすらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使用しない。
引火するおそれがあります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。
やけどをするおそれがあります。
- トンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

アドバイス

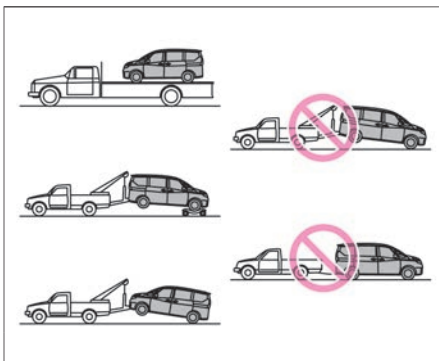
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。
やむをえずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

けん引時の注意事項

- 車両が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、シフトポジションを **N** に入れて行ってください。
- この車両は、オートP機能（➡P.241）により、パワースイッチがOFFのときはシフトポジションを **P** から **N** に切り替えることができません。そのため、12VバッテリーあがりなどでパワースイッチがOFFから切り替えられないときは、4輪接地の状態でけん引できません。
- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

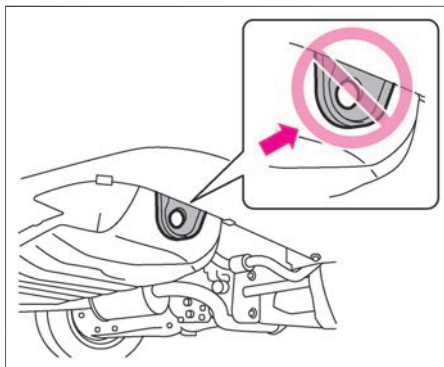
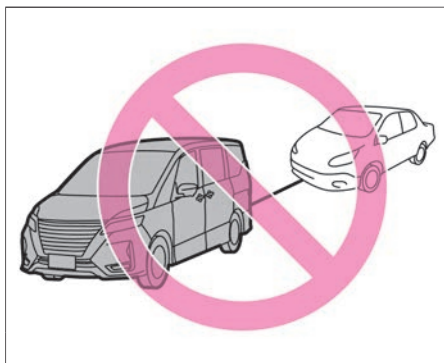


⚠ 注意

- 前輪を持ち上げてけん引するときは、パワースイッチを**OFF**にする。VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

■ リヤフックについて

この車両で他車をけん引することはできません。後ろ側についているフック（リヤフック）は船舶輸送時の固定専用です。けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対使用しないでください。

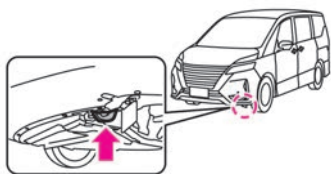


アドバイス

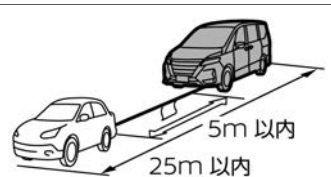
- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

やむをえず4輪接地でけん引されるときは

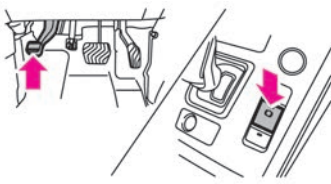
- 1 自車および他車のけん引フックにロープを掛けます。



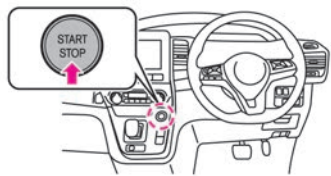
- 2 ロープ中央に30cm×30cm 以上の白い布を取り付けます。
ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。



- 3 e-POWERシステムを始動しシフトポジションをNに入れ、パーキングブレーキを解除します。



- 4 e-POWERシステムを始動できないときはパワースイッチをONにし、シフトポジションをNに入れてください。



警告

- 4輪接地でけん引されるときは、パワースイッチをOFFにしない。
この車両はオートP機能（➡P.241）により、パワースイッチがOFFのときはシフトポジションをPからNに切り替えることができません。また、けん引中はパワースイッチをOFFにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

注意

- e-POWERシステムが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなるので注意する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。
ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。



アドバイス

- 4輪接地の状態でけん引されるときは、e-POWERシステムを始動するかパワースイッチをONにしてシフトポジションを**N**にした状態で行ってください。パワースイッチがOFFのときは、オートP機能によりシフトポジションを**N**に切り替えられないため、けん引することができません。オートP機能 (➡ P.241)
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。



知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両にはスベアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。
タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

- 応急修理を行うときは、次の準備をしてください。
 - ー 地面が固く平らな場所に車両を移動する
 - ー パーキングブレーキをかける
 - ー シフトポジションを **P** にする
 - ー パワースイッチをOFFにする
 - ー 非常点滅表示灯を点滅させる
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理できません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。
 - ー 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - ー タイヤサイド部が損傷を受けたとき
 - ー ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
 - ー タイヤがホイールから外れているとき
 - ー ホイールが破損しているとき
 - ー タイヤが2本以上パンクしているとき
 - ー 修理剤の有効期限が切れているとき



アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。



知識

- タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。

■ タイヤ応急修理キット

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、サードシート運転席側のカップホルダー下部に格納されています。

➡ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.589)

- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。

※：車種により、タイヤ応急修理キットは2タイプあります。タイプによって内容や部品形状が異なりますので、搭載されている仕様をご確認ください。



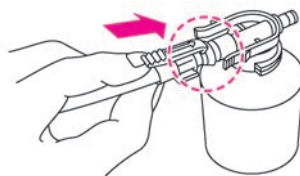
応急修理のしかた（タイプA）

■ コンプレッサーの準備

- 1 コンプレッサーからホース、電源プラグを取り出します。
（ホースはコンプレッサーの裏側に収納されています。）



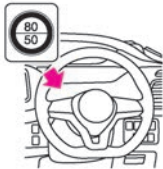
- 2 ホースの差し込み口を、修理剤ボトルにしっかりと接続します。



- 3 コンプレッサーに修理剤ボトルを固定します。



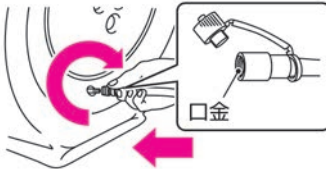
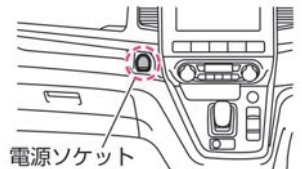
パンクしたときは

4	修理剤ボトルの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。	
---	---------------------------------------	---

⚠ 注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

■ エアの注入

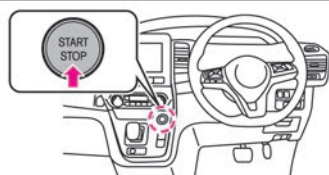
1	ホースにあるタイヤ空気圧排気キャップを取り外します。 パンクしたタイヤのバルブからキャップを外し、ホースの口金をパンクしたタイヤのバルブにしっかりとねじ込みます。	
2	コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）であることを確認し、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。 ➡ 電源ソケットの使いかた (P.480)	

電源ソケット

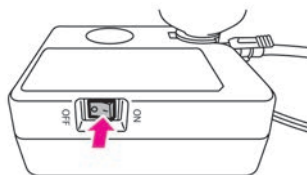
次ページに続く

パンクしたときは

3 パワースイッチをONにします。



4 コンプレッサーのスイッチをON（「|」の位置）にし、タイヤを指定空気圧まで昇圧させます。この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して空気圧計で測定してください。



5 指定空気圧まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFF（「O」の位置）にし、電源プラグを電源ソケットから抜きます。

6 ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。
取り外したホースにタイヤ空気圧排気キャップを取り付けます。

⚠ 注意

- ホースとタイヤのバルブの接続をしっかりと行う。
接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れる。
- タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFF（「O」の位置）にし、修理を中止する。
タイヤのバルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。
- 空気を入れたあとは、ホースの口金が発熱することがあるため、やけどしないように注意する。



アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、15分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

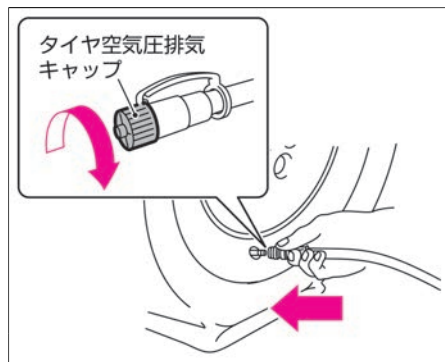
パンクしたときは

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき

ホースをタイヤのバルブから外します。ホース先端にタイヤ空気圧排気キャップをねじ込み、タイヤ空気圧排気キャップの突起部をタイヤバルブに押しあてて、空気を抜いてください。



次ページに続く

■ 点検走行

1 ただちに走行を始め、3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

2 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）であることを確認し、空気圧計で測定してください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

コンプレッサーのスイッチをON（「I」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

JAFの営業所一覧…別冊のメンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

 注意

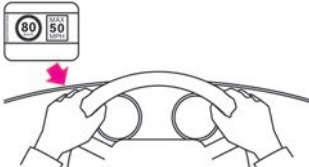
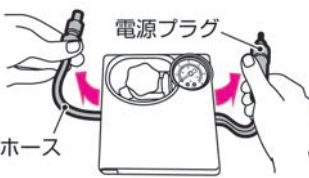
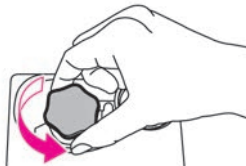
- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

 アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。
- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

応急修理のしかた (タイプB)

■ コンプレッサーの準備

1	コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。	
2	コンプレッサーからホースと電源プラグを取り出します。	
3	コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。	

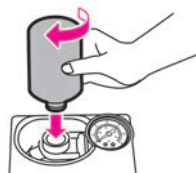
⚠ 注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

パンクしたときは

4

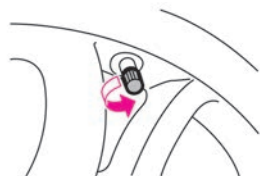
修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。
（ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。修理剤ボトルは止まるまで回してください。）



■ エアの注入

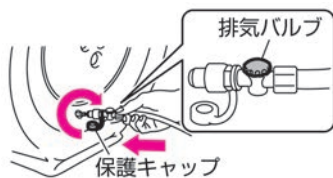
1

パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。

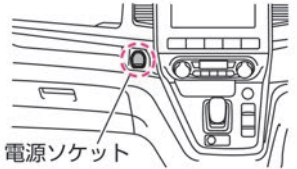
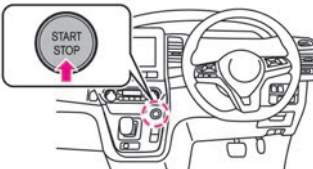
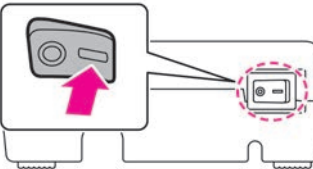


2

ホース先端の保護キャップを外し、ホース（排気バルブを時計回りに回し、確実に閉まっていることを確認してください）をパンクしたタイヤのバルブにしっかりとねじ込みます。
※：保護キャップを外したときに、修理剤が飛び散るおそれがあります。



パンクしたときは

3	コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）であることを確認し、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。 ➡ 電源ソケットの使いかた (P.480)	 電源ソケット
4	パワースイッチをONにします。	
5	コンプレッサーのスイッチをON（「-」の位置）にし、タイヤを指定空気圧、または180kPa以上まで昇圧させます。 この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して圧力計で測定してください。	
6	指定空気圧、または180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし、電源プラグを電源ソケットから抜きます。	
7	ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外します。ホースに保護キャップを取り付け、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。	

⚠ 注意

- ホースとタイヤのバルブの接続をしっかりと行う。
接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れる。
- タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし、修理を中止する。
タイヤのバルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。
- 空気を入れたあとは、ホースの口金が発熱することがあるため、やけどしないように注意する。

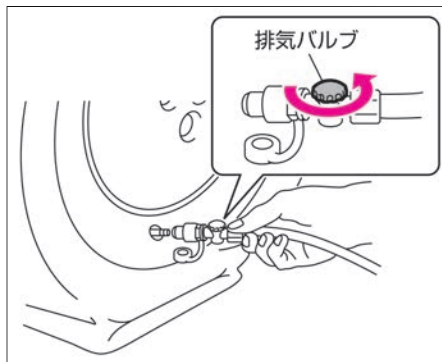
パンクしたときは

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎってしまったとき

ホースがタイヤのバルブに取り付けられた状態で、排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。

**アドバイス**

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。
- 修理剤ボトルは、コンプレッサーのボトルホルダーから取り外さないでください。取り外すとボトル内に残った液剤がこぼれるおそれがあります。

パンクしたときは

■ 点検走行

1 修理剤をタイヤ内に広げるためただちに走行を始め、10分間または3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

2 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチが OFF（「○」の位置）であることを確認します。
ホース先端の保護キャップを外し、ホースをタイヤのバルブに取り付け、コンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。
※：保護キャップを外したときに、修理剤が飛び散るおそれがあります。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

コンプレッサーのスイッチをON（「-」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

JAFの営業所一覧…別冊のメンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

⚠ 注意

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

 アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

タイヤ応急修理キットの注意事項

注意

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤ応急修理キットは、搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しない。
- タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。
故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

- 修理剤を口に入れない。
修理剤を飲みこむと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合は、水でよく洗い流す。
それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。



アドバイス

タイヤ応急修理キットについて

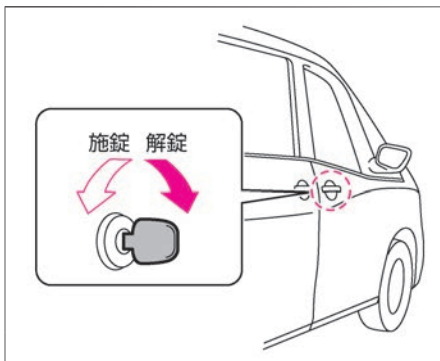
- タイヤ応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

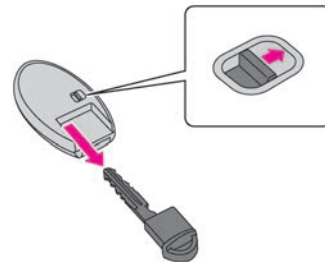
■ 内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた

運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両前方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両後方に内蔵キーを回します。



知識

- 内蔵キーはインテリジェントキーに内蔵されています。

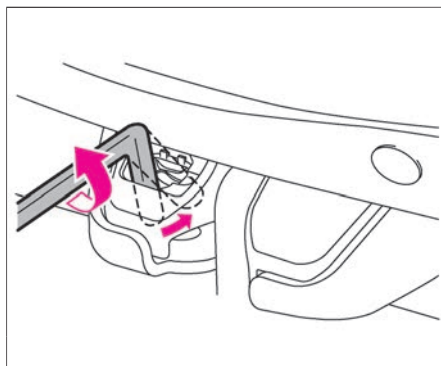
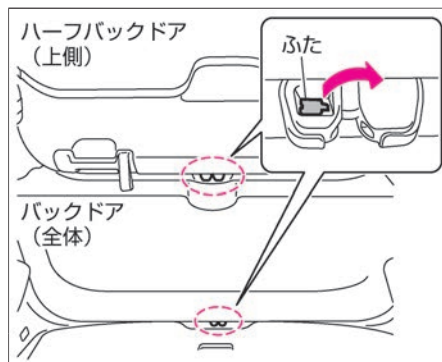


ドアが開かないときは

■ 緊急時のバックドアの開けかた

12Vバッテリーあがりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- バックドア（全体）、ハーフバックドア（上側）の車室内側にあるロック機構のふたを開けます。
- お手持ちの六角レンチを穴に差し込みレバーを矢印の方向に動かして解錠し、バックドアを持ち上げます。



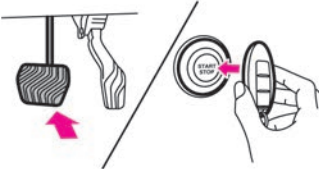
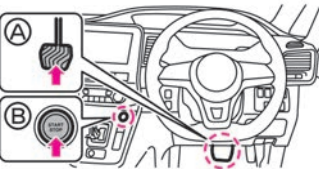
アドバイス

- バックドアオープナースイッチなどの故障につながるおそれがあるため、操作をしたときは日産販売会社で点検を受けてください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

キー（インテリジェントキー）で始動できないときは

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でe-POWERシステムを始動してください。

e-POWERシステムの始動のしかた

1	ブレーキペダルを踏み、キーのロゴマークの裏面をパワースイッチに接触させます。（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）	
2	ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダル(A)をしっかりと踏み込みながら、パワースイッチ(B)を押します。	

アドバイス

- 左記の手順でe-POWERシステムを始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。

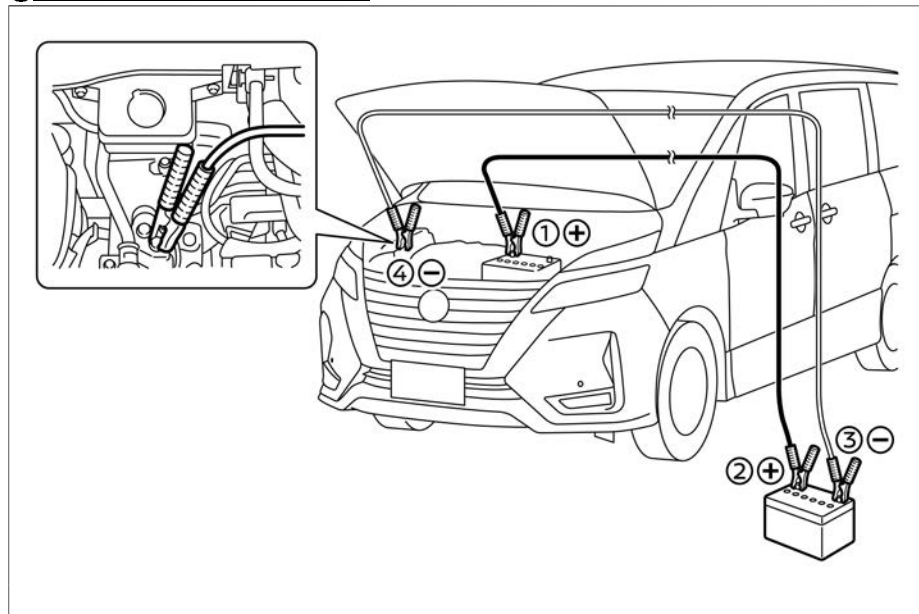
知識

- 停止操作は通常と同じ手順です。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（➡P.520）をご使用ください。
- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
➡キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.613)

12Vバッテリーがあがったときは

12Vバッテリーがあがり、パワースイッチをONにできなくなったときは、救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。

🔌 エンジンルーム内の配置図 (P.597)



⚠ 警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車12Vバッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。
火花が発生し、12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- 12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12V

次ページに続く

12Vバッテリーがあがったときは

警告

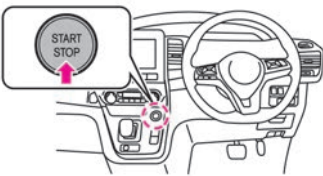
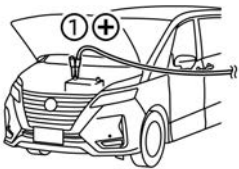
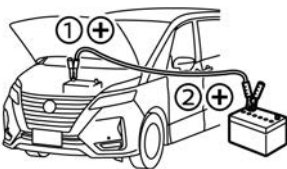
バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

- **12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**

しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーがあがったときは

ジャンプスタートのしかた

1	自車と救援車のパワースイッチをOFFにします。 ➡ パワースイッチでのモードの切り替えかた (P.236)	
2	運転席の右下にあるボンネットオープナーを引いて、ボンネットを開けます。 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.598)	
3	ブースターケーブル①を自車の12Vバッテリーの⊕端子に接続します。	
4	手順3で接続したケーブルの反対側②を救援車の12Vバッテリーの⊕端子に接続します。	

⚠ 警告

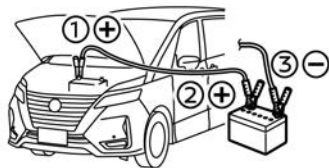
- ブースターケーブルのワニグチクリップは、エンジンやモーターに絶対に接続しない。

⚠ 注意

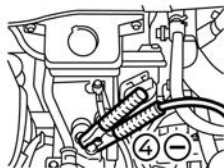
- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意する。
- ブースターケーブルは、確実に接続する。
エンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。
- 冷却ファンやベルトに注意する。
ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

12Vバッテリーがあがったときは

- 5 もう1本のブースターケーブル③を救援車の12Vバッテリーの⊖端子に接続します。



- 6 手順5で接続したケーブルの反対側④を右記のような自車の車体（手順3で接続した位置から離れた未塗装の金属部）に接続します。



- 7 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
自車のe-POWERシステムを始動します。
➡ e-POWERシステムの始動のしかた (P.233)

始動できなかった場合は、救援車のエンジンを停止し、パワースイッチをOFFにします。一度運転席ドアを開閉したあと、ナビゲーション、オーディオ、ドアロックなどすべての操作を行わずドアを閉じた状態のまま3分以上待機します。再度救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。自車のe-POWERシステムを始動します。

- 8 e-POWERシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。

 アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- この車両を救援車として使用しないでください。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- 12Vバッテリーがあがると、パワースイッチのON・OFFができなくなります。すみやかに12Vバッテリーを充電してください。
- e-POWERシステムを始動するときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
- e-POWERシステムが始動しても、しばらくエアコンやオーディオ★を使用しないでください。

出力制限表示灯が点灯したときは

出力制限表示灯  が点灯したときは、次の対処方法に従ってください。

点灯したときの状況	対処方法	注意事項
走行中に出力制限表示灯  が点灯したとき	高速道路を走行しているとき 80km/h以下で走行してください。次のパーキングエリアまたはサービスエリアで車両を止め、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。 一般道を走行しているとき 安全な場所に停車し、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。	他の警告灯が点灯しているときは、そちらの警告灯に対する処置を優先して行ってください。出力制限表示灯  のみが点灯した場合は、左記の対処方法に従ってください。

警告灯がついたときは

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。

警告灯が点灯・点滅したときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	油圧警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● e-POWERシステムが作動しているとき、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 ⚠ 注意 ● 油圧警告灯が点灯したまま走行しない。 エンジンを破損するおそれがあります。
	故障警告灯 (MIL)	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● e-POWERシステムが作動しているとき、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。	● 点灯または点滅したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	12V系充電警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● e-POWERシステムが作動しているとき、12Vバッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 ⚠ 注意 ● 12V系充電警告灯が点灯したまま走行しない。 12Vバッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ABS警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。	● パワースイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。  アドバイス ● ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。
	電動パーキングブレーキ警告灯★	● 正常なときは、パワースイッチがONのとき、電動パーキングブレーキがかかっていると点灯し、電動パーキングブレーキを解除すると消灯します。 ● パワースイッチがONのとき電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。	● パワースイッチがONで警告灯が点滅しているときに、電動パーキングブレーキを解除しても点滅が続くときは、すみやかに車両を安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。  アドバイス ● 電動パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行（約3km/h以上）すると、ブザーが鳴ります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
 電動パーキング ブレーキ無車	ブレーキ警告灯 (赤色表示)	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 (パーキングブレーキをかけているときは消灯しません) ● パワースイッチがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 - ー パーキングブレーキをかけているとき - ー ブレーキ液が不足しているとき - ー ブレーキシステムに異常があるとき	● パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 ● パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ● ブレーキ液量が正常でABS警告灯  と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ⚠ 警告 ● パーキングブレーキを解除してもブレーキ警告灯が点灯し続けるときは、点灯したまま走行しない。 ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。  アドバイス ● パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行(約7km/h以上)すると、ブザーが鳴ります。  知識 ● ブレーキシステム警告灯(黄色)と同時に点灯するとブザーが鳴ります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
 電動パーキング ブレーキ付車	ブレーキ警告灯 (赤色表示)	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 － ブレーキ液が不足しているとき － ブレーキシステムに異常があるとき	● 走行中にブレーキ警告灯（赤色表示）が点灯した場合は、車両を停止し、以下の確認を行ってください。（ブレーキシステム警告灯と同時にVDC警告灯  も点灯します。）日産販売会社で点検を受けてください。 － ブレーキ液の量が規定通りに入っていることを確認してください。ブレーキ液が不足してる場合は、ブレーキ液を補充し日産販売会社で点検を受けてください。 － ブレーキ液の量が適正のときは、他に原因があることが考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。
 電動パーキング ブレーキ付車	ブレーキシステム 警告灯 (黄色表示)	● 走行中にブレーキシステム警告灯（黄色表示）が点灯し続けたときは、電動パーキングブレーキ機能が故障しているおそれがあります。	● 走行中にブレーキシステム警告灯（黄色表示）が点灯した場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	SRSエアバッグ警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯を続けます。	⚠ 警告 ● パワースイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、放置したまま走行しない。 万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
	シートベルト警告灯	● パワースイッチがONのとき、運転席および助手席の乗員がシートベルトを着用していないと点灯します。 ● シートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、警告灯が点滅します。 <u>シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）</u> ● シートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約95秒間ブザーが鳴ります。	● シートベルトを着用してください。 ⚠ 警告 ● 走行中は全員がシートベルトを着用する。 着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 📖 知識 ● 助手席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警告灯が点灯することがあります。
	VDC警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、VDCが作動すると点滅します。 ● e-POWERシステムが作動しているとき、VDC、ヒルスタートアシストの電子制御システムに異常があると点灯します。	● 点灯したときはVDC、ヒルスタートアシストの作動は停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ VDC（ビークルダイナミクスコントロール） (P.312) ➡ ヒルスタートアシスト (P.316)

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	e-POWERシステム警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、e-POWERシステムに異常が発生すると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	出力制限表示灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、次の場合に点灯します。 - ー リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下しているとき - ー 真冬の屋外などで、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低いとき - ー 上り坂の連続走行などで、走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に高いとき - ー 発電出力が制限されているとき	● 点灯中は走行用モーターまたは発電用モーターの出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がりにくくなります。 ● アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に「走行制限中」というメッセージが表示されます。
	電制シフト警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● アドバンスドドライブアシストディスプレイ内にメッセージが表示されたときは、表示されたメッセージに従ってください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● 次の場合は点灯します。 － インテリジェント エマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシスト、またはインテリジェント FCW（前方衝突予測警報）のシステムに異常が発生しているとき － 周辺の電波源の影響を受けているとき － センサーの汚れなどで、インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できない状態になっているとき ● 次の場合は点滅します。 － 踏み間違い衝突防止アシストが作動したとき	● e-POWERシステム再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
		● 次の場合はゆっくり点滅します。 － フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき － 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき － 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき － フロントガラスの結露や曇りなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき	● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.622) ● フロントガラスに結露や曇りなどがある場合は結露や曇りを除去し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ➡ フロントガラスのくもりの取りかた (P.558) ● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると作動を復帰します。 各システムについては、インテリジェントエマージェンシーブレーキ(➡ P.360)、踏み間違い衝突防止アシスト(➡ P.371)、およびインテリジェント FCW（前方衝突予測警報）(➡ P.417) をお読みください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● e-POWERシステムが作動しているとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。  アドバイス ● ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。  知識 ● すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくるがありますが、異常ではありません。
	車両接近通報システム警告灯	● 車両接近通報装置に異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
	マスターウォーニング	● アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。	● 同時に表示した警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。  警告メッセージ (P.540)

表示灯がついたときは

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。

点灯している理由は、次の説明をお読みください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	● 非常点滅表示灯スイッチを押すと左右同時に点滅します。 ● パワースイッチがONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。	● 方向指示器の電球（バルブ）が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。 方向指示器の使いかた（➡P.273、➡P.288） ➡電球（バルブ）交換（P.570）
	ヘッドランプ上向き表示灯	● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。	ハイビーム（上向き）への切り替えかた（➡P.272、➡P.287）
	テールランプ表示灯	● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	ライトスイッチの使いかた（➡P.259、➡P.275）
	フォグランプ表示灯★	● フォグランプを点灯させると点灯します。	フォグランプの使いかた（➡P.292）
	ハイビームアシスト表示灯	● ハイビームアシストをONにすると点灯します。	ハイビームアシスト（➡P.265、➡P.280）

ハロゲンヘッドランプ付車

次ページに続く

表示灯がついたときは

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
 LEDヘッドランプ付車	アダプティブLEDヘッドライト表示灯	● アダプティブLEDヘッドライトシステムをONにすると点灯します。	アダプティブLEDヘッドライトシステム (➡ P.268、➡ P.283)
	VDC OFF表示灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、VDCをOFFにしていると点灯します。	➡ VDC (ビークルダイナミクスコントロール) (P.312)
	セキュリティインジケータ	● パワースイッチがON以外のときに点滅します。 ➡ <u>イモビライザー (盗難防止装置) (P.68)</u>	● パワースイッチをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
	オートブレーキホールド表示灯 (白色) ★	● オートブレーキホールドが待機状態のとき白色に点灯します。	➡ オートブレーキホールド★ (P.248)
	オートブレーキホールド表示灯 (緑色) ★	● オートブレーキホールドが作動しているとき緑色に点灯します。	➡ オートブレーキホールド★ (P.248)

表示灯がついたときは

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	低水温表示灯	● パワースイッチをONにすると点灯します。 ● エンジン冷却水の温度が低いと点灯します。 ● エンジン冷却水温が低いときは、低水温表示灯が消灯せずに点灯し続けますが、エンジンの暖機により、しばらくすると既定の水温以上に達して、消灯します。	● しばらく走行したあとも点灯し続けるときは、水温センサーの異常が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
	走行可能表示灯	● 走行できる状態になると点灯します。(走行中も点灯し続けます。)	—
	インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯	● インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると点灯します。 ● VDCをOFFにすると点灯します。	● インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.360)</u> ● VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ➡ <u>VDCのON・OFFのしかた (P.314)</u>

警告メッセージが表示されたときは

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告メッセージ

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 始動時はブレーキを踏み パワースイッチを押してください	e-POWERシステム始動操作表示	キー（インテリジェントキー）を持って車室内に入ると表示します。	- ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押してください。e-POWERシステムが始動します。  知識 - 次の場合、表示が消えます。 - e-POWERシステムを始動したとき - 約15秒経過したとき - リモコン機能、またはドアハンドルのスイッチでドアを施錠したとき - シフトポジションをP以外に入れたとき
 インテリジェントキーを パワースイッチに接触させてください	インテリジェントキー非作動時e-POWERシステム始動表示	キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境により、キーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。	ブレーキペダルを踏みながら、キーの裏面をパワースイッチに接触させてください。 ➡ キー（インテリジェントキー）で始動できないときは (P.522)
 キー電池残量が 低下しています	インテリジェントキー電池切れ表示	キー（インテリジェントキー）の電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。	- 新しい電池に交換してください。 ➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.613)  知識 - 次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。 - 表示から約30秒経過したとき - パワースイッチをON以外にしたとき

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  キーが見つかりません	インテリジェントキー持ち出し警告	● パワースイッチがONのとき、キー（インテリジェントキー）が車外に持ち出されると表示します。	● キーが車外に持ち出されていないか確認してください。
 警告 	ドア開き警告	● ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。	● ドアを確実に閉めてください。  知識 ● 走行前に表示が消えていることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 警告  キーシステム故障 取扱説明書を見てください	キーシステム警告	● キーシステムに異常があると表示します。	● 日産販売会社にご連絡ください。e-POWERシステムが始動できないことやパワースイッチが切り替わらないことがあります。
 警告  Pレンジに入れてください	P 戻し忘れ警告	● シフトポジションがP以外で、運転席ドアが開いたときに点灯します。	● シフトポジションをPに切り替えてください。
 警告  キーIDが正しくありません	キーID警告	● 次のときにパワースイッチを切り替えようとすると表示します。 - ー キー（インテリジェントキー）を携帯していないとき - ー 携帯しているキーの電池が切れているとき - ー 登録されていないキーを携帯しているとき	● キーを携帯してください。 ● 新しい電池に交換してください。 ●  キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.613) ● 自車のキーであることを確認してください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告 パーキングブレーキを解除してください	パーキングブレーキ戻し忘れ警告	● パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）表示し、ブザーが鳴ります。	● すみやかにパーキングブレーキを解除してください。  <u>パーキングブレーキ★ (P.242)</u>  アドバイス ● 走行するときは、必ずパーキングブレーキを解除してください。
	電動パーキングブレーキ戻し忘れ警告	● 電動パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると（約3km/h以上）表示し、ブザーが鳴ります。 ● 電動パーキングブレーキをかけ、運転席シートベルトを着用せずにアクセルペダルを踏み、発進すると表示します。	● すみやかに電動パーキングブレーキを解除してください。  <u>電動パーキングブレーキ★ (P.243)</u> ● 運転するときは、必ずシートベルトを着用してください。
 警告 停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	電動パーキングブレーキ警告	● 急な坂道などで電動パーキングブレーキがかかった状態で車両が動く则表示し、ブザーが鳴ります。 ● 電動パーキングブレーキがかかった状態で、ブレーキペダルを踏まずに電動パーキングブレーキスイッチを押した場合に表示します。	● すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 ● 解除する場合は、ブレーキペダルを踏んでから電動パーキングブレーキスイッチを押下してください。  <u>電動パーキングブレーキ★ (P.243)</u>
	オートブレーキホールド警告	● オートブレーキホールドが作動中に車が動いたときに表示します。	● ブレーキペダルを踏んで車を停止させてください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 給油してください	燃料残量警告	● 燃料が少なくなると表示します。 残っている燃料で航続可能な距離を表示します。	● すみやかに指定の燃料を補給してください。  知識 ● 燃料の残量が約7ℓ以下で表示します。 ● 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わる場合があります。
 警告 オーバーヒート 安全な場所に車を停め 取扱説明書を見てください	オーバーヒート警告	● エンジン冷却水の温度が異常に高くなると表示します。	● ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。 ➡ <u>オーバーヒートしたときは (P.560)</u>  注意 ● 表示したまま走行をしない。 そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。
 警告 シャシー制御 システム故障 取扱説明書を見てください	シャシー制御表示	● シャシー制御のシステムに異常があると表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 警告 踏み間違い衝突防止 アシストが作動しました	踏み間違い衝突防止アシスト作動時表示	● 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると表示します。	● 進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。 ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト (P.371)</u>
 警告 ヘッドランプシステム異常 取扱説明書を見てください	ヘッドランプ警告	● LEDヘッドランプに異常があると表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

次ページに続く

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
システムが故障しているため 使用できません	システム故障 警告	プロパイロット、BSW（後側方車両検知警報）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）、LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、RCTA（後退時車両検知警報）が故障すると表示します。	- 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。 - 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>プロパイロット★ (P.322)</u> ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム） (P.393)</u> ➡ <u>LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム） (P.409)</u> ➡ <u>インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.417)</u> ➡ <u>RCTA（後退時車両検知警報） (P.423)</u>
システム故障 取扱説明書を見てください	インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストシステム故障警告	インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは、踏み間違い衝突防止アシストが故障すると表示します。	- 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。 - 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.360)</u> ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト (P.371)</u>

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 △ 警告 システム故障	インテリジェント DA（ふらつき警報）システム異常警告	● インテリジェント DA（ふらつき警報）に異常があると表示します。	● 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>インテリジェント DA（ふらつき警報）★ (P.432)</u>
 △ 警告 ソナー故障 取扱説明書を見てください	ソナーシステム異常警告	● ソナーが故障したときに表示します。	● 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>ソナー機能 (P.115)</u>
 休憩しませんか？	インテリジェント DA（ふらつき警報）表示	● 運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。	● 表示・非表示の設定ができます。 ➡ <u>インテリジェント DA（ふらつき警報）★ (P.432)</u>
 △ 警告 注意してください	進入禁止標識検知表示	● 前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告表示します。	● 表示・非表示の設定ができます。 ➡ <u>標識検知機能について (P.436)</u>
 △ 警告 注意してください	一時停止標識検知	● 前方の一時停止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。	● 表示・非表示の設定ができます。 ➡ <u>標識検知機能について (P.436)</u>

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
	最高速度標識 検知表示	前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイおよびインフォメーショングループに表示されます。	表示・非表示の設定ができます。 ➡ 標識検知機能について (P.436)
バッテリーあがりを防ぐため 電源をOFFします	自動電源OFF 表示A	e-POWERシステムが停止している状態で、パワースイッチをONにしたまましばらくすると表示します。	そのままパワースイッチを切り替えないと、省エネのためパワースイッチがOFFになります。
バッテリーあがりを防ぐため 電源をOFFしました	自動電源OFF 表示B	e-POWERシステムが停止している状態で、パワースイッチをONにしたまま時間が経過し、パワースイッチが自動でOFFになったときに表示します。	
 ライト消灯してください	ライト消し忘れ警告	ライトスイッチ（タイプA）仕様車 - パワースイッチがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合に表示し、ブザーが鳴ります。 - ライトスイッチが  の位置にあるとき - ライトスイッチを  /OFFの位置に回して、メーター内のテールランプ表示灯  が点灯しているとき	ライトスイッチをAUTO位置にする、または  /OFFの位置に回してメーター内のテールランプ表示灯  を消灯してください。 ライトスイッチ（タイプA）（➡ P.259）
		ライトスイッチ（タイプB）仕様車 パワースイッチがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがAUTO以外の位置にある则表示し、ブザーが鳴ります。	

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
メンテナンス  オイル/オイルフィルター交換してください	オイル/オイルフィルター交換表示	● 設定したオイル/オイルフィルター交換距離に達すると表示します。	● オイル/オイルフィルター交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 設定 (➡ P.103)
メンテナンス  タイヤ	タイヤ交換表示	● 設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。	● タイヤ交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 設定 (➡ P.103)
メンテナンス  ユーザー	メンテナンス距離表示	● オイル/オイルフィルター、タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。	● その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができます。項目の点検／交換距離は設定したり、リセットしたりできます。 設定 (➡ P.103)
 0℃	凍結注意アラーム表示	● 外気温が3℃以下になったことを知らせます。	● 表示・非表示の設定ができます。 設定 (➡ P.99)
 休息してください	走行時間アラーム表示	● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。	● 表示・非表示の設定ができます。 設定 (➡ P.99)
△警告  駐車時は必ずパーキングブレーキをかけてください	電制シフト警告A	● 電制シフトに異常が発生したときに表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけてください。パーキングブレーキをかけていないと、パワースイッチをOFFにできないことがあります。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
△警告 トランスミッション システム異常 販売店で点検してください	電制シフト警告B	● 電制シフトに異常が発生したときに表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、目的のシフトポジションの位置でセレクトレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。 ● オートP機能 (🔄 P.241) が作動しないことがあるため、駐車するときはセレクトレバーの下側にあるⓂスイッチを押し、Pに切り替わったことを確認してください。
△警告 シフトレバーの位置を 確認してください	シフトポジション警告	● セレクトレバーが中央の位置以外で保持され続けたときに表示します。	● セレクトレバーが中央の位置にあるか確認してください。 ● セレクトレバーが中央の位置にあるときに表示された場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
△警告 🚦 走行制限中	出力制限警告	● 出力制限表示灯 🚦 が点灯すると同時に表示します。	● 出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。 ● リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下して点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
暖機中のため現在 マナーモードは使用できません	マナーモード警告A	● システムが暖機を必要と判断した場合に表示します。	● システムが暖機を必要と判断していますので、マナーモードを使用できません。 ● 暖機終了後にマナーモードスイッチを押してください。 🔄 マナーモード (P.304)

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
バッテリー残量が 少ないため現在 マナーモードは使用できません	マナーモード 警告B	● リチウムイオンバッテリーの残量が少ない場合に表示します。	● リチウムイオンバッテリー残量低下によりマナーモード走行はできません。 ● チャージモードで走行するなど、リチウムイオンバッテリー残量を増やしてからマナーモードスイッチを押してください。 ➡ マナーモード (P.304)
SまたはECOモードが 選択されていないため マナーモードは使用できません	マナーモード 警告C	● S (Smart) モード、またはECOモードが選択されていない場合に表示します。	● ドライブモードがNORMALのためマナーモードを使用できません。 ドライブモードをS (Smart) モード、またはECOモードに切り替えてからマナーモードスイッチを押してください。 ➡ マナーモード (P.304)
作動条件外のため マナーモードは使用できません	マナーモード 警告D	● マナーモードの作動条件から外れていると表示します。	● システムの判断によりマナーモードを使用できません。 (外気温が極端に低いときなど) ● 作動条件を満たすと表示が消えるので、そのときにマナーモードスイッチを押してください。 ➡ マナーモード (P.304)
作動条件外のため チャージモードは使用できません	チャージモード 警告A	● チャージモードの作動条件から外れていると表示します。	● システムの判断によりチャージモードを使用できません。 (外気温が極端に低いときなど) ● 作動条件を満たすと表示が消えるので、そのときにチャージモードスイッチを押してください。 ➡ チャージモード (P.302)

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
SまたはECOモードが選択されていないため チャージモードは使用できません	チャージモード警告B	● S (Smart) モード、またはECOモードが選択されていない場合に表示します。	● ドライブモードがNORMALのためチャージモードを使用できません。 ドライブモードをS (Smart) モード、またはECOモードに切り替えてからチャージモードスイッチを押してください。 ➡ チャージモード (P.302)
△警告 e-POWERシステム停止 販売店で点検してください	e-POWERシステム警告A	● 停車中、e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム故障 次回始動できません 販売店で点検してください	e-POWERシステム警告B	● e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが再始動できないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム故障 走行制限中 販売店で点検してください	e-POWERシステム警告C	● 停車中、e-POWERシステムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム停止 安全に停車してください	e-POWERシステム警告D	● 走行中、e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム停止 パーキングブレーキをかけてください	e-POWERシステム警告E	● 停車中、e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかにパーキングブレーキをかけ、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム故障 安全に停車してください	e-POWERシステム警告F	● 走行中、e-POWERシステムに異常が発生し、出力が停止しているときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 △警告  e-POWERシステム故障 走行制限中 安全に停車してください	e-POWERシステム警告G	● 走行中、e-POWERシステムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告  e-POWERシステム故障 販売店で点検してください	e-POWERシステム警告H	● 停車中、e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止せず、出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告  12V充電システム故障 e-POWERシステム停止 販売店で点検してください	12V充電系警告A	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告  12V充電システム故障 販売店で点検してください	12V充電系警告B	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、e-POWERシステムに異常がなく出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告  12V充電システム故障 e-POWERシステム停止 安全に停車してください	12V充電系警告C	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告  12V充電システム故障 安全に停車してください	12V充電系警告D	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、e-POWERシステムに異常がなく出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告  12V充電システム故障 走行制限中 安全に停車してください	12V充電系警告E	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

次ページに続く

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 △警告 12V充電システム故障 パーキングブレーキを かけてください	12V充電系警告F	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生していると表示します。	● すみやかにパーキングブレーキをかけ、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 12V充電システム故障 走行制限中 販売店で点検してください	12V充電系警告G	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
警告 フロントレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください	フロントレーダーシステム 停止警告	● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 ➡ プロパイロット★ (P.322) ➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.360) ➡ インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (P.417) ● 次のような道路形状、または建造物がある場合は、レーダーが先行車を正確に検知できず、作動が停止します。 — 長い橋を走行しているとき — 砂地や雪原を走行しているとき — 長い壁の近くを走行しているとき	● 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、e-POWERシステムを再始動してください。 ● 停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。 （再開するまでに時間がかかることがあります）

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
警告 サイドレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください	サイドレーダーシステム 停止警告	● 車両後部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 ➡ BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（P.393） ➡ RCTA（後退時車両検知警報）（P.423）	● レーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから、システムを一旦OFFにしたあと、再びONにしてください。
作動範囲外のため 現在使用できません	作動範囲外警告	● 次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。 ➡ プロパイロット★（P.322） - インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（➡ P.393） - インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）（➡ P.409） ● VDCをOFFにしたとき	● 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
警告 カメラが高温のため 現在使用できません	カメラ高温警告	● 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になり、次のシステムが停止すると表示します。 ➡ プロパイロット★ (P.322) ➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.360) – インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（➡ P.393） – ➡ LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）（P.409） – ➡ 標識検知機能 (P.435)	● 停止したシステムを再び作動させる場合は、マルチセンシングフロントカメラ周辺の温度が下がってから、再びONにしてください。

■ プロパイロット（インテリジェント クルーズコントロール）警告メッセージ

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 作動範囲外のため現在使用できません	● VDC/TCSが作動したとき ● タイヤの空転を検出したとき ● VDCをOFFにしたとき	● VDC/TCSが作動する、または、タイヤが空転するような状況ではインテリジェント クルーズコントロールは使用できません。 ● VDCがOFFの場合はインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 パーキングブレーキが作動しているため使用できません	● 電動パーキングブレーキが作動したとき	● 電動パーキングブレーキが作動しているときはインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 シートベルトが解除されているため使用できません	● 運転席のシートベルトを解除したとき	● 運転席のシートベルトが解除されている場合はインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 警告  システム故障 取扱説明書を見てください	● システム故障	● 安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
 警告 停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	● インテリジェント クルーズコントロールにより車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき	● 速やかにブレーキを踏んでください。

プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 ハンドル支援は一時的に作動できません	● 両側の車線を検出しなくなったとき ● 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき	● 作動条件を再度満たすとハンドル支援機能は再開されます。
 	● ハンドルを持っていない、またはハンドル操作がないとき	● 速やかにハンドルを持って操作してください。運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、ハンドル支援機能が復帰します。
レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	● 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど）	● 再びハンドル支援機能を使用したいときは、レーンマーカーがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを解除し、再度セットしてください。
 悪天候のため 現在使用できません	● ワイパーを高速で作動させたとき	● ワイパーの高速作動を解除して再度セットしてください。
 カメラが認識できないため 現在使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき ● 前方から強い光を受けたとき	● 状況が改善すると、プロパイロットを使用することができません。 ● 警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止してカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。
 カメラが高温のため 現在使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● 室内の温度が下がるとプロパイロットを使用することができません。

警報音（ブザー）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外で警報音（ブザー）が鳴ることがあります。

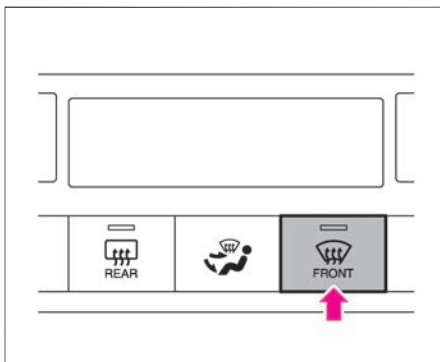
どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…（数秒間）	ドアハンドルのスイッチを押したとき	パワースイッチはOFFになっているか キーを車室内またはラゲッジルーム内に置き忘れているか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キーのドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを押していないか
	ピッピッピッ（3回）	ドアを閉めたとき	パワースイッチがONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
車室内	ピー（継続）	ドアを閉めたとき	電制シフトに異常が発生している状態で、パーキングブレーキをかけずにキーが車外に持ち出されていないか 電制シフト警告（➡P.547）
	ピッピッピッピッピッ（3回）	ドアを閉めたとき	パワースイッチがONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
	ピッピッピッ…（繰り返す）	運転席ドアを開けたとき	パワースイッチがONのままになっていないか

窓ガラスがくもったときは

パワースイッチがONのとき使えます。

フロントガラスのくもりの取りかた

- デフロスタースイッチを押すとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。
(スイッチの表示灯が点灯)
- もう一度スイッチを押すと止まります。
(スイッチの表示灯が消灯)



⚠ 注意

- デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

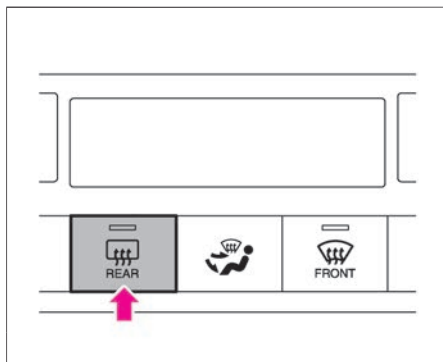
📖 知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも作動します。

窓ガラスがくもったときは

リヤガラスのくもりの取りかた

- リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。
(リヤウインドーデフォッガースイッチの表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(リヤウインドーデフォッガースイッチの表示灯が消灯)



知識

- リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーター★も同時に作動します。
- 外気温が低いときは、リヤウインドーデフォッガーとドアミラーヒーターが自動的にONになります。(リヤウインドーデフォッガースイッチの表示灯が点灯)
OFFにしたいときは、リヤウインドーデフォッガースイッチを押します。(リヤウインドーデフォッガースイッチの表示灯が消灯)

オーバーヒートしたときは

アドバンスドドライブアシストディスプレイにオーバーヒート警告 (P.543) が表示されたときや、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしています。次の方法で処置してください。

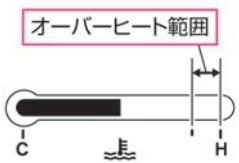
処置のしかた

1	ただちに安全な場所に停車します。 ➡ 故障したときの対処のしかた (P.500)	
2	e-POWERシステムを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。 万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにe-POWERシステムを停止し、自然冷却してください。	
3	アドバンスドドライブアシストディスプレイのオーバーヒート警告が消えたら、e-POWERシステムを停止させしばらく待ちます。 エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。	⚠ 警告 オーバーヒート 安全な場所に車を止め 取扱説明書を見てください
4	冷却水が不足しているときは、エンジン冷却用のリザーバタンクに冷却水を補充してください。 ➡ エンジンルーム内の配置図 (P.597) 補充後は、しっかりキャップを閉めてください。	冷却水補充 十分に冷えてから リザーバタンク のキャップを外す

⚠ 警告

- **ボンネットを開けるときは十分に注意する。**
エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**
やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
e-POWERシステムを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- **エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバタンクのキャップを外さない。**
蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。**
そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

オーバーヒートしたときは

5	走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、手順1～手順4の作業を繰り返し行ってください。	
6	早めに日産販売会社で点検を受けてください。	



アドバイス

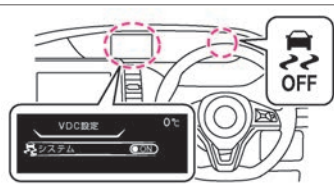
- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

雪道やぬかるみにはまったときは

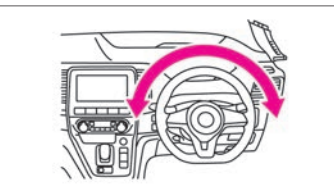
雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

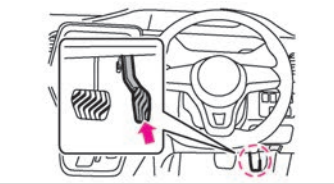
- 1** アドバンスドドライブアシストディスプレイの設定でVDCをOFFにします。
 ② VDCのON・OFFのしかた (P.314)



- 2** 車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
 必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。



- 3** ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
 周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。



⚠ 警告

- **周囲の安全を必ず確認する。**
 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何も無いことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- **必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。**
 急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。**
 タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品の異常過熱により思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

■ 水没したときの対処のしかた

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、パワーウィンドーのスイッチを押し窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- パワーウィンドースイッチを押しても窓ガラスが開かない場合、以下の方法で脱出してください。
 - － 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
 - － 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらいまで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。
（車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます。）

⚠ 警告

- 水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車内に入り、ケガをするおそれがあります。

緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

- フロントウィンドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。フロントドアガラス、リヤドアガラス、バックドアガラスを割って脱出してください。

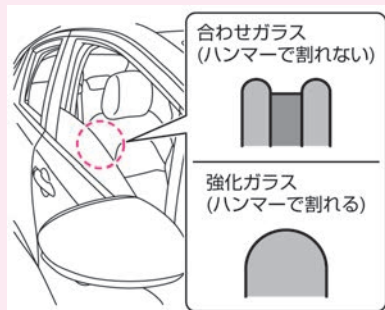
※ドアガラスについては、車両の仕様変更により合わせガラスの場合があります。合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしくは刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

水没したときは

警告

ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスとなります。



ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。

警告

Eマーク



■合わせガラス：XI、V-XI
■強化ガラス：無印、V

JISマーク



■合わせガラス：L
■強化ガラス：T

※車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない場合があります。

ヒューズ

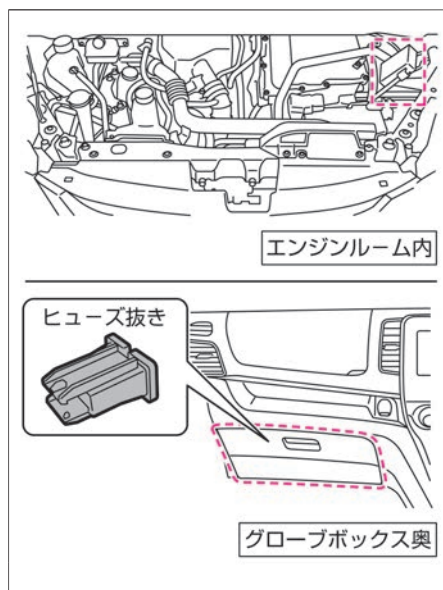
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

ヒューズボックスの位置

- ヒューズボックスは、次の位置にあります。
 - ー エンジンルーム内
 - ー グローブボックス奥
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側またはヒューズボックス付近に表示してあります。

ヒューズ抜きについて

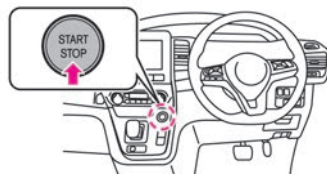
- グローブボックス奥のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。



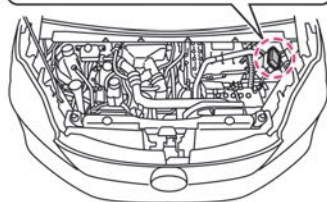
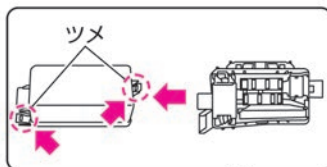
ヒューズ

ヒューズの点検・交換のしかた（エンジンルーム内）

- 1 パワースイッチをOFFにし、ボンネットを開けます。
 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.598)



- 2 ヒューズボックスのふたを外します。



- 3 ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
 ヒューズ抜き (➡ P.565)



ヒューズ抜きで
引き抜く

⚠ 警告

- 高電圧部位、サービスプラグ、高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクタに触れたり、取り外し、分解などは絶対に行わない。重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

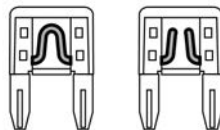
📖 知識

- エンジンルーム内のヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

4

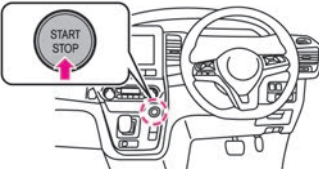
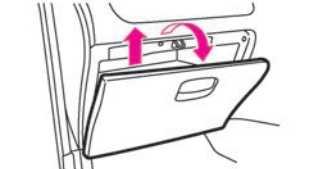
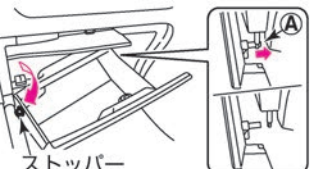
ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換しま
す。

ヒューズの参考画像



ヒューズ

ヒューズの点検・交換のしかた（グローブボックス奥）

1	パワースイッチをOFFにします。	
2	グローブボックスを開けた状態で上方向に引き、下側のロック部を外します。	
3	グローブボックス左側のストッパーを抜き、ダンパー①部を外してからグローブボックス右側のストッパーを抜いて外します。	 ストッパー
4	ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。 ヒューズ抜き (➡ P.565)	 ヒューズ抜きで引き抜く

警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

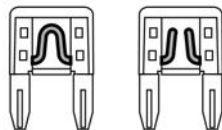
アドバイス

- お手持ちの工具を布などで覆い、傷をつけないように注意してください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- グローブボックスを取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

5

ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像

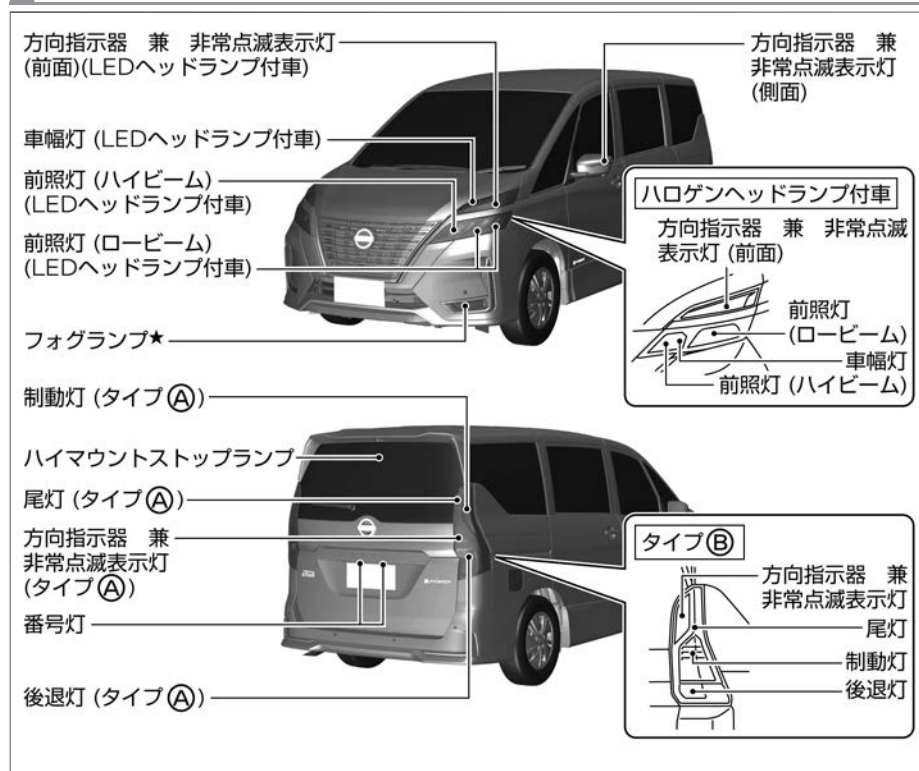


電球（バルブ）交換

外装ランプが点灯しないときは、電球の球切れが考えられます。

電球の交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

各電球（バルブ）の位置



⚠ 注意

- 電球交換は、ボンネットや電球が冷えた状態で行う。
やけどをするおそれがあります。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように注意する。
- 電球は確実に取り付ける。
電球は点灯中、表面が高温になります。電球が正しく取り付けられていないと、走行中に電球が外れて周辺の部品に接触するなどし、発熱、発火につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 電球交換をするときは、軍手などを着用してください。
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- 電球に油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。電球の寿命が短くなったり電球が破損するおそれがあります。

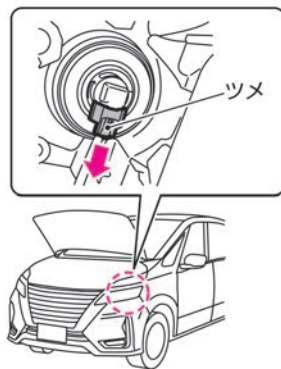
 知識

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。また、ヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

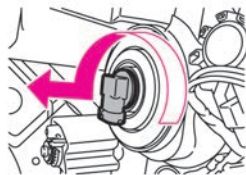
電球（バルブ）交換

ロービーム（ハロゲンヘッドランプ付車）

- 1 ボンネットを開け、コネクターを取り外します。
（ツメを押しながら外します。）
➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.598)



- 2 ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、電球を交換します。



- 3 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

⚠ 注意

- 電球の取り扱いには注意する。
ロービームに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

🚗 アドバイス

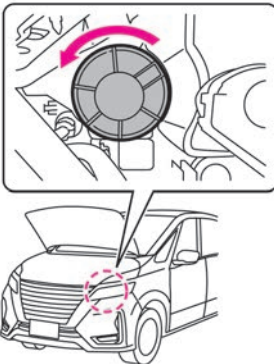
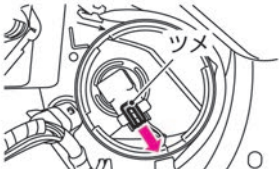
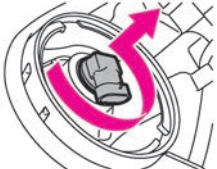
- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

📖 知識

- ロービームヘッドランプ：
 - － 12V-55W（ハロゲンヘッドランプ付車）
 - － LED（LEDヘッドランプ付車）

電球（バルブ）交換

ハイビームヘッドランプ（ハロゲンヘッドランプ付車）

1	ボンネットを開け、カバーを取り外します。 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.598) ➡ ウォッシャー液補給口の外しかた (P.600)	
2	コネクターを取り外します。 （ツメを手前に引きながら外します。）	
3	ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、電球を交換します。	

⚠ 注意

- 電球の取り扱いには注意する。
ハイビームに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

🚗 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

📖 知識

- ハイビームヘッドランプ：
 - － 12V-65W（ハロゲンヘッドランプ付車）
 - － LED（LEDヘッドランプ付車）

4

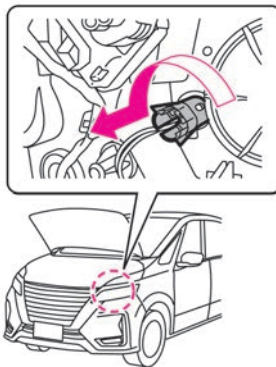
取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

電球（バルブ）交換

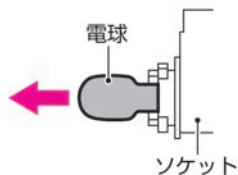
車幅灯（ハロゲンヘッドランプ付車）

- 1 ボンネットを開けます。
 ② ボンネットの開けかた、閉めかた (P.598)

- 2 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



- 3 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。


 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

- 車幅灯：
 - － 12V-5W（ハロゲンヘッドランプ付車）
 - － LED（LEDヘッドランプ付車）

次ページに続く

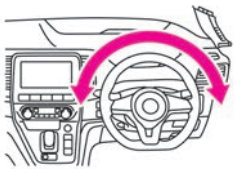
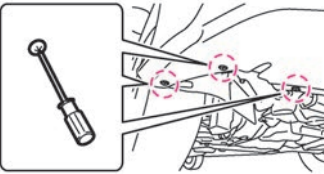
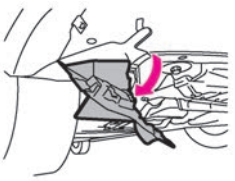
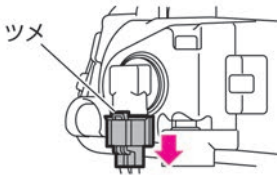
電球（バルブ）交換

4

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

電球（バルブ）交換

■ フォグランプ（ハロゲンヘッドランプ付車）★

1	作業スペースを確保するため、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。	
2	お手持ちの工具（トルクス）で下側のネジを外します。	
3	カバーをめくり、作業スペースを確保します。	
4	コネクターを取り外します。 （ツメを押しながら外します。）	

 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

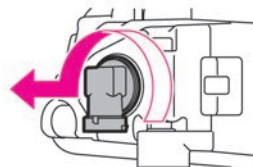
- フォグランプ：
 - － 12V-35W（ハロゲンヘッドランプ付車）
 - － LED（LEDヘッドランプ付車）★

次ページに続く

電球（バルブ）交換

5

ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、電球を交換します。



6

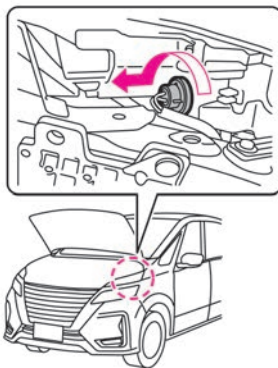
取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

電球（バルブ）交換

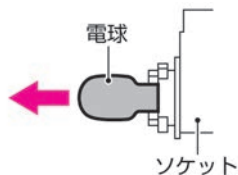
方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

- 1 ボンネットを開けます。
 ② ボンネットの開けかた、閉めかた (P.598)

- 2 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



- 3 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。


 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）：12V-21W（アンバー）

次ページに続く

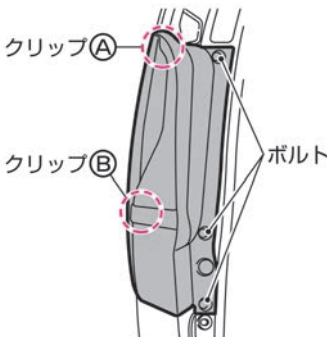
電球（バルブ）交換

4

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

電球（バルブ）交換

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）／後退灯（タイプA）

1	バックドアを開けます。	
2	リヤコンビランプのボルトを外し、ランプをまっすぐ後方に引いて取り外します。取り付けボルトを外したら、クリップAの高さに手をかけて後方に引いてください。次にクリップBの高さに手をかけて後方に引いて取り外してください。	

 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

 知識

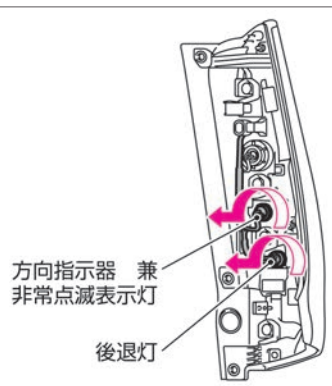
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）：12V-21W（アンバー）
- 後退灯：12V-16W

次ページに続く

電球（バルブ）交換

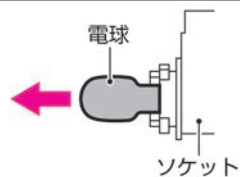
3

交換したい電球のソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



4

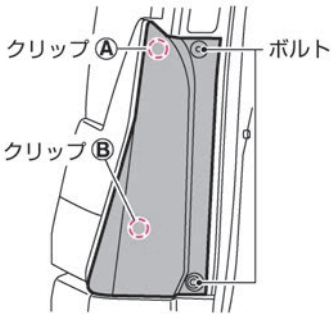
古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



5

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）／後退灯（タイプ®）

1	バックドアを開けます。	
2	リヤコンビランプのボルトを外し、ランプをまっすぐ後方に引いて取り外します。取り付けボルトを外したら、クリップ®の高さに手をかけて後方に引いてください。次にクリップ®の高さに手をかけて後方に引いて取り外してください。	

 アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

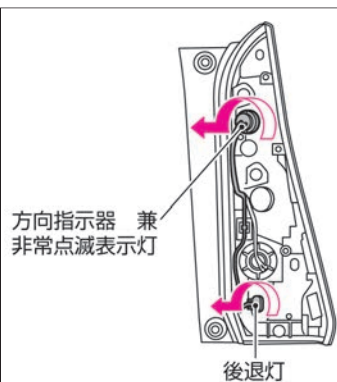
 知識

- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）：12V-21W（アンバー）
- 後退灯：12V-16W

電球（バルブ）交換

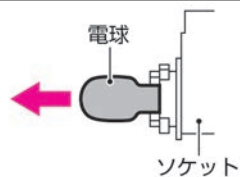
3

交換したい電球のソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



4

古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



5

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

その他の電球

次の電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

- ロービーム（LEDヘッドランプ付車）
- ハイビーム（LEDヘッドランプ付車）
- フォグランプ（LEDヘッドランプ付車）★
- 車幅灯（LEDヘッドランプ付車）
- 制動灯（LED）
- ハイマウントストップランプ（LED）
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）（LED）
- 尾灯（LED）
- 番号灯（灯体交換）

MEMO



トラブルがおきたときは

メンテナンス

メンテナンスの前に

点検整備について	P.588
----------	-------

工具・ジャッキ

工具・ジャッキ★について	P.589
--------------	-------

点検と整備

エンジンルーム	P.597
ウォッシュ液の補給	P.601
寒冷時の取り扱い	P.602
タイヤ	P.605
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.610
ワイパー	P.611
キー（インテリジェントキー）の電池交換	P.613
12Vバッテリー	P.614
エンジンオイル	P.615

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.616
内装のお手入れ	P.626

サービスデータ

点検値／交換油脂類	P.630
車両仕様	P.633
イベントデータレコーダ（EDR）	P.635
車両状態記録機能	P.637

点検整備について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

- **日常点検**
走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がいたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、におい、水もれ、油もれなど）
- **定期点検**
1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。
- **その他の点検**
新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

知識

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

車検、点検整備のとき

- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。

■ 検査標章（ステッカー）の貼り付け位置について

- フロントガラスにあるマルチセンシングフロントカメラを避け、車室内から貼り付けます。車外から見やすい位置に貼り付けてください。
マルチセンシングフロントカメラ (➡ P.622)

工具・ジャッキ★について

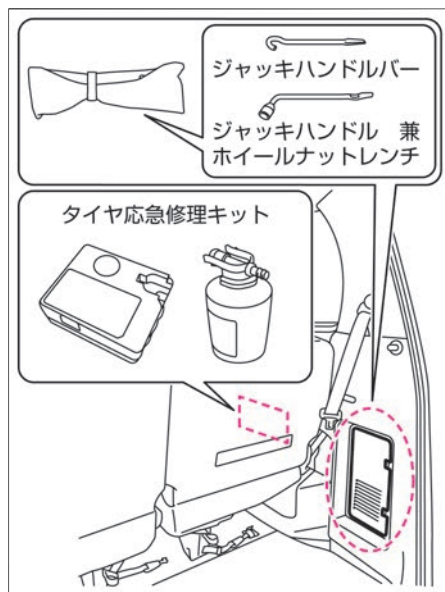
この車両には、スベアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

工具、タイヤ応急修理キットの格納場所

- 工具は、ラゲッジルームに格納されています。
- タイヤ応急修理キットは、サードシート運転席側のカップホルダー下部に格納されています。

(車種により、タイヤ応急修理キットの内容や部品形状が異なります。)

➡ タイヤ応急修理キット (P.507)



⚠ 注意

- 工具、タイヤ応急修理キットを使ったあとは、元の場所に格納する。車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

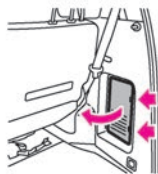
- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりません。必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（➡ P.501）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

ジャッキの取り出しかた（ディーラーオプション）

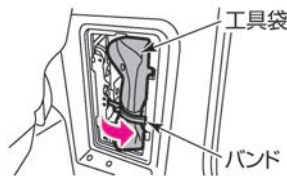
- 1** ラゲッジルーム右側に格納されているヘッドレストを取り出します。
 ➡ ヘッドレストの使いかた (P.182)
 ➡ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.589)



- 2** ふたを取り外します。



- 3** 工具袋を固定しているバンドを外し工具袋を取り出します。



- 4** ジャッキを緩めます。



⚠ 注意

- ジャッキを取り出すときは、手をぶつけないように注意する。
金属部などに手をぶつけると、ケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
- ジャッキを格納するときは、ドライバーなどで無理に締め付けしないでください。ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。
- ジャッキが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。

5

上部からゆっくりと抜き取ります。

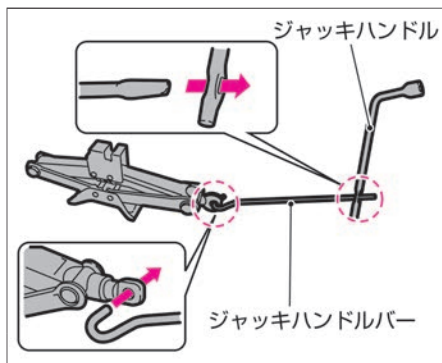
※格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでしっかりと締め付けます。

知識

- 工具袋を格納するときは、工具袋に付いているバンドできつく締めてから格納してください。工具がぶつかり合って音がでることがあります。
- この車両には、ジャッキが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

ジャッキの使いかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。



⚠ 警告

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。

⚠ 注意

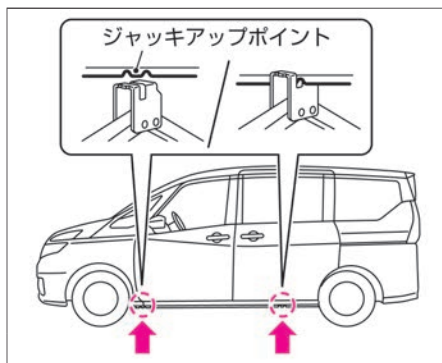
- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーをしっかり握って回す。
ジャッキハンドルバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込む。
ジャッキハンドルバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキアップ中はe-POWERシステムを始動しない。

 注意

車が発進し、重大な傷害につながる
おそれがあります。

ジャッキアップポイント

- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。



⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守る。
 - － ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。
 - － 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - － 使用前にパーキングブレーキをかけ、シフトポジションをPにしてください。
 - － 輪止めなどで車を固定してください。
 - － ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - － 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

🚗 アドバイス

- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。



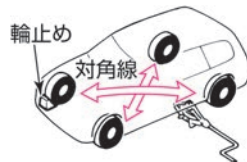
アドバイス

- ジャッキアップポイント以外にはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

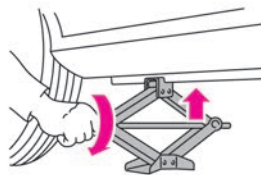
ジャッキアップのしかた

- 1** 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。
➡ 停車・駐車のしかた (P.257)

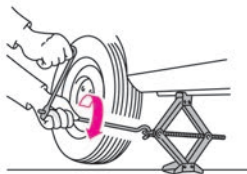
- 2** ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



- 3** ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。
➡ ジャッキアップポイント (P.594)



- 4** ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



⚠ 注意

- やわらかい地面の上ではジャッキアップしない。
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむをえず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。

🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

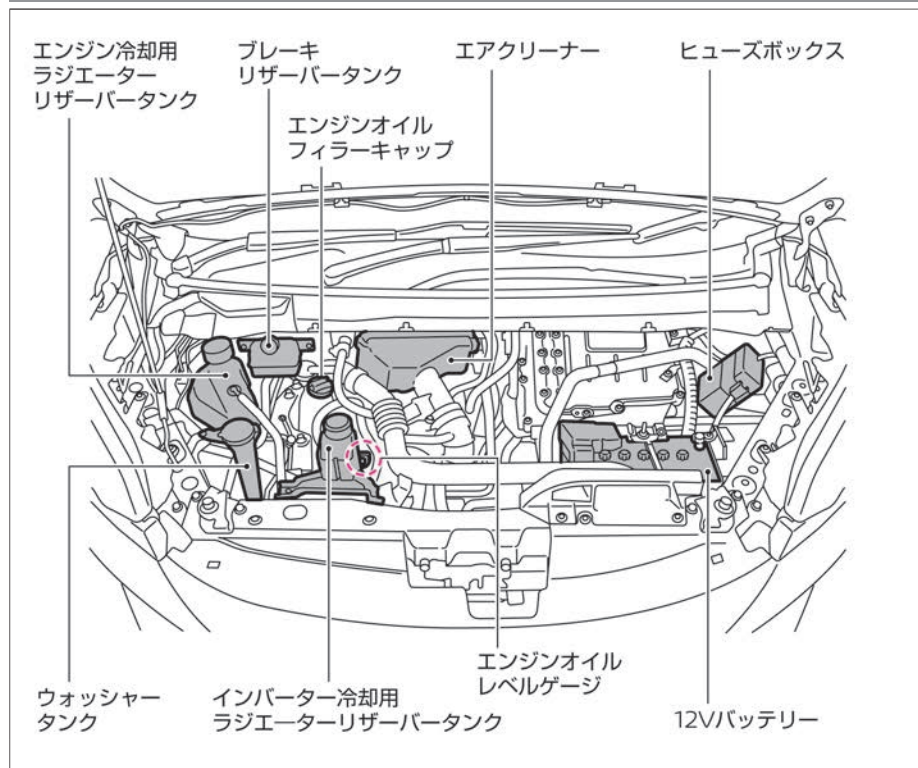
📖 知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

エンジンルーム

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

エンジンルーム内の配置図



警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。故障や車両火災につながるおそれがあります。

注意

- エンジンルーム内の作業をするときは、パワースイッチをOFFにする。e-POWERシステム作動中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーを損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

ボンネットの開けかた、閉めかた

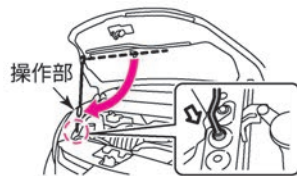
- 1** 運転席の右下にあるボンネットオープナーを引きます。
ボンネットが少し浮き上がります。



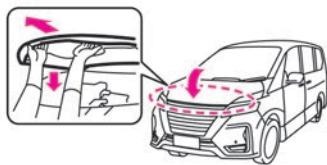
- 2** ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを押し上げながらボンネットを持ち上げます。



- 3** ボンネット裏側に付いているステーの操作部を持ってフックから外し、車体の穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。



- 4** 閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットを20cm～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落としてください。ボンネットを上から押して閉めようとししないでください。



⚠ 警告

- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。
ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。
- ステーを持つときは、必ず操作部を持つ。
エンジン停止直後はステーが高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。
- ラジエーターなどの高温部には触れない。
やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。



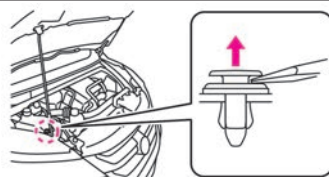
アドバイス

- ボンネットを30cm以上の高さから落とさないでください。破損するおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。

ウォッシャー液補給口の外しかた

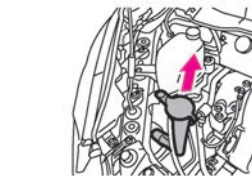
1

クリップを1つ外します。
切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
※取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。



2

ウォッシャー液補給口を持って、引き抜きます。



3

外したときと逆の手順で取り付けます。

⚠ 注意

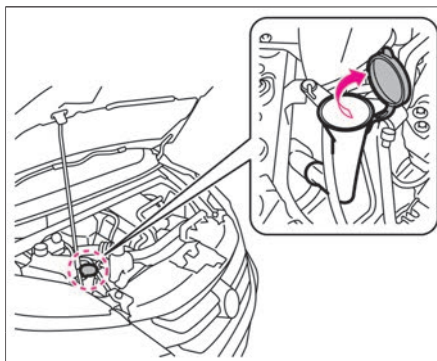
- ステアなどの端で指や腕をケガしないように注意する。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

- ウォッシャー液が減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。



⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

📖 知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。
- 日産純正ウインドウウォッシャー液をおすすめします。
ウォッシャータンク容量 (👉 P.631)

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
30%	約-15°C
50%	約-35°C

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。
サービスデータ（冷却水）（➡P.631）

■ 12Vバッテリーの液量、比重の点検

- 別冊のメンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。



アドバイス

- 寒冷地仕様車の冷却水は工場出荷時に50%にしています。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かししたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使用して、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品を破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。

警告

- **ルーフに積もった雪は落とす。**
窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
➡ 冬用タイヤ・タイヤチェーン (P.610)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効が悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- シフトポジションを **P** に入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなきや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。日常的に点検を行ってください。

■ タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

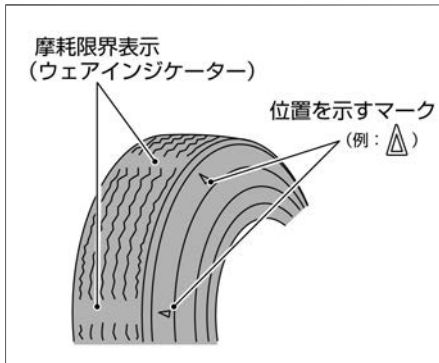
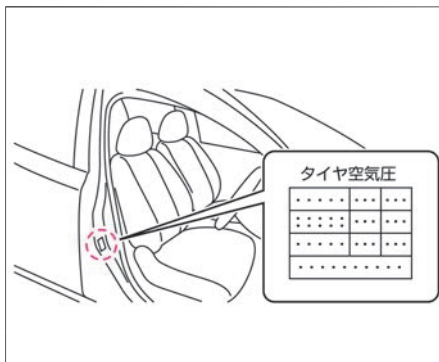
- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあります。

タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限界表示）が表れていないか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限界表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。



⚠ 警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。**
バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **使用開始後5～7年を目安に必ず点検する。**
タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

📖 知識

- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確

知識

認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。

- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割程度上がる場合があります。

■ タイヤ・ロードホイールを交換するときは

- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。
ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

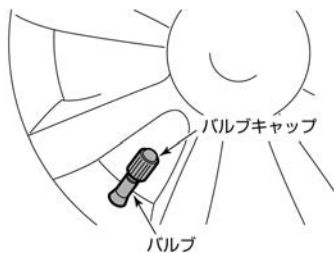
注意

- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けません。**
不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けます。**
径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。回転差を吸収する機構に無理がかかり、過熱し火災につながるおそれがあります。
 - － 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - － 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
 - － サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着



アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。

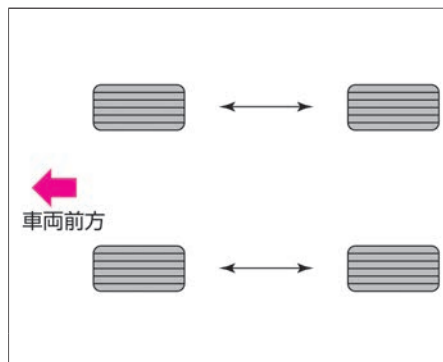


アドバイス

- バルブキャップを工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m (11kg・m) です。

■ タイヤローテーションのしかた

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏磨耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000kmごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



⚠ 注意

- 著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。
車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。



アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、パワースイッチをOFFにして作業してください。
- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
- お客様のタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
- タイヤチェーンはお客様の車に適合した日産純正品をおすすめします。
- 適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

注意

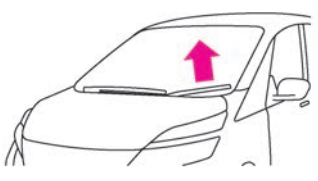
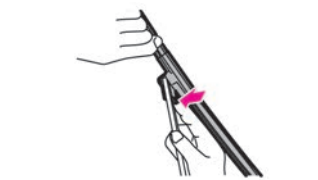
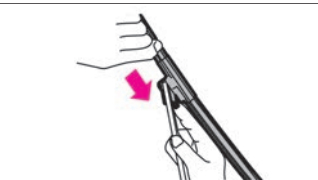
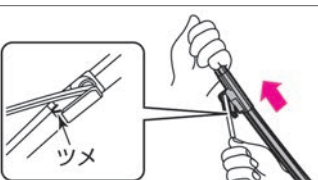
- タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。
ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

ワイパーブレードの交換のしかた

1	ワイパーアームを起こし、ワイパーブレードを少し傾けます。	
2	ワイパーブレードのツメを押したままにします。	
3	ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。	
4	新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。	

アドバイス

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。
- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

知識

- リヤワイパーブレードの点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。
- ワイパーゴムの交換のしかたは、別冊のメンテナンスノートの「簡単なお手入れのしかた」をお読みください。

ワイパーゴムの交換のしかた

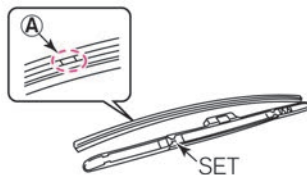
- 1** ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。



- 2** ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



- 3** 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
- ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。
 - ワイパーゴムのⒶ部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。

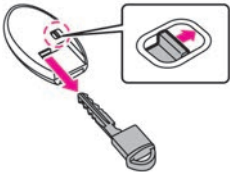
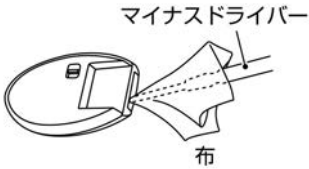
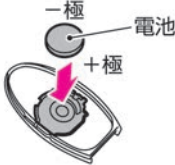
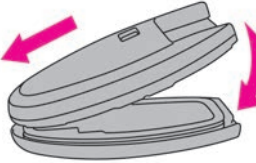


知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

キー（インテリジェントキー）の電池交換

キーのスイッチを押しても作動しないときや作動表示灯（ P.120）が点滅しないときは、電池の消耗が考えられます。次の手順に沿って、電池を交換してください。

1	キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。	
2	すき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。）	
3	消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。） 使用電池：CR2032	
4	カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。	

警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

アドバイス

- 電池交換の際、無理にカバーを取り外そうとすると、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリー

12Vバッテリーのメンテナンスについては、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーに関する注意事項

警告

- **12Vバッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけない。**
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。**
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

- **12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- **12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**
しっかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

エンジンオイル

エンジンオイルの交換時期は別冊のメンテナンスノートをお読みください。
また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータ (➡P.631) をお読みください。

エンジンオイルに関する注意事項

注意

- オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。
オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが吹き出し火災の原因になるおそれがあります。
- エンジンオイルフィラーキャップは確実に閉める。
走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。



アドバイス

- 適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 自動洗車機で洗車するときは、ドアミラーを格納してください。
➡ ドアミラーの格納のしかた (P.196)
- 高圧洗浄機で洗車するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。
- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - ー ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールトールなどが付着したとき
 - ー 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ー ほこり、汚れがひどいとき

⚠ 注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。
- エンジンルームを水で洗ったり、洗剤やワックスなどを直接スプレーしたりしない。

e-POWERシステムの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあります。

水や洗剤、ワックスなどの製品を使用する場合は、布に塗布してからエンジンルームをふいてください。

- 洗車、ワックス掛け、整備を行うとき、ハンズフリーセンサー周りに水をかけるときなどは、オートドアメインスイッチをOFFにする。(ハンズフリー機能付車)

ハンズフリーセンサーが反応してスライドドアが突然開閉し、思わぬケガをするおそれがあります。

➡ オートスライドドア (P.141)



アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

水洗いするときは

- ① 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ② 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③ はん点が残らないように水をふき取ります。

洗車機を使うときは

- ドアミラーを格納してください。
- ➡ ドアミラーの格納のしかた (P.196)
- 高压洗浄機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。



アドバイス

- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高压ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。

ワックスをかけるときは

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラ★のレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

アルミホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - － 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
 - － 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - － 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - － 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

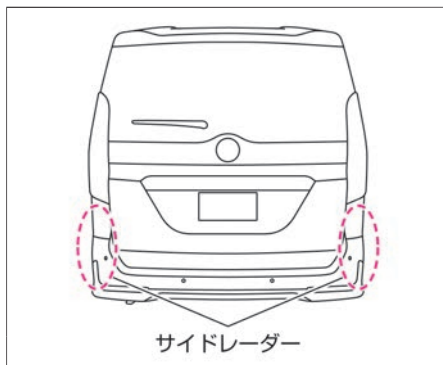
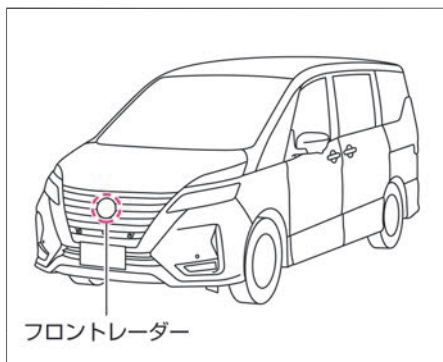
軽い補修のしかた

- 塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

レーダーセンサーの取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

- レーダーセンサー周辺部はいつもきれいにしておいてください。
- 強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、センサーから十分に離して使用してください。レーダーセンサーを損傷するおそれがあります。
- レーダーセンサー周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでレーダーセンサー周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- レーダーセンサー周辺にステッカー（透明な物を含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けたり、塗料を塗ったりしないでください。誤作動の原因になります。
- バンパーを改造、脱着したり、塗装しないでください。バンパーを改造したり塗装する場合は、日産販売会社にご相談ください。



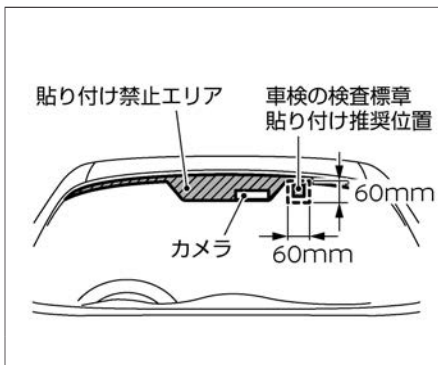
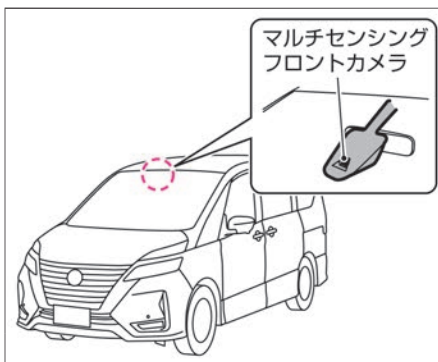
アドバイス

- フロントレーダー周辺に雪や氷、泥などが付着している場合は、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。
フロントレーダーシステム停止警告（➡P.552）
システム故障警告（➡P.544）
- レーダーセンサー周辺の遮蔽物を取り除いて走行すると、システムの作動は再開します。再開しない場合は日産販売会社にご連絡ください。

マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

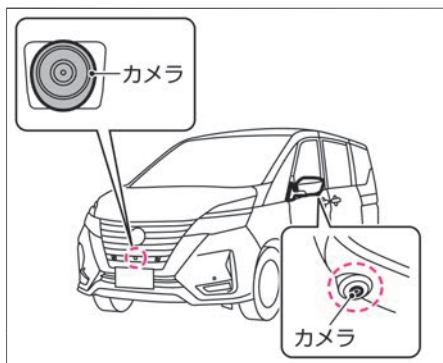
- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- フロントガラスに車検の検査標章（ステッカー）を貼り付ける場合は、貼り付け禁止エリアを避けて貼り付けてください。貼り付け推奨位置は、フロントガラスのプリント部上側コーナー部を起点とした範囲です。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。



■ フロントビュー／サイドビューカメラの取り扱い★

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

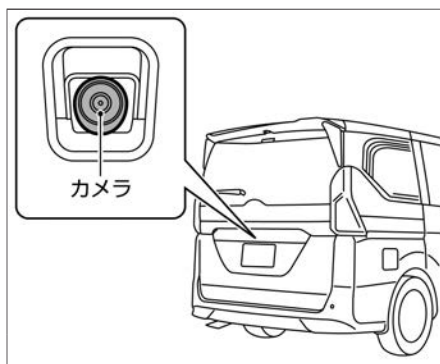
🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

リヤビューカメラの取り扱い★

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- 光が反射するため、ナンバープレートのアクセサリを取り付けないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

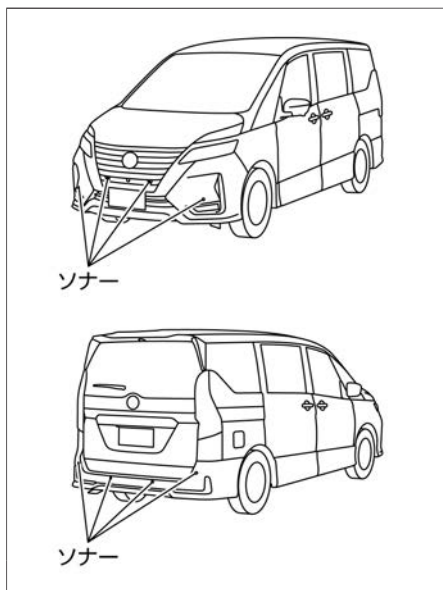
🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

ソナーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- 強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、ソナーから十分に離して使用してください。ソナーを損傷するおそれがあります。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けしないでください。故障、誤作動の原因になります。



■ 内装のお手入れについて

 アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。
- 塩素系（二酸化塩素や次亜塩素酸）の洗浄液を使用しないでください。塗装はがれや錆などの原因となるおそれがあります。やむをえず洗浄（除菌）する場合は、エタノール75%以下をご使用ください。エタノールを乾いた布に含ませ、内装部品をふいでください。エタノールがなくなるまでふき取ってください。ふき残しがあると塗装はがれや色落ちなどの原因となるおそれがあります。エタノールは、引火性ですので、火気に注意してください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

➡ フロアカーペット (P.488)

布、ビニールレザーの汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

IRカット&スーパーUVカット断熱グリーンガラスのお手入れ

フロントドアガラスの内側にはIRカット&UVカットコーティングがされてます。

- フロントドアガラスの内側を清掃するときは、水または温水を含ませた柔らかいきれいな布で早めに汚れをふき取ってください。



アドバイス

- IRカット&UVカットコーティングの傷つきや劣化を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ー フロントドアガラスの汚れがひどいときは、なるべく窓ガラスの開閉を行わない。
 - ー 清掃するときはコンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー、アルカリ性洗剤は使用しない。
 - ー 砂などが付着している布で清掃をしない。

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取りま
す。硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。



アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなど
を使用しないでください。傷がつい
たり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油など
が付着した布ではふかないでくださ
い。変色の原因になります。

ガラスの汚れ取り

- バックドアガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らか
い布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい
布で軽くふいてください。

インテリジェント ルームミラーのお手入れ★

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっとふいてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部をふかないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいときは、まず濡れた柔らかい布でふいてから乾いた柔らかい布でふいてください。
- カメラ前面のバックドアガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。油膜が付いているときは、油膜取りを使用して清掃してください。
- カメラ前面のバックドアガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。➡ [外観リヤ \(P.4\)](#)

点検値

項目		点検値
ブレーキペダル※1	遊び	3～11mm
	床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約490N（50kg）で踏んだとき	100mm以上
パーキングブレーキ★ （足踏み式）	踏みしろ 約196N（20kg）で踏んだとき	5～6ノッチ

※1: ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの床板とのすき間の調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

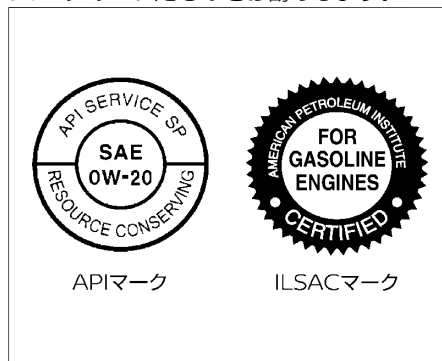
お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。
指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。
交換時期については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

項目	適用		規定量（ℓ）※1	指定銘柄
エンジンオイル	HR12DE	オイルのみ交換	3.2	日産純正SPストロングセーブ・X 0W-20 (API: SP, SAE: 0W-20)
		オイルとオイルフィルター交換	3.4	

※1： 規定量は目安です。

■ 指定銘柄以外のエンジンオイルについて

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。
グレード：API規格SPをお使いください。ILSACマークのついたものをお勧めします。



粘度：SAE規格0W-20をご使用ください。

次ページに続く

項目	適用	規定量 (ℓ) ※1	指定銘柄
エンジン冷却水	リヤヒーター付車	7.6 ^{※2}	日産純正スーパーロングライフクーラント ^{※4}
	リヤヒーター無車	6.3 ^{※2}	
インバーター冷却水	全車	4.5 ^{※3}	
ギヤボックスオイル	全車	1.94	日産純正マチックフルードS ^{※5}
ブレーキフルード	全車	-	日産純正ブレーキフルードNo.2500 (DOT3)
ウォッシャー液	全車	2.0	日産純正ウインドウォッシャー液 ^{※6}

※1： 規定量は目安です。

※2： リザーバータンクのMAXレベル容量 (0.6 ℓ) を含みます。

※3： リザーバータンクのMAXレベル容量 (0.5 ℓ) を含みます。

※4： 走行用モーターやインバーターなどが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水には、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

※5： 必ず日産純正マチックフルードSを使用してください。日産純正マチックフルードS以外のフルードを使用するとギヤボックスが損傷するおそれがあります。

※6： 外気温に応じて濃度を調節してください。

電球（バルブ）の容量

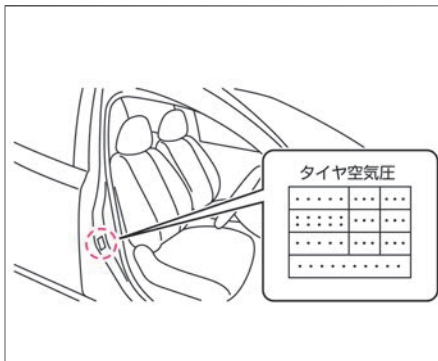
電球			容量 (v-w)	電球のタイプ
前照灯 (ヘッドランプ)	LEDヘッドランプ付車	ロービーム	—	LED※
		ハイビーム	—	LED※
	ハロゲンヘッドランプ付車	ロービーム	12-55	H11
		ハイビーム	12-65	H9
前部霧灯 (フォグランプ) ★	LEDヘッドランプ付車		—	LED※
	ハロゲンヘッドランプ付車		12-35	H8
車幅灯	LEDヘッドランプ付車		—	LED※
	ハロゲンヘッドランプ付車		12-5	W5W
番号灯			—※ (灯体交換)	
制動灯			—	LED※
尾灯			—	LED※
ハイマウントストップランプ			—	LED※
後退灯			12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面、後面		12-21 (アンバー)	WY21W
	側面		—	LED※

※： 電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D	インセット
195/65R15	15×5.5J	114.3mm (5穴)	45mm
195/60R16	16×6J		

タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



■ 車両データの記録・蓄積について

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

知識

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報 は記録しません。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報
- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速、エンジン回転数などの車両情報

■ プロパイロットシステム★

プロパイロットシステムは下記車両データを記録・蓄積します。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 先行車やレーンマーカーなどの検知状況
- 車速などの車両情報
- プロパイロットの作動に関する情報
- プロパイロットの故障診断情報
- マルチセンシングフロントカメラの画像情報 (SRSエアバッグ、インテリジェント エマージェンシーブレーキ作動時)

次ページに続く

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態の記録・蓄積について

車両状態記録機能は、下記車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報

車両状態記録機能

車両状態記録機能は品質維持を目的として、車両の運行状態を記録・蓄積します。
車両状態記録機能から得られたデータを元に的確なサービスを提供することができます。

知識

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの取り扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、車両状態記録機能に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。
なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することがありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

MEMO

1

- 12Vバッテリー
12Vバッテリー P.614

A

- A/C (エアコン)
エアコンスイッチ P.205, P.213
エアコンを使うときに注意すること P.222
オートエアコン P.213
オートデュアルエアコン P.205
吹き出し口 P.219
プラズマクラスターイオン®オート
エアコン P.221
- ABS
ABS P.311
ABS 警告灯 P.80

B

- BSW (後側方車両検知警報)
BSW (後側方車両検知警報) P.393
BSW (後側方車両検知警報) 表示 P.111

E

- ECO インジケーター P.77
ECO カスタマイズ P.299
ECO モード
ECO モード P.297
ECO モードインジケーター P.76
e-POWERモードスイッチ P.298
エコドライブレポート P.117
EDR (イベントデータレコーダ) P.635
ELR (緊急固定) 付3点式シートベルト P.35
e-POWERシステム
e-POWERシステム警告灯 P.80
e-POWERシステム車が事故にあった
ときの注意事項 P.21
e-POWERシステムの取り扱いに関する
注意事項 P.19
e-POWERシステムを始動できないとき
は P.522
燃費を良くするためのポイント P.23
e-POWERモードスイッチ P.298
EPS (電動パワーステアリング) 警告灯 P.80

F

- FCW (前方衝突予測警報)
FCW (前方衝突予測警報) P.417
インテリジェント FCW (前方衝突予測
警報) 表示 P.114

I

- ISO FIX 対応チャイルドシート用アン
カー P.66

L

- LDW (車線逸脱警報)
LDW (車線逸脱警報) P.409
LDW (車線逸脱警報) 表示 P.110

O

- ODO (オドメーター) P.73

R

- RCTA (後退時車両検知警報) P.423

S

S (Smart) モード	
e-POWERモードスイッチ	P.298
S (Smart) モード	P.297
S (Smart) モードインジケータ	P.75
SRS エアバッグ	P.42
SRS エアバッグ警告灯	P.80

T

TRIP (トリップメーター)	P.73
-----------------------	------

U

USB電源ソケット	P.482
-----------------	-------

V

VDC	
VDC	P.312
VDC OFF表示灯	P.83
VDC警告灯	P.80

W

W数 (電球の容量)	P.633
------------------	-------

A

アームレスト	
セカンドシート	P.174
フロントシート	P.169
アウターミラー (ドアミラー)	P.195
アシストグリップ	P.495
アダプティブLEDヘッドライトシステム	P.268, P.283
アダプティブLEDヘッドライト表示灯	P.83
アドバンスドドライブアシストディスプレイ	
アドバンスドドライブアシストディスプレイ	P.85
各種設定画面	P.96
警告メッセージ	P.95
車両情報画面	P.86
ステアリングスイッチ	P.85
アラーム (インテリジェントキー)	P.557
アルミホイールのお手入れ	P.620
アンサーバック機能	P.123
アンテナ	P.228

I

e-POWERシステム	
e-POWERシステム車が事故にあった ときの注意事項	P.21

e-POWERシステムの取り扱いに関する

注意事項	P.19
燃費を良くするためのポイント	P.23
一時停止標識検知	P.436
移動物 検知機能	P.450
イベントデータレコーダ (EDR)	P.635
イモビライザー (盗難防止装置)	
イモビライザー (盗難防止装置)	P.68
表示灯 (セキュリティインジケータ)	P.83
イルミネーションコントロール	P.118
インテリジェント BSI (後側方衝突防止 支援システム)	
インテリジェント BSI (後側方衝突 防止支援システム)	P.393
インテリジェント BSI (後側方衝突 防止支援システム) 表示	P.111
インテリジェント DA (ふらつき警 報)	P.432
インテリジェント FCW (前方衝突予測 警報)	
インテリジェント FCW (前方衝突予 測警報)	P.417
インテリジェント FCW (前方衝突予測 警報) 表示	P.114

インテリジェント Li (車線逸脱防止支援システム)	
インテリジェント Li (車線逸脱防止支援システム)	P.409
インテリジェント Li (車線逸脱防止支援システム) 表示	P.110
インテリジェント アラウンドビューモニター	
移動物 検知機能	P.450
インテリジェント アラウンドビューモニター	P.443
インテリジェント アラウンドビューモニターに関する注意事項	P.456
カメラスイッチ	P.443
ソナー機能について	P.452
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.360
インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯	P.80
インテリジェント エマージェンシーブレーキ表示	P.109
インテリジェント オートライトシステム (フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもしろライト」機能付)	P.262, P.277

インテリジェント クルーズコントロール	
インテリジェント クルーズコントロール	P.329
インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた	P.336
ステアリングスイッチ	P.325
インテリジェント ルームミラー	P.185
インテリジェントキー	
機能・使いかた	P.120
電池が切れたとき	P.522
電池交換のしかた	P.613
メカニカルキー	P.520
インナーミラー (ルームミラー)	P.184

ウ

ウィンカー (方向指示器)	P.273, P.288
ウインドーガラス (パワーウインドー)	P.198
ウェルカムライト	P.123
ウェルカムライト機能 (フェアウェル機能付)	P.274, P.289
ウォーニング (警告灯)	P.80
ウォッシャー	
ウォッシャー液 (規定量)	P.631
ウォッシャー液の補給	P.601
ウォッシャー液補給口	P.600
ウォッシャースイッチ	P.295

ウォッシャーの噴霧状態点検	M
動けなくなったときは	P.500
運転するときに注意すること	P.30
運転席アップアボックス	P.473
運転席ロアボックス	P.471
運転前の準備	P.28

エ

エアコン	
エアコンスイッチ	P.205, P.213
エアコンを使うときに注意すること	P.222
オートエアコン	P.213
オートデュアルエアコン	P.205
吹き出し口	P.219
プラズマクラスターイオン®オートエアコン	P.221
エアバッグシステム	
SRS エアバッグ	P.42
SRS エアバッグ警告灯	P.80
SRS エアバッグシステム (前席)	P.46
SRS カーテンエアバッグシステム	P.53
SRS サイドエアバッグシステム (前席)	P.51
ABS	
ABS	P.311
ABS 警告灯	P.80

S (Smart) モード	
e-POWERモードスイッチ	P.298
S (Smart) モード	P.297
S (Smart) モードインジケータ	P.75
エネルギーモニター	P.86
エンジン	
エンジンオイル	P.615, P.631
エンジンオイル量の点検・補給	M
エンジンルーム	P.597
エンジンルームから蒸気が出ているとき	P.560
パワースイッチ	P.233
フード (ボンネット)	P.598
エンジン型式	S
エンジンのかかり具合、異音点検	M
オ	
オイル	P.631
応急修理する前に	P.506
オーディオ	
アンテナ	P.228
オーディオ	P.227
ステアリングスイッチ	P.229
オートACC機能	P.238
オートエアコン	
オートエアコン	P.213
リヤクーラー	P.216

オートクロージャ	P.137
オートスライドドア	
運転席スイッチ	P.149
オートスライドドア	P.141
正常に作動しないとき	P.154
挟み込み防止機構	P.155
ハンズフリーオートスライドドア	P.146
ハンズフリー機能	P.152
ワンタッチオートスライドドア	P.149
オートデュアルエアコン	
オートデュアルエアコン	P.205
後席用	P.210
オートドアメインスイッチ	P.143, P.144
オートブレーキホールド	
オートブレーキホールド	P.248
オートブレーキホールド表示灯	P.83
オートレベライザー	P.259, P.275
オートロック機能	P.123
オーバーヒート	P.560
オーバーヒート警告が表示されたとき	P.560
お子さまを乗せるときに注意すること	P.55
オドメーター (積算距離計)	P.73

カ

外気温度計	P.78
回生ブレーキ	P.15

外装のお手入れ	P.616
カギ	P.120
各種設定画面	P.96
ガソリン	P.201
カップホルダー	P.474
カメラ	
サイドビューカメラ	P.623
フロントビューカメラ	P.623
マルチセンシングフロントカメラ	P.622
リヤビューカメラ	P.624
カメラスイッチ	P.443
寒冷時の取り扱い	P.602

キ

キー	
インテリジェントキー	P.120
キー (インテリジェントキー) の電池	
交換	P.613
メカニカルキー	P.520
キー連動室内照明	P.468
キーロック連動格納機能	P.197
キックダウン	P.255

ク

空気圧 (タイヤ)	P.634
-----------------	-------

くもり取り

デフロスタースイッチ	P.558
リヤウインドーデフォッガースイッチ	P.559
クラクション（ホーン）	P.183
クリアランスランプ（車幅灯）	
スイッチ	P.259, P.275
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
クルーズコントロール	
クルーズコントロール	P.306
クルーズコントロール表示	P.113
車のお手入れ	P.616
グローブボックスの使いかた	P.472

ケ

警告灯	P.80
警告灯がついたときは	P.528
警告メッセージ	P.95
警告メッセージが表示されたときは	P.540
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.557
警報ブザー音別一覧表（インテリジェントキー）	P.557
けん引について	P.502
検査標章	P.588

コ

工具	P.589
後席シート	
サードシート	P.176
セカンドシート	P.170
後側方車両検知警報（BSW）	P.393
後側方衝突防止支援システム（インテリジェント BSI）	P.393
後退時車両検知警報（RCTA）	P.423
後退灯	
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
高電圧部品について	P.18
故障警告灯（MIL）	P.80
故障したときは	P.500
コンビニフック	P.487

サ

サードシート	
格納のしかた	P.180
サードシート	P.176
サードシートへの乗り降り（ウォークイン機構）	P.172
サードシート用助手席側オートスライドドアスイッチ	P.151
サービスデータ（車両仕様）	P.633

最高速度標識検知	P.436
最高速度標識表示	P.78
サイドミラー（ドアミラー）	P.195
サイドレーダー	P.621
サンバイザー	P.490

シ

シート	
お手入れ	P.627
サードシート	P.176
サードシートへの乗り降り（ウォークイン機構）	P.172
セカンドシート	P.170
チャイルドシート	P.58
ヒーターシート	P.479
フロントシート	P.166
横スライド機構	P.175
シートバックフック	P.493
シートベルト	
シートベルト警告灯	P.80
シートベルトの着用のしかた	P.37
シートベルトの注意事項	P.40
事故がおきたときは	P.21
室内灯	P.468
始動しない	P.522
始動のしかた	P.233

シャシー制御	P.93
車線逸脱警報(LDW)	P.409
車線逸脱防止支援システム (インテリジェント Li)	P.409
ジャッキ	P.589
車幅灯	
スイッチ	P.259, P.275
電球 (バルブ) 交換	P.570
電球 (バルブ) 容量	P.633
車両型式	S
車両重量	S
車両仕様	P.633
車両状態記録機能	P.637
車両情報画面	P.86
車両寸法	S
車両接近通報装置	P.318
ジャンプスタートのしかた	P.525
充電警告灯	P.80
出力制限表示灯	P.80
乗車定員	S
助手席アッパーボックス	P.473
進入禁止標識検知	P.436
ス	
水温計	P.93
スイッチの操作	
e-POWERモードスイッチ	P.298

イルミネーションコントロールスイ チ	P.118
運転席スイッチ (オートスライド ア)	P.149
エアコンスイッチ	P.205, P.213
オートドアメインスイッチ	P.143, P.144
オートブレーキホールドスイッチ	P.248
カメラスイッチ	P.443
サードシート用助手席側オート スライドドアスイッチ	P.151
ステアリングスイッチ (アドバンス ドライバアシストディスプレイ)	P.85
ステアリングスイッチ (オーディ オ)	P.229
ステアリングスイッチ (クルーズコントロール)	P.306
ステアリングスイッチ (プロパイロ ット)	P.325
ステアリングヒータースイッチ	P.478
チャージモードスイッチ	P.302
デフロスタースイッチ	P.558
ドアスイッチ	P.128
ドアミラースイッチ	P.195
ドアロックスイッチ	P.133
トリップ切り替えスイッチ	P.73
ハーフバックドアオープナースイ チ	P.161

バックドアオープナースイッチ	P.159
パワーウィンドースイッチ	P.198
パワースイッチ	P.233
ヒーターシートスイッチ	P.479
非常点滅表示灯スイッチ (ハザード スイッチ)	P.8
フォグランプスイッチ	P.292
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.290
方向指示器スイッチ	P.273, P.288
マナーモードスイッチ	P.304
ライトスイッチ	P.259, P.275
リヤウインドーデフォッガースイ チ	P.559
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.293
ワンタッチオートスライドドア開 閉 スイッチ	P.149
ワンタッチスイッチ	P.150
水没したときは	P.563
ステアリング (ハンドル)	P.183
ステアリングスイッチ	
アドバンスドライバアシストディス プレイ	P.85
オーディオ	P.229
クルーズコントロール	P.306
プロパイロット	P.325
ステアリングヒーター	P.478
スピードメーター (速度計)	P.71

スペアタイヤ	P.589
スモールランプ（車幅灯）	
スイッチ	P.259, P.275
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
スライドドア	
オートクローザー	P.137
スライドドア	P.134
ワンタッチスイッチ	P.150

セ

制動灯（ブレーキランプ）	
S（Smart）モード、ECOモード時の	
制動灯（ブレーキランプ）について	P.301
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
セーフティ・シールド	P.93
セーフティ・シールド表示	P.112
セカンドシート	
サードシートへの乗り降り	
（ウォークイン機構）	P.172
セカンドシート	P.170
横スライド機構	P.175
セキュリティインジケータ	P.83
設定（メーター）	P.96
セレクトレバー	P.239

センサー（ハンズフリーセンサー）	P.152
洗車のしかた	P.616
前照灯（ヘッドランプ）	
スイッチ	P.259, P.275
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
全ドア連動ロック機能	P.151
前部霧灯（フォグランプ）	
スイッチ	P.292
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
前方衝突予測警報（インテリジェント	
FCW）	P.417

ソ

走行可能表示灯	P.83
走行距離（車両情報）	P.93
走行支援機能画面	P.108
走行時間（車両情報）	P.93
走行時間アラーム	P.96
走行のしかた	P.255
走行用メーター	P.15
速度計（スピードメーター）	P.71
ソナー	
ソナー	P.115
ソナー設定	P.96
ソナーの取り扱い	P.625

タ

タイヤ	
アルミホイールのお手入れ	P.620
タイヤ・ホイールを交換するとき	P.607
タイヤ・ロードホイールサイズ	P.634
タイヤ応急修理キット	P.507
タイヤチェーン	P.610
タイヤの位置交換（ローテーショ	
ン）	P.609
タイヤの空気圧	P.634
タイヤの点検項目	P.605
パンク	P.506
冬用タイヤ	P.610
正しい運転姿勢について	P.28

チ

チケットホルダー	P.491
チャージモード	
チャージモード	P.302
チャージモードスイッチ	P.302
チャイルドシート	P.58
チャイルドシート適合表	P.59
チャイルドセーフティドアロック	P.137
駐車（のしかた）	P.257
チルト・テレスコピックステアリング	P.183

テ

定期点検	M
停止のしかた	P.235
停車のしかた	P.257
低水温表示灯	P.83
低速加速抑制機能	P.372
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.372
定速制御機能（インテリジェント クルーズコントロール）	P.354
テールランプ（尾灯） スイッチ	P.259, P.275
テールランプ表示灯	P.83
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
デフロスタースイッチ	P.558
デュアルバックドア	P.159
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
点検整備について	P.588
電源ソケット	P.480
点検値／交換油脂類	P.630
電制シフト警告灯	P.80
電池交換のしかた	P.613
電動格納式ドアミラー	P.195
電動パーキングブレーキ 電動パーキングブレーキ	P.243
電動パーキングブレーキ警告灯	P.80

電動パーキングブレーキ注意事項	P.246
電動パワーステアリング警告灯	P.80
テンプレーター（水温計）	P.93

ト

ドア スライドドア	P.134
ドア	P.128
ドアが開かないときは	P.520
ドアスイッチ	P.128
ドアを室内から開けられないとき （チャイルドセーフティドアロッ ク）	P.137
バックドア	P.159
フロントドア	P.133
ドアミラー	P.195
ドアミラーヒーター	P.197
ドアロックスイッチ	P.133
灯火装置（ランプ）の点灯、点滅具合、 汚れ、損傷点検	M
盗難防止装置（イモビライザー）	P.68
時計	P.77
ドライブコンピュータ	P.93
トラブルがおきたときは 12Vバッテリーがあがったときは	P.523
インテリジェントキーで始動できない ときは	P.522

オーバーヒートしたときは	P.560
警告灯がついたときは	P.528
警告メッセージが表示されたときは	P.540
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.557
出力制限表示灯が点灯したときは	P.527
水没したときは	P.563
ドアが開かないときは	P.520
パンクしたときは	P.506
表示灯がついたときは	P.537
窓ガラスがくもったときは	P.558
雪道やぬかるみにはまったときは	P.562
トリップメーター（区間距離計）	P.73

ナ

内装のお手入れ	P.626
ナンバー灯（番号灯） スイッチ	P.259, P.275
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633

ニ

日常点検	M
日産e-POWERと上手に付き合うために	P.23

ネ

燃費情報表示	P.91
燃費を良くするためのポイント	P.23
燃料	
燃料計	P.71
燃料タンク容量	P.201
燃料補給口	P.202

ハ

パーキングブレーキ	P.242
パーキングブレーキ（電動パーキング ブレーキ）	P.243
パーキングブレーキの踏みしろ点検	M
パーソナルテーブル	P.485
ハーフバックドア	P.161
排気量	S
ハイビームアシスト	P.265, P.280
ハイビームアシスト表示灯	P.83
ハイマウントストップランプ	
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
ハザードスイッチ（非常点滅表示灯スイッ チ）	P.8
挟み込み防止機構	
オートスライドドア	P.155
パワーウィンドー	P.200

発炎筒	P.501
バックドア	
ハーフバックドア	P.161
バックドアオープナースイッチ	P.159
バックミラー（ルームミラー）	P.184
発進	P.253
バッテリー	
12Vバッテリーがあがったときは	P.523
バッテリー液量の点検・補給	M
リチウムイオンバッテリー	P.15
バッテリーセーバー	
ヘッドランプ	P.259, P.275
マップランプ	P.468
ラゲッジルームランプ	P.470
発電用モーター	P.15
バニティミラー	P.490
バルブ（電球）交換	P.570
バルブ（電球）容量	P.633
パワーウィンドー	
挟み込み防止機構	P.200
パワーウィンドー	P.198
パワーウィンドーが正常に作動しない とき	P.200
パワーメーター	P.86
バンクしたときは	P.506
番号灯	
スイッチ	P.259, P.275

電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
ハンズフリーオートスライドドア	P.146
ハンズフリー機能	P.152
ハンドル	P.183

ヒ

ヒーターシート	P.479
ヒーター付ドアミラー	P.197
非常停止のしかた	P.237
非常点滅表示灯	
スイッチ	P.8
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
尾灯	
スイッチ	P.259, P.275
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
ヒューズ	P.565
標識検知機能	
一時停止標識検知	P.436
最高速度標識検知	P.436
進入禁止標識検知	P.436
標識検知機能	P.435
標識検知機能に関する注意事項	P.439
表示灯	P.83

表示灯がついたときは	P.537
ヒルスタートアシスト	P.316

フ

VDC	
VDC	P.312
VDC OFF 表示灯	P.83
VDC 警告灯	P.80
ブースターケーブルのつなぎかた	P.523
フード（ボンネット）	P.598
フォグランプ	
スイッチ	P.292
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
フォグランプ表示灯	P.83
吹き出し口	P.219
踏み間違い衝突防止アシスト	
低速加速抑制機能	P.372
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.372
踏み間違い衝突防止アシスト	P.371
フューエルフィルターリッド（燃料補給口）	
フューエルフィルターリッド（燃料補給口）	P.201
フューエルフィルターリッドオープン	P.202
フューエルメーター（燃料計）	P.71

冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.610
プラズマクラスターイオン®オートエアコン	P.221
ブレーキ（回生ブレーキ）	P.15
ブレーキ液量の点検・補給	M
ブレーキ警告灯	P.80
ブレーキシステム警告灯	P.80
ブレーキの効き点検	M
ブレーキペダルの踏みしろ	M
ブレーキランプ（制動灯）	
S（Smart）モード、ECOモード時の制動灯（ブレーキランプ）について	P.301
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
フロアカーペット	P.488
プロパイロット	
車両情報画面	P.93
ステアリングスイッチ	P.325
プロパイロット	P.322
プロパイロット表示	P.113
フロントガラスのくもりの取りかた	P.558
フロントシート	P.166
フロントドア	P.133

ヘ

平均車速（車両情報）	P.93
------------------	------

平均燃費（車両情報）	P.93
ヘッドランプ	
自動点灯ランプの消灯のしかた	P.264
自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）	P.279
スイッチ	P.259, P.275
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
ヘッドランプ上向き表示灯	P.83
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.290
ヘッドランプの点灯、点滅具合、汚れ、損傷点検	M
ヘッドレスト	
サードシート	P.182
セカンドシート	P.173
フロントシート	P.168

ホ

ホイールサイズ	P.634
ホイールナットレンチ	P.589
方向指示器	
スイッチ	P.273, P.288
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
方向指示表示灯	P.83
方向指示器の点灯、点滅具合、汚れ、損傷点検	M

防犯装置

イモビライザー（盗難防止装置）	P.68
セキュリティインジケータ	P.83
ホーンの鳴らしかた	P.183
ポジションインジケータ	P.74
ポジションランプ（車幅灯）	
スイッチ	P.259, P.275
電球（バルブ）交換	P.570
電球（バルブ）容量	P.633
ボトルホルダー	P.476
ボンネット（フード）	P.598

マ

マスターウォーニング	P.80
マップランプ	P.468
窓ガラスがくもったときは	P.558
マナーモード	
マナーモード	P.304
マナーモードスイッチ	P.304
マルチセンシングフロントカメラ	P.622

ミ

ミラー	
インテリジェント ルームミラー	P.185
ドアミラー	P.195
バニティミラー	P.490

ルームミラー	P.184
--------------	-------

メ

メーター	
アドバンスドドライブアシストディス	
プレイ	P.85
ECO インジケータ	P.77
オドメーター（積算距離計）	P.73
各種設定画面	P.96
警告灯	P.80
車両情報画面	P.86
表示灯	P.83
メーター	P.70
メーターの明るさの調節のしかた	P.118
リチウムイオンバッテリー残量計	P.72
メンテナンス設定	P.96
メンテナンスデータ（サービスデー	
タ）	P.630

モ

モーター	P.15
------------	------

ユ

油圧警告灯	P.80
雪道の走行のしかた	P.604

雪道やぬかるみにはまったときは	P.562
-----------------------	-------

ヨ

横スライド機構	P.175
---------------	-------

ラ

ライトスイッチ	P.259, P.275
ラゲッジアンダーボックス	P.492
ラゲッジフック	P.496
ラゲッジルームランプ	P.470
ランプ（室内照明）	
マップランプ	P.468
ラゲッジルームランプ	P.470
ランプが点灯しないとき（バルブの交	
換）	P.570

リ

リチウムイオンバッテリー	
リチウムイオンバッテリー	P.15
リチウムイオンバッテリー残量計	P.72
リモコンによる施錠・解錠	P.130
リヤウインドーデフォッガースイッチ	P.559
リヤガラスのくもりの取りかた	P.559
リヤビューカメラ	P.624
リヤワイパースイッチ	P.294

ル

ルームミラー	P.184
ルームランプ	
マップランプ	P.468
ラゲッジルームランプ	P.470

レ

冷却水	
寒冷地の取り扱い	P.602
規定量	P.631
冷却水量の点検・補給	M
レーダーセンサー	P.621
レバー（セレクトレバー）	P.239

ロ

ロードホイール	
お手入れ	P.620
交換	P.607
サイズ	P.634
ローブフック（ラゲッジフック）	P.496
ロールサンシェード	P.484
路上で故障したときは	P.500
ロックノブ	P.133

ワ

ワイパー	
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.293
ワイパーゴムの交換	P.612
ワイパーブレードの交換	P.611
ワックスをかけるときは	P.619
ワンタッチオートスライドドア	P.149

警告灯・表示灯・警告メッセージが表示されたときは

メーター内に警告灯や警告メッセージが表示されたときは、すみやかに適切に対処する必要があります。詳しくは、警告灯がついたときは（➡P.528）、警告メッセージが表示されたときは（➡P.540）をお読みください。表示灯については、表示灯がついたときは（➡P.537）をお読みください。



警告灯 例

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯したときは（➡P.528）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



警告メッセージ 例

警告メッセージが表示されたときは、（➡P.540）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



表示灯 例

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。点灯している理由は、（➡P.537）をお読みください。

MEMO